

2018 年度
学校教育における
パーラメンタリーディベートの推進活動 報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2019 年 3 月

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



目次

1. はじめに

2. 研修会・地域交流大会・合宿・大会

2.1	PDA 東海交流大会 第1回授業 (静岡高校)	5月15日
2.2	PDA 東海交流大会 第1回授業 (四日市高校)	5月17日
2.3	PDA 東海交流大会 第1回授業 (岐阜高校)	5月25日
2.4	PDA 東海交流大会 第1回授業 (岡崎高校)	6月1日
2.5	PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会	6月16日
2.6	PDA 関西交流大会 第1回授業 (堀川高校)	7月14日
2.7	平成30年度 第1回 パーラメンタリーディベート講習会 (京都公立高等学校長会 国際・外国語系部会)	7月16日
2.8	PDA 関西交流大会 第1回授業 (北野高校)	7月17日
2.9	PDA 関西交流大会 第1回授業 (彦根東高校)	7月19日
2.10	PDA 関西交流大会 第1回授業 (膳所高校)	7月20日
2.11	鹿児島高英研 教員向け即興型英語ディベート研修 (報告書なし)	7月21日
2.12	PDA 関西交流大会 第1回授業 (神戸高校)	7月31日
2.13	第三回長野県高校生即興型ディベート交流大会	8月6日
2.14	PDA 全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2018	8月10日・11日
2.15	PDA 北海道交流大会 第1回授業 (札幌南高校)	8月17日
2.16	PDA 北海道公立高校即興型英語ディベート交流大会	8月18日
2.17	2018 Kagoshima Prefectural Senior High School English Debating Tournament(PDA Cup)	8月21日
2.18	第2回PDA関西公立高校即興型英語ディベート交流大会	8月25日
2.19	PDA 沖縄県即興型英語ディベート交流大会 (体験会・交流大会)	9月1日・2日
2.20	PDA 神奈川県公立高等学校 交流大会 第1回授業 (柏陽高校)	9月17日
2.21	PDA 北海道交流大会 第1回授業 (旭川東高校)	9月21日
2.22	PDA 神奈川県公立高等学校 交流大会 第1回授業 (横浜平沼高校)	9月22日
2.23	PDA 神奈川県公立高等学校 交流大会 第1回授業 (厚木高校)	10月6日
2.24	PDA 神奈川県公立高等学校 交流大会 第1回授業 (相模原高校)	10月13日
2.25	PDA 京都高校生即興型英語ディベート交流大会 第2回パーラメンタリーディベート講習会	10月21日
2.26	PDA 首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業 (八王子東高校)	10月25日
2.27	PDA 神奈川県公立高等学校 交流大会 第1回授業 (小田原高校)	10月27日
2.28	PDA 首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業 (船橋高校)	10月27日
2.29	PDA 首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業 (千葉高校)	10月29日
2.30	PDA 首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業 (日比谷高校)	10月30日
2.31	PDA 首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業 (県立浦和高校)	10月31日
2.32	PDA 首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業 (三田高校)	11月1日

2.33	平成30年度 第4回PDA神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会	11月3日
2.34	PDA山形県高等学校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業(山形東高校)	11月9日
2.35	PDA山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会	11月10日
2.36	PDA首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業(浦和第一女子高校)	11月12日
2.37	PDA首都圏公立高等学校 交流大会 第1回授業(都立西高校)	11月13日
2.38	PDA新潟県即興型英語ディベート 第1回授業(新潟高校)	11月16日
2.39	第5回PDA首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会	11月18日
2.40	岩手県高等学校教育研究会英語部会英語ディベート研修会(報告書なし)	11月28日
2.41	PDA金沢泉丘高校セミナー	12月18日
2.42	PDA金沢大学付属高校セミナー	12月18日
2.43	第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会	12月22日・23日
2.44	第4回高校生パラメンタリーディベート世界交流大会	1月18日～20日
2.46	宮崎県即興型英語ディベート交流大会	2月9日
2.47	平成30年度PDA東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会	2月16日
2.48	PDA全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2019	3月21日
2.49	第2回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会	3月21日

3. 校長先生メッセージ

4. おわりに

1. はじめに

Society5.0 の到来など変化の速い昨今、多様な価値観や考え方を理解し、グローバル社会で活躍できる人財の育成が求められています。社会問題に対する関心や知識、多角的な考え方、コミュニケーション力など世界に貢献できる国際的な素養を身につけ、国際社会でのアクティブな活動を促すことは重要と考えられます。そこで、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）では、英語での発信力のもとより、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力など複数のスキルを効果的に鍛えることができるパラメンタリーディベートの活動を推進しています。

公益財団法人 日本財団助成事業である本活動「学校教育におけるパラメンタリーディベートの推進活動」では、授業でできるパラメンタリーディベートの教育手法（即興型英語ディベート）をより全国的に普及し、その指導者育成を開始します。これまで代表理事が行ってきた文部科学省助成事業をはじめとする知見を活かし、単なる競技としてのパラメンタリーディベートを超え、公教育に取り入れ可能で、かつ教育的配慮を伴う指導内容を持った形の即興型英語ディベート手法を推進します。

本報告書では、授業導入に向けた即興型英語ディベートの紹介活動として、北海道から沖縄までの地域において開催した生徒および教員向けの研修会や交流大会について紹介します。各地域での即興型英語ディベートの紹介活動に加え、全国の高校生、教員が集い、情報交換を行い、切磋琢磨にモチベーションを向上させる機会とした全国合宿、全国大会、世界交流大会、中学生全国大会について記載します。最後に、即興型英語ディベートの推進を応援して下さる校長先生方のメッセージを別添します。PDA で推進している即興型英語ディベートは、授業の50分内で完結でき、教育的配慮を重んじた手法であるからこそ、公教育の場で、多くの賛同を得ることができたと考えます。

2. 研修会・地域交流大会・合宿・大会



2.1

PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年5月15日（火）15:30-18:00

会場：静岡県立静岡高校

参加者：生徒28名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、南山大学、九州大学

助成：公益財団法人 日本財団

まず、PDAスタッフより、即興型英語ディベートの魅力、効用についての話が続いて、ルール説明がありました。また、スカイプにて、授業でできる即興型英語ディベートシステム考案のPDA代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）より、なぜ今即興の英語で議論する力を鍛えることが重要かといったイントロダクションがありました。自らの研究者としての研究活動、ディベート経験を踏まえて、高校生のみなさんへエールが送られました。



ルール説明後は、静岡高校校長の志村先生より、「他流試合をすることで、他者の実力を知り、自分の実力を知る良い機会になります。上手いかなくても主体性を持って挑戦することが重要です。」とのご挨拶がありました。その後、早速ディベート実践です。参加者の7割程度が初挑戦のディベート体験の中、実践の中でルール、ポイントの確認をしていく流れとなりました。ラウンド終了後には、議論を組み立ての時間配分や、自分たちのスピーチについて、ジャッジのフィードバックを真剣に聞きました。



続く2ラウンド目では各テーブルジャッジからのアドバイスを参考に、スピーチシートを効果的に利用し、具体的な例を使いながら論題に取りかかることができました。2回目という少ないディベート実践の場で、ほとんどの生徒がこの授業で英語力の伸びを実感したようでした。最後にベストディベーターに選ばれた生徒から、本日の感想をいただきました。

終了後、英語科清水先生から、6月16日（土）岐阜高校にておこなわれる東海交流会出場の呼びかけに、熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・いつも使わない英語で、こんなに思いを共有できて、すごいなと思いました。うまく出できませんでしたが、知らない人とでも楽しくできて、よかったです。
- ・自分の英語力のなさ、即興力のなさを実感した。しかしこれを続ければやがて即興で言葉が出てくるような感じもしたので機会があればやってみたい。
- ・皆の意見がきけて楽しかった。『こんな考え方もあるのか』と学べるのが素敵なおところだと思います。熱中して素晴らしい時をすごすことができました。
- ・I found it difficult to speak fluently when I am standing in front of everyone. It's not easy to speak and think at the same time, so I want to be able to speak correctly and fluently even in a regular speed conversation.
- ・これを機により英語を頑張ろうと思う。
- ・もっと、英語にふれていこうと思った。緊張したけど楽しかったです。
- ・評価をたくさん聞いたことがとても嬉しかったです。今後の英語の授業や、その他の英語を使う場面でも生かしたいです。
- ・あの子は1年生なのに英語ペラペラですごいなあと思ったり、私、意外とやればできるじゃんと思ったり、すごい緊張して止まっちゃったり…また英語を頑張りたいと本気で思いました。



2.2

PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年5月17日（木）16:00-18:30

会場：三重県立四日市高校

参加者：生徒29名、教員4名

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、名古屋工業大学、九州大学

助成：公益財団法人 日本財団

はじめに、四日市高校校長の松岡先生より「新しいことを始めるのは自分の成長に繋がること。どんどんチャレンジしていきましょう」とのお言葉をいただきました。

続いてスカイプを通して大阪から PDA 代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）より、即興の英語で議論する力を鍛えることが今後のグローバル社会において必要であることを自らの体験をもとに話されました。

次に PDA スタッフのルール、スピーチシート、フローシートの使い方の説明後、PDA スタッフによる即興でのモデルディベートがおこなわれました。



その後、早速第1ラウンドの開始です。今回は参加者の8割程度が英語ディベート初体験でした。初めての試みに戸惑いが見られましたが各々最後まで諦めず、制限時間を超えてもなお、なんとか意見を伝えようとする姿が多く見られました。



続く2ラウンド目では要領をつかみ、ディベートでは自分の意見を言うだけでなく相手への反論を加え、具体例を述べるなど、スピーチに成長した姿を披露する生徒も多く、即興でのプレゼンテーションの組み立て方を学ぶことができたようでした。

今回は1ラウンド目から POI (質疑応答) が行き交う活発なディベートが印象的でした。



生徒の声 (アンケートより抜粋)

- ・普段の授業では体験することができないような本格的なディベートができたのが良かったです。自分の考えを他人の前で発表する事ができ、自信につながりました。
- ・真剣に考えたことを、真剣に英語に直そうとする経験ができたことが、とても楽しかった。いつものリスニングとは異なる頭を使ったリスニングをすることができ、より実践的な英語力を身につける事が出来たと思った(から)。
- ・いろいろな人の話し方を聞いて、自分では思いつかなかった表現を知れて新しい発見をできたし、今までにない経験で楽しかった。
- ・ディベートの文を作る15分がすごく短く、スピーチのたった3分間がとても長く感じました。しかし、その間に時間では語りきれない楽しさを味わえたからです。
- ・人前で話すのはとても緊張したが、それぞれが発した言葉にその場で反応し、返していくという形態に初めて触れ、とても楽しかった。
- ・ジャッジの方にもお越しいただき、実際のディベートができたことは本当にありがたく、勉強になりました。
- ・今まで英語意見を言う機会がなかったので、とてもよい経験になった。しかし、まだまだ私は力不足なのでもっと勉強する必要があると思った。また今後このような機会があればぜひ、参加したい。
- ・英語を上手に話すことは出来なかったけれど、自分の知っている単語で自分の意見を表現できたことが嬉しかった。自分の伝える考えには具体性が足りないということが分かった。このことは普段自分の意見を日本語で伝えるときも気をつける点だと思うから。今回いただいたアドバイスを生かしていきたいです。



2.3

PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年5月25日（金）15:40-18:00

会場：岐阜県立岐阜高校

参加者：生徒36名、教員7名

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、名古屋工業大学、九州大学

助成：公益財団法人 日本財団

PDA 代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）のスカイプを通じた挨拶後、PDA スタッフより、ルール説明がありました。その後早速実践となりました。



未経験者がほとんど（9割以上）だったにもかかわらず、生徒たちは、冒頭から積極的にディベート準備に取り掛かりました。配布されたシートの内容を、じっくりと丹念になぞりながら、話す構成を組み立てていく姿は、まさに、真剣そのものでした。

ほぼすべてのテーブルで言葉に詰まりながらも話しきろうとする姿勢が見られました。

第1ラウンド終了直後の休憩時には未体験のプレッシャーから解放された喜びからか、『全然出来なかったよ』、『あそこでああ言えば良かった』などと、笑顔で談笑する姿が見られました。



引き続き岐阜高校校長の折戸先生より、「新しいことにチャレンジし、行動することは未来を豊かにし、可能性を広げることになります。積極的に楽しんでください。」とのご挨拶がありました。

休憩する間もなく第2ラウンド開始です。生徒たちは、自分たちの持つ英語力を駆使して、各ジャッジをうならせるスピーチが展開されました。ジャッジからは、英語力を評価するコメントが多い一方で、「例を挙げること」、「現状との比較が必要なのでは」などといった、一層のレベル向上を求める言葉も出ました。

初めてのディベートにもかかわらず各テーブルでPOI（質疑応答）もみられました。白熱したディベートを交わした後も熱心にジャッジのアドバイスに耳を傾けていました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・はじめての英語ディベートで、即興で自分の意見をまとめるのは非常に大変だったが、その難しさが楽しかった。
- ・ただ話すだけでなく、チームワークが必要で、話すことの応用で面白かった。話題も独特でおもしろかった。
- ・POI(質疑応答)のシステムおもしろい。自分の言いたいことがはさんで言える。
- ・自分の思っていることを間違えてでも伝えられることができた。また、周りからたくさん人の良い刺激をうけることができた。英語で伝える面白さを学べた。
- ・今までに体験のしたことのない素晴らしい体験をすることが出来ました。
- ・決められた時間の中で話し合っ自分たちの論を組み立てることを通常授業の中では行うことがなかったので良い経験となった。また機会があったら参加したいです。
- ・普段、テストー大学受験のために授業で行う「英語」とは違う、実際に使う生きた『英語』にいつか触れてみたいと思っていたので良い機会となった。
- ・正直、自分の思うようにできなくて悔しいと思いました。語彙や熟語力をもっとふやすために勉強したいです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■■	(1年)
■■■■■	(1年)
■■■■■	(2年)
■■■■■	(2年)
■■■■■	(2年)

〈2回目〉

■■■■■	(1年)
■■■■■	(2年)



2.4

PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年6月01日（金）15:40-18:00

会場：愛知県立岡崎高校

参加者：生徒12名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団

今回は、直前に校内テスト（実力養成講座）を控えた大事な時期にもかかわらず、1年生を中心に参加していただきました。



まず始めに、岡崎高校校長の竹下先生よりメッセージをいただきました。

「何事にも興味を持ってチャレンジする気持ち、これからの成長の第1歩につながります。みなさん頑張ってください。」

続いてスカイプによるPDA代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）挨拶、PDAスタッフよりルール説明の後、即興でスタッフによるモデルディベートが行われました。

その後すぐに生徒たちの実践となりました。

今回は生徒全員が英語ディベート初体験にもかかわらず、はじめからプレシート、スピーチシートの書き込みをスムーズに行い、チーム内で上手にコミュニケーションを図りながらポイントを仕上げていきます。



第 1 ラウンドではほとんどの生徒がスピーチの型をつかんだようでしたが、やはり反論 (POI)を出すタイミングには苦戦しているようでした。

続いて第 2 ラウンド開始です。生徒たちも要領をつかみ、自信を持ってスピーチする姿は、はじめのラウンドより明らかな成長が見られました。



生徒の声 (アンケートより抜粋)

- ・初めてすることでしたが、方法や、どうしたらよりよくできるかなどをていねいに教えていただけて、とてもよかったです。交流大会などこれからも似た機会に積極的に参加していきたいです。
- ・自分の意見を使える単ゴで表現するのは難しかったけれど、1 回目、表現しきれなかったとき、先生に、簡略化、とのアドバイスをいただいて、2 回目は、かみくだいて言えて、伝えられている！という実感が湧いて、たのしかった。
- ・これを他校の全く知らない人とできると思うと今からでもとってもワクワクしてしまいました！是非今後も英語でディベートをしていきたいと思いました。今回このような経験ができて本当に本当によかったです。
- ・自分の未熟さを知れたことが、今日の一番の収穫だなと思いました。書かれた英文を読み上げるのと即興で自分の考えを述べるのでは全く違うなと感じました。
- ・今までに体験のしたことのない素晴らしい体験をすることが出来ました。今日は本当にありがとうございました。
- ・英語でちゃんと話せるか不安だったけど、文法がめちゃくちゃになっても、自分の言葉で最後まで伝えれたことが嬉しかった。
- ・意見を聞いて、すぐに返答するというのは、英語の力をのばすうえでも、絶対にいなければならないので、とても良いなと思いました。楽しかったです。もっとこのような機会をふやしてほしいです。
- ・自分の考えていることがあるのにそれをうまく英語で表現できなかったのが楽しむまでの段階までいけなかった。



2.5

PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年6月16日（土）10:30-14:30

会場：岐阜県立岐阜高等学校

参加者：生徒34名、教員14名、その他生徒見学者

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、名古屋工業大学、南山大学、東京大学、東京農業工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、岐阜高等学校の折戸校長先生より、「皆さんが即興型英語ディベートという新しいことにチャレンジしようという気持ちが素晴らしい。そんな皆さんがこれからの社会を切り開いて行くのだと思います。また、ディベートをする中で、高校生同士のネットワークもぜひ広げていってください。素晴らしい時間を過ごすことを期待しています。」とのメッセージが送られました。

次に、PDA 代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）より、自らのディベート経験や研究の場でのディスカッション経験などを踏まえて、即興型の英語ディベートが相手に伝えなければならないことを的確に伝えるためにいかに貢献できるかというお話とともにエールが送られました。

そしていよいよ、第1ラウンドの開始です。



岐阜 VS 四日市



静岡 VS 岡崎

1ラウンド目の論題は「High school students should have part-time jobs.（高校生はアルバイトをするべきである）」でした。今お金を稼ぐことができたらどんな自分への投資を行うかや、勉強との両立など、自分たちだったらどうだろう、という視点で様々な議論が繰り広げられました。ラウンドが終わった後も、ジャッジの先生のコメントをととても真剣に聞いていました。



ジャッジの先生からコメントをもらうとすぐ2ラウンド目が始まりました。2ラウンド目の論題は「Development of AI weapon should be banned. (AI兵器の開発は禁止されるべきである)」でした。2ラウンド目では各テーブルジャッジからのアドバイスを参考に、POIを効果的に行ったり、社会の出来事に目を向けてみたりしながら論題に取りかかることができました。ラウンド終了後、ジャッジの先生がコメントを考えている時間に、相手のチームに対して「君の話していた例がとても分かりやすかった」など様々なコメントを掛け合い、交流することもできました。

2ラウンド目終了後は昼食時間です。他の高校と一緒にディベートについて議論しながら食事をとりました。



他校生と もぐもぐタイム

昼食の後は、各高校から選抜された生徒6名によるエキシビジョンディベートです。論題は、「Japan should accept more refugees. (日本は移民を受け入れるべきだ)」でした。他の生徒もジャッジになったつもりでフローシートに前で話している生徒のスピーチのメモをとっていきました。議論はとても白熱し、たくさんのPOIもみられました。



エキシビジョンの様子

エキシビジョンディベートが終わり、ディベーターとしてみんなの前でスピーチを行った生徒は、「英語でディベートするのは焦ったりして難しかったが楽しかった。」「新しい意見なども知ることができ、交流ができて楽しかった。」「またここにいるみんなとディベートをしたい。」と感想を述べました。

表彰が終わり、再び岐阜高校校長の折戸先生からコメントをいただきました。「とてもいい緊張感の中でとても集中し、相手の話を聞いて話していたことが印象的でした。普段の授業にはない空気だったと思います。貴重な素晴らしい時間を過ごしたことと思います。」と労いの言葉をかけました。次に、静岡高校校長の志村先生からコメントをいただきました。「他の高校の生徒とこうやって交流することに意義がある。またディベートを通して得られるものがあると思う。今後も PDA に参加する高校生が増えるとよい。」とご感想をいただきました。四日市高校校長の松岡先生からは、1 ラウンド目終了後、2 ラウンド目に向けて、「ディベート中は、緊張した表情や、うまく言えた表情など様々見受けられたが、さっき会ったばかりの生徒と和気あいあいと話せている、全員の表情がこの 1 ラウンドでぱっと変わりました。」とよい雰囲気についても語られました。



岐阜高校 折戸校長先生



静岡高校 志村校長先生



四日市高校 松岡校長先生



生徒の声（アンケートより抜粋）

- 他の高校の人と話せる機会があってよかった。ディバートで輪が広がっていくといいなと思った。【岐阜】
- 英語力だけじゃない力が必要だと分かった。他県の同じ年代の人と話せたことも、すごく良い経験になった。【岐阜】
- 岐阜高の生徒よりもレベルの高い集団を見れて英語を勉強することへのモチベーションが上がりました。様々な面からものをとらえることの大切さを知ることができてよかったです。【岐阜】
- 他校の生徒と交流する中で、自分の実力不足を実感できたとともに、良い刺激にもなった。また、英語力だけでなく、コミュニケーション力や他校のことも学ぶことができ、良い刺激にもなった。【岐阜】
- “TED talk” をきいているかのような気分になるくらい、自信を持って大胆に話している人が多くて、とてもすてきなときをすごすことができました。またこのメンバーで集まったらいいなあと心から思います。でも、討論をすることって楽しいことだと思います。これからもっと自分の世界を拓けていきたいです。【静岡】
- 今日静岡県内を超えてたくさんの高校生と交流することができて、普段できない、とても貴重な経験になったと思う。【静岡】
- 他の3校の人とも明るく楽しく話せて本当に良い機会になったなと思います！【静岡】
- これを続ければ論理的な思考力や英語表現力は確実に上がると思いました。今後も是非このディバートを続けたいと思います。【静岡】
- 学校で練習したときよりも、今回のほうが、自分の意見をはっきりと相手に伝えることができ、自分の成長を心より感じられた。【四日市】
- 普段関わることがない高校の方々と交流することができて、更に他校のレベルの高さに刺激を受けることができた。【四日市】
- ディバートでは、自分の英語スキルを知れたのはもちろん、知識の浅さを知ることができました。【四日市】
- 全国レベルになると、こんなことになるとは驚いた。大学受験では全国なので、現実を知ることができた。【四日市】
- 相手と議論を英語でするというのはとても今後の国際社会で大切になってくると思うので、もっと力をつけたいです。【岡崎】
- 今回ディバートに参加するにあたって「英単語を勉強しよう！！」と自分で頑張ってみたりディバート中に社会の問題について考えてみたりすることができてとても充実した時間を過ごすことができました。ぜひまた東海地方で開催してほしいです。【岡崎】
- みんなで一緒に協力したり、他の学校の子と話せて、いろんな経験ができて、本当に良かったです。【岡崎】
- また集まってやりたいです！交流できて楽しかったです！【岡崎】

エキシビジョンディベートに出られたみなさん

PM [redacted] [岡崎 A]
MG [redacted] [四日市 A]
PMR [redacted] [岐阜 C]
LO [redacted] [静岡 A]
MO [redacted] [岐阜 C]
LOR [redacted] [岡崎 A]



POI 賞

[redacted] (静岡 C)
[redacted] (四日市 B)
[redacted] (岐阜 A)
[redacted] (岡崎 B)
[redacted] (岐阜 A)
[redacted] (岐阜 C)
[redacted] (四日市 A)
[redacted] (静岡 A)
[redacted] (静岡 B)



ベストディベーター賞

[redacted] (岡崎 A)
[redacted] (四日市 A)
[redacted] (四日市 A)
[redacted] (四日市 B)
[redacted] (岡崎 A)
[redacted] (静岡 B)
[redacted] (静岡 B)
[redacted] (岐阜 B)
[redacted] (静岡 C)
[redacted] (岐阜 C)
[redacted] (岐阜 A)
[redacted] (四日市 B)
[redacted] (岐阜 A)



ベストチーム賞

1位 岡崎 A

2位 岐阜 B

3位 岐阜 C

4位 静岡 B

5位 岐阜 A





2.6

PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年7月14日（土）10:00-12:30

会場：京都市立堀川高校

参加者：生徒9名、教員4名

ジャッジ：PDA スタッフ、同志社大学

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

今回は、グローバルリーダーの生徒、希望者に加え、堀川高校教員の先生3名が、生徒と一緒に2ラウンド体験参加してくださいました。

まず始めに、堀川高校教頭の橋詰先生よりメッセージをいただきました。



「4技能の中でも重要な、話すこと。お互いに根拠を持ってやりとりすることを今回の即興型英語ディベートで学んでください。暑い中ががんばりましょう。」

PDAスタッフによる、即興型英語ディベート発足の背景やルール説明、モデルディベートを経ていよいよ、生徒たちの実践となりました。

第1ラウンドから、『何をしたらよいかわからない』、という様子は全くありませんでした。配布された単語シートに『これがあって良かった』、『この単語を使おう』など、上手に利用し、スピーチを完成していきました。



続いて第2ラウンド開始です。生徒たちも要領をつかみ、スピーチの時間ははじめのラウンドより長く堂々と話す様子から明らかな成長が見られました。

今回は1, 2両ラウンドともに POI (質疑応答) が出ませんでした。生徒からは『次への課題にしたい』と大会に向けての前向きな言葉が聞かれました。

ディベートに参加いただいた先生からは「論理的思考力はいくつになっても訓練しなければならぬ」と痛感しました。授業でもこういった活動を取り入れたい」との御感想をいただきました。



生徒の声 (アンケートより抜粋)

- ・1回目は全然話すことができなかったので、その反省を活かして2回目は改善することができた。もっと上手く話せるようになりたい！
- ・すごく自分のいいたいことをどれくらい短くいうか、全てを分かりやすく伝えることが大切
- ・ほんとうにすごく楽しかったです。難しかったけれど、先生方から、たくさんのことを教えていただけて、すごくいい機会でした。
- ・緊張、ドキドキした。のと、ちょっと英語で話すのはたのしかった
- ・今までに体験のしたことのない素晴らしい体験をすることが出来ました。今日は本当にありがとうございました。
- ・めっちゃ緊張したー！文法とか絶対グチャグチャな気がするけど!とりあえず話そう!!! とは頑張れて良かった。
- ・やってみたことのない英語でのディベートをやってみて、自分が何が足りていないのかということがよく分かったので良かった。
- ・思っていたよりも3分は長くて話しきれなかった。
- ・主張を論理的に、相手が分かるように説明するのが難しかったですが、楽しかったです。相手の主張をきいてなるほど、と思うこともあり、面白いと思いました。

2.7

平成30年度 第1回 パーラメンタリーディベート講習会 (京都公立高等学校長会 国際・外国語系部会)

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日時：2018年7月16日(月・祝)

場所：京都市立日吉ヶ丘高等学校・英語村(イングリッシュヴィレッジ)

10:40 PDA 中川代表理事より挨拶(スカイプ)

ルール説明

10:55 代表生徒によるモデルディベート

11:20 論題1発表、準備1

11:35 ディベート実践1

11:55 ジャッジ1

12:10 昼食

13:00 論題2発表、準備2

13:15 ディベート実践2

13:35 ジャッジ2

14:05 まとめ 閉会式

14:30 終了



2018年7月16日海の日、39度近く気温が上がった猛暑の日にも関わらず、こちら日吉ヶ丘高校に40名以上の高校生、また10名以上の高校教諭の先生がたが第一回京都交流会に集まってくださいました。あまりの暑さに、会場に到着したときには多くの参加者は体中から汗が吹き出していました。午前10時半、定刻どおり交流会は始まりました。

はじめに、会場校の太山先生より全体の司会をいただきました。京都府立山城高等学校の山口校長先生より英語でのご挨拶がありました。続いて日吉ヶ丘高校の古池強志校長先生からも英語にてご挨拶がありました。山城校長先生の専攻は化学、古池先生は数学の先生ですが、どちらの先生も英語の活動を牽引してくださるお立場ゆえ、英語を話す機会を自ら作るようにしていると後ほど教えてくださいました。

次に、PDA代表理事の中川(大阪府立大学工学研究科准教授)よりスカイプにて、自身の経緯やバックグラウンド、またPDAディベートで得られる5つの魅力について話がありました。続いてPDA講師よりディベートのルールが説明されました。POI(ラウンド中に質問、コメントをはさむこと)ポーズの練習は一回でほぼ全員揃うことができました。

ルール説明が終わると、代表生徒たちによるモデルディベートが全員のまえて披露されました。皆が注目するなか、ディベーターの生徒たちは堂々と大きな声でそれぞれチームの主張をしつ



かり聴衆に伝わるようスピーチしてくれました。



そして、本日の論題一つ目が発表されました。発表されると生徒たちはすぐに準備に取りかかります。対戦相手に自分たちチームの作戦が聞こえないよう、それぞれ場所を変えて準備をすすめます。この15分間の準備で本番のラウンドにてスムーズに話せるかを左右することもありますので、真剣に臨んでいます。



準備時間が終了すると、いよいよラウンドが始まります。それぞれあらかじめ決められたラウンドテーブルに着席し、担当のジャッジに名前を告げます。テーブルによってはスカイプでジャッジするラウンドもありますが、さすが現代の若者はインターネット環境に慣れているため、スカイプのテーブルもスムーズに進行されています。



本日は初めてディベートを体験する生徒も多かったため、一回目のラウンドでは少しルールにまだ慣れておらず、戸惑う生徒も多かったのですが、それでも自分の役割のスピーチの番になると、なんとか英語で話そうと一生懸命の生徒ばかりでした。ラウンドが終わるとジャッジからチームの勝敗の発表と、個人コメントがあります。ジャッジから発表されたチームの勝敗を聞いて喜ぶチームもいれば、自分たちが勝ったと信じられない！と驚くチームもあったり、もちろん悔しい思いをしたチームもありました。



1ラウンド目が終わるとランチタイムです。一回戦の緊張から解き放たれ、チームメイトとわいわい楽しく昼食をとりリラックス出来ているようです。

そして午後からの2ラウンド目が始まりました。2回戦ではきちんとルールに則り、ディベートをすすめることが出来ています。コツさえつかめばこんなにも上手くディベートで話せることが出来るんだ！と良いお手本のようなチームもありました。



時間が経つのは本当に早く、あっというまに閉会式の時間を迎えました。山口校長先生から、参加生徒たちのこれからの成長に大いに期待できるといった温かいお言葉いただきました。



最後は参加者全員で記念撮影をおこないました。決めのポーズはもちろん POI!
第二回目は 10 月 21 日開催予定です。皆様、また秋の京都でお会いしましょう!

参加生徒・教員からの感想（配布アンケートより一部抜粋）

- ・他校の人と交流できたので楽しかったです。
 - ・自分の英語力、語彙力のなさを痛感しました。もっと練習して臨みたいです。
 - ・1 回目はうまく伝えることができなくて苦労したけど 2 回目は頑張っ前よりも自信をもってうまくはなせたのでよかったです。
 - ・ジャッジの説明がわかりやすく自分が気づいていなかったことなども知ることができました。
 - ・うまく反論できなかったのが残念でした。これから力をつけて良いディベートが出来るようにしたい。
 - ・学校ではいつもと同じメンバーでしかやることができないが様々な学校、考えの人と意見を交わすことができてよかった。
 - ・すごく楽しかったです。ジャッジの先生の指摘がものすごく的確でディベートのやり方がよくわかりました。人生においてすごく良い経験になったと思います。
 - ・また 10 月にある大会で頑張りたいです。
 - ・生徒が「授業でやりたい」と言っているのを聞いてこれから教科書をはしょってでもやろう、と強く決心しました。生徒のやったあとの自信、「楽しかった」という言葉に全てがあらわれていると思います。
- （教員）
- ・初ディベートの 1 年生たちだったのですが、1 ラウンドから 2 ラウンドにかけて大きく成長を見せてくれました。高校生ってすごい…（教員）



2.8

PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年7月17日（火）15:20-17:50

会場：大阪府立北野高校

参加者：生徒18名、教員6名

ジャッジ：PDAスタッフ、大阪大学

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

PDAスタッフから即興型英語ディベートの特徴、身につく力、ルールの説明後、早速第1ラウンドが始まりました。



昨年経験はあるものの久しぶりのディベートに緊張気味な2年生、初めての試みに戸惑う1年生たち。今回初めて会話するチーム内の仲間も多い中、出し合った意見についてどの軸で論を展開していくのか、上手にコミュニケーションしながらしっかりと準備をしていました。少し焦りも見られたラウンドでしたが、各々が諦めずなんとか意見を伝えようと、単語を一生懸命に並べたり、身振り手振り話す姿が印象的でした。自分のスピーチに必死で、POIを出すタイミングに苦戦しながらもラウンドを終えました。



続く第2ラウンドでは、自分たちのポイントに加えて相手チームの意見を予想し、その反論を準備する余裕も見られました。先のラウンド以上に盛り上がり、POI も多く出る白熱したものになりました。聴衆の前に立ち堂々とスピーチをする姿もみられ、規定時間を越えてしまうほど夢中になりながら相手を説得しようと奮闘していました。相手の意見を聞き取るリスニング能力、論理的に話を構成し反論する能力など、生徒たちの短時間での成長を確認することができました。

ディベートの醍醐味である反論を多くの人が2ラウンド目で実践できていたのが印象的でした。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・新たなメンバーと話し合い、人前で話すということはとても難しかったです、新たなことを数多く学ぶことができ、よかったです。
- ・自分の頭でわかっている、言葉にできない、出てこないという課題が見つかった。即興の難しさがわかった。しかし、意見を言葉にするカッコよさ、他の方々から刺激ももらった。
- ・英語力も必要やし、論理的な思考とか、全部使うから疲れた。
- ・いろんな話題について、先に自分の立場が決められて話すというのが楽しい!客観的に考えられる。
- ・周りの人のレベルが高くて非常に驚いた。ついていくのにほんとうにいっぱいいっぱいになってしまったけれど、ためになったと思う。また機会があれば是非参加したい。
- ・1度目より2度目の方がしゃべれたので、回を重ねるうちに英語がうまくなれるのもうなづけると思った。
- ・めっちゃ論点整理の練習になった。
- ・初めて話す方と楽しく会話することができ、新しいことを学ぶことができたので楽しかったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

- (1年)
- (1年)
- (1年)
- (1年)
- (2年)
- (2年)

〈2回目〉

- (1年)
- (1年)
- (2年)
- (2年)
- (2年)
- (2年)





PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年7月19日（木）15:00-17:30

会場：滋賀県立彦根東高校

参加者：生徒17名、教員6名

ジャッジ：PDAスタッフ、同志社大学

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

まず初めに東彦根高校の榎原校長先生より、生徒への応援メッセージがありました。「このディベートの機会は英語が好きな人だけでなく、これから先英語で情報を発信したり取り入れたりするという人にとっても大事だと思います。何よりも楽しむことが大事ですので、ジャッジの先生のアドバイスをしっかり聞いて力をつけてください。」という校長先生のお言葉に生徒の目に力が入ったようでした。ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習、モデルディベートの後、早速第1ラウンドが始まりました。



ほとんどの生徒にとって初めてのディベート。少し緊張気味のような様子でしたが、論題を発表するとチームで集まり積極的な意見交換が行われました。いざディベートが始まると、さっき準備時間にチームメイトとディスカッションしたことをうまく英語にできず、これってどう言えばいいんだろう、と身振り手振りをしながら一生懸命に自分たちの意見を伝えようとしていました。

続く第2ラウンドでは、第1ラウンドでジャッジの先生にもらったコメントを活かしながら、相手チームからどんな反論をされそうかなどを想像しながら立論を考えていきました。第1ラウンドで一度もなかった POI ですが、第2ラウンドではたくさんの POI が見られ、相手からの質問に一生懸命に答えていました。中には、堂々とした姿でジャッジとアイコンタクトを交わしながらスピーチしている生徒もたくさんいました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・他の人の考え方、ディベートの進め方を見て学ぶことができたためとても楽しかった。すごく難しかったけど、色々な人と会話ができてよかった。
- ・チームの人と協力して立論を考えたりできたので、昨年よりも楽しくできました。指導をしてくださった方がとても詳しく一人一人アドバイスをしてくださったのでとても良い時間になりました。
- ・英語で初めてディベートをしたのでとても難しかったです。何度もして、うまくできるようになりたいです。

- ・とても短い時間の中でチームでぱっと考えて討論するというのが未知の体験だったのですがとても楽しかったです。
- ・時間制限がある中で英文を考えるのはとても難しかったです。相手に言いたいことを伝えるときは知識と頭の中で整理する力が大切だと思いました。
- ・相手の意見に反論を考えるのが難しかったです。1回目のディベートより2回目の方が少しうまくできたかなと思います。もっと練習してうまくなりたいと思います。
- ・自分で思いつかないアイデアは、グループで協力すればいいのだと思いました。まだあまり即興をしたことがなかったので、即興のやり方が知れたのがよかったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■ (2年)
■■■■ (2年)
■■■■ (2年)

〈2回目〉

■■■■ (2年)
■■■■ (1年)
■■■■ (2年)



2.10

PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年7月20日（金）13:00-15:30

会場：滋賀県立膳所高校

参加者：生徒16名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、立命館大学、九州大学

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

PDAスタッフから即興型英語ディベートの特徴、身につく力、ルールの説明後、モデルディベートを披露し、早速第1ラウンドが始まりました。



モデルディベートを見て、自分たちにできるのかと不安な表情を浮かべていましたが、いざ論題が発表されるとチームでかたまり、立論でどんなことを話すか活発な議論が行われました。即興型のディベートをするのは初めてという人も多かった中、同級生や先輩とうまくコミュニケーションをとりながらしっかりと準備をしていました。ディベートの中ではジャッジの目を見て自信を持ってスピーチすることができていました。



続く第2ラウンドでは、第1ラウンドでジャッジの先生からもらったコメントを活かそうと相手チームの意見を予想した上で自分たちの主張を考えることができました。先のラウンド以上に盛り上がり、POIもたくさん出る白熱したものになりました。中には一度の質問では納得できず、返答を受けてすぐ再度POIを活発に行う様子も見られました。規定時間を超えても、もっと聴衆を説得しようと奮闘していました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・友達と協力して1つの発表を作り上げていくのが楽しかった。初めの方は緊張していたが、2回目には面白かったと思えるようになった。ただ、自分の英語を話す力が足りていないことを実感したので、もっと英語に触れなければいけないと思った。
- ・POIなどとっさに英語を発言したり、15分という短時間で意見・英文を作り上げるという機会は滅多にないのでとてもよかった。
- ・自分と異なる考え方もあるので聞くことによって自分も様々な方向から物事を考えられるようにしたいと思った。

- ・即興で英語を話すことは難しかったですが、自分で英語を考えて話すのは楽しかったです。
- ・うまい人のディベートを見て、自分に取り入れることのできるものが多くあったので良い学びとなった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん

〈2回目〉

■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん

POI 賞に選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん

〈2回目〉

■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん



2.12

PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年7月31日（土）13:00-15:30

会場：兵庫県立神戸高校

参加者：生徒12名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、神戸大学、神戸市立外国語大学

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

はじめに、神戸高校校長の中野先生よりメッセージをいただきました。



「即興で英語ディベートする体験は、神戸高校生にとって学びの得られる良い機会です。今回のディベートを楽しんでください。ディベート終了後には成長されていることと思います。関西交流大会でも期待しています。」

PDAスタッフによる、即興型英語ディベート発足の背景やルール説明、神戸、神戸市立外国語大学生のモデルディベートを経ていよいよ、生徒たちの実践となりました。

初めは緊張した面持ちで説明を聞いていた生徒達も、第1ラウンドが始まると準備時間内にスピーチシートなんかを作成して、自分たちの言いたいことを説明することができました。『反論ができなかった』、『ポイントの説明が論理的に説明できなかった』など、反省しつつ、次に活かそうとする意欲が全テーブルでうかがえました。



続いて第2ラウンド開始です。生徒たちも要領をつかみ、スピーチの時間ははじめのラウンドと比べ、自分の意見に自信もって話す様子から明らかな成長が見られました。

今回は2ラウンド目から POI（質疑応答）が出てきました、生徒からは『話すよりも聞くことが難しいと言うことが分かった』と相手の話を聞くことの重要性を認識したようでした。ディベートを見ていた先生からも「授業でも今日を参考にしてスピーチさせていきたい」との御感想をいただきました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・相手の意見への反論が言えたり、それをきちんとひろってもらえたりして、少しでも習得できたのかな、と思えて、難しかったけど楽しかったです。
- ・その場で考えて英語に変換することが難しくてたいへんだったけど、自分の話したことが相手に伝わったのですごく嬉しかったです。
- ・初めてやってみて、ディベートの進め方や説得力のある話し方が少し分かったからよかった。
- ・言いたいことを上手く表現できない時もありましたが、1ラウンドより2ラウンドの方が少し話せたので良かったです。単語はすごく重要だと思いました。
- ・もっと英語を話せるようになりたいと思いました。
- ・やはり自分の英語で表現する力が少し？上がったので有意義であったと思う。これからもこれを活かしていきたい。
- ・英語を積極的に話す機会がなく、今日のディベートは緊張しましたが、2回目はしっかり話せたので良かったです。
- ・反対意見で何が来るんだろうとどきどきしたりして、今まで経験のない体験だった。
- ・難しかった。反論がとくに難しい。考えるのは面白い。言うのより聞く方が難しかったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■■	(2年)
■■■■■	(2年)
■■■■■	(1年)
■■■■■	(1年)

〈2回目〉

■■■■■	(2年)
■■■■■	(2年)
■■■■■	(1年)
■■■■■	(1年)

第三回長野県高校生即興型ディベート交流大会 於 長野県松本県ヶ丘高校

- 主催 長野県高等学校文化連盟英語専門部
 後援 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
 日時 8月6日 (月)
 会場 長野県松本県ヶ丘高等学校
 助成 公益財団法人 日本財団
 講師 PDA スタッフ、カルフォルニア大学学生、飯山高校教師、教育センタースタッフほか 14 名
 参加者 全 7 高校 (県ヶ丘、伊那北、染谷丘、長野、長野西、松本深志、屋代)、大会参加者 39 名、
 練習会参加者 23 名

1. 開会式

本大会で用いられた 3 モーション制度について、主催者の池上先生から説明がありました。生徒たちは制度に戸惑いながらも、熱心に説明を聞き、試合に備えていました。



2. 第一ラウンド

論題は以下のいずれかです。

1. We should introduce school uniforms.
2. Studying abroad is better than studying at a university in Japan.
3. It is better to go to the beach than going to the mountain in summer.

それぞれの立場におけるメリットデメリットを明確に、筋道立ててスピーチする姿が印象的でした。しかし、初めのラウンドで緊張もあったのか、POI があまり見られなかったことが残念でした。次ラウンドに期待です。



←プレバ(準備)中……

3. 第二ラウンド

1. We should penalize corporations that waste food.
2. Japan should abolish death penalty.
3. We should introduce compulsory voting.

死刑はそもそも被害者への罪滅ぼしになるのか、政府として人を殺すのは許されるべきかなど、常識をつつくようなディベートが展開されました。また、食材の廃棄による環境問題に対して、会社側からの視点も加え、どちらが社会にとって良いかを考えさせられるディベートとなりました。



←廊下でもプレパ（準備）

4. 昼食

2試合を終えて緊張もほぐれてきた生徒たち。みんなで話をしながら、和気あいあいとお昼御飯です。自然と内容が先ほどの試合の反省や、これからの論題に対するものにつつまれるのは、ディベーターの性でしょうか。



リラックスタイム！

5. 第三ラウンド

お昼も終わって次はパワーペアリングの第三試合です。

1. Artificial intelligence is our enemy.
2. Japan should have nuclear weapons.
3. Government should punish individuals who write fake news.

少し疲れも見えないなか、先の2試合での反省を生かし、論を深めることができました。フェイクニュースの実際の害を”Please imagine!”と具体例をジャッジに想像させて話したり、フェイクニュースは実際にすべてなくすことはできず、政府に都合のいい情報しか残らないなどのディベートの核をとらえたポイントが出て、一日のうちでも大きな成長を感じました。効果的なPOIも多く出されていました。



6. 第4ラウンド

The number of male and female candidates in election should be equal.

本大会最後のラウンドです。こちらはPDAから出された論題ですが、本大会で最も難しかったのではないのでしょうか。プレパ中に苦戦する生徒の顔もうかがえました。苦戦しながらも、ポイントとなる、女性と男性というファクターで見ることのおかしさ、本当の平等とは何なのか、という点と、女性が実際に今候補者になりにくく差別されている現状と平等であったときに女性がもっと住みやすくなる世界を作ることができる点を各サイドが十分に説明していて、最後のラウンドにふさわしい議論となりました。

7. 閉会式

表彰の後、矢澤先生から講評をいただきました。

矢澤先生「ディベートはどこにでもある。簡単な挨拶のやり取りでも、人に問いかけて、答えて、そしてまた問いかける。そして素敵に、礼儀正しくその会話を終える、この点では十分ディベートの基礎であろう。このイベントだけではなくて、教室で、家族で、ディベートを楽しんで、生かしてほしい。ディベートはどこにでもあるのだから。」



熱弁をふるう矢澤先生と聞き入る生徒たち

表彰されたチーム

1位 県ヶ丘B



——さん
——さん
——さん
——さん

2位 染谷丘



——さん
——さん
——さん

3位 県ヶ丘A



——さん
——さん
——さん
——さん

8. 生徒の感想 (1位、2位チームの生徒に聞きました)

- ・普段学校で練習するときは全然勝てなくて、苦しかったけどその練習をこえてきて、今日結果が出たのがとてもうれしい!
- ・いつもの練習はクラブ内でやるだけだから、知識も、アタックも練習していると、いつも大体同じものになってしまっていた。今日は、こうやって他校と試合することでいろんな考え方が聞けて面白かった。
- ・PDAのスタイルははじめてやったが、自分の普段の知識や経験を取り入れることができるから、ほかのスタイルとはちがった面白さがあって、楽しかった。
- ・こんなに一日で頭を使って、議論するのは大変だったけど、自分の身になったし、すごく楽しかった!
- ・ディベートを通じて、いろんなものの考え方を知れて勉強になるし、面白い。

そのほかにも、帰るときに今日はほんと楽しかった!という声が聞こえてきました。ジャッジのリフレクションに真剣に耳を傾け、相手と積極的にコミュニケーションをとり、互いに尊敬しあうディベーターの姿勢が、全体に良い雰囲気を作り出したのだと思います。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2018年8月10日(金)～11日(土)

(1日目) 練習3ラウンド、モデルディベート、予選1、予備ラウンド

(2日目) 予選2、予選3、準決勝、決勝

会場：ホテルフクラシア大阪ベイ

参加者数：生徒169人、教員41人、他PDAスタッフ

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪府立大学、JST 未来社会創造事業 (探索加速型) 「持続可能な社会の実現」領域
研究開発課題：「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン

参加校：

(千葉県)翔凜高等学校, (東京都)学習院高等科, 富士見中学高等学校, (神奈川県)浅野学園中学高等学校, 栄光学園, 神奈川県立柏陽高等学校, 神奈川県立相模原高校(栃木県)栃木県立佐野高等学校, (群馬県)群馬県立前橋高等学校, (長野県)長野県松本県ケ丘高校, 長野県松本深志高等学校, (静岡県)静岡県立静岡高等学校, (愛知県)愛知県立半田高等学校, (福井県)福井県藤島高等学校, (滋賀県)立命館守山高等学校, (大阪府)大阪府立豊中高等学校, 大阪教育大学附属高等学校平野校舎, 関西創価高等学校, 大谷中学校高等学校(京都府)京都府立嵯峨野高等学校, (和歌山県)和歌山県立那賀高等学校, (兵庫県)神戸大学附属中等教育学校, 神戸市立葺合高等学校, 神戸女学院高等部, 雲雀丘学園, (岡山県)金光学園, (島根県)益田高等学校, (山口県)山口県立大津緑洋高等学校大津校舎, 梅光学院高等学校, (福岡県)福岡県教育センター, 福岡県立城南高等学校, 福岡県立八女高等学校, (熊本県)熊本県立第二高等学校, 熊本県立大津高等学校, 済々黌高等学校(沖縄県)沖縄県立宜野湾高等学校, 沖縄県知念高等学校, 沖縄県立球陽高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生をはじめとした補助スタッフによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。また他校生徒との交流も深まります。

〈高校教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのコマを約 50 分としています。また、さらに効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : All schools should be co-education.

(すべての学校は共学にすべきである。)

論題 2 : Corporal punishment should be allowed in schools.

(学校において体罰は認められるべきだ。)

論題 3 : We should impose a tax on the usage of SNS.

(SNS 使用に課税すべきだ。)

論題 4 : Japan should legalize active euthanasia.

(日本は積極的安楽死を合法化すべきだ。)

論題 5 : School lawyers should be set to all schools.

(全学校にスクールロイヤーを設置すべきである。)

論題 6 : Casinos in Japan will give us benefit than harm.

(カジノは日本に害より利益をもたらす。)

論題 7 : Overtime regulations will enrich Japan.

(残業規制は日本を豊かにする。)

論題 8 : We should ease the reception of foreign caregivers considerably.

(外国人介護士の受け入れを大幅に緩和すべきである。)

論題 9 : Plea bargaining will do more harm than good.

(司法取引は害よりも利益をもたらす。)

1日目

開会式では、参加校およびスタッフの紹介がなされました。合宿スケジュールの確認、ルール諸注意が行われました。今回は、授業の部、課外活動の部1（初心者）、課外活動の部2（一般）、教員の部の4部が同時並行です。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰られるシステムとしています。

練習ラウンド1の論題は「すべての学校は共学にすべきである。」です。教員の部（一般：即興型英語ディベートの研修に参加したことのある教員向け）では、ラウンドをジャッジする先生、教員の部（初心者）で生徒の様子を見学する先生に分かれました。



開会式



準備時間

練習ラウンド2（教員ラウンド1）の論題は「学校において体罰は認められるべきだ。」です。練習ラウンド1よりも難しくなりましたが、各テーブル積極的な議論やPOIが繰り広げられました。



POIの様子



ディベート後は仲良く握手

教員ラウンドでも、活発に POI が交わされており、白熱した議論が繰り広げられました。



教員の実践



質疑応答をする先生

練習ラウンド3の論題は「SNS使用に課税すべきだ。」です。難しい論題でしたが、ジャッジの先生にアドバイスをもらい、また PDA 認定教育ジャッジの先生方を含むモデルディベートを見学し、こうすれば良かったのかと学びを得ました。



ジャッジの先生からのアドバイス



モデルディベート

また、並行して、教員向けの授業導入の説明、また対話空間のメカニズムの観点から PDA でのディベート特性が説明されました。各高校での導入の様子やコツを共有しました。



自校での導入の様子を紹介



中川代表よりルールの本質のレクチャー

夕食をはさみ、一日目の最後は、生徒の予選1です。予選1の論題は「日本は積極的安楽死を合法化すべきだ。」です。レクチャーで学んだことを早速予選に活かしていたチームもたくさんありました。



聴衆をしっかり見てスピーチ



ときにはジェスチャーもします

合宿内容が終了後、生徒の希望者は他校の生徒と一緒にチームを組んで行うミックスディベートと、ディベートに関する講座などに参加しました。教員は意見交換会に参加し、自己紹介をはじめ、即興型英語ディベートに関する情報交換、交流を深めました。



他校の生徒と一緒に準備します



ディベートに関する質問中

2 日目

2 日目は朝から予選 2 が始まります。予選 2 の論題は「全学校にスクールロイヤーを設置すべきである。」です。1 日目よりも堂々とスピーチがなされました。

続いて予選 3 (授業の部/教員予選 2) の論題は、「カジノは日本に害より利益をもたらす。」です。教員も真剣にディベート実践に参加しました。経済的利益、治安の問題、観光や地方活性化の話題など様々な視点からディベートを行うことができました。実践を複数回繰り返すことで、即興型英語ディベートの魅力や難しい点など特長を身でもって掴むことができます。

予選 3 (課外活動の部/教員決勝) の論題は「残業規制は日本を豊かにする。」です。教員の部では、予選 1, 2 を通して選ばれた上位の 2 チームが決勝に進みました。残業という社会問題を自分たちの経験も交えながら熱く議論しました。



POI も堂々としています



チームワークを発揮しています



教員決勝の様子



教員決勝での POI

昼食後は、準決勝です。授業の部と課外活動の部に分かれ、同時にディベート実践がなされました。準決勝の論題は「外国人介護士の受け入れを大幅に緩和すべきである。」です。一見、難しそうな論題ですが、わかりやすい議論を組み立て、白熱したディベートとなりました。



たくさんの観客に囲まれます



堂々とスピーチしています

いよいよ決勝です。決勝の論題は「司法取引は害よりも利益をもたらす。」です。論題発表後、決勝に進出できなかったチームも自分たちだったらどんなことを話すかを考えながら準備時間を過ごしました。ディベート中は深い分析に刺激を受けていました。



決勝（授業の部）



決勝（課外活動の部）

結果

チーム賞 (授業の部)

優勝： 神戸市立葺合高等学校 B

準優勝： 福井県立藤島高等学校 A

3位： 神戸市立葺合高等学校 A、福井県立藤島高等学校 B



チーム賞 (課外活動の部 (初心者))

優勝： 神戸大学附属中等教育学校 A

準優勝： 大阪府立豊中高等学校 B



チーム賞 (課外活動の部 (一般))

優勝： 長野県松本県ヶ丘高等学校 B

準優勝： 浅野高等学校 B

3位： 浅野高等学校 A, C



チーム賞 (教員の部)

優勝： 27b チーム=栄光、関西創価、柏陽、球陽

準優勝： 30b チーム=前橋、元浅野、熊本第二、梅光

ベストディベーター賞 (授業の部)

1位

- 福井県立藤島高等学校 A



2位

- 福井県立藤島高等学校 A
- 福井県立藤島高等学校 A



4位

- 福井県立藤島高等学校 B



5位

- 福井県立藤島高等学校 B



6位

- 神戸市立葺合高等学校 B
- 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 A



8位

- 神戸市立葺合高等学校 A



9位



- 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 A

10 位

- 福岡県立城南高等学校 C

ベストディベーター賞（課外活動の部（初心者））

1 位

- 神戸大学附属中等教育学校 A
- 神戸大学附属中等教育学校 A
- 神戸女学院高等部

4 位

- 松本深志高等学校 B

5 位

- 神戸大学附属中等教育学校 A
- 神戸女学院高等部

7 位

- 学習院・前橋
- 梅光学院高等学校

9 位

- 神戸大学附属中等教育学校 B
- 学習院・前橋
- 大津緑陽高等学校大津校舎 B
- 栃木県立佐野高等学校 C
- 長野県松本県ヶ丘高等学校 A



ベストディベーター賞（課外活動の部（一般））

1 位

- 浅野高等学校 A
- 浅野高等学校 C

4 位

- 浅野高等学校 C

5 位

- 浅野高等学校 C
- 長野県松本深志高等学校 A
- 長野県松本県ヶ丘高等学校 B

10 位

- 浅野高等学校 C

POI 賞 (授業の部)

1 位

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| • 葺合 A | ■■■■■ | • 城南 B | ■■■■■ |
| • 藤島 B | ■■■■■ | • 葺合 B | ■■■■■ |
| • 藤島 A | ■■■■■ | • 平野 B | ■■■■■ |
| • 嵯峨野 | ■■■■■ | • 平野 B | ■■■■■ |
| • 城南 C | ■■■■■ | • 藤島 B | ■■■■■ |

POI 賞 (課外活動の部 (初心者))

1 位

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| • 神大附 A | ■■■■■ | • 神大附 C | ■■■■■ |
| • 金光 | ■■■■■ | • 佐野 C | ■■■■■ |
| • 佐野 C | ■■■■■ | • 県ヶ丘 A | ■■■■■ |
| • 神大附 C | ■■■■■ | • 知念 A | ■■■■■ |
| • 神大附 B | ■■■■■ | • 大津緑洋 C | ■■■■■ |
| • 深志 B | ■■■■■ | • 梅光 | ■■■■■ |
| • 神大附 A | ■■■■■ | • 富士見 C | ■■■■■ |
| • 学習院・前橋 | ■■■■■ | • 大津緑洋 B | ■■■■■ |

POI 賞 (課外活動の部 (一般))

1 位

- | | | | |
|-------------|-------|---------|-------|
| • 栄光 B・豊中 A | ■■■■■ | • 益田 | ■■■■■ |
| • 佐野 A | ■■■■■ | • 翔凜 A | ■■■■■ |
| • 深志 A | ■■■■■ | • 浅野 B | ■■■■■ |
| • 創価 B | ■■■■■ | • 浅野 C | ■■■■■ |
| • 浅野 A | ■■■■■ | • 県ヶ丘 C | ■■■■■ |
| • 浅野 B | ■■■■■ | • 富士見 B | ■■■■■ |
| • 県ヶ丘 B | ■■■■■ | • 富士見 A | ■■■■■ |
| • 県ヶ丘 C | ■■■■■ | • 富士見 B | ■■■■■ |
| • 佐野 B | ■■■■■ | | |

アンケート（抜粋）

生徒の声

- 教員のディベートがすごく参考になりました。アドバイスもたくさんいただけて、成長した2日間でした。（神奈川県立柏陽、2年）
- さまざまな学校との交流を通して、ディベートはもちろん、ジャッジの練習や、友達をつくることができ、よい経験になった。（栃木県立佐野、1年）
- 実際に同世代の人々とディベートをするのは初めてで、初めは大変だったけど回数を重ねるうちにだんだん分かってきて良かった。もっとがんばろうと思えた。（島根県立益田、2年）
- 他校の友達と仲良くなれた。東大生の話を聞くことがなかったのですごく良い機会だった。（和歌山県立那賀、2年）
- 自分の成長がとてもよく分かり楽しかった。（群馬県立前橋高校、1年）
- ディベートを初めてやって、上手くできるか、楽しめるか不安だったが、仲の良い友達と短時間集中的に考え、協力して論をたたかわせる知的なゲームを体感でき、本当にたのしかった（神戸女学院、1年）
- ジャッジ体験を通じて、自分たちの論の落ち度や、気づいたポイントのよりよい活かし方に気づくことができました。（山口県立大津緑洋、2年）
- ディベート経験豊富な高校と対戦できておもしろかった。（立命館守山、3年）
- 他校との交流ができて、他校がどのような英語の勉強方法をしているのかも少し、はじまる前に比べたら、圧倒的に上手くなったと思う。もっともっとがんばって、来年もでて1位になりたい！！（大阪府立豊中、1年）
- 上には上がいることを知った。どの学校もレベルが高く、とても格好よかった。大学生から、勉強方法もきけて、とても良い経験になった。（長野県松本深志、1年）
- 自分のディベートの能力がアップしたことが分かる合宿だった。（福岡県立城南、1年）
- 今回とても面白かったのもっと自分の世界を広げたいという意欲がわいたから。二泊分くらいあったら嬉しいです。（雲雀丘学園、1年）
- 英語力が上がった。ミックスディベートで友達がつくれた。（翔凜、1年）
- 全くできなくて本当に自分が嫌になりましたが、他校の方々やスタッフの方々のおかげでもっとがんばろうと思いました。英語ができないのに英語のディベートにでて、ただ恥をさらすだけだと思っていました。しかし回数を重ねていくごとにできないなりにやろうと開きなおってしていくようになりました。英語を勉強して、ディベート練習ももっともっとして、リベンジしたいなと思いました。（梅光学院、1年）
- 去年よりもグレートUPできたかなと思います。ディベートで初めて聞くことか考えることが多く、もっと日々の学習が重要だなとも思いました。（松本県ヶ丘、2年）

- ホテルも広く、キレイだった。たくさんの試合ができてよかった。(富士見、2年)
- 本合宿大会で自分の実力不足を痛感しました。それはただ、実戦経験が少ないということではなく、普段から物事を筋道立てて考えていなかったからだと思います。(京都府立嵯峨野、1年)
- 実践も多くて、新しく学べることができました。特に、タイムマネジメントやサインポストなど自分が今まで気づけなかった改善点を見出せたのは大きいと思いました。(福井県立藤島、2年)
- 初めてこの合宿に参加して、これまではディベートはあまり面白くない、難しいという印象が強かったけど、すごく楽しくて、本当によかったです。すごく緊張して、上手くいかなかったことが多かったけど、いろんな技術を学べたし、本当にいろんなことを学べたので、これからも英語力、そしてディベート力を高められるようにがんばります！ありがとうございました！！(関西創価、2年)
- とにかくみなさんのレベルが高かったです。日頃から英語に対しては絶対的な自信を持っていた(英検準一級)のですが、自分の英語力がまだまだ足りていない上に現代社会の問題への関心への欠如も露呈してしまいました。精進したいです。(大教大附平野、1年)
- 正直舐めていたけど、レベルの違いに圧倒された。自分のレベルをより高めて、再挑戦したい。(神戸市立葺合、2年)
- 次につながる様々な経験が出来て非常によかった。(自分が原因で負けたと思っているので。)来年必ず帰ってきて、優勝したい。(浅野、1年)
- 他の強豪校のディベートを見れて良かった。また、交流もできて良かった。(栄光学園、1年)
- 他のグループについて見ることで、話し方やニュアンスが勉強になりました。(神大附中等教育)

教員の声

- 緊張はしましたが、ディベート実践はチームの先生方のサポートも多く頂き質問したり笑いあったりと楽しかったです。リラックスと緊張の繰り返し！夜の意見交換会も有意義でした。(沖縄県立球陽)
- 広くて綺麗な会場で充実した設備の中の2回目、非常に勉強になりました。なによりもレベルの高いジャッジからコメントをいただけることがスキルアップやモチベーションにつながると実感しました。(神奈川県立柏陽)
- ディベートの目的がしっかりとしておりこうした活動を通じて生徒の能力向上が見込まれます。ここで生徒たちが感じ身につけたものは大きな力になると確信しています。ありがとうございました。(神戸市立葺合)
- 様々な先生方との実践共有、意見交換ができて良かったです。(福井県立藤島)

- 授業でディベートをしています但ジャッジの仕方がわからなかったので大変参考になりました。(和歌山県立那賀)
- 密度の濃い2日間でもとても学びが多かった。レベル別になっていて生徒もやりやすかったのでは? 教員用にもポスタープレゼンや情報交換会、実践等、プログラムを組んでいただき、他の研修との違い楽しく学ぶことができた。(群馬県立前橋)
- 日頃生徒に考えてほしい topic が扱われており良かった。他校の生徒の様子や先生方の考え方に触れとても良い刺激になりました。(静岡県立静岡)
- 授業の部と課外の部に分けてあるので授業だけで取り組んでいる学校でも安心して参加することができます。(福岡県立城南)
- 全く未知の世界に入りいきなりの実践でかなり緊張で生徒の気持ちが痛いほどわかりました。生徒たちへのコメントもとても温かく、感激いたしました。(梅光学院)
- 授業や行事でリアルに実践されている現場の先生方と意見交換ができ、とても刺激になりました。ディベートは「やりたい人がやる」ものだと思っていましたが、もっとユニバーサルに行なわれるべき教育内容だという考えがもてるようになりました。
(立命館守山)
- 昨夜中川先生もおっしゃっていましたが今高校もディベートの取り組みは過渡期にありますね「教育ディベート」というジャンルを我々教員がきちんと確立していかねばと思われた。こういった大会を継続して開催されている中川先生と PDA のスタッフの方々に感謝しております。(京都府立嵯峨野)
- ディベートに関わる人々の温もりに包まれた会場でした。(栄光学園)
- 参加の生徒さん、先生方の英語力のレベルに圧倒されました。どのようにしたら本校の生徒に還元できるのか、もう少し考えていきたいと思ひます。書籍の販売をしてもらえるとありがたいです。(熊本県立大津)

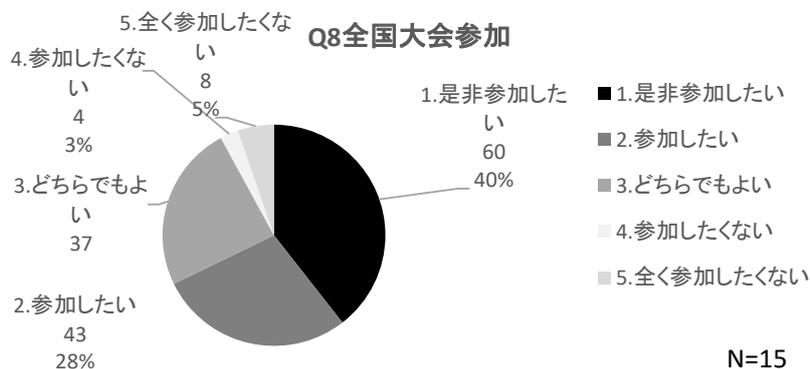
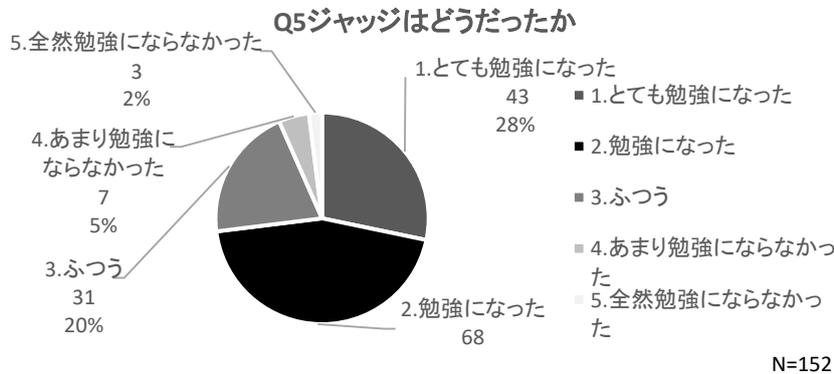
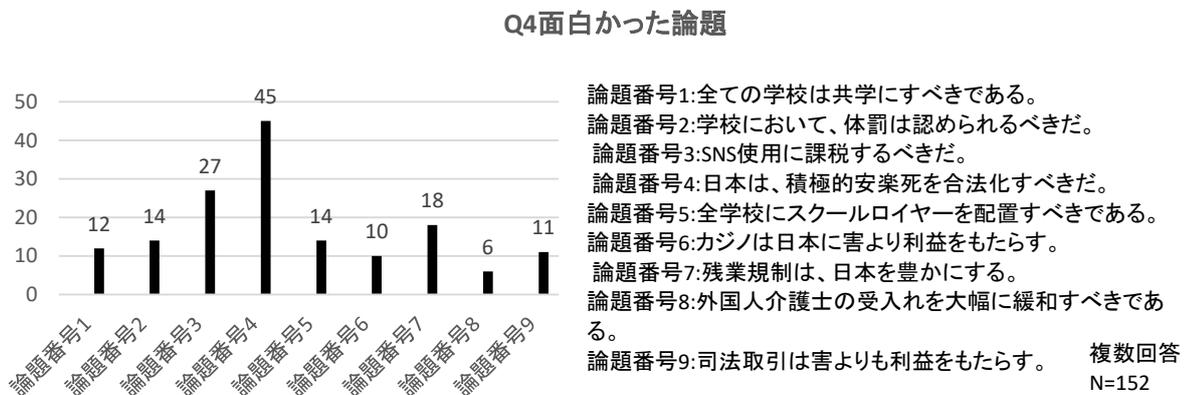
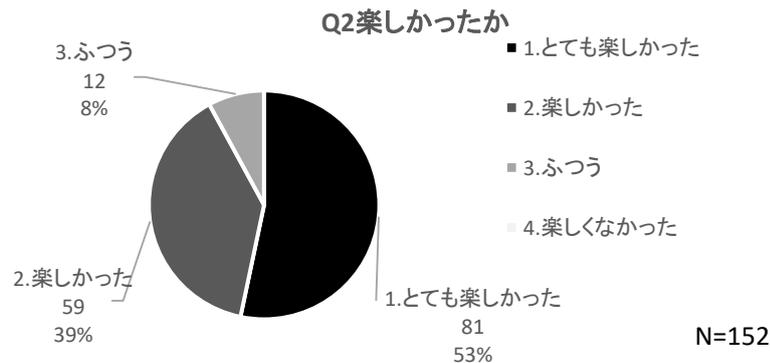


集合写真

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

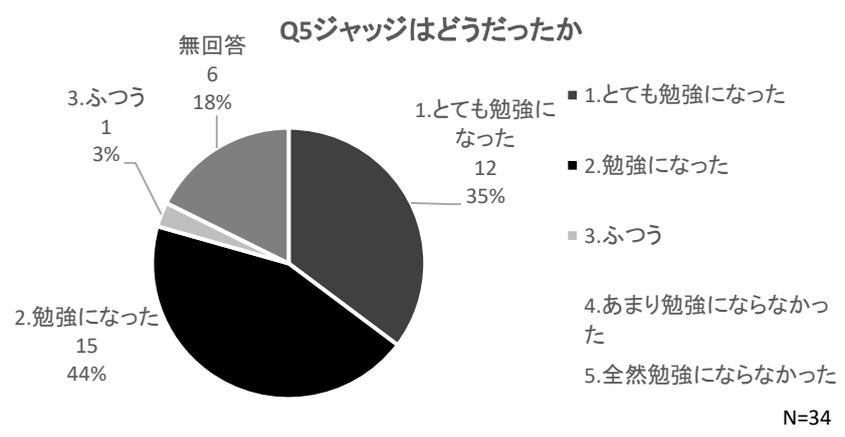
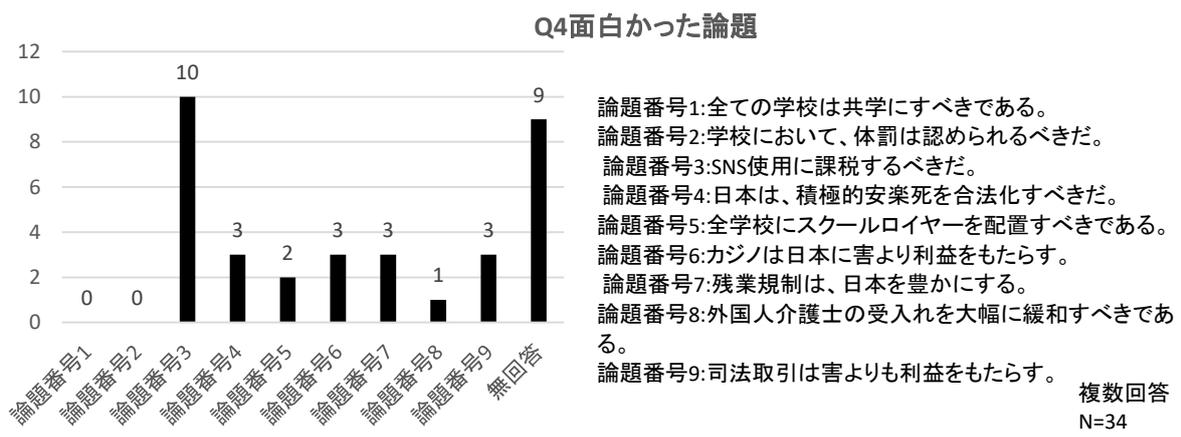
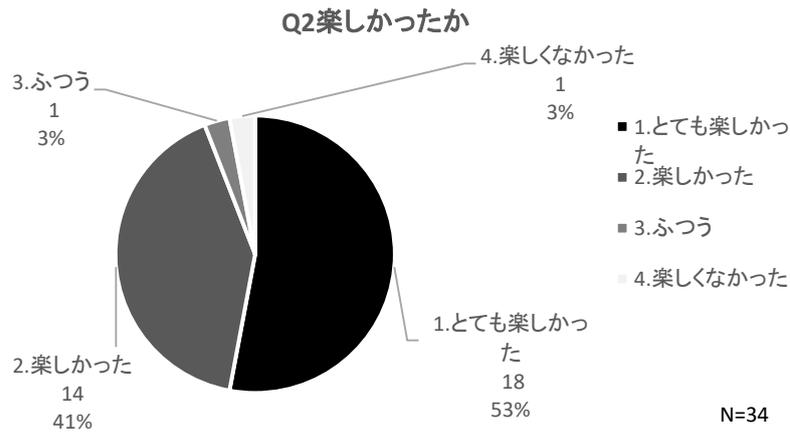
2018年8月10日・11日PDA全国高校 即興型英語ディベート合宿大会(学生)
 [アンケート回答者:152名、グラフの数字は単位'人']



ID	Q3 Q2の理由	Q6 Q5の理由	Q9 感想
61	学校の授業でディベートをしたのは1回しかなかったのですが、とても経験値が違ったのですが、全国の高校生相手にディベートをするのは自分のためになつたと思つたから。	初めてのことだったから。	全国にはこんなにレベルの高い高校生がいるのだと感じましたし、自分もこのように意見を述べられるようになりたいと刺激を受けることができました。また、受験勉強の話を東大生や他校と話すことができたのが良かったです。なぜなら、他校の生徒で高校1年生にも関わらず、東大へ行くために受験勉強の参考書を買って勉強をしていたので、自分もがんばらなければと刺激を受けました。
62	自分のディベートの能力がアップしたことが分かった。勉強が楽しかった。	ベストドミネーターになれたから。	全てにおいて特に言うことはありません。選抜面において言うことはありませぬ。強いて書かなければならぬ自分の直感を述べたことです。
63	実践により、ディベートについてよく学ぶことができた。少しは成長することができたから。他校とも多量に交流できた。	ディベートの視点で考えたと、話してほしいことがあり、相手のポイントに対する反論の仕方や準備して自分の力のなさを感じたので、もっと練習など力をつけてほしいというディベートができるようになりたいた。	大会の前はディベートの経験があまりなかったのが不安がたかった。実践後、アドバイスを聞いて、チーム全体で次の大会にいかすことができたのはよかったと思います。ただ、リスニング力や準備して自分の力のなさを感じたので、もっと練習など力をつけてほしいというディベートができるようになりたいた。
64	初めてディベートの意見をききちんとやって、たくさん強い学校と戦えていい経験になりました。終わりのあとのお互いの意見交換もすごくためになり、交流も楽しかった。他校との交流が楽しかった。	他校のやり方や考えをじっくり観察し、自分たちにはないところ、足りないところを勉強できたから。	授業で多少しか習っていないので、知識も経験も全く、最初はとても不安でした。でも、様々な話題について深く考え、相手校と英語で意見を言い合い、考え方の違いを学んで本当によかったです。ぜひうちらにすく楽しく見られ、回数を増やそうとスチームに進められ、少しずつ成長していきることが実感を覚えて嬉しかったです。
65	他校の生徒さんたくさん交流ができた。工夫していろいろなことを楽しめたこと。ディベートを通して、とても上手い学校がたくさんあり、刺激を受けたから。他校の人と話するのが楽しかったから。	客観的に、話の流れを追うことで、どのように展開されているのかわかっていた。	みんな、基本は話しだけ、そこからは面白い工夫がでて、とても勉強になりました。
66	前回来たときよりレベルが高く、圧が怖かったです…。刺激を多くうけたのでとても勉強頑張ろうと思つた。他校の人たくさん交流できたので、うれしかった。	いろいろな視点の考え方があり、ジャッジの人と自分たちの意見がズレていて、様々なうけとり方があつたことがわかった。	最初とはとても緊張したが、今回を重なることとても楽しめました。また、やってみてことを次回にどう活かすか考え、実際に活かすことができたときにはとても嬉しかったです。
67	他校との交流が楽しかった。学校内では他の違うディベートを見て刺激を受けたのでとても自分にとって有意義であつたと感じた。	前向きと分符を同時に使い、それをまとめて講評の述べのが想像よりもはるかに難しく、もっとレベルアップしたいと思つた。	自分の英語力の無さに改めて気づきました。聴き取りもだし、文章にする力、伝える力、語彙力、様々な力無さを痛感したので、英語の勉強をほとんど頑張らなきゃいけないと思いました。他校の人と交流でき、連絡先を交換できたのでこれからも交流を深めたいです。
68	他校との交流が初めてなので、楽しかった。	ただ聞くだけでなく、評価も論理的にみんなを説得できるくらい理由を考えなければいけないと思つた。	今回とても面白かったのもっと自分の世界を広げたいという意欲がわいたから。二泊分くらいあったら嬉しいです。
69	他校との交流、ディベートの練習が勉強になった。	どうジャッジが判断しているのかわかることが出来たから。	全体的に楽しかったです。他校のディベートを見て、刺激にもなり、もっと頑張ろうと思いました。他校の人たちともっと交流ができればいいと思いました。
70	他校の人と交流ができて、モチベーションも高くなり勉強が楽しくなりました。	ジャッジの判断のときは争点を明確にしたが話について行くのが難しかった。	初めての参加だったので、他校のレベルが驚きました。もっと他校との交流を深めたいので、レクレーションしたかったが、仲良しな強い学校のディベートをどう行っているのか聞けなかった。ディベートの経験が思っていた以上に多くて驚いた。校内でもディベートの機会があればこの経験を生かしたいと思う。
71	自分の改善点をよく考えることができたこと、よりDebateが好きになった。ロジカルに物事を深く考える機会があつた。	他人の議論を外側から聞いてみることで自分がかんがえていた理由がわかった。	本当に爽やかな多量の討論でした。特に学生の皆様のコメント、意見込みを聞いたのがよかったです。今回の大会のおかげでディベートに対する見方が変わりました。ありがとうございます。
72	他校の方との交流が楽しかった。	自分なりのディベートを行ない、ジャッジの練習はないから、新しいことを学べた。	昨と比べて、授業の準備ができていたのがよかったので、はやくしよ。来年はこの大会に頑張ってほしい。勉強になった。
73	他校の先輩がよかった。	ジャッジの視点で考えたと、話してほしいことがあり、相手のポイントに対する反論の仕方や準備して自分の力のなさを感じたので、もっと練習など力をつけてほしいというディベートができるようになりたいた。	昨と比べて、授業の準備ができていたのがよかったので、はやくしよ。来年はこの大会に頑張ってほしい。勉強になった。
74	他校の先輩がよかった。	ジャッジの視点で考えたと、話してほしいことがあり、相手のポイントに対する反論の仕方や準備して自分の力のなさを感じたので、もっと練習など力をつけてほしいというディベートができるようになりたいた。	昨と比べて、授業の準備ができていたのがよかったので、はやくしよ。来年はこの大会に頑張ってほしい。勉強になった。
75	自分の今の能力の低さと改めて、感じて、他校のレベルの高さに驚きました。他校の人と、交流したり、ジャッジから個人コメントもらえたりしてよかった。	自分では思っていたよりも、客観的に判断しているのが、難しかった。ジャッジの立場から見ると、こういう立場の方が説得力があるなど、ディベートと、普段と違う立場から見ると、学ぶことがとても多かった。	自分では思っていたよりも、客観的に判断しているのが、難しかった。ジャッジの立場から見ると、こういう立場の方が説得力があるなど、ディベートと、普段と違う立場から見ると、学ぶことがとても多かった。
76	ディベートを通して不足している所、このままつなげていくと良いところなどこれらからディベートをやっていくに必要技術を学べた。	公平なジャッジの仕方を知ることができた。	自分のディベート力をもっと上げるだけでなく、他校との交流がしやすく、これからの活動に活かせるものとなりました。ありがとうございます。
77	学校CPDAをあまりやっていなかったのでもっていい経験になりました。	なぜなら、ジャッジをやっている時にどこに注目すべきか理解できた。なのでそれを活かして次のディベートに活かしたいと思つた。	中々PDAを回すことになつていて自分にとって今回たくさん経験できたので、もし、来年も参加できたら参加したいと思つた。
78	いろいろな高校と戦えたので、自分をつまみつかせ、成長できたいい機会となりました。大会でも明るい雰囲気、リスニングで試合をするのが楽しかった。	今回はジャッジをする機会がなかったのですが、他校のジャッジスタッフさんのジャッジを聞いていて楽しかったです。	私にとって、今回の大会は、初めてのPDA大会だったので、とても楽しかったです。自分も参加させていたことができて良かったです。また、自分の頼り部分、改善すべき点がたくさん見つかりました。とても勉強になりました。また、このよな機会があれば、ぜひ参加させていきたいと思います。今回同じことができなかった。来年はもっと成長し、自分と一緒に参加したい。
79	日本中に友達ができ、多くのモーションができたから。	今までやったことがなかったから。	今回の大会では出会えない学校の方とも話す機会ができました。友達も沢山作ることができました。沢山のモーションができて良かったです。最近には主にHENDAをやっているPDAが少し不安でしたが、この2日間で上達した気がします。ジャッジからのコメントも、次から改善できるようにしたいです。
80	ディベート実践、英語力の向上。	一回しかやっていなかったから。	英語力、おまに即興力も上がって来ましたが、ジャッジも楽しかったです。
81	普段交流することのない地域の人と話したり、様々なモーションができたので勉強になったし楽しかった。	ジャッジをしていない。	今回は私にとって初めてのPDA大会だったのでとても緊張したが、試合を重ねていくにつれて、モーションについて色んな方向で考えることができるようになっていたことが嬉しかった。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
82	英語力が上がった。ミックスディベートで友達がつくれたから。	内容はあまりわからなかったが、センパイでの解説でどう、ポイントすればいいか学べた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
83	ディベートをするのは初めてだったのでとても楽しかったです。また、良い経験になりました。また、他校と交流が、様々な意見交換ができたから。	どのような視点でジャッジをしたら良いのかを学ぶことができたから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
84	ディベートは今回初めてで、始めはともきんちやうでしたが、じよに楽しくなつて、幅広い知識と論理的思考力がかなり大きくなりました。	ジャッジはいいにせつとくがあり、論理的に話しているかを考えられたこと、他校との交流も面白かった。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
85	ディベートも英語も全てでき、帰りのあとの勉強も頑張りたいと思つた。他校との交流が、幅広い知識と論理的思考力がかなり大きくなりました。	ジャッジ体験は中々できるものではない、周りから見ること新しく見えてくるものがある、勉強になったと思つた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
86	初めて勝てたし、どうしようもないのかどんどんわんわんうなつて上達したのを感じた。友達との仲も深まった。	客観的にPDAをみられて、ディベートの流れとか、自分だったらどうするかを考えたり、違う立場の視点も学べた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
87	初めて勝てたし、どうしようもないのかどんどんわんわんうなつて上達したのを感じた。友達との仲も深まった。	客観的にPDAをみられて、ディベートの流れとか、自分だったらどうするかを考えたり、違う立場の視点も学べた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
88	仲良しな学校で色んなmotionで試合できたのがいい経験になったし、楽しかった。	ジャッジをしていない。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
89	初めに参加して、今までやったことのあつた論議でも他校の新しい意見を聞けたし、仲良くなったから。真実のしんらうとくも手に入れたから、とてもいい経験になった。	ジャッジをしていない。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
90	他校の学校とディベートを行うことになって、自分たちのチームの改善点や相手のゲームのよいところを学ぶことができた。ジャッジの先生とのリレーションがとても分りやすかつた。勉強になりました。	ジャッジをしていない。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
91	ディベートを通して、ディベートを頑張っている同年代の人たちと交流ができたから。ミックスディベートだけでなく、いつもこうなメンバーでディベートができたから。	ジャッジの目標からディベートを見ること、論点に分りやすかつたと思つた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
92	自分の成長がみられたから。	ジャッジをする理由がよわからなかったから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
93	今まで勉強だった学校とmakeFriendできたから。ただ、自分の思い通りの結果も出せずとも楽しかった。	どこをみる観点にすればいいかなどの助言ももらえたから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
94	ディベートを通して仲間との絆が広がったから。	どのようにジャッジするかを学べたから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
95	今までディベートをやったことがないチームともたくさん試合をして、新しいことをたくさん学べたから。	自分たちのチームとは違Reflectionをしているチームや先生の意見を聞くことで、ジャッジの仕方学ぶことができたから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
96	普段の練習の成果を、他校のチームと戦うことで発揮できたから。	簡単に相手になぜvotedのか、しなかったのが伝える説明や、流れをんで第3者の目線でみることで新しい発見があつた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
97	ディベートができたから。	ジャッジの練習を行っていくため。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
98	他校との交流により、いつもは思っていないような立論が聞けた。	どのポイントに注目して、ジャッジをするのか今まで分らなかつたけれど、ディベートのときの内容だけでなく、アイコンタクトなどもすごく重要と思つた。自分が学校に戻ったときは、ジャッジももっとり説得力をもてるようにしたい。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
99	PDAの話す内容のポイントやポイントなど、自分たちが今までおろそかにしていた部分がある、実はすごく大切なことだと、これらを生かして、HENDAの方も生かしていきたい。	ジャッジをする理由がよわからなかったから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
100			
101	ディベート実践	客観的にみられた。あまりやらないからいい経験になった。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
102	他校のこを学べた。	学校でやっているもの。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
103	他校との交流が増えた！他校とのディベート。	意見を客観的にとらえることを学んだ。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
104	他校との交流、他校のレベルを知れた。新しい知識を得た。	今までジャッジをやったことがなかったから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
105	いろいろな人と関わることができたから。	ただジャッジをするだけで、何も教えてくれなかつたから。準備時間等に指導して欲しい。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
106	他校との交流。	ジャッジを体験する前に、どこをどう見てジャッジをして何をdebatersに伝えれば良いのか、もう少し教えてほしいから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
107	色々な高校の生徒さんと繋がれたから。	ただジャッジをしただけで、どのようにジャッジをすべきか知らなかったから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
108	他校との交流。	ジャッジをした上にもジャッジの方がアドバイスをくれたから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
109	他校との交流。	クラッシュポイントなど、よく深く考えられた。また、ジャッジの評価ポイントなども学べた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
110	他校との交流、ディベートで様々なプレパレーションタイムの使い方を学べた。また、以前から知っていた友達ともkeep friendsできた。新たなmake friendsもできたから。	簡単に相手になぜvotedのか、しなかったのが伝える説明や、流れをんで第3者の目線でみることで新しい発見があつた。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
111	大会、おひき合への参加は初めてで、とてもいい経験になった。しかし、2人というところで、出てくる意見も少なく、その点では苦勞があつた。またの機会には、ぜひ3人で参加したい。	ジャッジをする理由がよわからなかったから。初めて行ったけれど、とても楽しく、勉強になった。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
112	レベルの高い高校との対戦を通じ改善点を多く見つけることができたから。また、対戦した相手と良い関係を築くことができたから。	どうしたら議論を上手く進められるのか、ジャッジの立場から考えることができたから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
113	勝てたうれしかった。負けたり悔しかったし楽しかったから。	Deleteやうまく聞かずに集中できなかったから。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。
114	実践も多かった。新しく学べることがありました。特に、タイムマネジメントやサインポストなど自分が今まで気づかなくて改善点を見出せたのは良かったです。	人のジャッジをするのはあまり好きではないけれど、おもしろかった。	とても楽しかったです。ミックスディベートの他校との交流も楽しかったです。また、自分も参加させていたことができて良かったです。また、POIに答えられるようになった事も収穫の一つでした。これからも機会があれば積極的に参加し、即興力も高めていきたいと思います。

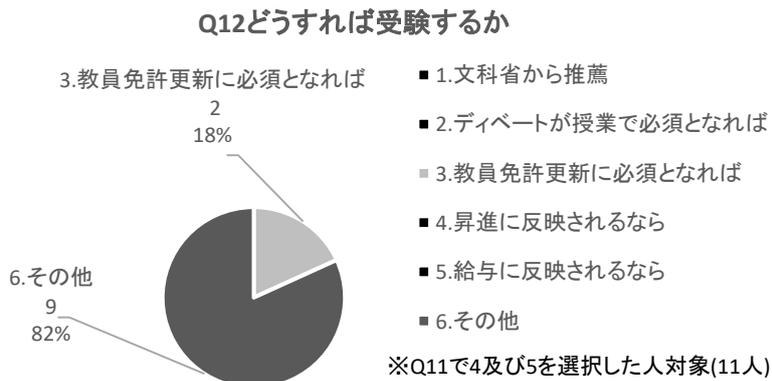
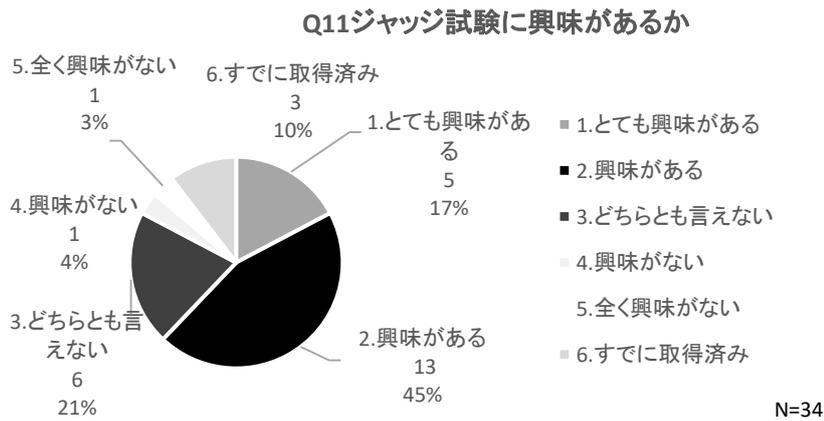
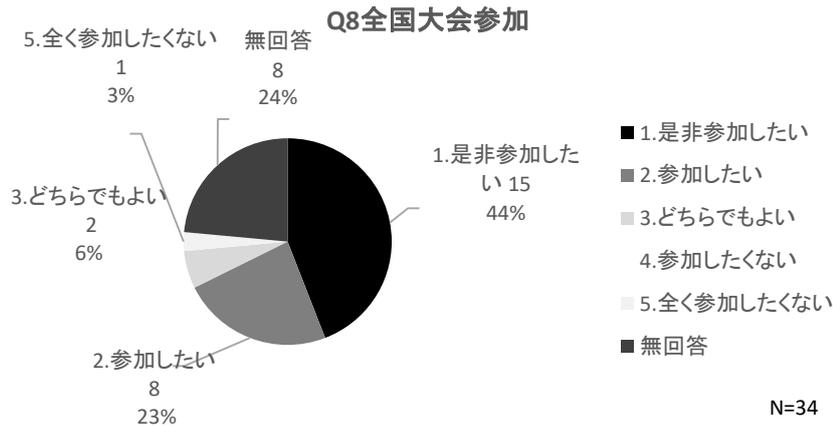
ID	Q3 Q2の理由	Q6 Q5の理由	Q9 感想
115	他校との交流を通じて、自分ももっと英語力を上げていきたいと思っ	ジャッジの練習は今回の合宿が初めてだったので、ジャッジは色んなことをきかなければならないと思っ	今回の合宿で自分がどれだけ未熟だったのが分かったし、次につなげていって、まだまだ自分で伸ばせるところがあると思ったので全国大会までの期間を一分一秒大切に準備していこうと思っ
116	この2日間という短い間で沢山の他校との交流や自分の成長がよく見られたから。	ジャッジをすることはあまりない、本物もジャッジの方と一緒にしたのていろんな視点から見るのがつくと思っ	私たちのグループでは全員1年生でしかも部活でもあまり時間を決めてできなかったためほぼほとんども難しかったのですが4試合自らからコツをつかんで勝つようになってきたのでとても楽しかったです。次回もぜひ参加したいです。
117	他校との交流、ディベート実践	他校の方の面白い話を学べた。	もう勉強で満足！！
118	ディベート実践がとても楽しくて、今まで内々でやっていたのでこのように他校の人達とすることができたことで、新たな発見があったからです。	あらかじめしっかりとジャッジ体験することで、しっかりと全てのリズーン、アタックを聞いて、判断することが大切だと学べたからです。	とても楽しくて、また来たいと思っ。たくさんのおかけでこのような機会に、出させてもらえたことに感謝して、がんばっていきたいと思っ。
119	普段、新しう会えない他校の英語ディベート部と交流で、また、PDA方式で実際にディベートをして、本当にたさんの技術を学べたから。	ジャッジとして、どうやってディベートを見ればいいのか分かったから。	初めての合宿に参加して、これまではあまり面白くない、難しいという印象が強かったけど、すごく楽しくて、本当に良かったです。すごく緊張して、上手くいかなかったことが多かったけど、いろいろな技術を学べたし、本当にいろいろなことを学べたので、これからは英語力、そしてディベート力を高められるようにがんばります！ありがとうございます！！
120	他校の英ディベート交流を学べたから。	ジャッジの人がどういう点を見てジャッジしているのかを勉強できてよかったです。	今回の合宿に参加したことで、他校の人から学ぶこともたくさんあり、自分達の具体的な課題が見つかり、今後の練習への意欲がすごく高まりました。また、ジャッジの先生方がとても丁寧にアドバイスしてくださったのもすごく参考になりました。参加して本当に良かったです。
121	見るだけの人が多かった。	何も聞き取れなかった。	両日本でも、debateを活発になつたら良いと思っ。
122	英語ディベート演習の2日間を通じて、自分が持っていた英語に対する自信が粉々に崩れ去ったから。	ジャッジの先生たちの苦労がわかったから。	とにかくみなさんのレベルが高かったです。日頃から英語に対しては絶対的な自信を持っていた(英検準一級)なのですが、自分の英語力がまだまだ足りない上に現代社会の問題への関心のなさを痛感してしまいました。精進したいです。
123	他の人と仲良くなれたから。	初めての体験だったから。	楽しかったです。
124	ディベートはもちろん、他府県の同級生と交流できたのしかった。また、大学生の方の話で得られるものがあつたのでよかった。	グループ全体での意見として見ることが出来、おもしろかったし、勉強になった。	弾丸のようなスピーチがはたして良いのか…と思っ。言葉で伝えるために存在するのにおつて、聞き取りづらい、相手のことなどおかないのスピーチで…という疑問がわき、モヤモヤした。また、ミックスチームでの"AV"などについての論議も疑問がうかぶところだ。今まで関わりのない異性とその話をさせられ、傷つく子が出ると思っできなかったのか。実際、泣き出し、ディベートが終了してしまつた。しかも必要以上に必要であったと思っ。18歳未満に話させるのをちょっと考えられない。考えが足りていないと思っ。
125	他校との交流がもてたため。	自分の意見はもちろすが、客観的に話をきいてジャッジすることが今までにない立場だったから。	初めは、きちんと大きくなって、相手チームと同じ感じだったので、少し英語のすごい人たちに親近感を抱けました。また、どの論議も意見によっては勝てるようになって面白かったです。もう少し短い時間ディベートをしたかったです。来る時は、1回やりたしと思っただけで機会があればもっと英語でのディベートを他校と交流しながらやりたし、今回参加してみたいと思っ。
126	周りのレベルが高すぎて圧倒されることが多かったけど、とても良い経験になったと思っ。	ディベートで客観的にみること、大切なことは何度も繰り返すこと分りやすいということがよく分かったから。	周りのチームのレベルの高さに圧倒されるばかりでした。でも、そんな周りのチームに必死に反応してディベートを行うことができ、少しは成長できたと思っ。今回の合宿で、英語を伝える高校生などにもたくさん関心をもつてくれたことにも興味を持って学んでいきたいと思います。
127	こんなにすいディベートを生で見れて、すごかったのしかった。他校の人も仲良くなれてめちゃくちゃ楽しかったです。	他の人からはこう見えている、思われていることが分かったからこれからのディベートに生かせようと思ったから。	初めてディベートの合宿に来て、最初は全然書けないことが多かったし、きんらうして、音もかかったけど、だんだん慣れてきて、来る前より成長したかなと思っ。他校の人の人たちのディベートも見れてすごくおもしろかった。しかも振返りの人たちはすごく早口でびっくりしました。少し耳が慣れて少し聞きとれるようになって、うれしかったです。大学生の方にとってもやさしくしていただけたのもうれしかったです！これからは、このようなイベントは興味があるので積極的に参加していきたいと思っ。2日間という短い間でしたがお世話になりました。ありがとうございます！！
128	他校との交流が深められた。	ジャッジ側の視点に立って分析し、コメントする機会が中々なかった。	前回より成績落ちたので楽しかった。
129	大学生や先生方のポイントが的確だった。他校の人と試合ができたから。	ジャッジをしたことがなかったから。また、他校の人のジャッジができたから。	はじめは他校と試合ができて、貴重な経験ができた。はじめは緊張して上手くいかなかったけどだんだん緊張もとけた。ジャッジをしていただいた方からのアドバイスがとてもために話でありがたい話でした。自分を客観的に見るのは難しいので他の人から見た意見をどんどん取り入れた。
130	直接、いろんな方々と試合ができてよかった。またjudgeの大学生の方々のevaluationが新しい考え、strategy。		本大会の準備が不十分な中、今までやってきたこと、学んできたことを使って試合ができたので良かったです。練習の中でreplyが、分からなくなつて、止まってしまうことが多くて、いいことを忘れてしまつたこともありましたが、大会をおして自分の型が定まってきたので良かったです。
131	他校との交流ができたから。	試合の客観視ができたから。	他校との試合ができていい経験になりました。
132	PDAの大会に出るのは初めてなので、新鮮な体験ができました。大学生の方のコメントがとても参考になりました。		優勝できなくて悔しいです。
133	楽しかったですが、ダンスがなく他校と交流するのが難しかったです。	ジャッジは自分の中にある判断材料を使えないのだと知ったから。	学校ごとにやるのではなく、全チームをミックスチームにするので本来のメークフレンズができるのではないかなと思っ。ホテルの部屋も学校別になるべくふるのではなく、バラバラにした方が楽しそう。アニオンあつたので楽しかった。 (AM3:00)周りの他校のレベルがすごく高く、どのようにならなくてもいいかなどをすごく考えさせられる大会でした。
134	会場全体の雰囲気がいきいきしていた。	全体の雰囲気に押されてしまって判断基準があまりよくわからなかった。	まず始めにこの大会の運営に関わってくださった皆さまにも深く感謝しています。さまざまな地域の方々とお出会うことができて良かったです。1つのまにか楽しい時間が過ぎてしまつていく感じがもう全部が終わつていきました。負けに対しては始末はめい息ばかりでしたが、負けから学ぶもの大きさに気づいていきました。来年も行きたいです。
135	いい刺激になった。	正直、大したことなかった。でも、案外、楽しかった。	今回の大会を通して、日本の、そして世界の壁を思い知つた瞬間でした。まだまだ、伸びようと思えば伸びられる。そんな可能性を残す大会でした。
136	ディベートの真髄を知れた。	ジャッジの視点から見ることができたから。	正直話してただけで、レベルの違いに圧倒された。自分のレベルをより高め、再挑戦したい。
137	いろんな学校の人々と交流できて楽しかった。	反論をしっかりと書かなければならないと思っ。	予選1で勝敗が納得行かなかったです。
138	ディベート実践	経験することがあまりないため。	初めてで新鮮だった。
139	他校との試合自体が楽しかったし、交流もできた。自分のレベルが知れた。		素直に多くの試合ができ、楽しかった。自分の反省点を理解できた。楽しかった。
140	全国から集ったみなさんからたくさん刺激をもらつたし、ジャッジの方々からのとても有益なアドバイスをもらえたから。		
141	選手として出場しましたが、たくさんの議題についてディベート出さ、勉強になり、楽しかったから。	直接的にジャッジの仕方のコツを教えてもらえたから。	勉強になり、楽しかった。達成感を得られた。朝が少し早かった。
142	様々な論議他校の人と交流・ディベートできたのはいい経験だった。ただ、sfで負けた理由がほとんど自分だと思っ。悔やんでいる。次につなげたい。	ジャッジした試合のディベーターの音が聞こえなかった。	次につなげる様な経験が出来て非常に良かった。(自分が原因で負けたと思っ。)
143	ディベートを行う機会がとて多く、ジャッジの人のアドバイスもたくさん聞けたから。	声があまり聞こえず、論議のレベルもあまり高くなかったため。	色々なdebater、judgeの方々とお話する機会が多くあり、とても良い経験になった。
144	他の強豪校のディベートを見れて良かった。また、交流もできて良かった。	新観な体験だったが、事前にレクチャーがもう少し欲しいと思っ。	2日間で多くの試合を多くの学校と交流ができて、とても良い刺激になった。今後もしっかり練習したい。運営お疲れ様です！(※スライドの見せ方は改善してほしい。)
145	ディベート実践、他校との交流	他のグループについて見ること、話し方やニュアンスが勉強になりました。	この合宿・大会に参加して、今まで気づくことができなかったことも知ることができたので、今後のディベートに活かせると思っ。とても楽しかったです。楽しみなが参加でき、本当に良かったのでこの2日間で、いろいろと知らない多くの回数ディベートをして、とてもハードでしたが、それ以上に楽しく、学ぶことが多かった。ディベートのレベルを上げることができたと思う事はもちろんですが、多くの同じ高校生でディベートをしているメンバーとお話やアドバイスをうかがうことができて、とても有意義な時間をすごすことができました。
146	2日間を通して、他校の生徒や先生方からお話をたくさんきくことができたためになったからです。	ジャッジという客観的な立場からみること、ディベートへののがつたイメージをもつことができたから。	学校では、決まらず相手としか対戦することができませんが、今回の合宿・大会を通して、様々なチームと対戦し、自分や、自分のチームの課題や練習していくべきところなどがしつかりみえてきたのと同時に、他校の良い面をたくさん吸収することができたと思っ。多くのことを学べ、ディベーターとして伸びたいと思っ。様々な視点があつて、とても自分の考えがわかった。
147	他校と交流することができたり、他校とたくさん試合をすることができたから。	自分たちのチームに足りないのかがよく分かった。	すぐ勉強になりました。すごく楽しかった。もっと即興ディベートが好きになりました。来て良かったです。
148	他校との交流とディベートがとて楽しかった。	学校でもジャッジなどの練習をしているので楽しかった。	
149	段々と相手の言っていることやディベートのパターンが分かって、自分の成長が感じられたので、楽しレベルの高いディベートがたくさんできたから。たくさん頭を使って論理的思考力を少しも身につけられたと思っ。	授業の部とは違う雰囲気のディベートを肌で感じる事ができた。	
150	楽しかったけど嬉しい部分もあつた！		
151	相手の意見をつぶすことが楽しかった。	ジャッジの立場で見ること、周りが見えてきたので、試合にもいかしていけるということが学べた。	今回の合宿では練習とちがって緊張感があり、プレッシャー、緊張、恥ずかしさにたえながら、というところが少し難し感じました。他校と試合することで、相手のサマリー(自分の立場)の良い点、悪い点を見つけて吸収していくことができて、とても勉強になりました。
152			

2018年8月10日・11日PDA全国高校 即興型英語ディベート合宿大会(教員)
 [アンケート回答者:34名、グラフの数字は単位'人']



2018年8月10日・11日PDA全国高校 即興型英語ディベート合宿大会(教員)

[アンケート回答者:34名、グラフの数字は単位'人']



ID	Q3 Q2の理由	Q6 Q5の理由	Q9 感想	Q12 6.その他を選択の記入
1	緊張はしましたが、ディベート実践はチームの先生方のサポートも多く頂き質問したり笑いあったりと楽しかったです。リラックスと緊張の繰り返し1夜の意見交換会も有意義でした。	論議に対して自分でもあらかじめPointの想定とその反論プロセスの基礎となる考えや論理●●をしておくよいアドバイスできる。個人コメントの教育的配慮。AP、かつSQということ、及びそれを使う方法を初めて知った。	初めてジャッジををしたいへんに難しくも勉強しなければ！と思いました。しかし、認定ジャッジの先生方や大学生のジャッジの皆さんから丁寧なアドバイスを頂いたり見て学ぶことも多かったです。ジャッジ2回実践3回を経験することができ「習うより慣れる」を身をもって知りました。大会、合宿の構成も多岐にわたる先生と意見交換できる時間が持てるなどとても良かったです。本当にありがとうございます。	空欄
2	全てです	数多く経験できるのが良いです。	後ほど、大賞さんにもお話しします	空欄
3	全国各地の生徒、先生方、大学生と交流、ディベートの様子を見ることができてとても勉強になりました。	ジャッジは初心者のため行っておりません	大変勉強になりました。また参加したいと思いました。	空欄
4	他校の生徒、先生方のディベートを聞くことができ、展開の方法やメモ、ノートのとり方など戦略法の幅を広げることができたように思うため	同上、ディベートは英語力が必要だけど、英語力だけではないということがよく分かりました。	広くて綺麗な会場で充実した設備の中の2回目、非常に勉強になりました。なによりレベルの高いジャッジからコメントをいただけることがスキルアップやモチベーションにつながるかと実感しました。本校生徒の体調不良、アレルギー用弁当等、ご迷惑をおかけしました丁寧に柔軟に対応していただき、ありがとうございます。	空欄
5	実践が良かったです。	体験する機会が少ないので。	実際の体験が意味があると感じます。	空欄
6	ディベートの論議がどのレベルの生徒も取り組みやすい面白いものだったため	大学生ジャッジの方についていただき、論議の解説をいただいたため	宿泊設備が快適でリラックスして臨むことができました。大学生のジャッジからコメントをもらえることは生徒にとっても貴重な体験でした。このような機会を多くの生徒に与えたいと思いました。	空欄
7	私にとっては年に一度のディベート実践です。他校の先生方とディベートの授業についてお話ができる良い機会です。	今年に入ってからディベートのゲームを見ていないので、技術の上では望めないのですが、他の方々のコメントをうかがったりディベーターの論議やスピーチを分析したり良い経験と勉強になりました。	毎年ながら大きな大会を運営されていることに敬服します。コースが色々分かれてより研修っぽい大会になったと思います。	空欄
8	多くの方々と交流することができる機会となりました。	ディベート後に生徒から質問を受けいい刺激になりました。	ディベートの目的がしっかりとしておりこうした活動を通じて生徒の能力向上が見込まれます。ここで生徒たちが感じ身につけたものは大きな力になると確信しています。ありがとうございます。	まだ必要性をあまり感じていません。すみません。
9	他県の先生方と交流できたことがうれしかったです。	授業でディベートをしていますがジャッジの仕方がわからなかったので大変参考になりました。	空欄	空欄
10	ディベート実践はとても貴重な経験また他校の先生方との交流を通して多くの学びを得られた	大学生と一緒にやることで自分では気が付かないジャッジのポイントがわかった	密度の高い2日間でもとて学びが多かった。 レベル別になっていて生徒もやりやすかったのでは？ 教員用にもポスタープレゼンや情報交換会、実践等、プログラムを組んでいただき、他の研修との違い楽しく学ぶことができました。	空欄
11	実際にいきなりやってみて様々な思いを味わいました。他校の先生方ががんばっておられる姿も勉強になりました。	空欄	ありがとうございます。なにもかも初めてでただ圧倒され自分の勉強不足を感じました	もう少しディベートの勉強し実力が高まるとなると。
12	空欄	空欄	日本全国の高校生や先生方と英語で交流でき、各学校の取り組みや様子を知ることができ、PDAはもちろん他の学びも多い合宿でした。ありがとうございます。 交通費がかかるため、もしも少しでも参加費が下がるととても嬉しいです。	空欄
13	実際にディベートをするのは初めてでしたが、論議構成の立て方やうまくできた時の快感はよかったです。	空欄	日頃生徒に考えてほしいトピックが扱われており良かった。他校の生徒の様子や先生方の考え方に触れても良い刺激になりました。	空欄
14	私自身初心者であるが生徒と同じくディベートに参加してよかった。	ジャッジの視点についてもう少し知りたかった。また、準決勝、決勝のジャッジを聞いてみたかった。	とても刺激的で本校でもぜひ取り組みたいと思った。他校の先生方との交流も多くて良かった。ポスターセッションの時間がもう少し長くなってほしいのと、授業風景の動画などあれば大変うれしい。	空欄
15	単に自分の英語力不足故に楽しめなかったということです。ですが、色々勉強になりました。	聞き取りがなかなかうまくいきませんが他の先生やスタッフの方がどういった聞き方をしているのか少し知ることができました。	高校生の英語運用能力の高さや日本語でもなかなか難しい問題についても細かく分析している点に驚かされました。生徒たちは色々な地域の生徒たちと触れ合い、学び合い充実した時間を過ごせたようです。	まず、自分の英語力を飛躍的に上げることが先決です。
16	高校生のディベート実践を見ることができたこと 学校での導入事例が分かったこと	空欄	日本の各地で高校生が即興型のディベートに取り組んでいる姿を見て勤務校でも取り入れていきたいという気持ちになりました。各学校でどのように導入しているのか教育目的が何であるのか、ディベートを授業に取り込む際の授業デザインなど色々考える機会となりました。自分でもディベートを体験してみて、もっと自身の勉強も必要だと反省する時間になりました。準備などいろいろと有難うございました。来年は生徒を連れていきたいそしてジャッジの方法なども学びたいという目標ができました！	空欄
17	教員も実際にdebateができたこと	空欄	勉強の機会をいただきありがとうございます。	生徒が参加したいのであれば
18	他校の先生との指導に関しての意見交換ディベートの上手な先生のディベートのやり方からいろいろコツを学ぶことができました。	普段は10点満点で点数をつけることをしないので、1人ずつのコメントも良い意味で緊張感を持って行なえた	授業の部と課外の部にかけてあるので授業だけで取り組んでいる学校でも安心して参加することができます。ジャッジの仕方(どのようにメモをとったりいかなど)を大学生から教えてもらう機会があればよかったと思います。コメントのコメントのフローシートにメモをとっていても、最後に1人1人コメントしようと思うと忘れてしまうこともあります。(練習するしかないかもしれませんが)課外で取り組んでいる学校でとても早くできました。ぜひやり方は授業でのみ取り組んでいる生徒にはあまり伝えられないと思います。論議で勝負させていただきます。	空欄
19	他校の先生と様々な話をすることができ、普段では得られない刺激を感じることができた。(他校の実践やその他校務のこと)	ベテランの先生方のジャッジに触れ、どのような観点からコメントをすればよいか知った。ただし、自分自身がジャッジしたわけではなく力量が身についたかは何も言えない。	様々な形でディベートにかかわっている先生方のことを知ることができたので、その点において満足しております。有難うございました。	(残念ながら)校務が多忙のため、そのために時間をかなり割りかねばならないとすると、個人的には難しいと思う。
20	全く未知の世界に入りいきなり実践でかなり緊張で生徒の気持ちが痛いほどわかりました。ジャッジの先生方がとても親切に教えてください。生徒たちへのコメントもとても温かく、感激いたしました。	空欄	教員、生徒両方が初体験でとても刺激になりました。生徒も教員も英語力だけでなく知識、論理的、思考力が必要でありこれからの大きな課題になりました。	自分にはジャッジできるような力はないから
21	ディベート実践及びジャッジ	アイコンタクト、声量などの共通した課題を見られたから	空欄	空欄
22	ジャッジのプレッシャーががとても大きいです。	自分のジャッジに自信がないので、スタッフや河野先生のジャッジと見比べて安心しました。また河野先生からアドバイスをもらいました。	生徒はとても悔しい思いもし、とても勉強になりました。次回の大会ではぜひ頑張りたいと話しています。私自身は、ジャッジをできればたくさん生徒が強くなるために、また勉強を続けたいと思います。	空欄
23	全国の優秀な生徒が英語学習やディベートに打ち込んでいることを知り、大変刺激になりました。各学校の先生方との交流を楽しみました。	直接ジャッジはしていませんがその基本や観点を知ることができました。	とても刺激的でした。今回は教員だけの参加でしたが生徒にもぜひ体験させたいと思いました。	空欄
24	他校の先生との交流自校の生徒たちの成長振りを見て	初心者なのでジャッジはしていません。	時事問題についてこのような形で生徒が他校の生徒と話し合える機会があることはすばらしいことです。この会に興味を持った参加しているのは主に英語の教員と思われ、このPDAのディベートを用いて生徒の英語力を伸ばしたいというのが私たち英語教師の最大の願いだと思います。この合宿を通して、このディベートのあり方、推進、運営のしかたに若干の違和感を感じるの、ディベートの評論、フィードバックに英語の要素がほぼないことディベートの精緻に英語の要素があると思われ、このディベートを用いて生徒の英語力をも養育するにはどうしたらよいかのわかりません。浅野、藤島高の生やモラルディベートで出られた先生の内何人かにもみられる機会をぜひこの英語の発表法は、世界大会までのディベーターがやるべきことですが非常に聞き取りにくいクッションもわかれたこの英語教育の目標にはにらみとしたいと思います。この話し方が標準となるのかわかりませんが非常に危機感を感じます。	運営された方々へありがとうございます。快適に過ごさることができました。
25	Helps you to become a better coach ①Seeing the view from the students' perspective / Side of view Leach what is going on currently in English Education	Good to see how your judgement compares to others workshop on the next step in judging ex Deciding if a definition is illogical and quickly identifies soft hard cases and ●● in the impact of soft cases	空欄	空欄
26	疲れました	空欄	3日間ありがとうございました。来年も学校として参加できればいいのですが	空欄
27	空欄	生徒の勝敗を決めることはストレスフリーな授業とは違い緊張した感じが少なくも自分のスキルアップにはなつたと思う。	今回も生徒、教員共に成長できるすばらしい機会となり中川先生をはじめスタッフの方には大変感謝しております。貴の教を多く下さったことで様々な生徒ががんばりを認められるようになり良かったです。	空欄
28	ディベートの実践を多く生徒のことで先生方との交流	非常に勉強になるのでジャッジをする機会を教員生徒共に得られ良かったです。	毎回参加させていただくたびに生徒は多く学ぶことができるのでありがたい参加させていただいています。今年は大学生のジャッジが多く、教員ジャッジが少なくなり、またPDAのチームジャッジの方がおられなく、そこが残念でした。チームジャッジやジャッジとしての経験が長い先生方の場に座らせていただき、一緒にジャッジをする中で、新しい発見が毎回あったので、大学生のジャッジが増え(そのこと自体はよいのですが)、チームジャッジや教員ジャッジが減ったのともならないと思われ、また、大学生のジャッジの方は競技ディベートをされているので、能力は高いと思うのですが、教育的配慮がたりなかつたり、PDAのフォーマットと違うやり方で進めていくCPDIを受け付けないかつ、手をたたいたタイミングが違ったりとレコーディングが必要だと思います。とはいえず、生徒はたくさん学ばせていただき、感謝ばかりです。	個人会員のしりばりがはずれたら限定されることのメリットが、生徒に返ってきたらカテゴリー分けが難しいです。全てまで初心者や経験者の方が絶対に良いです。
29	授業や行事でリアルに実践されている現場の先生方と意見交換ができ、とても刺激になりました。ディベートはやりたいたいがやるものかと思いましたが、もっとユニバーサルに行なわれるべき教育内容だという考えがもてるようになっていきました。	大学生やベテランの先生方からアドバイスを聞けた、実際のジャッジ実践の回数が増やしてほしいです。	自分自身の研修として参加しましたが、英語科ひいては教育イノベーションを目指しているという中川先生の言葉に感銘を受けました。もつと生徒たちにこの想いを伝えられればと思います。河野先生が仰った「ディベートは生活指導」という話は新たな価値観を与えてくれました。ディベートはまだ日本では発展途上と、逆境に立たされることが多いですがディベートに現在から関わることはできることは幸せなことだと感じます。素晴らしい機会を与えていただきありがとうございます！トピブルームでなければならぬです！	個人会員の費用が・・・。
30	ディベートに造詣の深い教員の方々と純粋にディベートの論議について議論できたこと。 これからの英語教育にいかにかディベートを取り入れていくかを議論できたこと これまでの自分の取り組みを他の方々に共有することで、ほかの教員や学校に役に立っているという有用感を得られたこと	今まで取り組んだことのない論議についてその論点を他の教員の方々と議論することで深めることができました。	本校の生徒は少人数での参加でいろいろ大変なようでした。来年は3人チームとして応募したい方がいかなかと思えます。2人以下の希望者の場合は参加を見合わせようと思います。その理由としてほぼ初心者で組み立て2人では大変そうでした。場数が上達につながるは理解していますが本人の現状の素力との兼ね合いも重要です。他校の生徒と合同で3人チームでできると思っていたので、当日そうでないとかかりました。また一層に倍増した部員が参加してくれて、1人で行った本校生徒はほぼおられなかったようです。昨年度中川先生もおっしゃっていましたが、高校もディベートの取り組みは過渡期にあります「教育ディベーター」というジャンルを我々教員が先んじて確立していかなければならないと思います。こうした大会を継続して開催されている中川先生とPDAのスタッフの方々には感謝しております。	空欄
31	様々な先生方との実践共有、意見交換ができてよかったです。	様々なジャッジの方と意見共有ができたから	本当にありがとうございます様々な取り組み、感謝申し上げます。もつと試合させてあげられたらと思います。やはり課外活動の部にはぜひ良かったかな。一報告書には載せて下さい。	空欄
32	ディベートというのを通じて新しいご縁を築くことができました。	フリードアップしないといけないというプレッシャーからラウンド中から意識してコメントを考案された。	ディベートに関わる人々の温もりに包まれた会場でした。ひとつ改善点としては神奈川県の栄光と浅野が多く対戦していました(昨年もそうでした) 同県の高校対決は避けていただけとありがたいです。	空欄
33	空欄	空欄	参加の生徒さん、先生方の英語力のレベルに圧倒されました。どのようにしたら本校の生徒に還元できるのか、もう少し考えていきたいと思えます。 書籍の販売をしてもらえるとありがたいです。	空欄
34	全国の学生が集ってみんなでディベート対戦できるのがよかった	他のジャッジの意見もきけたから		空欄

PDA 北海道公立高校即興型英語ディベート交流大会（体験会） 第1回授業

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年8月17日（金）10:00-12:30

会場：北海道立札幌南高校

参加者：生徒38名（札幌南高校、札幌西高校、釧路湖陵高校）

助成：公益財団法人 日本財団

はじめに、札幌南高校の手塚先生より、会場の諸注意と、「good speaker だけでなく、good listener になるように」とのメッセージが送られました。次に、PDA代表理事／大阪府立大学工学研究科・准教授の中川より、ルール説明がありました。その後、早速第1ラウンドです。論題は、Convenience stores should be closed late at night. (コンビニの深夜営業はやめるべきだ。)でした。皆、緊張した面持ちでしたが、POIも少ないながら出たテーブルがありました。つづいて第2ラウンドでは、It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend. (大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。)についてディベートしました。少し慣れたからか、全テーブル声が大きくなり、笑顔も見られながらディベート実践がすすみました。ジャッジ（スカイプジャッジもありました）からのコメントを真剣に聞いている姿が印象的でした。明日の交流大会も盛り上がりそうです。



生徒の声（アンケートよりそのまま抜粋）

- ほぼ初体験で、初めのモデルディベートを見たときはこんなのできない！と焦りましたが、先生の説明がとてもわかりやすく、実践も相手の話を聞いて頭の中で整理していて..と忙しかったが、チームで協力して楽しくできました。（釧路湖陵高校）
- 『自分が知る限りの英語で、精一杯相手に伝える』という体験はなかなかできないので、良い経験ができました。（札幌西高校）
- 頭をフル回転させてやることができて新鮮だった。英語を話せるようになりたい！と言う思いがより強くなった。（札幌西高校）
- 思ったように言えないと、とても悔しいですが、とても充実感がありました。（釧路湖陵高校）
- 今までやったことのない新しいトピックで新鮮な感じが良かった。（釧路湖陵高校）
- 自分で考えたことをまとめて話すだけでなく、相手の意見を踏まえて立論できるところが楽しかった。（札幌南高校）
- 先生からのアドバイスやポイントを具体的にいただけたのが嬉しかったです。また、多くの人の意見や表現をきけたのでとても勉強になりました。（札幌南高校）
- 緊張したけどとてもおもしろかったです。言いたいことが出てこなかったりしたので、もっと英語力を鍛えようと思いました。（札幌南高校）
- 普段は交流することのできない方と交流することができて、すごく楽しかったです。札幌南・西のみなさんの英語力がすごかったです...（釧路湖陵）
- 思ったよりも自分に英『会話』が定着していないことが浮彫りになったので、このようなディベートなどで鍛えたいとなりました。（札幌西高校）
- 学校や部活では一つの題について話し合ったりすることはないので、初めてだった。考えて、聞いて、というのがとても楽しかった。（札幌西高校）

PDA 北海道公立高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年8月18日（金）12:00-16:00

会場：北海道立札幌南高校

参加者：生徒38名ほか（札幌南高校、札幌西高校、釧路湖陵高校、帯広柏陽高校、旭川東（教員））

助成：公益財団法人 日本財団

札幌南高校の川口校長先生より、ご挨拶をいただきました。「昨年7月に全国校長会にて、PDA即興型英語ディベートがすでに関東では数回、関西でも始まっていることを聞き、北海道でもぜひ開催したいと思いました。4技能を鍛えられる貴重な機会です。みなさん頑張ってください。」とエールが送られました。次に、参加校紹介、ルール諸注意が行われ、早速第1ラウンドです。昨日の反省を活かし、スピーチをしました。昨日よりも、よく話せていました。第2ラウンドでは、AIに関する論題で悩みながらも、勇気を出してPOIをする生徒が増えました。



エキシビジョンディベートでは、各校より生徒が選ばれ、他校のチームメンバーと協力し、その場で15分の準備を行いました。POIが自然に出る積極的なモデルディベートとなりました。観客の生徒もフローシートに議論を記入し、論点整理をする練習をしました。最後に、エキシビジョンディベーター賞、チーム賞、個人賞の表彰が行われました。川口校長先生からのご講評でも、今日の経験を活かし、今後もハードルを決めて、一步一步クリアしていくことの重要性が示されました。最後は、生徒全員、名残惜しそうに会場を後にしました。



エキシビジョンディベータ賞

PM 札幌南高校 [redacted] さん

LO 札幌南高校 [redacted] さん

MG 帯広柏葉高校 [redacted] さん

MO 札幌南高校 [redacted] さん

PMR 釧路湖陵高校 [redacted] さん

LOR 札幌西高校 [redacted] さん



チーム賞

1位 札幌南C

2位 札幌南A

3位 札幌西・帯広柏葉

4位 札幌南B

5位 札幌西A

6位 釧路湖陵C



ベストディベータ賞

- ・ [redacted] (札幌南 B)
- ・ [redacted] (札幌西 B)
- ・ [redacted] (札幌西 B)
- ・ [redacted] (札幌南 C)
- ・ [redacted] (釧路湖陵 C)
- ・ [redacted] (釧路湖陵 B)
- ・ [redacted] (札幌南 A)
- ・ [redacted] (札幌南 C)
- ・ [redacted] (札幌西 A)
- ・ [redacted] (釧路湖陵 A)



POI賞

- ・ [redacted] (札幌南 C)
- ・ [redacted] (帯広柏葉)
- ・ [redacted] (札幌南 A)
- ・ [redacted] (釧路湖陵 C)
- ・ [redacted] (札幌西 B)



生徒・教員の声（アンケートよりそのまま抜粋）

- 夏休みの思い出の中でトップレベルで楽しかったです。授業でもやりたいです！12月22日ー23日のもトライしてみたいと思います。（札幌西）
- 短い時間で相手の言うことへの反論を考えたり、まとめたりすることが楽しかった。（札幌南）
- 昨日よりも話せるようになったなぁと実感できた。（釧路湖陵）
- 授業でも是非ディベートを導入したい、と再認識できました。まだまだ実践には土壌が整ってないのかもしれませんが、絶対に授業への導入をしたいです。（帯広柏葉）
- AIについての議題は難しかったです、いろいろな考え方を知れて貴重な経験になった。今回、これに参加してよかったと思っています。最後に、この経験を通して、今後の英語学習に生かしたいです。（釧路湖陵）
- 昨日とは比べ物にならないくらい話せたのが、とてもうれしかったです。これから英語の勉強がんばります！！（札幌西）
- 昨日から4ラウンドもできたので、力をつけることができた。今日も先生からアドバイスをいただけてうれしかったです。（札幌南）
- 全ての生徒が考える機会があり、とてもよいです。（札幌西・教員）
- これまでもディベートを授業内で取り入れてきましたが、アレンジせずに使えるこのようなディベートについて教えていただけて、参考になりました。英語力以外の力（積極性やコミュニケーション力）なども必要とされ、ただ語学力の高い子だけが選ばれていなかったところが、様々な力を総合的につけられるものだと感じられた。（釧路湖陵・教員）
- 何よりも参加している生徒のみなさんが楽しんでいた。授業の中で実践することを目標に、今日は勉強させていただきました。（旭川東・教員）
- 特にジャッジの方のフィードバックの仕方がとても勉強になりました。（札幌南・教員）



2.17

2018 Kagoshima Prefectural Senior High School English Debating Tournament (PDA Cup)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2018年8月21日(火) 08:00-17:00

会場：原田学園 情報高等学校

参加者：生徒 67名、教員 21名

ジャッジ：教員(ラサール、志学館、甲南、鶴丸、枕崎、情報、育英館、大島)

PDA スタッフ

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

開会式にて、甲南高等学校有嶋先生から POI のおさらいやルールの確認があったのち、早速ラウンド1が始まりました。今回は、主に上級生で構成されるカテゴリーA と、主に初心者で構成されるカテゴリーB に別れて予選・本選が実施されました。



第1ラウンドの論題は”Everyone should watch SEGODON in history class to learn history.”でした。鹿児島県民ならではの視点や、明治の転換期についての説明など、熱い議論が交わされました。

続く第2ラウンドの論題は”THBT the voting age should be lowered to 12”でした。12歳以上だとどんな特徴があるのか、18歳以上だとどんな特徴があるのかなどをお互いに深く分析することができました。第3ラウンドの論題は”THBT we should delete photos from SNS sites of our boyfriends or girlfriends after they break up.”でした。未練を断ち切るにはどうしたらいいのか、次の恋に進むためにはどうしたらいいのかなど、様々な分析を自分たちの知っている周りの人の体験談などを絡め、例として提示しながら説明することができました。そして第4ラウンドでは、”THBT computers should replace teachers.”につい

て、現在教員が抱えている問題や、computers の technology の程度など、目を見張る議論が展開されました。

第4ラウンド終了後、緊張感が漂う中、準決勝に進むチームが発表されました。準決勝の論題は、”THBT it is better to learn Chinese than English.”でした。現在の日本の置かれている状況や、中国の成長、英語の汎用性などについて、よく相手の話を聞いた上で反論したり、立論したりすることができました。また、POI もお互いたくさん交わすことができました。

そしていよいよ決勝に進むチームの発表です。志学館 A とラサール B が決勝に進出しました。決勝戦の論題は、”THBT college tuition should be free.”でした。現状の奨学金制度の問題や、授業の質などについて、堂々とスピーチしました。



熱い議論を交わした後はしっかり握手をしました。



大会結果

〈ベストディベーター〉

【カテゴリーA】

- 1位 ■■■■■ さん (志学館)
2位 ■■■■■ さん (鶴丸)
3位 ■■■■■ さん (ラサール)、 ■■■■■ さん (ラサール)

【カテゴリーB】

- 1位 ■■■ さん (ラサール)
2位 ■■■■■ さん (ラサール)
3位 ■■■■■ さん (志学館)、 ■■■■■ さん (志学館)

〈ベストPOI〉

【カテゴリーA】

- 1位 ■■■■■ さん (志学館)
2位 ■■■■■ さん (甲南)
3位 ■■■■■ さん (ラサール)

【カテゴリーB】

- 1位 ■■■ さん (ラサール)
2位 ■■■■■ さん (志学館)
3位 ■■■■■ さん (志学館)、 ■■■■■ さん (育英館)

〈ベストチーム〉

【カテゴリーA】

- 1位 志学館 A
2位 ラサール B
3位 ラサール A、甲南 A

【カテゴリーB】

- 1位 ラサール D
2位 志学館 B
3位 甲南 D

第2回PDA関西公立高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年8月25日（土）13:00-17:00

参加者：全6校、生徒40名

（北野高校、堀川高校、奈良高校、彦根東高校、膳所高校、神戸高校）

協力：校長会

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、

講師：PDAスタッフ、京都大学、九州大学

開会式では、本交流大会の開催場所である北野高校の恩知校長先生より、生徒たちへ激励のお言葉をいただきました。「昨年に引き続き、2回目の開催となります。2回目の参加の人も、今年が初めての人もいます。高校の名前だけ知っているライバル校ではなく、顔もわかるライバル校にぜひなってくださいと昨年挨拶しました。今年も、6校の校長先生方にご協力いただいて、この交流大会が開催できました。これから言葉の格闘技が始まります。13:15と17:00の自分が変わるように頑張ってください。」その後、POI（質疑応答）のポーズの練習を行い、いよいよ第1ラウンドが始まりました。



早速第1ラウンドの始まりです。論題は、「アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。」でした。準備時間では、自分が今アメリカに行ったら何を学べるか、どこが限界なのか、大学生ならではの選択肢とは何かなど、様々な視点でチームメイトと議論を交わしながら立論や反論を考えていきました。ラウンド中にはPOI（質疑応答）も活発に飛び交い、相手から質問を受け、それに返答することによってより深い議論を展開していました。ラウンド終了後も、本当はもっとこういうことを言いたかった！とお互いに交流を深め合いました。

第1ラウンドを終え、続いて第2ラウンドです。論題「選挙での男女の候補者数を均等にすべきである。」を発表すると、会場からは難しいという声もちろほら聞こえましたが、準備が始まるとジェンダー平等などについて意見を深めることができました。ラウンドが始まると、ジェンダー平等の視点だけでなく、現状で足りていない女性のための政策についてや政治の質など政治という視点からも白熱した議論が展開されました。また、POIでは、単に相手の言っていることがわからず、繰り返しを求めるPOIだけでなく、相手の痛いところをつくようなPOIも多く見られました。



4. エキシビション

2ラウンドを終えたところで、ジャッジがもう一度ディベートをする姿を見たいと推薦したエキシビションに出場することになる6名の生徒が選ばれました。古典的な論題であり、かつ死刑執行（オウム真理教）などタイムリーな話題でもある「日本は死刑を廃止すべきだ。」が論題です。ジャッジの生徒、みなさんが沈黙で見守る中、白熱したディベートの火ぶたが切られ、エキシビションにふさわしく、POIや反論の応酬が続きました。戸惑いながらもなんとか意見を伝えようと、必死で試行錯誤する同志たちの姿をじっと見つめる観客の生徒たちの姿も印象的でした。ジャッジや聴衆をよく見て、自信たっぷりにスピーチすることができました。時にはジェスチャーも用いながら自分の伝えたいことをより効果的に伝えることができていました。ディベート後、握手でお互いの健闘をたたえ合いました。



あっという間に全てのディベートが終了し、表彰も終えて安心した生徒たちに、各校の校長先生からご講評をいただきました。

奈良高校校長 安井先生「各学校では皆さんベストディベーターかもしれませんが、他校との交流試合を通してまた成長したと思います。」

彦根東高校校長 樫原先生「頭脳のバトルで、頭がフル回転したと思います。若い時にこのような訓練をするということが大切かと思えます。いろんなところで活躍するために、英語をツールとして使えるようになるには今日はとても貴重な機会だったのではないかと思います。他の多くの学校や生徒にも広がればと思います。」

膳所高校校長 小島先生「限られた時間の中で論理を構築し、チームメンバーと話し、みなさんにとってプラスになる場だったかと思えます。与えられた立場で意見を述べるということにチャレンジしたわけですが、社会でも与えられた立場、組織の指針で物事をやるということが増えるので、そういう与えられた役割として、自信を持ってスピーチをするという点も魅力的だと思いました。」

北野高校校長 恩知先生「もどかしい瞬間も全部グッジョブ！ディベート後の握手でお互い尊重してたたえ合うことができるととても良い機会となったのではないのでしょうか。」

校長先生方のコメントを聞き、生徒は自分がディベートしたときのことを思い出し、頷く様子が見られました。

最後に全員で集合写真を撮り、今年に関西交流大会を締めくくりました。



参加者の声 （アンケートより抜粋）

- 本当に本当に楽しかった！！始まる前には不安と緊張でしかなかったけど、POI もいっぱいできたり、反論も言えたりしたことがすごく嬉しかったし楽しかった。もちろんできなかったりももっとこう言ったら良かったなとかあ一言えへんかたっていう場面も多くあったけれどそれも含めてこんな貴重な経験ができたことが本当に良かったし、またこれからもやっていきたい。（堀川）
- 自分よりレベルが高い人（次元が違う人）と交流できモチベーションが上がった。見方が少し変わった。（北野）
- 話きれなくてもどかしい思いもたくさんしたけれど、英語で考えて議論するということの面白さを知ることができました。（膳所）
- とても充実した1日でした。上手な人のように英語が話せるようにしたいと思いました。（神戸）
- 他のライバル校の対戦を生で見られて英語ディベートの迫力を肌で感じる事ができて良かった。（奈良）
- 学校へ帰ってからももっとたくさんディベートをし、上達出来たらなと思います。ディベートが少しすきになりました。（彦根東）
- 1 番初めにやった時は、話が续かなくて悔しかったんですけど、今日は相手の主張の必要な部分を聞き取れて、対応できて本当に良かったです。また、他の学校さんとも一緒にやられて、自分の学校から一歩出てみればこんなにスゴイ人がいるのかと驚きました！！（堀川）
- 日本語ではなく英語では言いたいことがうまく言えなくて頭をフル回転させることすごく **exciting** っていうことか！と実感できた。（奈良）
- 学校であった体験会よりもハイレベルな戦いをすることができて、とても楽しかったです。相変わらず、ぱっと言葉は出てこなかったけれど、チーム全員と楽しく話し合えたりできて良かったです。（膳所）
- 自分の意見を英語で言うのは難しかったけれど、いかに人に伝えられるかを工夫できる楽しさがあった。（神戸）
- 他校の人とディベートをするのはとてもいい刺激になりました。今後はもっと英語を勉強するモチベーションが上がったので、また参加したいです。（堀川）
- とても緊張しました。話す場所に立つと言葉が出なくなるので大変でした。声を大きく人の目を見て話すことを意識していきたいと思いました。いろいろな高校と交流ができてたくさんの考えがあることを実感したし、良い機会でした。（彦根東）

表彰

チーム賞

- 1位 膳所チーム
- 2位 奈良 B チーム
- 3位 堀川 A チーム
- 4位 北野 A チーム
- 5位 堀川 B チーム
- 6位 神戸 A チーム



ベストディベーター賞

■	さん	北野高校
■	さん	北野高校
■	さん	堀川高校
■	さん	堀川高校
■	さん	堀川高校
■	さん	奈良高校
■	さん	奈良高校
■	さん	奈良高校
■	さん	膳所高校
■	さん	膳所高校
■	さん	神戸高校
■	さん	神戸高校



POI 賞

■	さん	北野高校
■	さん	北野高校
■	さん	堀川高校
■	さん	堀川高校
■	さん	奈良高校
■	さん	奈良高校
■	さん	膳所高校



エキシビジョンディベーター賞

PM	■	さん	膳所高校
LO	■	さん	北野高校
MG	■	さん	神戸高校
MO	■	さん	奈良高校
LOR	■	さん	堀川高校
PMR	■	さん	奈良部高校





2. 19

PDA 沖縄県即興型英語ディベート交流大会（体験会・交流大会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：体験会 2018年9月1日（土）13:00-15:30

交流大会 9月2日（日）10:00-14:00

会場：沖縄県立那覇高等学校、協力：沖縄県高英研

参加者：生徒 37名、教員 16名

参加校：沖縄尚学高校、球陽高校、向陽高校、宜野湾高校、知念高校、那覇高校、開邦高校、浦添高校、国立高等専門学校、那覇工業高校

ジャッジ：PDA スタッフ、早稲田大学

助成：公益財団法人 日本財団

本格的に二学期に入った高校生たちは、即興型の英語ディベートの体験会・交流大会に参加するために沖縄県立那覇高校に集結しました。体験会では、まずはじめの言葉として、沖縄県高英研 事務局長の平良順子先生より、激励のお言葉をいただきました。平良先生「沖縄県では、準備型のディベート大会を20年近くやってきたが、出場校が限られており、なかなか広がらないということがありました。今回のPDA即興型のディベートでは、授業に導入できる形で広がると思います。」その後、PDA代表中川より即興型英語ディベートの特徴やルール、POI（質疑応答）などの説明後、モデルディベートを披露しました。



いよいよ実践ラウンドの始まりです。ほとんどの生徒にとってディベートをするのは今回が初めてでした。生徒だけでなく教員もディベートに取り組みました。準備時間中、「難しい！」と言っていた生徒もいざディベートが始まるとジャッジの前で堂々とスピーチすることができました。途中、「チームメイトと相手が言っていたことってこれで合ってる？」や「私が考えたこの反論に付け加えることない？」などチームワークも発揮しながら相手の話を理解してディベートをしようという姿勢がよく見えました。



続く第二試合目では、ルールにも慣れ、準備時間には「定義をしっかりと言わないといけないよね」「相手はこういうことを言ってくると思う」と、第一試合よりも戦略を練りながらチームでポイントを考えることができました。いざディベートが始まると第一試合ではあまり見られなかった POI もたくさん見られました。また、ディベートが終わった後は握手をし、お互いの健闘を讃え合いました。ジャッジからのコメントも真剣に聞きました。



体験会閉会式では、PDAの夏合宿・大会への参加経験がある教員より、沖縄における即興型英語ディベートの普及にかける想いを語っていただきました。球陽高校の上地先生より、「言えなかった！というもどかしさもあると当時にやっていて楽しい。楽しく効果的に英語力を伸ばせると思う。」そして宜野湾高校の宮城先生より、「即興型の英語ディベートは、英語学習へのモチベーションが上がるいい仕組みである。」とコメントをいただきました。



ベストディベーターに選ばれた皆さん

- さん
- さん
- さん
- さん
- さん
- さん
- 先生
- 先生

POI 賞に選ばれた皆さん

- 先生
- 先生
- 先生

前日に体験会を経てディベートのノウハウを知った生徒は、交流大会に臨みました。沖縄高英研事務局長の平良順子先生より、「沖縄でも授業に取り入れることができるのではないかと強い期待を持っています。頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。そして POI（質疑応答）の練習を行い、いよいよ実践です。



第1ラウンドの論題は、「High school students should have part-time jobs. (高校生はアルバイトをすべき)」でした。アルバイトでしか得られない社会経験や、学校でも得られる経験について、そして金銭感覚や勉強の重要性など様々な視点から議論が展開されました。また、体験会では躊躇していた様子も見られた POI も積極的に行うことができました。



第2ラウンドの論題は「Development of AI weapons should be banned. (AI兵器の開発を禁止すべきだ。)」でした。このラウンドでは生徒がディベートを実践すると同時に、今回がディベートをするのが初めてだという教員も一緒にディベートを行いました。

いかにAIが予測不可能性を孕んでいるかというリスクや、戦士する兵士の数を減らすことができるというメリットなどについて様々な例を用いるなどしながら説明することができました。また、繰り返しを求めるなどのPOIがほとんどでしたが、このラウンドでは相手の痛いところをつくようなPOIも見られました。



教員も生徒同様15分の準備を行います



堂々とスピーチしています



初めてでも時間たっぷりスピーチしました



目を見てPOI(質疑応答)できました

エキシビジョンディベートでは、各校より生徒が選ばれ、他校のチームメンバーと協力し、その場で15分の準備を行いました。エキシビジョンディベートの論題は、「The U.S. military base in Okinawa should be relocated to other prefectures in Japan. (沖縄の米軍基地を県外に移設すべきである。)」でした。地元沖縄に関する論題に、各チーム準備時間の15分は白熱したディスカッションが行われました。今回はチーフジャッジの先生だけでなく、教員や生徒も票を投じるということもあり、聴衆もディベートをしている生徒と同じくらい真剣な面持ちでした。

ディベートが始まると現状で沖縄が抱える米軍基地の問題、例えば暴力の問題、実際に女性が殺された問題などに言及したり、経済効果の恩恵を沖縄が受けているという現状に言及したりしました。また、相手の言っていることが正しいとは言えないという根拠を示すなど、POI（質疑応答）を効果的に用いることができました。中には、スピーチのイントロダクションで「I'm very proud to give a speech as a mayor of Okinawa.」とジョークを交え、会場を笑いで満たす余裕も見られました。閉会式では、宜野湾高校の宮城千恵先生より、「今日のエキシビションでは、沖縄の大事な問題が取り扱われたが、もっと勉強して、英語で世界に発信していけるように頑張ってください。」と生徒へ励ましの言葉をいただきました。



聴衆を意識したスピーチを行なっています



相手の痛いところをつく POIを試みています



相手の話をより理解しようと積極的に POI



相手の話をより理解しようと積極的に POI



握手をして健闘を讃え合いました



(大会結果)

エキシビションディベータ賞

PM 知念高校 [redacted] さん

MG 知念高校 [redacted] さん

PMR 宜野湾高校 [redacted] さん

LO 知念高校 [redacted] さん

MO 知念高校 [redacted] さん

LOR 宜野湾高校 [redacted] さん



チーム賞

1位 知念 B

2位 宜野湾 A

3位 知念 A



ベストディベータ賞

1位

・ [redacted] (知念 B)

2位

・ [redacted] (知念 A)

・ [redacted] (知念 B)

・ [redacted] (宜野湾 A)



POI賞

1位

・ [redacted] (知念 A)

2位

・ [redacted] (知念 A)

・ [redacted] (知念 B)

・ [redacted] (宜野湾 A)

・ [redacted] (宜野湾 B)



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・ 言いたいことを英語で言えないもどかしさがあった。英語を学ぶことの大切さを思い知らされた。意見を伝えることの大切さ、わかる単語で伝えることの大切さを知った。（那覇）
- ・ 日本語でのディベートよりもとても難しく、深いなーと思った。（興南）
- ・ これをきっかけに英語をもっと話せればスムーズに自分の意見が言えるとわかり、英語をすごく学びたくなりました。（那覇）
- ・ 初めて参加したが、あまり緊張せず、とても楽しめた。たくさんの人に伝えてもっと広めて行ってほしい。（知念）
- ・ 2分半、とにかく喋ることを目標に頑張ることができた。緊張しました。（那覇）
- ・ かなりハイレベルだと感じたが、やっていてとても楽しかった。今後も機会があれば参加したい。（沖縄尚学）
- ・ 短時間で考えを出せても、それを論立てるのが難しかったです。普段、学校とかであまり体験できないので、良い経験になりました。（向陽）
- ・ 普段授業で習っているような感じで文を考えたらいいか、と思っていたけど、実際お題をもらってから、たった15分で意見を考えるのはとても難しかったです。しかし、今回の経験で、確実に力になったと思うので、今後もディベート大会に参加したいと思いました。（那覇）
- ・ もっと早い段階でディベートに出会いたかった。来年、大学生になったらまたディベートをしたいと思いました。（知念）
- ・ 意見をパツと思いついて、まとめ、それを構成を考えながらスピーチをして行くのは難しかったです。チームメンバーで助け合えたことが楽しかったです。（沖縄尚学）
- ・ 次はもっとこうしてみようという思いが、終わってから沢山出てきたので、ぜひ次も取り組みたいです。（球陽）
- ・ 即興で英語力のなさに気づいたけど、何回もやることでコツがつかめると思いました。POIも積極的に頑張ろうと思いました。（球陽）
- ・ 自分の意見を英語で伝えるということは難しかったけど、相手やジャッジに伝えられた時の達成感は学校の授業では感じられない感覚だった。（宜野湾）
- ・ 相手の意見を取り込んでそれをどう論理的に返すかを考えるのは大変だけど、楽しかった。また、ディベートは英語力のみではなく、情報量も大切と思った。（知念）
- ・ 色々な考えもわかるし、英語を自分ですぐ組み立てたりすることで、すぐに英語を話せる練習になった。

教員の声（アンケートより抜粋）

- ・ 生徒達が一生懸命取り組んでいる姿を見てよかったと思いました。英語学習へのモチベーションも高まったと思います。（教員・向陽）
- ・ Logic を教えるのは難しいですが、パラメンタリーディベートだと Logic を体感できるのでとても良いと思いました。2学期から授業に取り入れたいと考えています。（教員・那覇国際）
- ・ 皆、ディベート自体初めてでしたが、何とかこなすことができ、達成感を感じている様子でした。学校に持ち帰り、また校内で行いたいです。（教員・球陽）
- ・ 学校でのディベートは夏休みなどの時間を利用して準備していたのですが、この方式だと時間が削減でき、資料収集に追われず、即興でやれることが生徒の訓練にも効果的で良いと考えます。（教員）
- ・ ディベートのワークシートや議題に応じた単語集もあり、気軽に取り組める印象を受けました。ただ学校によっては、いきなり英語で行うのではなくて、日本語で、生徒の興味がある議題を取り上げて慣れて行くのが必要かなと感じました。今後、授業の中で取り入れていきたいです。（教員・宜野湾）
- ・ コツがつかめてきたのと、授業で導入する場合はどういう step であればよいのかを考えながら生徒のディベートをみることができた。（教員・那覇国際）
- ・ 実際にディベートに参加することにより理解していたつもりがそうでなかったこと、また、スピーチを要領よくまとめることの難しさなどを具体的に実感しました。即興型ディベートを積み重ねることにより負担を感じずに体験を通して学べるのかなと生徒の気持ちになりました。（教員）
- ・ 即興型は初めての経験でディベートは準備に時間がかかるものであったがこのような準備時間がかからないタイプは負担が少なくいいと思う。（教員・名桜大学）



2.20

PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年9月17日（月・祝）13:30-16:00

会場：神奈川県立柏陽高校

参加者：柏陽高校（13名）、川和高校（6名）、多摩高校（4名）、教員10名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京大学

助成：公益財団法人 日本財団

PDAスタッフから即興型英語ディベートのルールの説明後、早速第1ラウンドが始まりました。第1ラウンド、第2ラウンドのディベート実践を通して、生徒も教員も実践の重要性を確認しました。参加者の感想を最後に記します。

<ご挨拶>

神林教頭先生「日頃の成果を十分に発揮してこのような出会いが今後の何らかのきっかけになれば良いと思います。」

高尾校長先生「ディベートは英語だけじゃなく、自分の意見はどうであれ、肯定できる論理力、否定できる知識が必要です。」



生徒の声（アンケートより抜粋）

【柏陽】

- ・ディベートをする前は、本当に未経験だったので、怖かったですけれど、関わったことのない人ともかかわれたり、意見を交換するなかで、ディベートの楽しさを知った。
- ・難しいというか、いろいろ失敗もしたけど、この経験を活かしていきたいと思います。
- ・今回が初めてのディベートだったから、色々大変だったけど、どのように、相手の意見をつぶすかを考えるのが楽しかった。
- ・英語で自分の意見を伝えるのはスピーチをする以上に難しかったです。もっと練習してPOIができるぐらいまでになりたい。
- ・ディベートをするときに自分の意見を言うときにちゃんと理由を説明したり例を出したりして根拠を示すことが大切だと思った。
- ・即興で英語を話すことは難しかったですけど、自分で英語を考えて話すのは楽しかったです。
- ・すごく難しかったですけど、あまり普段できないような経験ができて面白かったです。
- ・英語を使うだけでない力を試すことができた。

【川和】

英語で交流する良い経験になった。モチベーションが上がった。

- ・自分の意見を英語で表現するのが楽しかった。やはり自分の思っていることを英語で話すのはとても難しかったけど、今回のアドバイスはとっても役に立ちました。
- ・英語で話すだけでなく、相手チームの意見を聞くことの大事さもよく分かりました。（難しかった...）
- ・初めてで本当に緊張しましたが、とても楽しかったです。

【多摩】

- ・初対面の人の様々な意見を聞くことができた充実した時間だったと思う。ディベートに必要な力が沢山鍛えられたと思う。まだまだ自分の語彙力が足りないと感じた。
- ・皆で楽しくワイワイできてたのしかったです！とても楽しかったです！

教員の声（アンケートより抜粋）

- ・ジャッジの先生が一人一人にとっても丁寧にコメントされるのが、生徒にとって良い勉強になったと思います。このようなフィードバックのスキルは教員にも身につける必要があると思いました。



2. 21

PDA 北海道公立高校即興型英語ディベート（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年9月21日（金）15:40-18:00

会場：北海道立旭川東高校

参加者：旭川東高校（31名）、教員6名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京大学、名古屋大学

助成：公益財団法人 日本財団

北海道旭川東高校の生徒1年生2年生が即興型英語ディベートを初体験しました。英語科の原先生のご挨拶のあと、ルールの説明、そして早速ラウンドが始まりました。

第1ラウンド、「Convenience stores should be closed late at night.」の論題では、最近起こった北海道地震の経験をもとにコンビニの重要性を踏まえた意見が出るなど、全体的にPOI(質疑応答)が飛び交う白熱したディベートが繰り広げられました。実践を通して、話さざるを得ない機会の場の重要性を確認しました。参加者の感想を最後に記します。



生徒の声（アンケートより抜粋）

【2年】

- ・新しい感覚を得ることができた。英語で話すことの楽しさを感じることができた。
- ・本当に楽しかったです。また授業でもやりたいです！！
- ・普段英語を書いたり、勉強したりすることはあっても、英語で人と話すことはあまりなかったのが今回参加できてよかったです。
- ・英語のすべての技能をきたえることができるので、とてもいい取り組みだと感じた。また自分の実力のなさを実感した。またチャレンジしたい。
- ・自分の意見に対して相手がいろんなことを返してくれたのでたのしかったです。
- ・堅苦しいものだと思ってたけど、楽しいゲームみたいな感じで、楽しんで英語を話せた。
- ・自分にはレベルが高いんじゃないか・・・とはじめは思っていましたが、挑戦してみると1人でやるのではなくみんなで協力したりできてすごく楽しかった。
- ・はじめは本当に難しかったけれど、どのようにしたら相手をより説得できるかを学ぶことができてよかったです。
- ・とても難しかったです。勉強になりました。伝えたいと思うことが上手く言葉にできないもどかしさを感じたので、もっと勉強したいです。

【1年】

- ・これまで即興でスピーチする機会はほとんどなく大変であったが、追い詰められた状態で考えるというのがとても楽しかった。
- ・とても楽しかったです。自分が知らなかった単語も使ったり、意味を知ったりすることができたので勉強になりました。普通の授業よりも楽しく英語を学ぶことができたのでよかったです。
- ・チームで協力するのが良かったです。初めての英語ディベートで緊張しましたが、1回目よりも2回目は少し慣れた感じがしました。
- ・即興でディベートの原稿を仕上げ、相手側の反論を予想し、組み立てていくのが楽しかった。
- ・自分の発言内容を整理するだけでも手一杯で、相手の意見を聞き、反論を挙げるのが大変だった。しかし、とてもよい経験となったのでまた機会があれば行いたいです。
- ・言いたいことはうまく言えなかったけれど、絶対に何か話さなければいけないという状況におかれることで英語を話すことを楽しめた。
- ・知っている単語が少ないことや、話す力が足りないことを痛感したので、英語をもっと勉強しようという気になった。



2.22

PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年9月22日（土）9:30-12:00

会場：神奈川県立横浜平沼高校

参加者：横浜平沼高校（6名）横須賀高校（5名）光陵高校（5名）横浜翠嵐高校（6名）茅ヶ崎北陵高校（4名）鎌倉高校（11名）

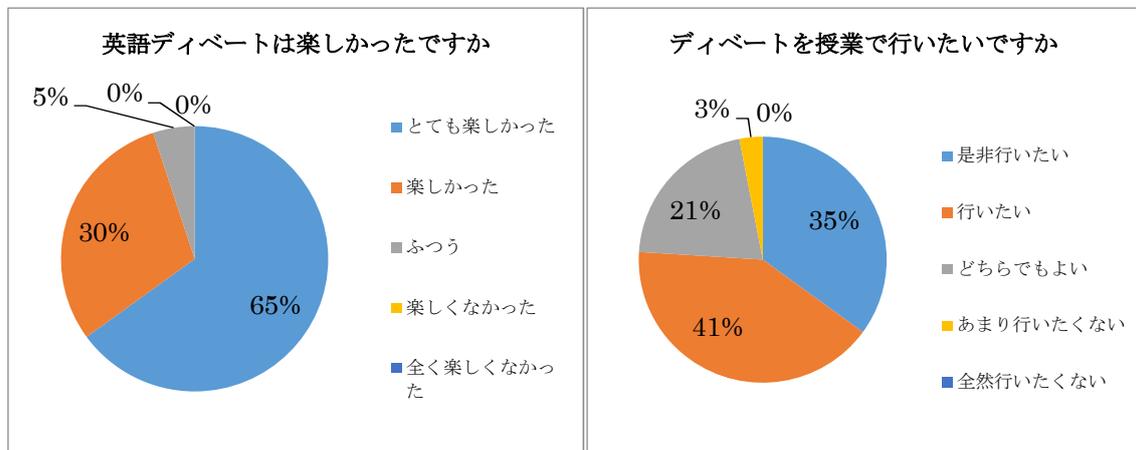
ジャッジ：PDA スタッフ、東京大学、神奈川大学

助成：公益財団法人 日本財団

校長先生のご挨拶の後、PDA スタッフから即興型英語ディベートのルールの説明・ジャッジによるモデルディベートを行いました。

第1ラウンド、第2ラウンドのディベート実践とジャッジによる講評を通して、生徒も教員も実践の重要性を確認しました。参加者の感想を最後に記します。

生徒アンケートの集計結果



生徒の声（アンケートより抜粋）

【横浜平沼】

- ・最初は思い付きが足りず、話も止まったりしたのですが、2回目は心構えができていたのでスムーズになったと思います。進歩が感じられて面白かった。
- ・一人ひとりコメントをくれるので嬉しかったし、英語が面白かった。
- ・スリルがありました。この緊張感をモチベーションにつなげます。

【鎌倉】

- ・楽しかったが、本当に歯がゆさが残った。
- ・とても難しいことだが、上手くいいたいことが言えると楽しいし気持ちがよかった。
- ・自分の御代に対して思っていること意外に、自分の仲間の人更にジャッジの人のアドバイスなどを聞いて、いろんな意見があるなと感じた。
- ・チームの人と協力をして論理的にいろんなことを考えて、こんなに集中して英語で物事を考えることがなかなかできないことだから自分をレベルアップする上ですごく有効的だと思いました。

【横浜翠嵐】

- ・楽しかったです！もっと英語力を上げたいです！！
- ・相手の意見を英語で聞くのは難しいが、理解しそれに対する反論を思いつくのは楽しかった。講師の方のレベルが高く、良い刺激を受けた。

【光陵】

- ・一言でいうと難しかった。自分尾文法力や語彙力のなさにくやしくなったからもっと勉強しようと思いました。
- ・自分の意見がいえ面白かった。

【横須賀】

- ・自分にかけていた部分をしることができてよかった。
- ・論理的思考力と英語力が同時に鍛えられそうです。

【茅ヶ崎北陵】

- ・いままでの練習の中で、一番緊張したけどそれを超える達成感や喜びを感じました。
- ・様々な人と話し合う環境を味わえてとても良い経験になりました。



2.23

PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月6日（土）13:30-16:00

会場：神奈川県立厚木高校

参加者：厚木高校（10名）湘南高校（5名）柏陽高校（7名）平塚江南高校（3名）
横浜緑ヶ丘高校（4名）

ジャッジ：教員、東京大学、一橋大学、PDA スタッフ

助成：公益財団法人 日本財団

厚木高校副校長樋口先生によるご挨拶の後、PDA スタッフより即興型英語ディベートのルールの説明があり、映像によるモデルディベートを経ていよいよディベート実践の開始です。



第1ラウンド、第2ラウンドのディベート実践で、ライバルである他校の生徒がどのような形でディベートを進めてくるのかを知れて刺激になったようです。

また、次にどのように修正したら良いか等を知るために、ジャッジの講評をしっかりと聞いているのが印象的でした。

今回はルールをすでに把握している生徒も多く、どのテーブルでも POI ができるなど、堂々とスピーチする様子が見られました。

最後に樋口副校長よりいただきました、「とても白熱した皆さんのディベートの様子がすばらしかったです。他校との交流でみなさんにとって大きなプラスになったと思います。」のお言葉通り、全てのテーブルでとても盛り上がりのある、交流大会の前哨戦のような体験会でした。今回の参加者の感想を最後に記します。



生徒の声（アンケートより抜粋）

【厚木】

- ・自分の高校以外の人と戦えて、いろいろな工夫の仕方を学ぶことができた。
- ・本当に楽しかったです。
- ・ジャッジのアドバイスが貴重で非常にありがたい！
- ・普段こんなにも白熱した試合をする機会がないので、とても良い経験になったと思います。

【湘南】

- ・レベルの高い学校と対戦できて楽しかった。
- ・相手チームの良いところを学ぶことができた。
- ・前回の大会では、何を言っているのかほとんど理解できなかったが、今回は理解できた。

【柏陽】

- ・今の自分の実力を出そうと努力をし、また実力を知ることができたので、有意義な時間を過ごせた。
- ・相手の意見を英語で聞くのは難しいが、理解しそれに対する反論を思いつくのは楽しかった。講師の方のレベルが高く、良い刺激を受けた。
- ・建設的なアドバイスがもらえてとても楽しかった。
- ・前に似たような TOPIC をやったのに勝てなくて課題が浮き彫りになった。

【平塚江南】

- ・他校の生徒の語彙力やコミュニケーション能力に刺激を受けました。
- ・全く知らない人と会議をすることによって、楽しく会話もでき、英会話能力が上がった気がする。今とってもワクワクしている。

【横浜緑ヶ丘】

- ・他校のディベートのやり方を学べたり、相手の人からコツを教えてもらったりしてとても勉強になった。
- ・他校の方のメモの取り方や話の広げ方を学べたり、ジャッジの先生からアドバイスをいただけたことがとても貴重な体験になった。
- ・言いたいことが言えず悔しかったけど、余計に気合が入った。
- ・他の高校の生徒のやる気やレベルが高くて、論理的な考えに触れることができた。



2. 24

PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月13日（土）9:30-12:00

会場：神奈川県立相模原高校

参加者：相模原高校（6名）厚木高校（6名）

ジャッジ：PDA スタッフ、早稲田大学

助成：公益財団法人 日本財団

相模原高校 坂本校長先生よりディベートで思考力・判断力・コミュニケーション能力を伸ばして行くことの大事さのお話を頂戴しました。次に PDA スタッフから即興型英語ディベートのルールの説明後、さっそく実践を行いました。

最後に林先生よりディベートの重要性を話して頂きました。

第1ラウンド、第2ラウンドのディベート実践とジャッジによる講評を通して、生徒が実践の重要性を確認しました。皆、悩みながらも一生懸命取り組んでいました。

参加者の感想を最後に記します。

体験会の様子



生徒の声（アンケートより抜粋）

【相模原】

- ・どうすれば上手くなるのかのヒントがつかめた。
- ・違う環境で過ごしている他校の方とディベートやお話をする事ができてよかったです！。
- ・ディベートを行う上で大切なプロセス等を学ぶことができたので、参加してよかったです。こう学んだことを今後に活かしていきたいと思います。
- ・自分の言いたいことはなかなか言えなかったが、ジャッジのアドバイスを聞いてためになった。

【厚木】

- ・他校の方々と交流をすることで、学ぶことがたくさんあった。これからもディベートを頑張ろうという気持ちになれた。
- ・本当に楽しかった。最初は、すごく緊張していたけど、振り返りを通して、自信をさらに持てた。
- ・自分の課題が明確になったので、良い経験になった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

1回目

_____さん（厚木）

_____さん(厚木)

2回目

_____さん(相模原)

ジャッジ実践（協力）いただきました教員の皆さん

なし



2.25 PDA 京都高校生即興型英語ディベート交流大会
第2回パラメンタリーディベート講習会
(京都公立高等学校校長会 国際・外国語系部会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日時：平成 30 年 10 月 21 日 (日) 12:00-16:00

場所：京都市立日吉ヶ丘高校「イングリッシュヴィレッジ」

参加校：堀川高校、西京高校、紫野高校、日吉ヶ丘高校、嵯峨野高校、鳥羽高校、山城高校、

参加者：生徒 42 名、教員、PDA 講師

助成：公益財団法人 日本財団

今年 7 月におこなわれました即興型英語ディベート体験会につづき、第 2 回目は交流大会形式で開催されました。日吉ヶ丘高校の太山教頭先生の司会で、まず初めに、京都公立高等学校校長会 国際・外国語系部会・山城高校の山口校長先生の開会のご挨拶が英語でありました。続いて日吉ヶ丘高校の古池校長先生より同じく英語にて挨拶がございました。お二方は化学、数学の教鞭をとっておられたのですが、英語の大会ということもあり英語で激励のお言葉も交えた素晴らしい挨拶で大会をスタートしてくださいました。



つぎに PDA 代表理事の中川先生よりスクリーンにてルール説明がありました。今回は大会形式のため、特に採点に関しての評価基準などの説明がありました。

1 ラウンド目の論題は「Ambulance services should be charged.(救急車の利用を有料化すべきである)」、2 ラウンド目の論題は「We should prohibit cosmetic surgery. (美容整形を禁止すべきである)」でした。各ラウンドとも生徒たちは 15 分の準備時間にしっかりチームの作戦を立て、ラウンドに臨みます。2 ラウンド目のほうが落ち着いて、1 ラウンド目より言いたいことが言えた！という生徒が多くみられました。1 回目より 2 回目、前回より今回と、即興型ディベートは回を重ねることで確実に力がついていきます。

2 ラウンドが終わり、本日の参加生徒のなかから全員の前でエキシビジョンディベートをするディベーター6名が選出されました。このエキシビジョンラウンドでは他校の生徒と同じチームを組むことになるたいへん良い機会でもあります。選ばれた生徒は皆のまえで堂々と英語スピーチを披露してくれました。エキシビジョンディベート終了後、PDA ジャッジよりエキシビジョンディベートへのフィードバックがありました。



そしていよいよ表彰式です。チーム賞、エキシビジョンディベーター賞、ベストディベーター賞、POI 賞が発表され、表彰状の授与がなされました。

閉会式では山口校長先生より「即興型ディベートでは自分の意志と反対側の立場になって論理的にスピーチすることもありますし、新たな切り口、考え方を見いだすこともできます。今後もまだ参加されていない各高校にも広めていただき共有いただければ、活発化していくことはわかっておりますので」と即興型英語ディベートに対する熱い想いで会を閉めてくださいました。



〈チーム賞〉

1位/堀川, 2位/鳥羽A, 3位/紫野A, 4位/日吉ヶ丘B

〈エキシビジョンディベーター賞〉

さん (紫野高校)
さん (紫野高校)
さん (堀川高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (鳥羽高校)

〈ベストディベーター賞〉

さん (紫野高校)
さん (紫野高校)
さん (堀川高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (鳥羽高校)
さん (鳥羽高校)

〈POI賞〉

さん (紫野高校)
さん (堀川高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (日吉ヶ丘高校)
さん (鳥羽高校)
さん (鳥羽高校)
さん (嵯峨野高校)

〈ジャッジ実践にご協力いただいた先生方〉

岩崎先生 (日吉ヶ丘高校)
川久保先生 (日吉ヶ丘高校)
ミューリ先生 (鳥羽高校)
岡本先生 (嵯峨野高校)

〈生徒アンケートより一部抜粋〉

- 他校の生徒はほんとに強いと知ることができた。
- 英語力に加え日々様々なことについて考えておく必要があると思った。クラスでもこのようなディベートを行いたい。
- 自分の論点を明確化し流れをつくり主張するのは大変だけどそれが楽しい。もっとたくさん頻度で開催して欲しい。
- 違う学校の人と交流することで一つ一つの議題に対して様々な意見や考えを知ることができたのですごく面白かった。



2.26

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月25日（木）15:30-18:00

会場：東京都立八王子東高等学校

参加者：生徒30名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、慶應大学、九州大学、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団、アメリカ領事館

まず初めにPDAスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習、モデルディベートを行いました。POIの練習では恥ずかしながらではあるものの、元気よくPOIをすることができました。そして早速第1ラウンドが始まりました。

準備時間中は初めてのディベートに戸惑いながらも、いろいろな視点を提示しながら準備を進めることができました。準備時間が終わりいよいよ第1ラウンドが始まりました。ほとんどの人にとって初めての英語でのディベートでしたが、立論をきっちり述べたり、しっかりと相手の話を聞いた上で、反論したりすることができました。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。第1ラウンドでジャッジの先生から受けたコメントを活かしながら準備時間を過ごすことができました。

また、類似したものとの違いや共通点を挙げ、分析したことをスピーチの中に盛り込むことができているチームも多くありました。



最後に、探求部・英語科教諭の山村先生より、「これは今までにない試みです。もしかしたら思ったように喋れなかったと感じた人もいるかもしれませんが、もどかしさを感じた人もいるかもしれませんが、ぜひこの機会を活かしてください。」というコメントを受け、生徒も次も頑張ろうという表情を浮かべていました。

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の言葉で伝えようとして、まあまあ伝わったのかなあと思いました。ディベートをする機会はあまりないので貴重な体験ができました。
- ・かなりつかえつかえの英語になりましたが、ジャッジの方がその中から私の言いたいことを拾ってくださって、できないながらもすごく楽しかったです。もっと話せたらもっと楽しめるんだらうなと思いました。
- ・普段英語をアドリブで話すのは怖くて避けてきたけれど、ガタガタでも喋ってみるということができて楽しかったです。単語を覚えたり、文法を理解したりするだけでなく、実際に考え、喋ってみるということの難しさと楽しさを体験できて楽しかったです。
- ・1回目はうまく言うことがまとめられず、伝わらなかったが、2回目は割とまとめられて言いたいことが伝わったし、全体的にいい議論になって楽しかった。
- ・もっと英語で伝える力があつたらなあと思ってしまう場面がたくさんあった。これからの意欲にもつながる体験だった。
- ・英語力はもっとあげないといけないということがすごくわかったけど、意外と簡単な単語を並べるだけでも話ができることもわかったので、経験を積んで遠回しの表現などもできるようになりたいです。
- ・もっと自分の思ったことを英語にできるように勉強を頑張りたいと思った。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■ さん
■ さん
■ さん
■ さん

〈2回目〉

■ さん
■ さん
■ さん
■ さん



2.27

PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月27日（土）9:30-12:00

会場：神奈川県立小田原高校

参加者：24名：小田原高校（5名）大和高校（12名）希望ヶ丘高校（6名）

ジャッジ：PDA スタッフ、一橋大学、神奈川大学

助成：公益財団法人 日本財団

神奈川県交流大会 17校体験会の最終セミナーになりました。

はじめに、小田原高校 反町校長先生より「英語は道具として大切、その上で国際人として重要なのはコミュニケーション力です。」ネパールで2年間お仕事をされました自らのご経験からの貴重なお言葉を頂戴いたしました。

その後、PDA スタッフから即興型英語ディベートのルールの説明・ジャッジによるモデルディベートの後、さっそく実践を行いました。最後に奥山先生よりディベートの重要性を話して頂きました。

第1ラウンド、第2ラウンドのディベート実践とジャッジによる講評を通して、生徒が実践の重要性を確認しました。皆、悩みながらも一生懸命取り組んでいました。

参加者の感想を最後に記します。

体験会の様子





生徒の声（アンケートより抜粋）

【小田原】

・1年生の時も参加させて頂きましたが、

2回とも素晴らしい時間を過ごせました。

- ・しゃべれるしゃべれないではなく、チームメイトのことを考えて話をつなぐことが少しできてよかったです。
- ・POI 難しい！！楽しかったです。
- ・自分の言いたいことはなかなか言えなかったが、ジャッジのアドバイスを聞いてためになった。

【大和】

- ・言いたいことは日本語ではたくさんあるのに、英語となるとうまく言えずもどかしい気持ちになったがとても良い経験になりました。
- ・いつもと違う観点で指摘をいただけてすごく自分の力になりました。もっとたくさんやってみたいなと思いました！！
- ・初めてベストディベーターに選んでいただいて、とても嬉しかった
- ・自分ではできないような経験ができてよかったです。

【希望ヶ丘】

- ・こんなに頭を使うなんて驚いた。大変だったけど楽しかった。
- ・いろんな人と交流ができてよかったです。
- ・英語だけでなく考える力も必要だったから大変だったです。
- ・自分たちで考えて主張を英語で発表することはやったことがなかったので新しい経験ができました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

1回目

■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん

2回目

■■■■さん
■■■■さん

■さん

教員ジャッジ協力

■先生



2.28

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月27日（土）14:00-16:30

会場：千葉県立船橋高等学校

参加者：生徒8名、教員1名

ジャッジ：PDA スタッフ

助成：公益財団法人 日本財団

まず英語科の藤枝先生より、「自分の頭で考えるという機会は授業では少ない。この機会を大切に頑張ってもらいたい。」とコメントを抱きました。そして初めに PDA のスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後モデルディベートの鑑賞を行いました。質問はないかスタッフが尋ねると POI についてや Reply（まとめのスピーチ）、ディベート中のチームワークなどについて質問が飛び交い、意欲的な姿勢が見られました。

いよいよ第1ラウンドの始まりです。ほとんど初めてのディベートでしたが、相手が何を言ってくるのかを予測しながら効果的に自分たちの立論を組み立てることができました。ディベートが始まると、疑問に思ったことを POI で聞いたり、自分が思いついた反論でチームメイトをサポートしたり、工夫したチームワークが見られました。



チームを変えて第2ラウンドの始まりです。第1ラウンドとは異なる役割にチャレンジすることになりました。第1ラウンドで受けたアドバイスを活かそうという姿勢が準備時間から見られました。いざ試合が始まると、第1ラウンドよりも活発な POI が見られたり、具体的な例が提示されたり、確実に第1ラウンドから成長することができました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベート後の先生による評価で弱点を見直せて成長した気がした。
- ・頭をフルに使って短い時間だったが、とても充実した時間を過ごすことができた。
- ・今日は学ぶことばかりでした。本番までもう1ヶ月切っているけれど、本番までに今日学んだことをいかせたらいいなと思います。今回できなかった POI や今日いただいたアドバイスを参考に頑張りたいです。
- ・身近だけど普段考えることのないトピックについては話せたのがとてもよかった。1つのトピックについて色々な考え方があって、自分では思いつかない具体例など協力して1つの立場を作り上げることができた。英語力にもっと磨きをかけて色々な表現を使えるようになりたい。
- ・他の人がうまい反論をしているのを見て学べるのがあったのでいい経験になった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん
■■■■さん

〈2回目〉

■■■■さん

2. 29

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月29日（月）15:40-18:10

会場：千葉県立千葉高等学校

参加者：生徒 24名、教員 6名

ジャッジ：PDA スタッフ、国際基督教大学（ICU）

助成：公益財団法人 日本財団

まず PDA スタッフより PDA の活動についての紹介がありました。続いてパラメンタリーディベートで身に付く力、ディベートのルール、準備時間の使い方などの説明がありました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習ではすべての生徒が恥ずかしがらずに堂々とポーズを決めることが出来ました。ラウンドをはじめるまえに質問はないかとスタッフが尋ねたところ、「スピーチシートの反論部分は考える時間なくすぐに反論しないとイケないのですか？30秒とか考える時間はないのですか？」とすでにラウンドをイメージした意欲的な質問も見られました。



第1ラウンドの論題が発表されました。昨年の首都圏公立高校交流大会に参加した経験者は3名おりましたが、それ以外の生徒はほぼ初めてのディベートです。ですが準備時間には活発的にチーム内でそれぞれの意見を出し合っていました。

ディベートが始まると、しっかりとした口調で英語を話す大きな声がどのテーブルからも聞こえます。ほとんどの生徒が英語で発表することに抵抗がないように見えました。ラウンド終了後、ジャッジがそのことに言及すると、「(千葉高校の英語科の)先生の指導の賜物です。」と答える生徒たちでした。

ジャッジからの勝敗結果、ラウンドの感想、個人スピーカーへのコメントがなされると、どの生徒もしっかりジャッジの言葉にうなずきながら耳を傾けます。

第2ラウンドの論題が発表されました。「恋愛」に関するトピックだったのもあり、準備時間にはさきほどよりも大きな盛り上がりがあちこちから聞こえます。第1ラウンドを終え、緊張が解けたせいもあるのでしょう。第2ラウンドはさらに白熱した試合となり、また高校生ならではのユニークな視点の説明もあつたりと、笑い声も混じった楽しいディベートとなりました。



どの生徒からも笑顔が見られ、きっと楽しかったと言っていたに違いないと思える体験会となりました。最後に英語科の岩田先生から「まずこの会場に来るというだけでも素晴らしいことです。」と、今年は昨年度の2倍の参加者があつたことを喜ばれ、今日ここに来ている生徒たちのチャレンジ精神を称えてくださいました。体験会終了後にも個々にジャッジにこれからの自分の課題や相談を持ち掛ける生徒も数名おり、最後まで意欲溢れる生徒たちに関心させられたことは言うまでもありません。

◆生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・英語を使って自分の考えを述べるのは自分にとっては難しいことだったがそれだけに工夫のしがいがあったし後学のためにもなった。また単純な英語力だけでなく表現や論理も封用になるということが奥深くて魅了させられた。
- ・自分の英語力や論理的思考力の欠如を見たのでこれから受験英語だけでなく伝わる英語を習ったり論理的思考の実践をことあるごとに行っていきたいと思った。
- ・英語の方がしっかりと主張を言い切れるので言いたいことを話せる感じがしてよかった。
- ・自分のディベートに対して先生が丁寧にアドバイスをしてくれたのが嬉しかったです。基礎から高度なテクニックまで教えていただいたので今後のディベートに使えるそうです。
- ・All Englishの様式が心地よかった。これからの時代は英語力、対人コミュニケーション能力が必要なので是非授業でも取り扱う頻度をあげてほしい。
- ・初めてのディベートで本当に緊張しましたがPDAの方々の温かいサポートのおかげで自分なりに頑張ることができました。今回の経験のおかげで自分の英語力がよくわかったので本当に参加できて良かったです。

◆ベストディベーター賞に選ばれた皆さん（順不同）

■さん

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月30日（火）15:40-18:00

会場：東京都立日比谷高等学校

参加者：生徒 48名 教員 6名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京大学、一橋大学、シドニー大学

助成：公益財団法人 日本財団

セミナー開始前、出張直前にもかかわらず、日比谷高校校長の武内先生がお越しくださりお言葉をいただきました。「生徒の皆さん、ディベート交流セミナーを大いに楽しんでください。英語をアウトプットしたり、論理的に考える難しさはあるかも知れませんが、ぜひ次のモチベーションに繋げていただければ嬉しいです」

PDA スタッフよりパラメンタリーディベートで身に付く力、ディベートのルール、準備時間の使い方などの説明がありました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の説明では、昨年交流大会に出場経験のある二年生の生徒たちから POI のポーズが手本として示してくれました。二年生のリードにより、一年生生徒たちも恥ずかしがらずに



堂々とポーズを決めることが出来ました。そして PDA スタッフによるモデルディベートが披露されました。モデルディベーターは高校生の興味を意識した論題、スピーチを披露することであちこちから笑い声も聞こえ、ディベートって堅苦しいものでなく楽しいものなんだという印象をもってもらえたようです。

第1ラウンドの論題が発表されると準備時間中、生徒たちはチームメンバーと相談して自分たちの主張を固めます。PDA スタッフが生徒たちの様子を伺い必要があればフォローします。第1ラウンドではどの生徒たちも自分たちの言いたいことをしっかりと英語でジャッジに伝えます。ときどき言葉につまってしまう生徒もいますが、それでも最後まであきらめることなく自分の役割スピーチをすることができました。ラウンドが終わるとジ

ジャッジからのコメントを各生徒になされました。第2ラウンドに活かしてもらおうようにジャッジも真剣にアドバイスを送ります。そして第2ラウンドがはじまりました。第2ラウンドのほう落ち着いて、またジャッジからもらったアドバイスを早速とり入れる生徒もいます。1回目よりも手ごたえを感じた生徒が多かったと思います。



第2ラウンドが終わり、各テーブルのベストディベーター賞に選ばれた生徒から一言コメントをもらいました。とても楽しかった、もらったアドバイスが良かった、またやりたい、といった感想が多く、そのなかでもディベート経験者の2年生の生徒からは、私がよく話していたのは1年間ディベートをやったからです、という1年生に向けた説得力のある激励のコメントもありました。閉会時、PDAスタッフから来年1月におこなわれるパラメンタリーディベート世界大会の紹介があり、そこに出場する自分自身の姿を想像した生徒もいたに違いありません。最後は全員集合の写真撮影で幕を閉じました。

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・相手にどう反論するか、議論をどう進めるかを考えたり、チームで意見を出して連携するのがとてもスリリングで楽しかった。
- ・初めて即興型を行い、即興型がもたらす学習的効果の素晴らしさがわかったので、もっと広まってほしいと感じました。
- ・おもしろかったが悔しい気持ちが大きかった。日本語では出てくるのに・・・、や話した後にもあれも言いたかった・・・等 後悔があったのでこれからもっと練習したい。
- ・議論の内容自体がとても楽しかったし、他のクラスの人と仲良くなれて良かった。
- ・2年の先輩方と対戦することができ、上手なディベートを見学することができた。英語表現・語彙力・プレゼンテーション力などの総合競技で実践して楽しかった。
- ・ディベートというもの自体初めてで、とても緊張したし、焦ってしまった。でも講師の方々から詳しくアドバイスを聞けてとてもためになった。
- ・ディベートを2回練習できて良かった。
- ・先生がとてもいねいにアドバイスを1人1人にくださり、自分のためになった。
- ・楽しかったです。もっと練習をして上手になりたいです。アカデミックより楽しい！



2.31

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月31日（水）15:30-18:00

会場：埼玉県立浦和高等学校

参加者：生徒24名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、上智大学、早稲田大学

助成：公益財団法人 日本財団

初めにPDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後モデルディベートの鑑賞を行いました。POIの練習では、みんなで元気よくPOIのポーズをすることができました。

いよいよ第1ラウンドの始まりです。即興型の英語ディベートをするのは初めてだという生徒も、役割分担を工夫することでチームワークを発揮していました。ディベートの中ではPOIにチャレンジするも、POIの回答を聞いてさらに質問したいことが増え、POIの枚挙に暇がありませんでした。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。第1ラウンドとは異なる役割にチャレンジしているチームも多くありました。「相手はきっとこう言うから」と相手の話を予測しながら立論を考えたり、先回りして反論を考えたりすることができました。試合が始まると、第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かそうとしている様子が多々見られました。



最後に英語科の小河先生から「浦和高校に新しい時代が来たんだと思います。1年生も頑張してほしいですが、2年生も負けずに頑張ってください。ディベートをすることでメンタルが鍛えられる部分があると思います。この経験は勉強にもスポーツにも生きてくると思いますし、絶対将来のためになります。頑張ってください。」と激励のコメントをいただき、生徒もやる気に満ち溢れた表情を浮かべていました。

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・論題が普段話しているようなものでも、深く掘り下げて論理的に思考することが新鮮で楽しかったです。
- ・始めは緊張していたのでうまくはできなかったが、次はなんとかやれたので良かった。話せば楽しめることがわかったので、自分の会話力から磨いていければと思う。
- ・他の同級生のレベルの高さに驚き、カッコいいと感じた。そういった人たちについていこうと必死になれたのが楽しかったし、英語で表現する喜びを味わうことができた。
- ・相手の意見に対する反論や、自分の意見を論理的に筋道立ったものにしていく過程を、すごく短い時間で行うというところが面白かった。
- ・語彙力がまだまだないので、もっと単語を増やせばより自由に言いたいことが言えるのだろうと感じた。日本語で思っていることを英語で伝導できるようにこれからも英語学習に努めていきたい。
- ・なかなか普通の授業でディベートをしないので、いい経験でした。英語力を伸ばせただけでなく、考える力もつけられた気がしたのでよかったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■■	さん

〈2回目〉

■■■■■	さん



2.32

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年11月1日（木）15:30-18:30

会場：東京都立三田高等学校

参加者：生徒27名、教員6名

ジャッジ：PDAスタッフ、慶應大学、名古屋大学、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団

まず初めに笹校長先生より、三田高校でディベート体験会を開催するに至るまでの三田高校の卒業した先輩方のエピソードや激励のコメントをいただきました。「まずは日比谷での交流大会を目指して練習を頑張ってください。」というコメントに生徒も期待に胸を膨らませていました。

次に、PDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後モデルディベートの鑑賞を行いました。練習では、みんな初めは自信なさげだったものの、2回目のPOIでは元気よくPOIすることができました。

そしていよいよ第1ラウンドの始まりです。準備時間では緊張している様子も見られましたが、いざラウンドが始まると、積極的にPOIをしたり、様々な例を出したりしながら相手の意見を踏まえた議論をすることができました。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かしながら準備をすることができました。相手の立論や反論を受けて、なんとかそこに反論できないかと色々な具体例を用いながら効果的な説明をすることができました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・説得力のあるディベートのしかたのヒントがわかった。
- ・自分の意見を英語で言うのは難しかったけれど、言い終えた後にやりがいがあった。
- ・普段基本的に受け身の英語しか使わないため、自分が全く鍛えられていない生み出す英語の能力に気づけてよかった。周りに自分よりも力のある人が大勢いることを身をもって体験できて、とても自分のためになる素晴らしい経験だった。
- ・ほとんど初心者で、うまく英語も話せないのに、ちゃんと言いたいことが伝わったかどうか心配になりましたが、たくさんの改善点がわかり、とても勉強になったことからとても楽しかったと思います。
- ・深めあえるディベートを行うことができ、プロフェッショナルの意見を聞くことができた。
- ・初めてディベートをしたのですが、自分の考えがいかに関手を説得できるか考えるのが難しかったです。
- ・明確なアドバイスをいただけて嬉しかったです。
- ・勝ち負けを意識して、自分の立場とは違う意見を考えて言うのはとても楽しかった。審判の人からアドバイスをもらえてとてもためになった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■■	さん

〈2回目〉

■■■■■	さん

2. 33

平成 30 年度 第 4 回 P D A 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）
文部科学省 平成 30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

開催日時：2018 年 11 月 3 日（金）12:00-17:00

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校

参加校：17 校（横浜平沼、横浜翠嵐、横浜緑ヶ丘、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南）

参加者：生徒 121 名、教員 29 名

スタッフ：PDA スタッフ、東京大学、一橋大学、名古屋大学、東京農工大学

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ
4 技能指導法研究グループ

助成：公益財団法人 日本財団

文部科学省「平成 30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」

開会式では、神奈川県教育委員会の鈴木先生より、「せっかくの交流大会ですので、他校の人との交流を大事にして頑張ってください。」などエールが送られました。会場校である横浜平沼高校の鏑校長先生からは、「グローバル化した社会の中で君たちがリーダーになっていくことを期待します。日本語では説明できることを英語にできないもどかしさを感じることもあるかもしれませんが、大事なのは頑張る勇気です。」ということが述べられました。柏陽高校の井坂校長先生からは、「今大会では英語で話す力は大事ですが、最も大事なことは論理的に考えるということです。チームメイトと一緒に協力していいパフォーマンスを発揮できるように頑張ってください。」と励ましのお言葉をいただきました。

次に、PDA 代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より、17 校の学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をし、交流に向けた挨拶となりました。ルールの復習、POI の確認を再度行いました。そして、早速 1 ラウンド目の対戦表が発表されました。



横浜平沼高校 杉田副校長



柏陽高校 井坂校長



教育委員会 鈴木指導主事



横浜平沼高校 鑪校長



大阪府立大学 准教授 中川智皓



POI の最終確認

第1ラウンドのお題は「*Communication between teachers and students on SNS should be banned.* (先生と生徒が SNS でつながることを禁止すべきだ。)」でした。普段 SNS を使うことも多い生徒たちにとって身近な論題に、チームメイトに対して自分の体験談を語るなど盛り上がりました。ラウンドでは、今大会で初めて会った相手チームの高校に対して積極的に POI をするチームが多くあり、とても白熱した議論となりました。



チームメイトとの準備時間



相手の目をしっかり見て POI



続く第2ラウンドのお題は、「*We should abolish the death penalty.* (死刑制度を廃止すべきである。)」でした。日本では日々議論されているテーマであり、そのため多くの生徒が一度は考えたことのあるテーマでした。論題を見た生徒は、今まで考えてきたことをジャッジにわかりやすく伝えるためにはどうしたらよいか、相手の反論に備えるにはどのように立論をすればよいかなどについて準備時間にチームメイトと相談しました。第1ラウンド終了後に PDA 代表理事である中川から POI について「後半になると多くの POI があつたが、規定時間よりも早くスピーチが終わりがちな序盤から POI を積極的にするとよい」というアドバイスを受けた生徒たちの中には、早速 PM (Prime Minister: 肯定の1番目) に対して POI をする生徒も多く見られました。



次に、教員エキシビジョンディベートでは、生徒たちが実際にディベートを行った、第1ラウンドの論題「**Communication between teachers and students on SNS should be banned.** (先生と生徒が SNS でつながることを禁止すべきだ。)」でディベートを行いました。今回、教員エキシビジョンディベーターは、研修会でベストディベーターを獲得したことのある教員、研修会への参加頻度の高い教員、また、PDA 認定教育ジャッジの資格を持っている教員の中から選出されました。生徒や他の教員が見守る中、教員にとっても身近な論題に、「教師としてどうあるべきか」といった視点に重きを置きながら議論が展開されていきました。また、POI も活発に飛び交い、ジョークを交えたスピーチで会場の熱もどんどん上がっていきました。



選抜された教員によるエキシビジョンディベート

生徒のエキシビジョンディベートでは、「**Homework assisting services should be prohibited.** (宿題代行サービスを禁止するべきである。)」について、選出された代表6名が議論を交わしました。今大会で初めて会う他校の生徒と一緒にチームを組み、準備時間にはしっかりと意見交換をしました。活発な POI や、聴衆にうったえかけるようなスピーチ、あえてマイクを使わずにスピーチをするパフォーマンスなどが見られ、とても甲乙つけがたい素晴らしいディベートになりました。



会場の視線を浴びながら、堂々とスピーチ

最後に、横浜翠嵐高校の佐藤校長先生より、ご講評がありました。最初はドキドキ、でも最後はheart to heart で気持ちに通じたのではないかと生徒の積極的な参加をたたえていただきました。また、是非各学校で広めてほしいとメッセージが送られました。



横浜翠嵐高校 佐藤校長

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM ■■■さん（相模原）

MG ■■■さん（湘南）

PMR ■■■さん（横浜翠嵐）

LO ■■■さん（厚木）

MO ■■■さん（横須賀）

LOR ■■■さん（横浜緑ヶ丘）



〈教員エキシビジョンディベータ賞〉

PM ■■■先生（湘南）

MG ■■■先生（茅ヶ崎北陵）

PMR ■■■先生（柏陽）

LO ■■■先生（相模原）

MO ■■■先生（横浜緑ヶ丘）

LOR ■■■先生（相模原）



厚木校長 中垣先生、
川和校長 高尾先生と



湘南校長 稲垣先生、
横浜平沼校長 鑪先生と

〈チーム賞〉

1位：横須賀、2位：横浜翠嵐、3位：横浜平沼、4位：厚木、5位：横浜緑ヶ丘



1位 横須賀（茅ヶ崎北陵校長 市川先生と）



2位 横浜翠嵐（鎌倉校長 重田先生と）



3位 横浜平沼（横浜翠嵐校長 佐藤先生と）



4位 厚木（相模原校長 坂本先生と）



5位 横浜緑ヶ丘（横浜緑ヶ丘校長 大平先生と）

〈ベストディベーター賞〉

■■■■ (相模原)、 ■■■■ (多摩)、 ■■■■ (横須賀)、
■■■■ (湘南)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (横須賀)、
■■■■ (相模原)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (横浜平沼)、
■■■■ (鎌倉)、 ■■■■ (横浜緑ヶ丘)、 ■■■■ (平塚江南)



ベストディベーター賞 (平塚江南校長 土佐先生と)

〈POI 賞〉

■■■■ (多摩)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、
■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (厚木)、 ■■■■ (小田原)、
■■■■ (小田原)、 ■■■■ (大和)、 ■■■■ (鎌倉)



POI 賞 (大和教頭 小島先生と)

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 去年は実力不足を深く思い知らされ、ディベートが嫌いになるほど落ち込んだ。(今年は)リスニング、ジャッジ能力は格段に上がったと思う。【横浜翠嵐 2年】
- 教員の方々の忙しい中での企画への参加と協力、また委員会、財団の方々の心強い手助けに感謝させていただきます。【横浜翠嵐 2年】
- エキシビションを見て、次はこうしてみようか、こういう考えがあったのかなど、自分もまだまだ伸びしろがあることが分かった。来年も是非参加したいと思います。【横浜平沼 1年】
- 教員ディベートについては、リスニングテストでも受けているみたいだった。次は平沼の先生も・・・【横浜平沼 1年】
- 来年も参加したい。【横浜緑ヶ丘 1年】
- 教員の立場からのディベートも自分の視点と異なっていて面白かったです。【横浜緑ヶ丘 2年】
- 悔しかったのでもっと勉強して、出直してきます。【光陵 1年】
- 改めて英語を勉強して、もっと話せるようになりたいと思います。【川和 2年】
- 教師ディベート POI をもう少し引き受けた方が良かった。【川和 2年】
- 教員エキシビションディベートで先生たちのようにアドリブを入れたり、メモなしでスラスラと話せる英語力と気持ちの余裕が欲しいと思った。【柏陽 1年】
- 大変さよりもとても良い経験になって昨年度以上の充実感があった。【横須賀 2年】
- 続けるたびに楽しいと思えるようになって良かった。教員ディベートでは、先生方のとても流ちょうな英語が素晴らしく、自分もそうなりたと思った。【横須賀 2年】
- 練習であり POI をやらなかったが、今日できてよかった。【鎌倉 1年】
- すごい人のディベートがたくさん聞けて参考になった。次は自分も賞を取りたいと思った。
【鎌倉 1年】
- 普段は対戦できない相手と対戦できて楽しかったです。【湘南 2年】
- プレパの時間でのポイントの立て方など、一からまたがんばっていきたいです！【湘南 1年】
- 先生方のディベートや上手な人のディベートを見ることが出来て良かった。今日一日でかなり成長できたと思う。【小田原 1年】
- 一ヶ月間くらいディベートをやってきて、英語運用能力が向上し、脳の刺激になった。また、初対面の人とコミュニケーションすることに慣れた。【平塚江南 1年】
- 教員のでは思ったより POI を受けていなくて、自分の考えを言う時間を増やそうとしていたと思った。【茅ヶ崎北稜 2年】
- 教員の方々のディベートは、大人だなあと思わせる、私たちとはレベルが一つ、二つ、いやもっと上のディベートが見れた気がします。【茅ヶ崎北稜 2年】
- エキシビションや、たくさんの賞があって、やる人のモチベーションが上がりそうだった。
【相模原 2年】

- 高校人生最後のディベートが終わってさみしいけれど受験頑張ります。【相模原 3年】
- 授業では1回くらいクラスで分かれてやってみたいなと思いました。【希望ヶ丘 1年】
- すごく悔しい結果ですがまたそれをバネに頑張りたいです。【厚木 2年】
- 先生のエキシビションでは、Opoの3rdの人がおもしろかった。【厚木 2年】
- 授業にもぜひ取り入れてほしい【大和 1年】
- ディベートは話す・聞く・同時に考えることも一緒にするからとても勉強になった。【多摩 1年】
- 教員エキシビションディベートでは最後に面白いコメントなどがあって楽しかったです。【多摩 1年】

教員の声

- 生徒が前向きに取り組んでいた様子があった。活躍できる場面がある、と生徒が生き生きしてた。
【光陵】
- JUDGEの勉強をさせていただきました。【柏陽】
- 素晴らしいジャッジの方々に来ていただき、素晴らしい質のコメントをしていただきました。
【湘南】
- 対戦後のジャッジの方々のコメントや助言がとても勉強になりました。【茅ヶ崎北陵】
- 生徒も先生も限られた時間で、非常に多くの情報(意見)を伝えようとした様子が素晴らしいと思います。【平塚湘風】
- 日本人でも英語で人に物を伝えられることを実感しました。【横浜平沼】

2.34



PDA 山形県高等学校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2018年11月9日（金）15:45-18:15

会場：山形県立山形東高等学校

参加者：生徒46名、教員6名

参加校：山形東高等学校

ジャッジ：PDAスタッフ、東京大学、慶応大学、九州大学、早稲田大学

助成 公益財団法人 日本財団

山形東高校で第1回即興型ディベート交流大会の授業が行われました。5テーブルのうち2年生が2テーブル、残りの3テーブルは主にボストン海外研修を控えた1年生が参加しました。



PDAスタッフによるルール説明や身につく力の説明、モデルディベートを見学した後、早速第1ラウンドの開始です。昨年このセミナーを経験した2年生数名を除き、ほとんどが初体験の即興型英語ディベートでしたが、『何をしたらよいか分からない』という表情は、ほとんどなく、中には、気持ちが次第に乗ってきたのか、配布された単語シート一覧にあるワードでは少し、物足りないなという感じで、電子辞書を軽快にタイピングしていく生徒の姿もあるほど、積極的に自分たちの論を組み立てていきました。

続く第2ラウンドでは、ジャッジからのアドバイスを活かしてさらに要領をつかみ、チーム内の意見交換がより積極的になされていました。実際のディベートでは、自分の意見を理由付けも含め、例を示すなど相手に伝えようとする様子が見られ、またPOIにも果敢に挑戦する生徒も多く出ました。たった2ラウンドでも、

生徒たちの急成長ぶりがみられ、「2ラウンド経験したことがとても良かった」と実感した様子でした。まとめの感想では、「授業でも即興型英語ディベートをやりたい！」との生徒の声が多く聞かれるなど、「英語で話したい」意欲に溢れる生徒の姿が頼もしく感じられました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・とても楽しかった。英語で話すのが楽しかった。(1年)
- ・興味の幅が広がったので、成長してもう一度やりたいです。(1年)
- ・即興なので、evidence 探しに時間を使うことなく、自由にできた。(1年)
- ・もっと回数をつめれば上手になれるかな、という感じ。もっとしてみたい。(1年)
- ・英語で考えたり、そのまま話すことがあまりなく新鮮だった。とても緊張した。(1年)
- ・今日はディベートのしくみがよく分かったし、ディベートをしながら、ディベートの力は論文を書くときなど役立つと思いました。(1年)
- ・とても楽しかったです。これからもやりたいです。(1年)
- ・短い時間で考え、英語に直すのが難しいけど楽しかった。(1年)
- ・最初は上手く話せず悔しかったし、嫌になりかけたけど振り返りのときに新たな視点を持っておもしろかったです。(2年)
- ・とても楽しかった。またやりたい。(2年)
- ・めちゃくちゃ難しかった。文法と語いを強化してからもう一度挑戦したい！(2年)
- ・説明がシンプルで分かりやすかった。(2年)
- ・2 ラウンドあるというのがとても良かった。1 ラウンドで無力さを思い知って、2 ラウンド目で感覚がつかめるからより学べたように思う。(2年)
- ・自分の語彙を捻出して、英語で相手を説得するのが新鮮。(2年)
- ・なかなか上手く話せなくて悔しい思いをしたので今日から気合い入れ直して頑張りたい。(2年)



11月9日に選ばれたベストディベーターの皆さん

〈1回目〉	〈2回目〉
<p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (2年)</p> <p>■■■■ (2年)</p>	<p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (1年)</p> <p>■■■■ (2年)</p> <p>■■■■ (2年)</p>

2. 35

PDA山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2018年11月10日(土) 13:00-17:00

会場：山口県立山口高等学校

参加校：6校(山口高校、下関西、徳山高校、萩高校、宇部高校、大津緑洋高校)

参加者：生徒41名、教員14名

スタッフ：PDAスタッフ、九州大学、一橋大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)、山口県立山口高校

助成：公益財団法人 日本財団

開会式では、会場校の山口高校校長 栗林先生より、「このディベートの特徴は『即興性』にあると思います。準備のできるスピーチコンテストなどとは異なり、テーマ発表の15分後には試合が始まり議論を行います。英語で行うことにより得られる力はすさまじいものです。Practice makes perfect.です。また、今回は『交流大会』ですので、make friendsを大事に頑張ってください。」などエールが送られました。

次に、PDA代表理事である中川智皓(大阪府立大学工学研究科准教授)より挨拶があり、PDAスタッフより6校の学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をし、交流に向けた挨拶となりました。その後ルールの復習、POIの確認を再度行いました。POIの練習では全員が元気にPOIをすることができました。そして、早速1ラウンド目の対戦表が発表されました。



栗林校長(山口高校)



PDA代表理事 中川



全員でPOIの練習

第1ラウンドのお題は「*Ambulance services should be charged.* (救急車の利用を有料化すべきである。)」でした。第1ラウンドからとても白熱したディベートが繰り広げられました。準備時間中は、全体的に緊張している姿も見られましたが、いざラウンドが始まるとチームワークを発揮してディベートを行うことができました。また、序盤から活発にPOIが飛び交いました。



チームメイトと準備



POIで質疑応答



ディベート後の握手



ディベート後の意見交換

続く第2ラウンドのお題は、「*We should prohibit cosmetic surgery. (美容整形を禁止すべきである。)*」でした。自分の見聞きしたことのあるニュースなどの事例を紹介しながら具体的な説明をすることができたチームも多くありました。ラウンドが終わると、両チームとももっとこういうことを言いたかったなどディベートの内容に関する意見交換を始め、交流を深めることができました。



POI (質疑応答)



Make friends

そしてエキシビジョンディベーターに推薦された6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Homework assisting services should be prohibited. (宿題代行サービスを禁止すべきである。)*」です。今日初めて会った他校の生徒とチームワークを発揮することができました。即興型の英語ディベートをするのは今日が初めてという生徒も交え、協力し合うことができました。様々な生徒の様々なニーズにどこまで応えるべきなのか、宿題代行サービスがどれほど学力に影響するのかなどの論点について大勢が見守る中堂々とスピーチすることができました。とても接戦でしたが、オーディエンスの投票およびチーフジャッジの投票により、**Government (肯定)** の勝ちとなりました。



時間いっぱい準備



視線を浴びながら、堂々とスピーチ



活発な POI



まとめのスピーチ

閉会式では、山口県教育委員会の富山先生より”Good Job!”と労いのお言葉をいただきました。また、山口高校教頭 吉地先生より、「ディベートはボクシングと似ています。勝ったら満足。負けたら悔しい。今回皆さんは全員『勝ち』だと思います。なぜならみなさん今日という 1 日に満足したはずだからです。実践が大事なので、今日はみなさんにとって実践のいい機会だったと思います。これからも継続的に実践を続けてください。」と激励のお言葉をいただきました。



【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- PM ■■■さん (宇部)
 LO ■■■さん (徳山)
 MG ■■■さん (下関西)
 MO ■■■さん (萩)
 LOR ■■■さん (山口)
 PMR ■■■さん (大津緑洋)



エキシビジョンディベート Government Opposition

〈チーム賞〉

- 1st 大津緑洋 A (2 wins)
 2nd 大津緑洋 B (2 wins)
 3rd 萩 A (2 wins)
 4th 徳山 A (2 win)
 5th 山口 A (1 win)



1位 大津緑洋 A



2位 大津緑洋 B

〈ベストディベータ賞〉

- 1st ■■■ (山口 A)
 2nd ■■■ (大津緑洋 A)
 3rd ■■■ (大津緑洋 A)
 3rd ■■■ (大津緑洋 A)
 5th ■■■ (大津緑洋 B)
 5th ■■■ (萩 A)
 7th ■■■ (山口 B)
 7th ■■■ (大津緑洋 B)
 9th ■■■ (宇部 B)
 10th ■■■ (山口 D)
 10th ■■■ (大津緑洋 B)



ベストディベータ賞



3位 萩 A

〈POI 賞〉

- (山口 B)
 ■■■ (大津緑洋 B)
 ■■■ (大津緑洋 A)
 ■■■ (山口 A)
 ■■■ (下関西 C 大津緑洋)
 ■■■ (宇部 B)



ベスト POI 賞



4位 徳山 A



5位 山口 A

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 自分の英語力や説明力についての課題を見つけられてよかったと思う。英語ということで難しく、うまく言えないこともあったけれど、みんなで助け合って、相手の方々ともお話できたので面白かった。【徳山】
- 英語で、しかも即興型というディベートは想像以上に難しかった。ただ、エキシビジョンディベートを見るのはすごく楽しくて、また自分もあのようになりたいと思った。【徳山】
- モーションが面白くて楽しかったです。また、交流することで新しい意見も取り入れることができてよかったです。【大津緑洋】
- とても exciting でした。【大津緑洋】
- このような即興型のディベートを行う機会は普段の授業でも何回かありましたが、今回のように他校と対戦して、緊張であり思うようにいかなかったのが印象的でした。しかし、他の高校の生徒と意見を述べ合うのは楽しかったのでこのような機会があればまた参加したいです。
【山口】
- 英語を話せる人もあまり得意に話せない人も必死に何かを伝えようとしていて刺激を受けた。また英語のできる人にどういう方法で英語勉強しているか聞いている人もいて自分も頑張ろうと思いました。【山口】
- 即興型ということで瞬時に答えが求められるというのが難しく、とても頭を使いました。今後もこのような機会があれば積極的に参加して頭の回転がもっとはやくなるように、また英語がもっとうまくなるように頑張りたいです。【宇部】
- 自分たちのディベートを評価してもらい、今後改善するためのアドバイスが得られモチベーションが高まった。【萩】
- 今回ディベートを通して自分が作った英文が他の人にも伝わり、また他の人の意見も聞くことができたのがディベートや英語の楽しさを知る良い機会になったので参加してよかったです。これをかてに日頃の英語の勉強も楽しんでいきたいです。【下関西】

教員の声

- 協働して考えて楽しそうにディベートをしているのを見てこれからも続けていきたいと思いました。
【徳山】
- 英語力のみならずコミュニケーション力の向上にもつながったと思います。【大津緑洋】
- どの生徒もこうやって経験することで英語学習の大きな動機付けになったのではないかと思う。
【山口】
- ジャッジをさせていただきましたが、改めてジャッジの難しさを感じました。短い時間しか準備ができない状況で（生徒も）よく集中して頑張っていたと思います。【宇部】

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年11月12日（水）15:50-18:20

会場：埼玉県立浦和第一女子高等学校

参加者：生徒22名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、東京農業大学、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団

PDA スタッフによるルール説明、モデルディベートの鑑賞の後、早速最初の実践に取りかかりました。

初めてのディベートという生徒が多く、15分の限られた時間がとても短く感じられたようで、何から始めていけば良いのかと悩みとまどいながらも、ジャッジの助言も参考に少しずつ形にしていきました。実際のスピーチでは緊張からか言葉に詰まる場面もありましたが、相手に「伝えよう」とする姿が多くテーブルで見られました。続くジャッジからのフィードバックでは、次回の議論の向上に向けて何を意識すれば良いのか、講師の話を真剣に集中する姿がどのテーブルからも見られました。



続く第2ラウンドでは、先ほどのジャッジからのアドバイスを活かして、より素早く準備に取りかかりました。多くの生徒がスピーチシートにたくさんの言葉を書き、事前に相手の意見に対してどのように反論すべきか考える生徒もいました。

1, 2年生が交じたテーブルでは最初のラウンドでは緊張して話す既定時間に満たなかった生徒が、次ラウンドで逆に既定時間を忘れるほど熱心に語る姿はとても生き生きとしていて、内容力、表現力共に明らかに1日で成長したスピーチになりました。



まとめとして、ベストディベーターに選ばれた生徒から以下の感想をいただきました。
「いままでディベートに苦手意識しかありませんでしたが、今回のディベートで薄めれた
と思います。友達と協力し合いながらできたのが大きな理由だと思います」

最後に数学科の有原先生から、18日に日比谷高校にて行われる首都圏交流大会と12月
22日、23日に東京大学にて行われる全国大会の説明がありました。参加意欲のある生徒達
が終了後集い、その日決まった大会に出場する予定のメンバーたちは早速練習に向けての
話し合いをしていました。

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・最初は難しいと感じていましたが、やっていくうちに何となく流れがつかめて、意見を英語で言う楽しさを感じた。
 - ・ディベートの面白さを感じました。また、このような機会があれば、参加したいです。
 - ・楽しかったです。もう少しラウンド数が多いともっと楽しいと思います。
 - ・チームのメンバーと協力し合ったり、終わった後に他メンバーと話したり、先生のお話をいただけたのが楽しかったです。
 - ・自分の話したことが審査する人にほめられるのが純粋に楽しかった。
 - ・自分の意見を英語で表すことも楽しかったのですが、やはり相手に上手く反論できたときの快感は素晴らしいものでした。授業でもやってみたいです。
 - ・自分の単語力が足りないと思いました。これからはニュース等で知識量を増やしたいです。もっとディベートをやって、英語力を磨きたいです。
- 色々と言いたいことは日本語でたくさんでてるのに、英語に全てを変換できないのが辛かったなと思った。
- ・すごく自分の中でぐだぐだでしたが、自分の英語の力量を測れたので楽しかったです。
- 全然できなかったけれどなんとか伝わる部分もあった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(2年)
■■■■さん(2年)

〈2回目〉

■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(2年)
■■■■さん(2年)



2.37

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年11月13日（火）15:30-18:00

会場：東京都立西高等学校

参加者：生徒9名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団 公益財団法人 KDDI 財団

首都圏即興型英語ディベート交流大会に向けた体験会も最終日を迎えました。火曜日のこの時間帯は第二外国語の授業時間帯と重なったこともあって、昨年までは希望があった2年生はおらず、今回の参加者のほとんどは1年生になりました。



ルール説明、立論の仕方のレクチャー、モデルスピーチが行われ、引き続きそのままディベート実践に入りました。初めのラウンドは緊張もあってか、スピーチシートに内容を書き込む際の時間配分が上手くいかなかったようですが、一生懸命スピーチをすることが出来ました。



続く第2ラウンド目では、チーム分けを大きく変更して対戦に臨みました。

男女、先生も交じったチームでの準備時間でしたが、お互いの意見を尊重し合うスムーズなコミュニケーションで、スピーチを作成していました。ディベートになると、生徒達も前回ジャッジからもらったアドバイスを活かして、例を入れること、比較対象を明確にすることなどを実践し、相手にイメージしやすく、わかりやすいスピーチをしようとする姿勢が伝わってきました。自信をもったスピーチができるようになり、全体的に前回ラウンドと比べ、成長が見受けられました。次の課題はPOI（質疑応答）を出していくことです。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベートってこんなに面白いんだなってことを改めて確認できて良かったです。貴重な経験をありがとうございました。
- ・今までこんなに密度の高いディベートをしたことがなかったので、とてもおもしろく、勉強になりました。話し方や改善点もたくさん教えてくださり、これからの学校生活でも生かせそうと思ったから。
- ・とても楽しかったです。しくみや方法がわかったのでよかったです。大会も参加したいです。
- ・ディベートの手順や、今まで知れなかったことも知れて、これからの学校生活でディベートをする上でとても役に立ったし、ディベートがもっと好きになりました。
- ・とても楽しかったです。自分の意見とは違う立場から物事を言うことや更にそれを英語で伝える能力が養われました。
- ・説明がわかりやすく、テーマが身近で基礎を理解できた。
- ・ディベートの全体の流れをつかめば、自分の言いたいことを主張でき、とても楽しかった。ポキャブラリーシートがあるのはとても分かりやすかったがなくてもできるようになりたい。
- ・初めてやってみたけれど、自分の思ったことを英語でつくっていくのはやはり楽しいと思いました。
- ・テーマがユニークで面白かったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)

〈2回目〉

■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)

PDA 新潟県即興型英語ディベート 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年11月16日（金）16:00-18:30

会場：新潟県立新潟高等学校

参加者：生徒31名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京大学、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団

まず初めに、英語科森先生より「言いたいことが言えるようにこのディベートの時間を有意義なものにしてください。」とご挨拶がありました。そして飯田校長先生より、「英語はもちろんですが、それだけでなく、発信力やコミュニケーション力も重要です。これらの力を身につけるのにディベートは非常に役にたつと思うので、積極的に取り組んでみてください。」と激励のお言葉をいただきました。

次に、PDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後、スタッフによるモデルディベートを披露しました。POIの練習では少し照れている様子も見られましたが、しっかりPOIのポーズをすることができました。



そしていよいよ第1ラウンドの始まりです。論題が発表される前は緊張している面持ちでしたが、いざ論題が発表され準備時間が始まると、ブレストシート（準備時間に用いるアイデア出しシート）をうまく活用しながらチームでポイントを考えることができました。ラウンドでは、あらかじめ考えていたことだけでなく、その場で考えたこと、追加で言いたいことを一生懸命に伝える姿勢が多く見られました。ジャッジの先生からのコメントもメモを取りながら聞き、次に活かそうとする姿が見られました。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。ルールにも慣れ、第一ラウンドよりも早くポイントを決定し、相手の反論を予測しながらポイントを考えることができました。実際にディベートが始まると、具体例を増やしたり、堂々と聞き手に伝わりやすいスピーチを試みたり、第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを積極的に活かそうとする様子が見られました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・英語をこんなに使えたのは初めてだった。伝わるおもしろさがわかった。
- ・人前で話すのは苦手だが、楽しいと感じた。
- ・初めにとっても緊張して思うように話せなかったけれど、回を重ねることによって英語で討論することが楽しいと思えた。
- ・即興で内容を考えることは難しかったが、上手く言葉が浮かんできたり、相手の話を理解できたりすると嬉しかった。
- ・初めはなかなか自分の意見を話せなかったが、2回目は1回目よりも多く話せて、英語を話すことが楽しく感じた。
- ・学びが多かった。英語力、伝え方、、、。周囲のレベルが高い人も刺激になりました。
- ・アメ研では、辞書もほとんど使えない状況でやらなくてはならないし、海外はこういう議論系を好むといわれているので、もっとディベートに強くなりたと思う。
- ・意見を伝えるということは普段あまりやらないが、そのような新体験をできて、とても勉強になりました！即興で意見を考える力を更に高めたいと考えました。
- ・人前で自分の考えを英語で言うという経験が新鮮で楽しかったんですが、自分の英語力のなさを痛感し、もっと話せるようになりたいと以前よりも強く思うようになった。
- ・普段はこれだけ全て英語を話す機会がなかったのでとても新鮮で楽しかったです。
- ・今までで1番英語にふれることができたので、とても楽しかったです。アメ研に向けてがんばりたいです。
- ・どの点を改善すれば良いか具体的に教えていただいたので、2回目までに直すことができ、うれしかった。
- ・意見を伝える難しさを知ることができ楽しかった。
- ・自分の意見や主張を人々に語りかけて納得してもらうのがとてもわくわくして楽しいことなのだと気づけた。
- ・とても自分のためになった。相手と自分を比べて発信することはとても難しいものであるのだと思った。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん(1組)
■■■■さん(1組)
■■■■さん(7組)
■■■■さん(7組)
■■■■さん(8組)
■■■■さん(9組)
■■■■さん(9組)
■■■■さん(9組)

〈2回目〉

■■■■さん(2組)
■■■■さん(4組)
■■■■さん(4組)
■■■■さん(8組)
■■■■さん(8組)
■■■■さん(8組)
■■■■さん(9組)
■■■■さん(9組)

第5回PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 2018

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2018年11月18日（日）12:00-17:30

会場：東京都立日比谷高等学校

参加校：10校（浦和高校、浦和一女高校、県立船橋高校、三田高校、湘南高校、千葉高校、都立西高校、日比谷高校、柏陽高校、八王子東高校）

参加者：生徒70名、教員29名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学、慶應大学、名古屋大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

開会式では、全国高等学校校長会顧問・PDAアドバイザー宮本久也先生（八王子東高校 校長）より、「他の学校の生徒とのディベートは普段より緊張するかもしれませんが、モチベーションをあげて頑張してほしい。そして、みんなで交流するというのも交流大会の大事な目的の1つですので、他の学校の生徒とも積極的に話をしてください。今日のこの数時間でみなさんがどういう風になっていくのかを楽しみにしています。」とエールが送られました。

次に、PDA代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より挨拶と学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をし、交流に向けた挨拶となりました。VUCA（Volatility 変動性, Uncertainty 不確実性, Complexity 複雑性, Ambiguity 曖昧性）な時代に生きる中で、即興型英語ディベートを通して、英語だけでなく、社会的背景に敏感になり、どのような価値観で幸せに生きられる社会を作るのか、など創造性が重要になることが話されました。その後ルールの復習、POIの確認を行いました。



全国高等学校校長会 顧問 宮本久也先生



PDA 代表理事 中川智皓

第1ラウンドのお題は「**Ambulance services should be charged.**（救急車の利用を有料化すべきである。）」でした。第1ラウンドからとても熱いディベートが繰り広げられました。準備時間中は、他校の生徒と対戦するということもあり、いつも以上に緊張した空気の中どんなポイントをたてるかという相談がチームごとに繰り広げられました。ラウンドが始まると相手の話によく耳を傾けながら、有力化した際の効果はどうか、金銭的に料金を支払うのが難しい人はどうするのかなどの点に関してとても深い分析を提示し合いました。



堂々と POI



検討を称えて握手



相手チームと交流①

続く第2ラウンドのお題は、「*It is better to study abroad more than one year during high school days than after entering university in Japan.* (1年以上留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。留学の目的は一体何なのか、留年することのダメージはいかほどかなどについて活発な議論が交わされました。また、第1ラウンドよりも積極的に POI で質疑応答をする姿が見られました。ラウンドが終わると、対戦した他校の生徒と意見を確認したり、これまでの留学経験や大学での留学計画などについて語り合ったりなど、交流を深めることができました。



県立船橋 vs 県立千葉



都立日比谷 vs 都立三田



県立浦和 vs 都立八王子東



湘南 vs 都立西



フィードバック中



相手チームと交流②



検討を称えて握手②

いよいよ最後の第3ラウンドとなりました。論題は「**Japan should accept more foreign workers.** (日本はもっと外国人労働者を受け入れるべきだ。)」です。最後のラウンドということでどの高校も、より気合を入れて準備に臨みました。ジャッジの先生から受けたアドバイスを活かそうと、相手の話を予想したり、具体例を考えたりしました。ラウンドでは、労働力不足の解消に外国人労働者が必要なのか、受け入れることによる問題は何かなどの議論が展開されました。第3ラウンドが終わると、PDA リサーチングアシスタントより、ジャッジレクチャーが行われました。どのように議論を整理するのか、効果的なメモのとり方などに関して解説が行われました。



三田 vs 日比谷



柏陽 vs 千葉



ジャッジレクチャー

そしてエキシビションディベーターに推薦された6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「**It is better to have a two-dimensional boyfriend/girlfriend than having a three-dimensional one.** (彼氏彼女をつくるなら、三次元よりも二次元がよい。)」です。今日初めて会った他校の生徒とチームワークを発揮することができました。二次元世界の特徴を捉えた議論や、三次元世界、つまり現実社会を維持するためには何が必要かといった議論が活発に交わされました。オーディエンスによる投票では差がつかないほど甲乙つけがたい接戦となりました。



【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM ———さん (日比谷)
 LO ———さん (千葉)
 MG ———さん (都立西)
 MO ———さん (浦和)
 LOR ———さん (浦和一女)
 PMR ———さん (三田)



エキシビジョンディベート Government(左) Opposition(右)

〈チーム賞〉

1st 三田高校 (3 wins)
 2nd 柏陽高校 (3 wins)
 3rd 湘南高校 (2 wins)
 4th 浦和一女 (2 win)
 5th 日比谷 A (2 win)



1 位 三田高校

〈ベストディベータ賞〉

—— (日比谷 A)
 —— (千葉)
 —— (三田)
 —— (日比谷 B)
 —— (日比谷 B)
 —— (柏陽)
 —— (柏陽)
 —— (都立西)
 —— (千葉)
 —— (湘南)
 —— (湘南)
 —— (県立船橋)
 —— (浦和一女)
 —— (浦和一女)
 —— (浦和)



2 位 柏陽高校



3 位 湘南高校



ベストディベータ賞

〈POI 賞〉

- (日比谷 B)
- (都立西)
- (日比谷 A)
- (日比谷 A)
- (柏陽)
- (千葉)
- (湘南)
- (三田)
- (三田)
- (県立船橋)
- (浦和一女)
- (浦和一女)
- (浦和一女)
- (浦和)
- (浦和)



ベスト POI 賞

最後に浦和一女校長 高田先生より、「言いたいことがあるが、言えないもどかしさを感じることもあったと思いますが、それを感じる時が、成長のときです。これからも英語力を磨いてほしい。また、クリティカルシンキングも同様に大事です。目にする報道などもそれが本当に事実かどうかを考え、日々過ごしてほしい。」とこれからの活動や英語学習に対して激励のお言葉をいただきました。



全員で集合写真

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・論理と相手の主張を明確化できるようにしたい。（浦和）
- ・相手チームの戦略や話す技術を学べた。良い議論ができたときは楽しかった。日比谷もディベート練習します！来年に乞うご期待！！（日比谷）
- ・とにかく楽しかったです。セミナーで学んだことがしっかり活かした上、チームでしっかりと論を組み立てるチームワークも身につけられました。また他校の生徒ともこの会を通して繋がることのできたので本当に良い経験となりました。最後の相手が優勝した三田高校だったのですが自分たちの通用する点、改善点がしっかり整理でき、今後につながるものになりました。しっかりディベート活動に取り組み、来年は絶対優勝したです！（日比谷）
- ・難しいと感じましたが、どうすれば相手を説得できるかなど、より深く知ることができました。（浦和一女）
- ・初めてのディベート大会で自分の意見がジャッジに伝わったのが嬉しかったです。（浦和一女）
- ・言いたいことを自由に話せないもどかしさや、スピーチを組み立てる難しさを実感しました。課題がたくさん見つかってよかったです。（千葉）
- ・ディベートを通して他の高校の様子を垣間見ることができた。他校の生徒と会話することができたし、それによって毎日の勉強・生活にもモチベーションが生まれた。（千葉）
- ・普段の授業でやっている英語では不十分だということを体験し、悔しい思いもあったけれど、強い高校たちのディベートの展開の仕方が充実していて実りのあるものだった。（八王子東）
- ・始めてみると自然に英語が出てきて熱中することができた。頭をたくさん使えて楽しかった。（八王子東）
- ・自分の学んだ英語を使う機会がたくさんあって楽しかった。ハイレベルだったけど、自分の力が試せてよかった。（都立西）
- ・いろいろな人の意見が聞けて、自分の改善点も見つかり、成長できた気がした。ディベート楽しかったのでこれからも続けたいです。（都立西）
- ・他校の優秀な方のディベートのやり方を身近でみることもできたので、とても充実した1日になった。（三田）
- ・去年以上に自分を改善し、今後もどのように論理的に話し、まとめていけるか学びとても良い経験でした。（三田）
- ・明確なアドバイスをいただけたとともに、柔らかな論題でのディベートが楽しかった。（柏葉）
- ・日頃の成果を活かしながらも、協力して行うことができたのがよかった。モチベーションを高めることにも繋がった。（柏葉）
- ・とても楽しかったです。試合をやって見てわかった自分の欠点や弱みがわかったので、それを改善して次に活かしたいです。他の高校のすごく上手な人のディベートが見れて、とても参考になったので、少しでも真似できると良いなと思いました。（湘南）
- ・ディベートを聞き取る能力が前より上がって嬉しかったです。自分のディベートはあまりうまくできなかったのですが、改善点を見つけて次に繋げることができるようにしたいです。（湘南）



PDA 金沢泉丘高校セミナー

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年12月18日（火）12:30-15:30

会場：石川県立金沢泉丘高校

参加者：生徒36名、教員8名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京大学、同志社大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

まず初めに、PDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後、スタッフによるモデルディベートを披露しました。POIの練習では、少し照れながらもしっかりPOIのポーズをすることができました。



そしていよいよ第1ラウンドの始まりです。日本語でのディベートは経験あるが英語では未経験の生徒が大半でした。それでも、『何をしたらよいか分からない』という表情は、全くといっていいほど見られません。中には、気持ちが次第に乗ってきたのか、配布された単語シート一覧にあるワードでは少し、物足りないなという感じで、電子辞書を軽快にタイピングしていく生徒の姿もありました。

ディベートが始まると具体例が知りたいとき、ポイントを再度確認したいときなどに積極的にPOIをすることができていました。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。生徒たちも少しずつ要領がつかめてきたのか、準備時間中にも笑顔があちこちで見られるようになりました。気持ち的にも次第に伸び伸びとしてきて、全体的にスピーチの時間が長くなりました。第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かしながら具体例を考えたり、相手の立論を予想しながら自分たちの立論を考えたりすることができました。ディベート中も白熱した議論が繰り広げられました。多くの生徒が2ラウンドのディベートを経験することで大きく成長した様子がみられました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・大変楽しく、実のあるディベートになったので本当に参加してよかった。こんな機会が普通の授業にもあったら楽しすぎるし、英語力がつくのでいいと思った。
- ・相手の話から反論を考えたり POI をしたりするのが難しかった。
- ・意見は出るけれども英語にできないというのがもどかしくて面白かった。英語の授業では使わないような能力が必要とされていて面白かった。
- ・自分はこういった経験がなかったので、できないと思って心配していたがやってみると、短時間に頭を回転させることや言えた時は楽しかった。
- ・短時間で意見をまとめて共有する難しさと、反論しながらもわかりやすい説明と具体例を話す難しさを体験できた。活発にディベートできて楽しかった。
- ・テーマも面白くて、グループで意見を考えるのは楽しかった。英語でディベートは最初はできないと思ったけど、相手の意見を聞いて反論を考えたりするのは意外と楽しいとわかって、良い経験をすることができました。
- ・自分が全然しゃべれないのだなあと思って悔しかった。毎日やりたいなと思ったし、何よりもこれから大人になって行く中で必要なスキルだと思った。
- ・英語を話すことに自信がなかった。しかし、いがいと習った文法などが自然と出てきて嬉しかったし自信も生まれた。
- ・英語でのディベートは初めてで、回を重ねるとうまく話せるようになってきたから。
- ・普段は自分の見方でしかものを見ないが、肯定、否定の立場に立ったり、それに反論しようとしたりする上で多角的な見方ができたから。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■さん
■さん
■さん
■さん
■さん

〈2回目〉

■さん
■さん
■さん
■さん
■さん



2.42

PDA 金沢大学附属高校セミナー

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年12月18日（火）15:30-18:00

会場：金沢大学附属高等学校

参加者：生徒9名、教員4名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京大学、同志社大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、PDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行いました。その後、スタッフによるモデルディベートを披露しました。POIの練習では、そのポーズに和みながら、綺麗なPOIのポーズをすることができました。



そしていよいよ第1ラウンドの始まりです。準備時間が始まると、早速自分たちで机を動かし、アイデアを出していきました。チームで意見を出し合い、時間いっぱい話し合いを重ねました。少し焦りが見られたラウンドでしたが、各々が諦めずなんとか意見を伝えようと、単語を一生懸命に並べたり、身振り手振り話す姿が印象的でした。第1ラウンドは教員も混じり、白熱した議論となりました。





新しいマッチアップで第2ラウンドの始まりです。先ほどのジャッジによるアドバイスを意識し、準備の段階からそれを取り込もうと試行錯誤しながらのスタートでした。少しずつ要領を掴んだようで、定義を明確に盛り込んだり、具体例や経験談を話しながら、論は段々と深まっていきます。ディベートが始まると、第1ラウンドではあまり積極的には出なかった POI も活発に交わされました。



生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・即興型だと考えを簡潔にまとめ、伝えることがとても難しく感じました。ディベートに対して自信がなかったけれど、今回の活動を通してもっと頑張りたいと思いました。
- ・即興型英語ディベートは初めてで、準備時間が短い中でもしっかりと主張を考えるのはとても新鮮だったし、とても良い刺激になりました。またやってみたいです。
- ・初めは絶対に出来ないと思っていたけれど、無理矢理にでも話したことで、自分の中で英語の壁がとれた気がしました。
- ・とても楽しくてみんな上手に話すことができている、すごいなーと思いました。またやりたいなーと思います！授業の中でやりたいです！
- ・その場で考えるというのが、大変だったが、スリルがあって面白かった。
- ・ディベートは何回もやればだんだん上手になるのではないかと思いました。相手のことをしっかりと聞くこともとても大切だと思いました。とても楽しかったです。
- ・自分とは違う意見を言わなくちゃいけないのが大変だったけれど、回数を重ねると、上手くなったことが分かったので、すごく楽しかったです。
- ・1回目と2回目での上達が大きくて、自分でも2回目は上手く喋ることができたので、もっと回数を重ねて、自分の主張を強い根拠をもとに話せるようになりたいです。POI(質疑応答)を初めて学んで、実際に使えたらいいと思った。
- ・どちらも負けてとても悔しかったけど、とても楽しかったです。ディベートをするのは初めてで、自分が思うように上手くはできなかったけど、もっともっと思いたいと思いました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■■ さん
■■■■■ さん

〈2回目〉

■■■■■ さん
■■■■■ さん



2. 43

文部科学省後援 第4回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2018年12月22日(土)、23日(日)

(1日目) 予選4試合、(2日目) 準々決勝、準決勝、決勝、キーノートレクチャー

会場：東京大学 生産技術研究所 An棟

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：東京大学生産技術研究所、公立大学法人 大阪府立大学、

JST 未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域

『「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン』プロジェクト

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟、全国高等学校長協会

協賛：東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI



参加校：

(青森県) 青森県立青森高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、青森県立弘前高等学校、(秋田県) 秋田県立角館高等学校、秋田県立秋田南高等学校、(山形県) 山形県立山形東高等学校、(栃木県) 栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立佐野高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、(群馬県) 群馬県立前橋高等学校、(埼玉県) 埼玉県立浦和高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、学校法人開智学園中高一貫部、さいたま市立浦和高等学校、(千葉県) 翔凜高等学校、(東京都) 渋谷教育学園幕張高等学校、筑波大学附属駒場中・高等学校、明治大学付属明治高等学校、富士見中学高等学校、豊島岡女子学園中学高等学校、東京都立日比谷高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立両国高等学校・東京都立両国高等学校附属中学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、(神奈川県) 神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、湘南白百合学園中学・高等学校、浅野学園中学高等学校、栄光学園中学校・高等学校、(福井県) 福井県立藤島高等学校、(長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県上田染谷高等学校、長野県松本深志高等学校、(岐阜県) 岐阜県立岐阜高等学校、(静岡県) 静岡県立静岡高等学校(欠場)、(愛知県) 愛知県立岡崎高等学校、(滋賀県) 滋賀県立膳所高等学校、(京都府) 京都府立鳥羽高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、京都府立堀川高等学校、(大阪府) 大阪教育大学附属高等学校平野校舎、関西創価高等学校、大阪府立北野高等学校、大阪府立豊中高等学校、(兵庫県) 神戸女学院高等部、神戸大学附属中等教育学校、(奈良県) 奈良県立奈良高等学校、東大寺学園高等学校、(鳥取県)、鳥取県立鳥

取東高等学校、(岡山県)岡山高等学校、(山口県)梅光学院中学校・高等学校、山口県立大津緑洋高等学校、山口県立宇部高等学校、山口県立山口高等学校、(福岡県)福岡県立城南高等学校、(熊本県)熊本県立八代高等学校、(宮崎県)宮崎県立宮崎北高等学校、(鹿児島県)志學館中・高等部、(沖縄県)沖縄県立球陽高等学校、創価高等学校 (Swing)、鹿児島情報高校 (Swing 2)

66 校

開催趣旨：

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

論題(論題は、毎回ディベート開始15分前にはじめて発表されます)：

予選1：Using private homes as hotels for school trips should be banned.

(修学旅行での民泊を禁止すべきである。)

予選2：Japan should raise the pension age to 70 years old.

(年金支給開始年齢を70歳に引き上げるべきである。)

予選3：Affirmative action should be taken for female students with science and engineering background.

(理系女子に積極的な優遇措置を与えるべきである。)

予選4：Accepting more foreign workers will give Japan benefit than harm.

(外国人労働者受け入れ拡大は、日本に害よりも利益をもたらす。)

準々決勝：Sales of potatoes with no poison produced through genome editing technology should be prohibited.

(ゲノム編集で作った毒のないジャガイモは販売禁止にすべきである。)

準決勝：Centralization in urban areas brings more benefit than harm.

(都市集中型社会は、害よりも利益をもたらす。)

決勝：U.S. protectionism does more harm than good to U.S.

(アメリカの保護貿易主義は、アメリカに利益よりも害をもたらす。)

キーノートレクチャー講師：

- 東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス 室長/ 教授 大島 まり 氏
- 理化学研究所環境資源科学研究センター・上級研究員 梅基 直行 氏
- ヤフー株式会社 CSO、慶應義塾大学環境情報学部 教授 安宅 和人 氏

1 日目

開会式では、64 チームの参加高校が紹介されました。全国から二日間で日本全国から 400 名を超える高校生・教員・見学者が集まりました。会場は満員となり、熱気に包まれた中スタートしました。大会でのルール諸注意、大会ジャッジまたトレイニーとして参加していた教員や大学生へ向けたジャッジ手順の確認が行われました。



開会式の様子（左：PDA 代表理事・中川智皓による挨拶・説明）

ついに予選が開始されました。64 チームが一斉にディベートを行います。予選 1 の論題は「修学旅行での民泊を禁止すべきである。」です。生徒たちは、中学校や高校での自身の修学旅行の様子を思い浮かべながらアイデアを出していきました。



予選 1 岡崎 vs 柏陽



予選 1 岐阜 vs 上田染谷丘

予選 2 の論題は「年金支給開始年齢を 70 歳に引き上げるべきである。」です。Government も Opposition も少子高齢化などの日本の様々な背景を分析しながら議論を交わしました。年金そのものは昔からある議題ですが、生徒たちは最近のニュースも含め、民法の改正など直近の事例も用いながら深い議論を展開しました。



予選 2 堂々とスピーチをしています



予選 2 POI で質疑応答



予選 2 POI に果敢にチャレンジ



予選 2 ジャッジのコメント

2 試合目と 3 試合目の間にレクチャーが行われました。KDDI 財団鈴木正敏理事長より、高校生への激励が行われました。即興型英語ディベートで培われる力が仕事の上でも重要であることが述べられました。次に、大阪府立大学生命科学研究科 小泉望先生からは、ゲノム編集のレクチャーをいただきました。最近、双子の赤ちゃんがゲノム編集で生まれたことなどホットなトピックでしたが、遺伝子組み換えとゲノム編集の違いなど、基礎的なことから解説いただきました。

また、ご視察いただきました文部科学省より伊志嶺周先生より、ご自身の即興型英語ディベート研修ご参加の経験も含め、本活動の有用性が述べられ、高校生へエールが送られました。



KDDI 財団 鈴木正敏理事長



文部科学省 石志嶺先生



大阪府立大学 小泉教授によるレクチャー



熱心に聞き入る生徒たち

予選3の論題は「理系女子に積極的な優遇措置を与えるべきである。」です。ニュースでも話題になっている医学部の入学試験問題などにも触れながら、女性が現在どのような状況におかれているのかなどについて詳細に分析していました。



予選3 ジャッジの目を見てスピーチ



試合後は笑顔で握手

予選 4 の論題は「外国人労働者受け入れ拡大は、日本に害よりも利益をもたらす。」です。外国人労働者はどのような産業に入っていくのか、どのような問題が起こりうるか、なぜ日本にメリットが発生するのかなどの観点でプレパレーションが進められました。本最終予選ラウンドはクローズ（ジャッジはその場で勝敗を公表しません。結果はコメントシートに記入され、翌日返却されます。）でした。結果は、明日までのお楽しみです。



聴衆にうったえかけるようにスピーチ



最後の力を振り絞って POI !

第 4 ラウンドが終わった頃には、大会開始時には明るかった空が真っ暗になっていました。4 ラウンド、全力を出し切った良い顔を見せ、1 日目が終了しました。

翌日の注意事項などの後、e-learning（ディベートのルールなどに関する事前学習）を受けた参加者の中から抽選でクリスマスプレゼントが渡されました。また、参加者が会場を出る直前にサンタが登場！4 ラウンド頑張った生徒・教員・ジャッジの皆さんへささやかなプレゼントが手渡されました。

Merry Christmas! See you next day!



サンタさん登場！

2日目

2日目の最初は、決勝トーナメントに進むチームの発表（Break Announcement）です。昨日の疲れを感じさせず、朝早くから元気な様子で生徒の皆さんが次々と会場に集まってきました。

まずは、ジャッジブレイクの発表です。教員や社会人、大学生によるジャッジは、勝敗を決め、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、教育的配慮をしつつ論理的に述べます。ジャッジのコメントに対して、どの程度生徒が納得できたか、またどの程度次への学習意欲を高めることができたかという観点で、生徒はジャッジを内容 5 点、表現 5 点満点で評価します。平均点が高かった 21 名の先生方が発表されました。おめでとうございます。

次に、準々決勝に出場するチーム 1 位から 8 位までが発表されました。喜びの声が響き渡りました。

予選結果

- 予選 1 位 翔凛高等学校
- 予選 2 位 栃木県立宇都宮高等学校
- 予選 3 位 長野県長野高等学校
- 予選 4 位 長野県上田染谷丘高等学校
- 予選 5 位 渋谷学園渋谷中学高等学校
- 予選 6 位 浅野高等学校
- 予選 7 位 福井県立藤島高等学校
- 予選 8 位 さいたま県立浦和高等学校

準々決勝の論題は「ゲノム編集で作った毒のないジャガイモは販売禁止にすべきである。」です。出場者が準備をしている間、東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス 室長 大島 まり教授による理系分野におけるジェンダー問題（昨日の予選 3 の論題）について解説していただきました。



大島まり氏による予選 3 ラウンド目のテーマについてレクチャー

準々決勝は 4 つの会場で行われました。科学の発展が進んでいけばもしかするといずれ身近な存在になるかもしれないゲノム編集された食物というテーマについて、その危険性や重要性について白熱した議論を行いました。



緊迫した準々決勝の様子

準々決勝終了後は、お昼休みです。午後からのキーノートレクチャー、準決勝・決勝に向けて頭も身体も休める生徒や、準々決勝の論題について友達と議論している生徒がいたりそれぞれの方法で束の間の休息を過ごしました。

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「都市集中型社会は、害よりも利益をもたらす。」です。15分の準備時間の間、理化学研究所 環境支援科学研究センター 上級研究員 梅基 直行氏に準々決勝の論題であったゲノム編集に関するキーノートレクチャーを行っていただきました。



梅基 直行氏によるキーノートスピーチ



白熱する準決勝

準決勝のあとは、いよいよ決勝戦です。決勝の論題は「アメリカの保護貿易主義は、アメリカに利益よりも害をもたらす。」です。色々な国に大きな影響を及ぼすアメリカの貿易政策についての論題でした。3位決定戦も同時に行われました。

また、決勝の準備時間の間に、ヤフー株式会社 CSO 慶應義塾大学環境情報学部教授の安宅 和人氏に、準決勝で取り扱われた論題である都市化の問題に関するレクチャーを行っていただきました。2日間のディベートで疲れているのにも関わらず生き生きとした顔でレクチャーを聞いている生徒の様子が窺えました。



安宅氏によるキーノートレクチャー



緊迫した決勝戦の様子

決勝戦、3位決定戦が終了し、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。また、文部科学省・外務省後援 第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会（ワールドコンGRESS）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

文部科学省 第4回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝：福井県立藤島高等学校

準優勝：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

第3位：翔凛高等学校

準決勝出場チーム（第4位）：浅野高等学校

準々決勝出場チーム（ベスト8）：

- ・栃木県立宇都宮高等学校
- ・長野県長野高等学校
- ・長野県上田染谷丘高校
- ・埼玉県立浦和高等学校

PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけではなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。

<授業導入優秀賞>

- ・大阪府立北野高校
- ・山口県立山口高校
- ・沖縄県立球陽高校

<授業導入賞>

- ・秋田県立角館高校
- ・栃木県立宇都宮東高校
- ・埼玉県立浦和高校
- ・開智学園中高一貫部
- ・翔凜高校
- ・筑波大学附属駒場中・高校
- ・明治大学付属明治高校
- ・東京都立両国高校
- ・福井県立藤島高校
- ・長野県長野高校
- ・長野県松本県ヶ丘高校
- ・長野県松本深志高校
- ・京都府立鳥羽高校
- ・京都府立嵯峨野高校
- ・神戸大学附属中等教育学校
- ・東大寺学園高校
- ・山口県立宇部高校
- ・福岡県立城南高校
- ・熊本県立八代高校
- ・宮崎県立宮崎北高校
- ・鹿児島情報高校

<その他個人賞> (多数、個人名は略)

- ・ジャッジ賞、ベストディベーター賞、POI 賞

以上の結果を受け、第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の6校に進呈されました。

<1位~3位> 藤島高校、渋谷教育学園渋谷高校、翔凜高校

<授業導入優秀賞> 北野高校、山口高校、球陽高校



優勝：福井県立藤島高等学校



準優勝：渋谷教育学園渋谷中学高等学校



3位：翔凜高等学校



4位：浅野高等学校



ベストディベーター賞



ベストPOI賞

アンケートの声（抜粋）

【生徒の声】

1. 全体の感想
2. 論題、キーノートレクチャーについて

1. 全体の感想

- ・刺激をうけられた。もっと英語能力を上げようと思いました。（横浜翠嵐・2年）
- ・様々な競合協と対戦し、素晴らしいジャッジのおかげで自分谷の改善点を発見できた。（岐阜・1年）
- ・本当に参加した良かったと思いました。この大会では、単なる英語力だけでなく社会の諸問題に対応する力が求められていて、それを意識するきっかけになりました。こういう人が社会で求められているんだろうな、と感じる仲間がたくさんいて刺激になりました。私も頑張りたいです。（山口・2年）
- ・自分たちのディベートを丁寧に講評をいただけたのがとても良かったです。また、レベルの高いディベート実践もみることができて勉強になりました。（秋田南・2年）
- ・本大会は、英語の能力を高めるだけでなく、社会問題について考えたり、知識を深めるきっかけづくりにもなるので、とても良いと思う。（球陽・2年）
- ・自分の考えを改められた。全国の高校生のレベルを知って、同じ学年なのにこんなに社会のことを知っていて、論理的思考ができる子がいることがほんとにびっくりでもっと自分もこれらの力をのばさなきゃいけないと思った。（球陽・2年）
- ・結果的には自分のチームは不本意な結果に終わってしまいましたが、この悔しさをバネに今後も練習をがんばっていきたいと思います。（市立浦和・2年）
- ・学校内では学べないことをたくさん学べて、すごく刺激になったし、より一層頑張ろうと思った。（富士見・1年）
- ・とても学ぶことがたくさんあり、大変面白かったです。（浅野・1年）
- ・普段は無いきんちょう感のもと、POIをたくさん交えた実りあるディベート（技術的だけでなく内容的に）ができた。（豊中・1年）
- ・専門家による講演など身になることが多かった。（上田染谷丘・3年）
- ・全国のレベルの大会高校と試合ができて刺激になりました。（藤島・2年）
- ・全国の高校生と交流できる良い機会だった。強い高校から刺激をうけ、モチベーションが上がった。（佐野・1年）
- ・たくさんの学校の人たちと友だちになれました。ディベートをしていなかったら絶対知らなかったモーションでディベートできた。（宇都宮東・1年）
- ・強豪チームのディベートの運び方だけではなく、なぜこの **Motion** を与えたのかという意図が知れた。（東大寺・2年）
- ・個人コメントもほうふで、今後のディベートで役立てると思う。（大津緑洋・1年）

- ・英語をたくさん聞き、たくさん話す貴重な機会になった。(相模原・2年)
- ・全国からたくさんの学校が集まっていて、様々な刺激を受けられたので、結果にかかわらず、「これからもがんばろう」というモチベーションを得られたのはよかったです。(渋幕・1年)
- ・ディベートを通してたくさんの人と知り合えた。(翔凜・2年)
- ・悔しい結果でしたが、自分の弱点を知ることができ、決勝のチームのディベートなどから学ぶことも多くあり、参加してよかったです！(関西創価・2年)
- ・ディベートをするにつれて自分の考える力などがのびていく感じがして、また、自分の力はまだまだと痛感することができた。(宮崎北・2年)
- ・始まる前は怖かったですが、感じの良い人とあたることができよかったです。(城南・2年)
- ・全国、いろいろな所とディベートしたり、見ることができて、自分の改善点をみるけることができた。(大教大平野・2年)
- ・ディベートに必要なものは何なのかをととても良く認識することができた。(日比谷・2年)
- ・PDAでは、旬なネタが題材になることが多く、自分で考えたり、試合を聴いて新しい意見を得るのも、とても楽しかったです。スピーチ力を大切にすることが重要で、これからは即興力と共に伸ばしていく力だと学びました。(長野・1年)
- ・全国トップクラスの方々の神々しいスピーチを生で拝聴することができ、とてもためになりました。(長野・1年)
- ・とても、多種多様な考え方のディベートをみれて、認識を拡張できた。(栄光・2年)
- ・他校との交流、素晴らしいジャッジの方にジャッジしていただけたので、コメントやジャッジ理由も納得でき参考になりました。(北野・2年)
- ・4試合連続でやるのは中々ハードでしたが、とても楽しかったです。ジャッジの方を評価するシステムも良いなと思いました。(厚木・2年)
- ・全国大会に出場が叶い、ハイレベルな大会に参加できたこと、多くの出会いと学びを得てきたこと、自分にとって大きな糧でした。(膳所・2年)
- ・昨年も参加させていただいて、この一年での自分の成長を感じることができた。他の学校の交流やキーノートレクチャーを通して良い刺激を受けた(奈良・2年)
- ・多くの友達ができました。スピーチも紙を見ずにできるようになったので、嬉しかったです。(神戸大附属・2年)
- ・試合が終わったあとの少しのフリータイムでディベートのことなどや学校のことで他校との交流ができたこと。(八戸聖ウルスラ・2年)
- ・他の学校の強さに圧倒されました。言い方、表現の工夫の仕方、迫力、全てがレベルが高く、とても勉強になりました。また、レクチャーを通して、自分が気付かなかったポイントも出てきて、ためになりました。(柏陽・1年)

- ・普段聞けないお話をたくさん聞いたことがよかったです。ジャッジの先生方のお話が、新しい発見や自分の良い所を知る非常に貴重なお話で、感動しきれないほどでした。
(松本深志・2年)
- ・見学でも、他校のレベルの高いディベートを観たり、キーノートレクチャーを聞いたり、学ぶものが多くて良かったです。(県立浦和・1年)
- ・関西の人たちと話す機会がなかなか持てないので、交流ができてとてもよかったです。(県立浦和一女・1年)

2. 論題、キーノートレクチャーについて

- ・ゲノムとか詳しく知らないことを文系の私にも分かりやすくレクチャーして下さいました。(嵯峨野・2年)
- ・どの論題も、今の現代のことに関係していて、まだまだ知らないことがたくさんあったので、もっと社会の出来事について知っていきます。(嵯峨野・2年)
- ・大会前に、新聞を見ていて、出るだろうと予測していた論題が出て、うれしかった。
(堀川・2年)
- ・どれも面白かったです。プレパの時間にやるというのも、眠くなることなく丁度いいタイミングだなと感じました。(両国・2年)
- ・ゲノム編集や、理系女子への支援など、身近な題があり、興味深かった。(湘南白百合・1年)
- ・ジャガイモにゲノム編集が結びついた理由について知ることができて良かったです。
(長野・2年)
- ・偏りがなく、いろいろな観点に触れていたのでおもしろかったです。(奈良・2年)
- ・安宅先生のお話に、心を大きく震わされました。「未来は目指すものであり、創るもの」というお言葉を胸に秘め、自分の目標を実現させていきます。(山形東・2年)
- ・貴重なお話を聞くことが出来て、あまり知らない分野についても詳しく知ることができました。また、モーションの予想にも役立ちました。(湘南・2年)
- ・タイムリーな論題が多くておもしろかったです。(湘南・2年)
- ・専門的なことをわかりやすく、そして自分がそのテーマについて考えるきっかけを作ってください、とても有意義な時間でした。(山口・2年)
- ・論題を出されたときに思いつきもしなかったメリット・デメリットを知ることができた。(秋田南・2年)
- ・(論題が) ひねくれてなくてよかったです。(小石川・1年)
- ・論題が広範囲におよんでいて、よく考えられていました。(上田染谷丘・3年)
- ・短時間に多くの情報を教えていただき、とても勉強になりました。これから自分はどう勉強したりすればよいか考える良い機会になりました。(開智・2年)
- ・短い時間の中でいろいろなお話が聞けて良かったです。(豊島岡・1年)

- ・いずれも難しく、またその分野に興味を持たせてくれて考えさせるレクチャーで面白かった。(東大寺・2年)
- ・ゲノム編集のレクチャー・講演が、ディベートに関係なくもともと少し興味があったのもあり、とてもおもしろかった。(鳥取東・2年)

【教員の声】

1. 全体の感想
2. 論題、キーノートレクチャーについて

1. 全体の感想

- ・引率として初めて参加しました。評判通りで、白熱した大会を生で見られて良かったです。(福岡県立城南・教員)
- ・英語力だけでなく、人が気持ちよく聞ける、また相手にいやな思いをさせない道德心や人間力がやはり必要だと改めて感じる事ができた。(大津緑洋・教員)
- ・モーションが良かったです(翔凜・教員)
- ・ディベートを通じて社会について考え、また専門家の方々からのレクチャーによってそれらを深めることができ、とても勉強になりました。他校の生徒さんや先生方との交流もでき、とても楽しかったです。(八代・教員)
- ・スムーズな運営でした。暇な時間がなく、充実しており大変勉強になりました。(山形東・教員)
- ・教員としてジャッジの向上もが必須と思い、また生徒が一試合ごとに成長し他校さんところりゆうできたことに感謝するばかりです。(湘南白百合・教員)
- ・3-3-2分とは思えないほど、密度、レベルが高くて、英語教育もここまで変わってきたと実感しました。(小石川・教員)
- ・いつも同様、各所に教育的配慮があり様々な生徒にとって“有意義な学びの場”となる素晴らしい大会だったと思います。(富士見・教員)
- ・スムーズに運営されており、とても良かったと思います。(ウルスラ・教員)
- ・ラウンドごとにぐんぐん吸収して力をのばす姿もみられて感動しました。(教員)
- ・見学者を増やしていただけると嬉しいです。素晴らしい大会ですので、他の生徒にも勉強させたいです。丁寧で綿密に練られた運営のもと、とてもたのしくディベートを拝見しました。2日間の大会が成功したのも、運営のみなさまのおかげであると思います。(佐野・教員)
- ・PDA ディベートで目標とするところを具体的な実践を通して知ることができた。(岐阜・教員)

- ・キーノートレクチャーで貴重なお話を聞くことができ、今後の教員としての働き方を考えさせられた。また、多くの高校生のスピーチをきくことで、彼らのモチベーションの高さとやる気に感動し、教員も一緒になって学んでいきたいと思った。(教員)

2. 論題、キーノートレクチャーについて

- ・短い時間の中でも重要なことが簡潔にまとめられ、高校生にもわかりやすい形で伝えられていて、本当に感謝しております。(青森・教員)
- ・勉強になりました。学校でのディベートの際も、関連ある教科の先生にお願いして、解説してもらおうと思いました。(八代・教員)
- ・Keynote lecture による論題解説は、今後パーラをする上でとてもよい知見や事例を与えてくださったと思います。(栄光・教員)
- ・年金問題は高校生には実感わきづらかったことと思いますが、将来関わってくる問題となりそうなので、このような機会に考えさせ、今後の意識につなげられるので、そういう意味では良い議論であると思います。(膳所・教員)
- ・3名の先生方とも、論題に即したレクチャーで興味深く聴かせていただきました。特に大島先生のご講演はすばらしかったです(奈良・教員)
- ・1日目、ゲノム編集と遺伝子組み換えの違いがわかりやすくもっとこの分野について知りたいと思いました。(見学・教員)
- ・時事問題、タイムリーな物が多く、英語ディベートということでなくとも、考え、見方にふれて、良い機会でした。(浦和一女・教員)
- ・多岐にわたる分野から出されていたのでよかった。(山口・教員)
- ・大会に多様なプログラムがあって良い。知識の吸収がしやすい。(開智・教員)
- ・安宅さんのレクチャーが濃かったです。大人の生き方の指針になります。(教員)

以上

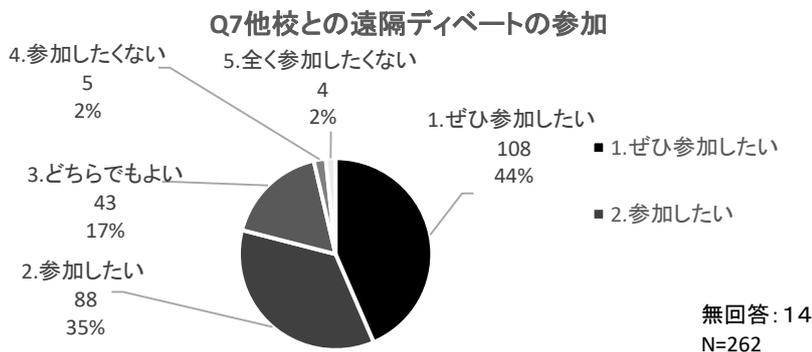
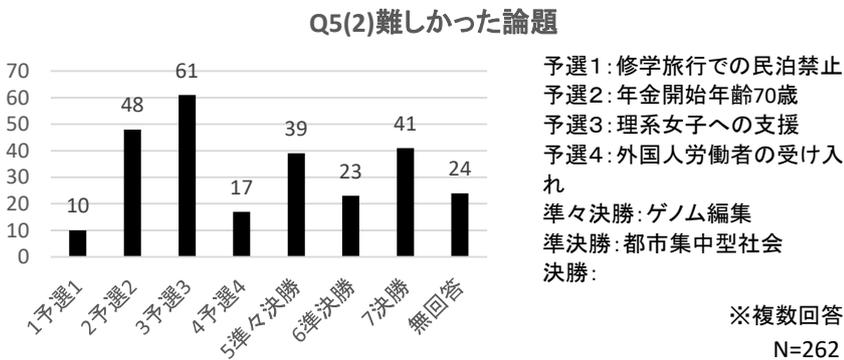
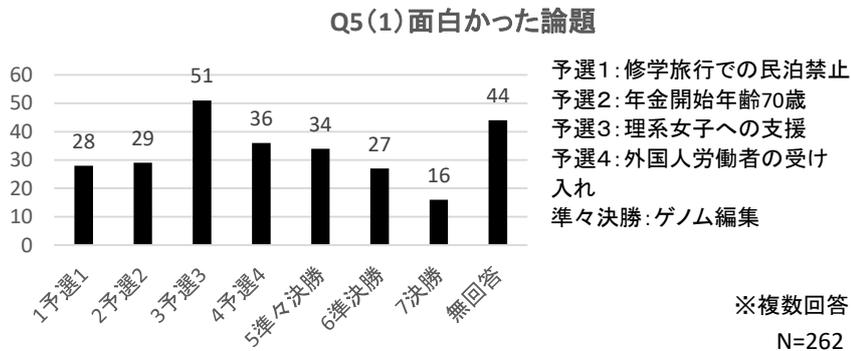
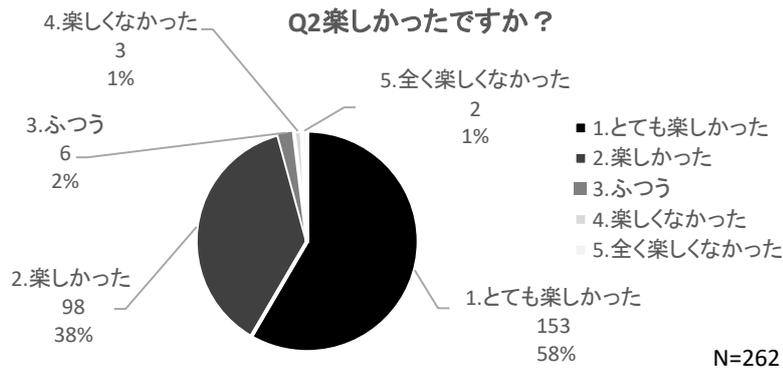
第4回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会（予選結果）

2018年12月22日（土）・23日（日）／ 東京大学 生産技術研究所

Ranking	Place	Name	Win	Sum	Ranking	Place	Name	Win	Sum
1	1st	翔凜	4	175	37	37th	関西創価	2	144
2	2nd	宇都宮	4	172	38	38th	大津緑洋	2	141
3	3rd	長野	4	147	39	39th	膳所	2	139
4	4th	上田染谷丘	4	147	40	40th	創価	2	133
5	5th	渋渋	3	187	41	41th	嵯峨野	2	132
6	6th	浅野	3	183	42	42th	梅光	2	132
7	7th	藤島	3	182	43	43th	豊中	2	130
8	8th	県立浦和	3	172	44	44th	岡山	2	121
9	9th	湘南	3	166	45	45th	城南	1	160
10	10th	厚木	3	161	46	46th	県立前橋	1	159
11	11th	筑駒	3	160	47	47th	横浜翠嵐	1	155
12	12th	柏陽	3	158	48	48th	開智	1	144
13	13th	相模原	3	156	49	49th	東大寺	1	144
14	14th	志學館	3	152	50	50th	湘南白百合	1	143
15	15th	県ヶ丘	3	150	51	51th	浦和一女	1	139
16	16th	岐阜	3	150	52	52th	佐野	1	138
17	17th	栄光	3	148	53	53th	大教大平野	1	137
18	18th	宇都宮東	3	148	54	54th	秋田南	1	135
19	19th	富士見	3	147	55	55th	明治	1	133
20	20th	神戸女学院	3	135	56	56th	八代	1	132
21	21th	神戸大学附	2	179	57	57th	宇部	1	130
22	22th	両国	2	165	58	58th	ウルスラ	1	127
23	23th	渋幕	2	164	59	59th	弘前	1	124
24	24th	北野	2	164	60	60th	青森	1	107
25	25th	市立浦和	2	164	61	61th	球陽	0	119
26	26th	日比谷	2	161	62	62th	宮崎北	0	118
27	27th	横須賀	2	159	63	63th	鳥取東	0	110
27	27th	山形東	2	159	64	64th	角館	0	109
29	29th	堀川	2	157		Swing2	鹿児島情報		
30	30th	松本深志	2	156		欠席	静岡		
31	31th	岡崎	2	153					
32	32th	豊島岡	2	149					
33	33th	小石川	2	148					
34	34th	奈良	2	147					
35	35th	鳥羽	2	146					
36	36th	山口	2	145					

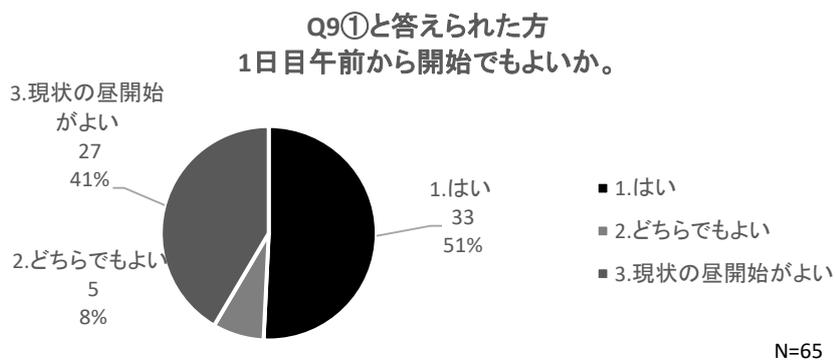
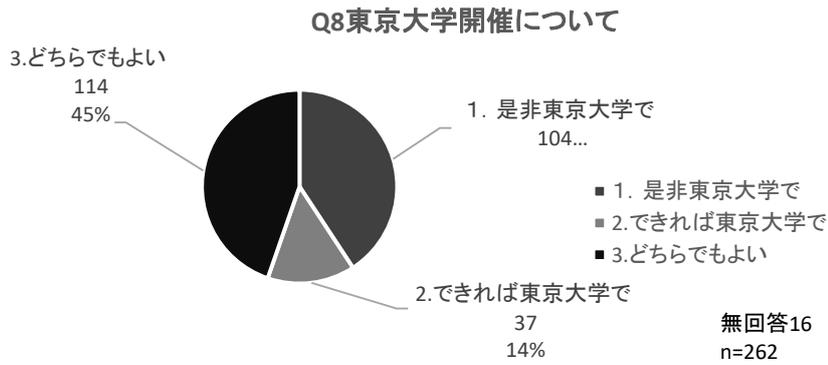
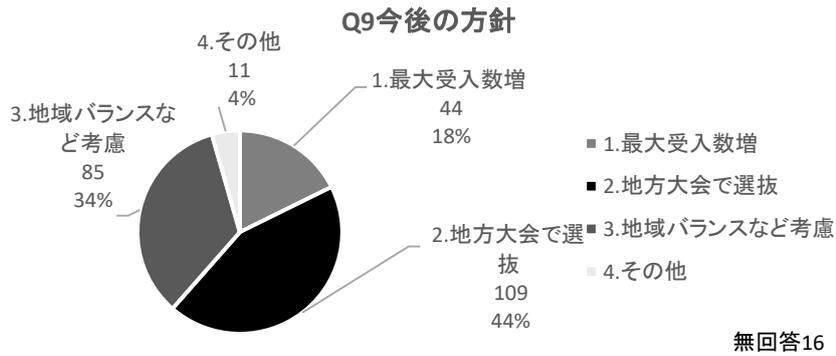
2018年12月22日・23日 第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会

アンケート回答者数262名、グラフの数字は単位'人'



2018年12月22日・23日 第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会

アンケート回答者数262名、グラフの数字は単位'人'



ID	Q3 2の理由	Q4参加して最も良かった点	Q5(8)論議についてのコメント	Q6キーノートレクチャーはいかがでしたか？	Q8の理由	Q9その他と答えられた方	Q11改善点・要望	Q12感想
1	はじめはにも話せなかったけれど、試合を重ねるごとにうまく話せるようになっていきました。	自分にとって今もも足りない部分がありました。全国レベルのものが知れてよかったです。	空欄	とても貴重な話が聞けてよかったです。やはり将来は私たちがしっかりと担っていくべきではないかというところがわかりました。	東京大学という環境が知れるから	空欄		はじめは、全く上手にしゃべれなかったけれど試合を重ねるごとに上手に話せるようになりました。でもこの大会に出てもっとがんばらなければいけないということがあったのでこれからは頑張って英語が話せるようになりたいです。
2	他のチームの発想力や表現力、なによりも勉強になったから。話したことの無い人たくさん話せたから。	私の学校のディベート部は少なく、普段の部活ではずっと同じメンバーとのみだったので、こうした大きな大会に参加したことによって成長を感じました。	かためな論題も良いが、一見ふざけているようなものを真面目に考えるのが好きなので、私も入れてほしい。E021世紀にしろ、E03も入れてほしい。	とても興味深い知識がなかったので、詳しく知ることができて良かったです。	日本の都市としてふざけたいかもしれないが、問題でもってではなく内容だと思う。	会場内へ食べ歩きやゴミなど落とすまじまじ学校があった。飲食禁止などすべき。ディベーターの方でジャッジを一度も見ない人がいた。ディベーターはジャッジに向けて話しているため集中して聞いているのは分かるが目を合わせずなどして話した。		こうした大きな大会でしか遠く離れた県の高校生と共に議論し、互いの意見を交換し合う機会がなく、とても貴重な経験となったと思う。負けてしまったが、改めて自分の課題を明確にできて良かった。
3	ジャッジのコメントの仕方、メモの仕方、フィードバックの仕方等、今後のディベート活動に非常に役に立ちました。	強豪校との試合に参加、見学できることは、生徒のみならず、教員にとっても大きな刺激になります。	空欄	自分の物の見方が変わる素晴らしいレクチャーで、今後のモチベーションにつながります。特に安宅先生のレクチャーは大変参考になりました。	空欄	空欄	2日目(準決勝以降)のジャッジのコメントを全体に公表して欲しいです。	本年度も参加できて良かったです。中川先生、大賀先生、運営の方々本当にありがとうございました。
4	ディベートをトレーニングとして見学し、ジャッジの仕方やディベートの内容など、様々な気づきがあった。	〇様々なディベートの結果を見て、論理の正しだけでなく、exampleのインパクトが読者に与える効果を理解できた。	空欄	どのレクチャーも10分強ではもったいない内容でした。でも、時間の使い方はとても有意義でした。	空欄	空欄	空欄	空欄
5	学校での練習では対戦相手がいなかったため、実際に相手がいるディベートができたことがとても良かったです。	説得力のある立論の仕方が学べた。様々な視点からのものを考えることなど授業の役にたつようなことがたくさんあった。知っていることができ、参加できたことをとてもうれしく思います。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	夏休みに大阪での合宿に参加した時よりも更に楽しく時間をすごすことができました。ハイレベルなディベートを聞くことができたこととても参考になりました。次の機会もあれば是非参加したいと思います。
6	他校相手の緊張感のあるディベート。	2日目の上手い人のディベートがとても良い刺激になった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
7	ディベートの大会を見て頂いたのは初めてでした。英語の力はもちろんですが、論理戦、心理戦の側面もあり、スポーツのようでした。	トレーニングとして参加させて頂きましたが、ジャッジの先生方の理論的なコメントのすこしに感心致しました。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
8	相手がいること(練習のときは相手がいなかった)	説得力のある話し方について学ぶことができました。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
9	初めての参加でしたが、知らないことばかりで大変勉強になりました。ディベートについてもっと研究し再び参加できればと思います。ショートレクチャーも大変勉強です。	他校のレベル、今後の準備なども参考にしました。生徒は大きい刺激をうけ今後大きく成長してくれることと信じています。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
10	今回のディベート大会は前回より良いと思います。私ももっとがんばりたい事あるから今回は勉強になりました。とても良い思い出です。今回もいっぱい新しい友達つきましたので嬉しいです。ディベートはいつも大抵より大きいのでそれすら嬉しいです。	ファイナルラウンド見るのは楽しかったですとても勉強になりました。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
11	対戦を重ねることに慣れてきて、自分自身成長することができたから。また、強いチームのディベートを見てとても刺激を受けたから。	自分の今後の課題が見つかり、やる気にもつながったこと。	なし。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
12	今回のディベート大会は今年の夏に行われたディベート合宿から発展しておもしろいのだとわかりました。夏に来た学校やスタッフさんなど、とても楽しく参加できました。	夏のディベート合宿の経験でした。あの合宿で一度PDAディベートを体験したことがとても今回の大会がとても良かったです。とくに夏に知りあった人たちもう一度ディベートができたのが楽しかったです。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
13	英語と他校との交流。2日目の上位校の戦いをオンラインで見学できたこと。	自校の生徒の成長と他校の生徒のレベルがよくわかりました。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
14	ディベートをすることで、他の学校の人と交流できたこと。	安宅先生のお話が説得力があつておもしろかったです。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
15	ディベート自体は楽しかった。	同世代ですごい人たちとみて刺激された。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
16	1日目出席 Levelが毎年よって素晴らしいです。	教員最後の良い思い出になりました。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
17	戦ったチームの方たちとローカルな話などでき楽しかった。試合を通して自分のスキルを上げることができたと思う。また、キーノートスピーカーの安宅先生の話はとてもおもしろかったし、勉強になることが多かった。	論議に対する考えやバックグラウンドが深まったこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
18	We has a chance to do debate with high Level schools and develop our asilities.	We learned a lot of ways to make our debate skills better.	I think some a speats need to be better orgained. Also,I wish both observers and participating stucrkly. Could have a seat in the main hall.	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
19	全国トップクラスのチームと対戦したり、試合を見学することで、刺激や交流があった。全国の高校生と交流できたのが良かった。	以前参加した京都府のPDA交流会とは全く違うものを見ることができたのが良かった。レベルの高い人たちと見る刺激になるし、お互い高め合えて良い。また、講義の内容も興味深かった。	予選の問題が少し難しく、中途半端にしか内容を覚められなかったり、そのための細かい数字を提示しないし証明が難しく、とても知識を活用しにくいものがあると感じた。	特に安宅さんのプレゼンが、内容もプレゼンも魅力があり、魅力的だと思ったし、興味深かった。	日本のトップ大学と書かれるところだから。	時間通りに進むといいと思います。	とても楽しかったです。この大会に参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。	
20	今まで開演の1人しかディベートをしたことがなかったのがとても良い経験になりました。	ディベートの強い高校がどのよう戦うのか見えた点で良かった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
21	・交流・学ぶべき点が多かった。	・ディベートの向上。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
22	Debateにふれる機会も余りなかったのですが、生徒も私も大変良い刺激になりました。Debate後の相手校の皆様が温かくお話し下さり交流できました。	Debateのレベルの高さを教えて頂いたことです。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
23	他の県の高校の方と話せて、楽しかった。ディベーターでも、様々な考えや話し方を知ることができたから。	ディベーターの経験がたくさんある高校とディベートをした。そのディベーターを覚えてきたこと。ジャッジの方からアドバイスをいただいたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
24	他校と交流し、お互いアドバイスをしたこと	他校の学校よりディベーターが見れたという点	も少し肯定と否定が平等になると良いと思います。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
25	他の学校と違い本校には英語ディベーター部も指導者もいないため、即興型ディベートがどういふものなのかを知る機会があったが、今回大会に参加できて良かった。知ることでよかった。勉強になりました。	全国にすばらしい仲間がいることを知り、同時に彼らの頑張る姿も見ることができ、大変刺激になりました。	定義によって大層に議論の方向が変わって行くような論議は難しかったです。	題材の根本的な部分からお話いただけ、大変勉強になりました。	空欄	愛知県での英語でディベートに積極的に対応して欲しい。	空欄	
26	ディベートが好きだから	一般的な感覚での自分のスピーチ力を確かめることができた。	3のaffirmative actionが優遇措置と訳されていたことが新鮮感を覚えた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
27	他校の先生や生徒さんとの交流ができて良かったです。モーションを面白かったです。	試合を通して、生徒が精神面、技術面、そしてチームワークの面で成長できました。	予選2,4などではdefinitionによって内容が大きく変わる論議だったと思った。知識がないと難しいと思ったところもあったけれど、面白い論議だったと思った。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
28	ディベートが好きだから。	チームメイトが先輩たちだったので、すごい勉強になった点	日本語訳(Affirmative Action)が違っていた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
29	ディベーターがとてもハイレベルであった。モーションの面白かった。	ジャッジの講評が参考になった。	予選3,4はdefinitionが設定しにくかった。Affirmative actionと優遇措置は少し意味が違っていた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
30	ディベーターが好きだから	様々な地域の人と、幅広いジャンルのモーションでディベートすることができたから	折々、ニュースに違いが出ないようにお願いしたいです。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
31	ディベートをできたこと	本当に強い学校の試合を見れたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
32	たくさん人のスピーチが聞けたから。	論議に対する様々な考え方を学べた点。	決勝はGOV,準決勝はOPPに有利な論議に	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
33	自分と同じ年の色々な人達とディベートできたこと。	色々な面でもモチベーションが上がった。	タイムリーな論議でおもしろかったです。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
34	上手い学校とのディベーターで、相手側の意見を聞くのが面白かった。	ジャッジからのアドバイスがとても参考になった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
35	初めからディベーターの集まりだったので、主催などがなかなか上手くてよかったが、他校のディベーターの方々のモチベーションが高くてとても良かったです。	決勝を見ることができたので、どのように今後改善すべきかを学ぶことができた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄

ID	Q3 2の理由	Q4参加して最も良かった点	Q5(8)論議についてのコメント	Q6キーノートクチャーはいかがでしたか？	Q8の理由	Q9その他と答えられた方	Q11改善点・要望	Q12感想
158	レベルの高いディベートやジャッジを聞くことができたら。 生徒のモチベーションにつながった。	-ディベート中のワードセンスや作戦、ジャッジするポイント、全国大会の雰囲気やわかった。	Value系もあっていいかも。	興味深かった。内容が高度でついていけないものも多かった。	特に場所のこだわりはありません。	第4試合の結果とコメントの配布が少しは遅かった。見学だけに来る生徒にも席がほしい。表彰の段取りがよりスムーズだとおおい、BGM等があるとよかもしれない。中川さんが1人で司会なのは大変そうでした。		空欄
159	モチベーションのレクチャーがあったのがよかった	レクチャーがあった点	空欄	とてもよかった	空欄			楽しかったです。
160	自分のディベートの仕方や方針を決める機会があった	外部の方の講義がとても興味深。理解がふかかった。個人メントもほうふで、今後のディベートで役立てると思う	空欄	参考になった	変える理由がないと思う	ジャッジがほぼ素人の方と当たって、困った		楽しかった
161	生徒たちが現状認識ができたようで、今後の英語学習のモチベーションにつながっているから。	浪浪さんと藤島さんのようにモデルとなるディベーターを生徒たちに見ることができた。	理系女子への支援についてはキーレクチャーでも利点がわくわく述べられたこととを考えると難しいテーマだったのではないかなという差が激しい。	安宅さんのレクチャーが良かったです。大人の生き方の指針になります。	東京だけでなく、地方でも開催してほしいから、排他的にならないように。	複数グループが1つの教室でディベートを行うことで、集中しづらい環境でした		プレバ、アカディベートの影響が、インタラクティブが少なく、原稿を読んでいるだけのディベーターが多かったことが残念でした。POIをひろわいなディベーターも多かったように感じました。
162	初めてのディベート大会で得るものが多かったから	強豪チームのディベートの運びだけでなく、なぜこのMotionを生きたのかという裏面が知れた点。	難易度の差が激しい。	とてもためになる話を聞くことができ良かった。	空欄	各ディベート場所をもっとわかりやすくしてほしい。迷う時間があったくない。		とてもいい経験になりました。
163	初のディベート大会の出場だったが、回を重ねていく中で、上達を実感した。また、議論を交した相手とも仲良くなることができ、よかった。	上のレベルを知ることができた。己の弱点にも気づくことができた。	3は少しばかり不利な条件が生まれるのではないかと「男は女は」等の既知情報に大きな偏りが生みやすい論議はより一層配慮がいると思う	何れも難しく、またその分野に興味を持たせてくれた大きな偏りが生みやすい論議はより一層配慮がいると思う	来年は参加できない	ちょっとRoomがわかりづらかったのと、もうちょっと丁寧な案内があってもよかったのでは		とにかく楽しかったです。ですが同時にいやい気持ちもあります。
164	数多くの経験ができ、実際にディベートを行うだけでなく、先輩校の試合を観戦し、刺激をもらった。	普段やるディベートでは経験し得ない様な、多くの高校の試合を観戦し、刺激をもらった。	空欄	空欄	東京大学から遠い場所に住んでいるから	空欄	空欄	空欄
165	沢山の学校の人々と交流になりました。ディベートしてなかったら絶対知らなかったモチベーションでできたりすることができ、よかった。	英語だけでなく内容が高いレベルのディベートを知れた点です。自分で思いつかないような立論や現論がたくぐんあって今を満足してはいけななと思えました。沢山のディベートを聞いて、その場、原稿の書き方、スピーチのやり方など新しいことを知ることができました。	ゲーム編集や都市中堅社会についてなど、新しいことを知ることができました。ありがとうございました。	ヤフーの方向の話がとてもおもしろかったです。インターネットで調べてもよくわからないモチベーションなので専門の方から詳しく教えて頂けたことが嬉しかったです。		なかなか入ることがないようなトップの大学に入ることができるからです。スタッフの大学生の方まで本当にありがとうございました。実際に生の大学生を身近に見ることができそうです。		今回改めてディベーター部に入ってきたと思いました。同じ高校生とディベートを通して意見交換ができてディベートをやっている高校生は絶対に考えることがないようなモチベーションで臨みたくて良かったです。
166	普段聞かれない遠方の学校のディベーターとディベートすることができてとても勉強になった。	レベルの高い試合を見たり、すばらしいジャッジの方々に出会えたこと	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
167	いろいろな学校の人と競うことで、ディベートの面白さを改めて認識できたから。	決勝などで、とてもレベルの高いディベートを見ることができたので、今後に活かしたいと思います。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
168	生徒たちの挑戦する姿を目の前で見られたこと、ラウンドごとにくぐんぐん吸収して力をはずす姿もみられて感動しました。	自分より足りない部分もよく分かった点。負けたチームへのリフレク的大事 等。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
169	キーノートレクチャーで貴重なお話をきくことができ、今後の教員としての働き方を考えさせられた。また、多くの高校生のスピーチをきくことで、彼らのモチベーションの高さとやる気、感動し、教員も一緒に学んでいきたいと思った。	生徒と一緒に悔しさを味わうことができたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
170	全国のレベルの高さを知った。	3で述べたレベルのディベートを観ることができてとても勉強になったと思う。	定義によって肯定否定に有利不利がわかるものも多かったと思った。例えばは、決勝で「日本で」等定義して、否定がその定義に含まれないものを挙げるとポイントとしてとらわれたいだろう。さらに言えば、否定はそもそも予想して当たり前と言うならば、あまりにも否定が不利すぎと思う。	特という感想はない。		そもそも受け入れ数を減らすべき、8で述べた通り移動が手間である。	QRコードで進むサイトが重い。(参加費の使用内訳)消しカスを捨てられる場所が少ない。	即興英語ディベート自体は大変面白いと思うが、それ以上に運営体制が酷いと思う。ゴミ箱の設置の少なさや、冬とはいえど敷設スペースのないものは何かなものだろうか。本家は11で述べた事項だが、議題発表を行う移動及び0の音の音程、確認を済ませてからでも良いのではないだろうか？次回大会に期待しています。又、乱私文敬啓下さい。
171	他校との交流の機会をもてずじまいだったので。	自分の不足している点や強みを客観的に評価して頂けたことができた。また、他人のディベートからも多くのことを学べた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
172	刺激をうけられたから。もっと英語能力を上げようと思えた。	自分に必要なことが分かった点。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
173	強い人たちのディベートの仕方を見て学べたから。	他のチームのディベートを見て学べたこと	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
174	2年目ということもあり余裕が出てきて特に他校と交流できたことが良かった。また近隣の学校の方から県大会のお話を頂けたことも良かった。	決勝大会を見られたこと。レベルの高い2校のスピーチはディベートということを知れてしまくと引き込まれるものだった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
175	初めて出場だったため、緊張や不安があったが、最終的に今後もディベートを挑戦したいというきっかけになった。	他校との交流ができること。他校のディベートを通して参考になる事が見つけられたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
176	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
177	これからの目指すべきポイントが見えたから	全国のレベルを知れた点。	タイムリーな話題でもよかった。	役に立つ内容が多かった。	役に立つ内容が多かった。	役に立つ内容が多かった。	役に立つ内容が多かった。	役に立つ内容が多かった。
178	自分達は普段から英語を使える機会はないので、英語を使うことができたという点です。また、ディベートを行う機会も中々ないので、同様の理由です。	ブレイク校の様子を見学できたこと。テーマに応じたレクチャーをきくことで、考えさせられる事が多かったこと。「英語」であることがディベートだからという留まらなかつた。	時事問題に絡むのがよく、ディベートを通じて多様な視点から、考えを聴くことができたこと。また、後の論議などは特に、テーマとして面白かった。	各部門から話を聴くことには中々できないと思う。非常に貴重な機会だった。ただ、クチャーを受けるというのではなく、議論として考えられることで、自分たちも考えを持ったりして専門家の意見を聞かれるので、意味あるものとして、身に付いた。	開催場所は特に問題ではないと思う。ただ、「学び」に関わる場所であってほしい。音源防れい場所は、各人のモチベーションに影響する。	空欄	空欄	空欄
179	自分達という規模でハイレベルな試合を観戦することができた。4試合の豪華さと貴重な機会だった。	ジャッジからの的確かつ丁寧なアドバイス。	身近かつタイムリーな問題で良かった。	専門的に集まるので、アクセスしやすさが優先されるべきだと思うから。	空欄	空欄	空欄	空欄
180	短い時間の中で論理的な主張を構築し、英語を伝えることができたから。	普段なかなか英語で議論することがなかったのでそれを実践できたこと。全国のハイレベルな高校生と自然に議論を聞けたこと。又、一緒に議論できたこと。安宅先生のお話を聞けましたこと。国際社会で活躍していくのに求められるディベーター力をきたえられたこと。	様々な分野があり、深く考えさせられるものばかりでした。	安宅先生のお話にて、心を大きく震わさせられました。[未来を目指すものであり創るものというお言葉をお聞きできると、自分の目標を現実化させていきます。	今回の大会を通して、東京大学であることの利点をあまりわからなかったから。	空欄	空欄	空欄
181	Because I enjoyed the Debates and mad a lot of new friends.	Learning about what I can improve myself.	I think it would be interirishing to make the motions more global in the first 4 rounds too.	Even though some of it was very hard to understand in our little time, I think it is a very good thing and you should definitely keep them	Because Tokyo is the Capital and the thought of landing the best Debaters in the best University is one I support.	Maybe giving a bit more time for it. For people from all over Japan to talk and to rest for a bit in between debating and saw some amazing Debates and lectures.	I am very thankful to have been a part of this competition. I have made new friends, had fun debating and saw some amazing Debates and lectures.	空欄
182	空欄	全国のレベルを知れた。他果の生徒と交流できた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
183	とても強い学校もあるけど、同じくらいレベルの学校はなくて、きょうと議論ができたから。	いい刺激となった。新しい知識をたくさん知れた。	思ったより面白い論議ができてびっくりしました。	勉強になった	空欄	空欄	空欄	空欄
184	普段なかなかお会いできないレベルの高いディベーターたちとゲームができたこと、とても生徒のために感じたこと、また、make friendsできていた点もよかったです。サントさん(スタッフ)からのプレゼントもうれしかったです。	普段なかなかお会いできないレベルの高いディベーターたちとゲームができたこと、とても生徒のために感じたこと、また、make friendsできていた点もよかったです。サントさん(スタッフ)からのプレゼントもうれしかったです。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
185	様々な先生と、生徒さんと交流できたから。	試合を多くできたこと。生徒同士が話すんだこと。	多岐にわたる論議、本当にありがとうございました。	とてもモロモロに示唆を与えてくれる内容でした。	空欄	空欄	空欄	空欄
186	初めての全国大会でいたが、決勝まで行くことができたこと、また、他校の人と議論についている方ができるのこーラの楽しさを感じました。	他校のハワフルなスピーチを見て刺激がもらえた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
187	普段は直接他校と1対1の試合をすることができないのでいろいろな学校と試合ができてよかった。また他校の方と交流もできてよかった。	全国のレベルの高い高校と試合ができて刺激になりました。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
188	非常にレベルの高い人々と試合ができたこと	多くの人と出会えた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
189	生徒ががんばっていたので、ディベートの内容が良く刺激になった。ジャッジの方々の対応が優しく、とてもためになるコメントがいただけ勉強になった。	生徒ががんばっていたので、ディベートの内容が良く刺激になった。ジャッジの方々の対応が優しく、とてもためになるコメントがいただけ勉強になった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
190	みんなで現代の世界について考えることができ、視野も広がった。	自分自身の意見を知ることができ、視野も広がった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
191	専門家による講演と例になることが多かった。	経験を得た。思っていた以上の結果をのこせた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
192	予想外に調子が良かったから。	昨年よりいい成績を残すことができたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄

ID	Q3 2の理由	Q4参加して最も良かった点	Q5(8)論題についてのコメント	Q6キーノートレクチャーはいかがでしたか？	Q8の理由	Q9その他と答えられた方	Q11改善点・要望	Q12感想
193	様々な高校と対戦することができたことが、楽しかったです。	準々決勝から決勝戦までを見学できたこと。	理系女子への支援や都市集中型社会で、論題が抽象的でわかりにくかった。	知識を深めることができ、良かった。	空欄	空欄	空欄	空欄
194	普段は無いきょうふ感のもと、POIをたくさん交えたディベート技術的だけでなく内容的に実のあるディベートができた。	全国のディベート技術、英語力の相手を知れたことと、来年の目標ができたこと。	民泊、理系「女子」、支援、の3つは、意地悪い定義ができてしまうので、なんか面白。	すごく爽になりました。有り難うございました。	交通機関、民泊場所、会場のwifi等も良かった。	同勝数の時、ディベスコアを利用して選別する方式は良いと思いますが、スコアの基準はやはりジャッジによってムラが出るのでは？と思います。	空欄	今回、本大会はすごく爽り、爽りのあるものとなりました。有り難うございました。来年はベスト8を目指して参加させていきたいと思っています。大会運営お疲れ様でした。
195	日本各地から様々な考え方をもち人達とディベートができたから。	準決勝や決勝の観戦。	予選などのおでで、「優勝するのではなくもう少し具体的なあらかじめ定義しておいてほしい。	安宅さんのレクチャーが特に印象に残りました。	東京大学での開催ということ意識がよい高まるから。	空欄	空欄	大会に出ることだけでなく刺激をもらい、自分の成長の糧となりました。ありがとうございました。
196	レベルが高い	英語力がない明確な論題が見つかりました。	Opp不利が多かった	良かったと思います。	空欄	OppとGovの割合を考えたほうがいいです。	1日目に結果を教えてください。	1日目に結果を教えてください。
197	多くのディベート実践の機会があり、学びが多かったです。	レベルの高い人たちがたくさんいる中でディベートすることができた。	細かい設定が少し多かったです。	貴重なお話でとてもよかったです。	交通の便がいいから。便利。	空欄	空欄	とても学ぶことがたくさんあり、大変面白かったです。
198	高いレベルでのディベートを体験できた。うまいディベーターがたくさんいた。Oppが7割だった。	「チーム」としての問題がはっきりした。「プレイ」にすりこめられたこと。	空欄	空欄	近い	govとoppのバランスをとってほしい	空欄	初日の最後に結果を教えてください。
199	今まで練習してきたことをかしディベートすることができたため。	judgeの方からコメントを頂いて今後の活動につなげることができた点。	空欄	空欄	自分の知らないことを知るよい機会となりました。	空欄	空欄	空欄
200	ディベート実践	語り方や、ディベートへの姿勢を学べた点。	空欄	すごく面白くて、普段聞けないような貴重なレクチャーを聞いていただけで最高でした！	空欄	空欄	空欄	学校内では学べないことをたくさん学べて、すごく刺激になったし、より一層頑張ろうと思っ
201	普段に関わらない学校と交流でき、たくさんのごことを学んだ。	チームでスタンスをきめたことの大切さを知った	空欄	詳しい話を聞いて、高くなった	近いから	空欄	空欄	たくさんのごことを学べてとても充実していた
202	空欄	様々な泉の高校生、先生方と交流できること。4試合をこなすうちに確実に生徒が力をつけていくのが見えること。	ゲーム編集についてはジャガイモの毒についての認知度が低くOPPが勝ちにいったかと思	どの方も素晴らしいプレイしなかったが、とても有意義な時間を過ごすことができました	空欄	空欄	空欄	いつも同様、各所に教育的配慮があり様々な生徒にとって有意義な学びの場となるすばらしい大会だったと思います。ありがとうございました。
203	ディベート実践を見学高校生英語力の迫りに衝撃を受けました。	各高校の英語力がどれほどすごいかわることができた	空欄	安宅先生の未来についての話はとても面白く、説得力のあるものであり、未来について自分なりに考えようというふうにしてほしい。	上智大学では、英語がすべて英語のところまで英語がとても盛んな所だと聞いたことがあるためそのような環境で行うとういと思ったからです。	空欄	空欄	各高校に説得力があり、即興でもありがあり、詳しく説明できることにすごいと感じた。高校生の英語の能力がとても上がっていることについてよく知れた。
204	僕にとって難しくて少ししか聞き取れなかったが、あの年までうらななければいけないとなると、刺激的で良い経験になったと感じた。	空欄	空欄	安宅さんの話が笑いと涙じりながらだったので聞きやすかったし面白かった。	日本一の学校、憧れの学校の学校と考える人が多いと思う。生徒にとって良い経験になると思うから。	空欄	空欄	空欄
205	ディベート大会で選手の英語の能力の高さやプレゼンテーション能力を知ることができたから。	空欄	空欄	安宅先生の話はとても面白かった。英語だけでなく聞き取れないところが多いから、日本語で良かったけど、英語のプレゼンも見えて良かった。	都念のちで地方から来た選手の興味を引く、自分たちが行きやすいから。	空欄	空欄	とてもいい大会だと思う。選手側からすれば、同年代の同じくいいレベルの人と出会うだけの能力があるから、またどうい考え方をしているのか学べるから良いと思う。
206	全国の高校さんと戦うことができた。	生徒の成長の機会になった。	理系女子への支援と制限していたので、多少難しそうでした。(予選3)	空欄	生来のテンションが上がるので、東大はモチベーションになる。	空欄	空欄	予選ラウンドのフォーマットを、ジャッジだけでも良いので公開してほしい。2連勝で東北エリアの高校さんとあたって、?となった。東京、関西のチームとあれた良かった。
207	全国のさまざまな人と試合ができたこと。	レベルの高い学校の論の立て方やスタイルを学べたこと。	空欄	できればPRにもなっていたらいいかなと思う。論題に対する理解が深まっていた試合をできなかったかなという印象です。内容はとても分かりやすくて良かったです。	空欄	空欄	空欄	空欄
208	他校の人とディベートができたから。	様々な角度からの論題の見方が分かった事。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	予選の結果を初日に出していただけたら嬉しいです。
209	幅広いジャッジや学校との対戦ができたから。	意見の多様性を知れてよかったです。	予選3についてアフターメディアアクションを理解していない人が生徒やジャッジにも関わってBackgroundSlideを出すか、もっと分かりやすい表現にしてください(定員制限など)内容はよかったです。	空欄	ネット上だけでなくうみnformationがあるので、信頼できる背景情報を知れてよかったです。	空欄	空欄	授業導入優秀者を教諭予選大会とすれば、実力ある人も、授業で頑張っている人も同時にチャスを得られると思います。
210	あまり泉の高校生と交流することがないので、全国の高校生と英語力や思考力がよくわかって自分のレベルがとてよしと感じ、努力して彼らのレベルまで持っていくことと思えたこと。また、他校の生徒と仲良くなった点。	自分の考えを改められた。繰り返しですけども、全国の高校生との交流や思考力がよくわかって自分のレベルがとてよしと感じ、努力して彼らのレベルまで持っていくことと思えたこと。また、他校の生徒と仲良くなった点。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
211	他校とも交流できたこと。また、全体を通して自分たちと他校の違いを知ることができた。	他校との対戦で違う意見などが伺えた	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
212	泉の人たちとたくさん交流して友達になることができた。初めての全国大会で全国レベルを体感できたこと。	全国レベルのディベートを見て、上位のチームほど英語力に比べて豊富な知識を持っていると知ることができたこと。他校との交流ができたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
213	debate experience for student/final/semi final was very inspiring. very nice lectures at short 4 washed sut infomative)	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
214	決勝トナメントを見て良かったから	自分の目標が分かった点	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
215	全国のレベルを知ることができた。わかりやすいプレゼンと観戦	チョコ棒をクリスマスプレゼントしてもらえた	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
216	他校と試合ができたこと。交流ができたこと。上手に人の試合が見れたりしてとても勉強になったからです。	実際にたくさん試合ができたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
217	3-2-2とは思えないほど密度、レベルが高く、英語教育もここまで変わったことと楽しめました。	レベルの高い他校の試合を見て、刺激になった。1日目は4試合までできて生徒もやりがいがあったと思います。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
218	ディベートでの生徒たちの頑張る姿を見られたこと。	ディベートのレベルの高さが実感できたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
219	自分たちのディベートを丁寧に講評をいただいたこと。また、レベルの高いディベーターと実践も見ることでモチベーションが上がる	3名同様、自分たちのディベートに対して講評をいただいた他校のレベルの高いディベーターを見ることができた点です。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
220	ジャッジの丁寧な解説、準決勝、決勝などのベスト8のディベート	ベスト8のディベートを見ることができた点。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
221	全国のみなさんとディベートをすることができたこと。各校との対戦がとて楽しかった。	上位者のディベートを23個見ると、それから自分の弱みや強みや学ぶことができたこと。各校との対戦がとて楽しかった。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
222	普段学校で触れていないものより何倍もレベルが高い英語を聞いて学ぶことができたから。	テストでスコアを取るための学習ではなく、新聞を読むなど自分の問題解決能力を高めるためのものが大切だと気付いたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
223	他校からたくさん刺激を受け、自分の未知なことを知れたから。	全国には英語を母国語のように操れる人がいてまた様々な知識も豊富だと知れた点。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
224	全国の英語に意欲のある方々と様々なお話をすることができたこと。4ラウンドの中でアドバイスを参考に、自分やチーム全体の成長を感じられたこと。	相手の英語力や発音方に圧倒され、日頃の努力を先生から、4ラウンドの中でアドバイスを参考に、自分やチーム全体の成長を感じられたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
225	たくさんの試合を経験し成長できた他校の生徒と友達になったこと。キーノートレクチャーが良かったこと。知識も増え視野が広がったこと。何より英語が大好きです。	全国の高校生と試合をすることで交流できたこと。全国のレベルの高い高校生を見ることできたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
226	他校の皆様に、様々なことを教えていただいたこと。また、実践を通して、多くのことを学ばせていただきました。	全国のトップレベルのディベートを直接見られること。県内でディベートが盛んでない他校との試合が見られたこと。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
227	遠い県(府)の人と英語で意見をぶつ合う事によってわかりました。	社会問題など、今まで議論しなかったことについて調べ、理由を挙げて、英語で論じられたのは、とても良い経験になりました。論議の立て方うらなれたこと。また、今までは自分の学校の自分のことしか見てなかったが、やはり全国はハイレベルで自分も成長していることを自覚した。外の世界が見えてとても良かった。勉強して自分を高めようと思った。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
228	自分たちの試合もそうだが、講演から深いことを学んだこと。同じ高校生のハイレベルなディベートを聞いて刺激を受けた。	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄
229	青春高校にいると、自分は英語がかなり得意だなと思っていたが、それは大きな間違いであることがわかった。	3でも言ったが、自分の実力不足に気づいたこと	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄

ID	Q3 2の理由	Q4参加して最も良かった点	Q5(8)論議についてのコメント	Q6キーノートレクチャーはいかがでしたか？	Q8の理由	Q9その他と答えられた方	Q11改善点・要望	Q12感想
230	全国のいろいろな学校と対戦できたため	上位校のディベートが聞けた点	タイムリーな論議が多くて面白かったです。	音段はあまりない機会なのでためになった。	部屋等、施設が良い、移動距離が短くて済む。	空欄		空欄
231	たくさんのチームと試合したり、たくさんのチームを見たりできたこと。	高いレベルのディベートが見れたこと	空欄	知識の差で新しい政策や技術への見方が全く変わりました。	空欄	空欄		空欄
232	全国大会だったので、今までに当たったことのない学校やジャッジの方を当たることができたから。また、フレイムチームの試合を見て、新しい視点、自分とは違ってどう審判が分かったのかもしれないし、大きな刺激となりました。	自分たちの実力を試せたこと。全国大会に向けて練習を重ねてきたが、結果が出てよかった。ジャッジの方に頂いたアドバイスがこれらに活かしていきたい。	AIが出なくて驚きました。	貴重なお話を聞くことができ、あまり知らない分野についても詳しく知ることができました。また、モーショングの学習にも役立ちました。	どこでも行けます。	空欄		今回の大会は非常に悔しい思いはしましたが、今の私たちができるとはやれたと思うので、とても充実したものであります。ありがとうございました。
233	毎時間刺激的な思考をできてキーノートスピーカーも素晴らしい人選で、良い話を直接聞けた為。	自校のレベル、他校のレベルを知ることが出来、次のステップにつながる点が出て来る。	空欄	すばらしかった。安宅さんは、今まさに時の人だと思っているので、呼んでいただけたよかったです。	大阪での大会は、関東の人間にとっで、面白かったです。	遠隔ディベートを利用すれば、会場はいろいろななるし、良いジャッジをそろえられると思います。	ぜひ、ジャッジミーティングをするべきだと思います。	ありがとうございました。スタッフみなさまは、大変だったと思いますが、今年は昨年よりも良い大会になったと思います。中川先生の出席が成功することを祈っています。
234	教員としてジャッジの向上も必須と思い、また生徒が一試合ごとに成長し他校さんと交流できたことに感謝するばかりです。	他校さんとの交流、まだまだ初心者チームである本校も参加させていただけたこと。	いつも面白く、生徒たちと復習試合をさせていただいています。	3つとも本当に勉強になりました。	空欄	最大受入数を増やせる可能性がありましたら、増やし、一日は二部構成にする。地方選抜にしますと常連校だけが本校に出られ、その他チームは貴重なフィードバックを受けることが出来なくなってしまう。		中川先生、大賀先生、スタッフの皆様全国大会を運営していただき、また、本校を参加させていただき誠にありがとうございました。授業はもとより、ディベート強化に力をいれたいと強く感じました。ありがとうございました。
235	決勝戦やキーノートレクチャーなど音段なかなか味わえない経験ができた。	様々な学校の方と交流できたこと。論議に対して知識が深まったこと。	空欄	とても役に立った。それぞれに対して知識を深めることができた。	自宅から2日開通の舌でもではない遠征もよい経験になるから。	空欄		私は将来英語を使って仕事をしたいと考えているのでスピーキング力を上げる良いきっかけになり参加してよかったと思います。
236	音段でできるようなことを経験できた。	様々な学校の方と交流できたこと。論議に対して知識が深まったこと。	空欄	予選ポイントを出すコツなどの経験値が良かったように思っています。	明らかにどちらかに不利と思われる論議を減らしてほしい。	空欄		空欄
237	他校の交流だけでなく、沖縄や山口など神奈川県以外に中に入ることもない場所に住む高校生とディベートできたことが良かった。それから、地方の高校生のディベートに圧倒され、とても刺激になった。	以前HEnDの大会に出たときは、神奈川県ばかりだったディベートでよかった。それから、地方の高校生のディベートに圧倒され、とても刺激になった。	空欄	予選のGovが難しかった。予選1、4は事前に学んでいただいたことが嬉しかった。	様々な先生から現状、最新情報を教えていただけだったので、とても興味深く学びの多い時間だったと思います。	東京大学には行く機会がないので光栄だった。	特になし	全国にはこんなにたくさん素晴らしい高校生がいることに驚いた。もっと自分の英語力を上げていきたいと思った。
238	とてもレベルの高い高校と交流・対戦することができ、すべてのラウンドを経て様々な課題を見つけることができた。	様々な強豪校と対戦し、素晴らしいジャッジのおかげで自分たちの改善点も発見できたこと。	空欄	理系女子への支援の定義に食い違いがあった。	空欄	全国的に見たら東京が一番集まりやすいのかなと……		空欄
239	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄	空欄		空欄
240	自分の力を試すことができたから。	ハイレベルな戦いが見られた。	空欄	もう少し長い方がいい。	空欄	内容が問題であるから。		空欄
241	準々決勝以降のようなレベルの高いディベートを見学できる機会を持てたこと。	PDAディベートで目標とするところを具体的な実践を通して知ることができた。例えは藤島高校のように公立校が決勝まで勝ち上がっていくのを見ることができた。	空欄	今年問題については高校生にとっでかなり難しかったのではないかと最初の解答はなされるだろうが本質をとらえるのはできるかな？	どれもコンパクトにまとめられた内容で、非常にわかりやすいから。	ホール大会開催など、施設が充実していること、交通の便も良いので、現状の形で実施を続けてほしい。		同上
242	全国レベルを体験に見ることができた。	経験と決断を受けることができ、もっと頑張ろうという英語に対するモチベーションができた。	空欄	分りやすかったです。	来る機会がなかなかない。			初めてのディベートで、初めて全国レベルを知ることができ今までで最高の経験をする事ができました。
243	他県の高校とディベートをする機会が減少しないので、とても有意義な時間が過ごせました。	初めての論議にチャレンジできたこと。いいジャッジの先生にアドバイスをいただいたこと。	空欄	専門的な知識が増えてうれしかったです。	地理的に地方から参加校が大変なので			十分に練習ができておらず、力不足を感じましたが、相手の学校に刺激をたくさんもらい、もっと思考力や英語力を伸ばしたいと強く思いました。そしてディベートが楽しめてとても良かったです。ありがとうございました。
244	ディベートの実践がたくさん出来たこと。	多量の論議を聞いて、自分の無力を知り、全国のレベルを知り、このままではいけないと思えたこと。英語の流暢さはほとんど関係なく、話す内容の重要性を知った。自分たちの主張の基礎知識がいかにかかっているか反論もしやすくなると思った。	空欄	情報や論議でより深く考えることができた。	空欄	空欄		たくさんディベートと論議ができて、とても楽しかったです。
245	次は勝つために、どうするべきか、皆でラウンド後にたくさんディスカッションをして、少しずつ改善することができて、成長できたから。	自分の無力を知り、全国のレベルを知り、このままではいけないと思えたこと。英語の流暢さはほとんど関係なく、話す内容の重要性を知った。自分たちの主張の基礎知識がいかにかかっているか反論もしやすくなると思った。	空欄	15分の中短時間で簡潔に、しかし内容の濃いレクチャーが聞けて内容も面白かったし、プレゼンの仕方もすごく勉強になった。	空欄	空欄		今までやったことのないことを経験させていただきました。しかし、このディベートのスキルや英語でディベートするスキルは今後の自分の将来に不可欠なので、本当に良いなと感じました。他県のレベルのすてい人たちの差に、がくんとしたし、自分の危機感も増えました。
246	一度も勝てなかったが、自分の課題をたくさん見つけられることができたから。	自分や県の、英語やディベートの実力を知ることが出来た。	空欄	自分がなんともなく知っている問題も、簡単かつわかりやすい教養でもらうことができた。	空欄	空欄		今回のディベートで、自分の英語力の極さを強く痛感しました。これから、地道に英語力をあげていこうと頑張りたいです。
247	ディベートで相手を説得させるコツがいろいろあると学べたし、相手チームと仲良くなる点も良かったこと。とても刺激的な2日間になったから。	もっと世の中の出来事に関心を持ち、英語の技術をも身に付けて、世界に出て人を助けるために活動したいと思えたこと。	空欄	特になし	空欄	空欄		空欄
248	負けでも勝つともその理由をしっかりとわかってくれたこと。	自分や県の、英語やディベートの実力を知ることが出来た。	空欄	空欄	空欄	空欄		一戦目は負けちゃいましたが、その反省を生かして次の2戦目は勝つので、すごくうれしかったです。これからも続けていきたいです。
249	It was a very well organized event and successful in bringing together many talented English speakers from around Japan.	Learning more about the intricacies of debating and how students can be helped to become better debaters was very insightful.	I would have liked to have seen topics more targeted at high school students.	very interesting and timely.	空欄	空欄	It was difficult to hear speakers during the round to 6 in rounds. Perhaps limit to 4 groups per speaker?	Have you considered having smaller local debate competitions between schools in prefectures? Similar to the summer baseball tournament.
250	試合を重ねることによって自分の成長を感じることができたから。他校の議論を聞いて感じた点を得ることができたから。	ディベート能力や英語力についての劣等感を持つことができ、これから勉強する上で原動力となると思うよ。	空欄	参考になった。	空欄	空欄		空欄
251	負けでも楽しめる要素がある。	15分プレゼンする力、深く考える力が変わるよ。	空欄	興味深かった。ディベートで追及されるようなimpなどについて触れられていいこともあった。	空欄	空欄		面白かった
252	パラランタールから面白い話が要求されるため、自分の脳を最大限に使って楽しくディベートできたから。	自分にとって最後のディベート大会(活動)だったので、最後に楽しく終われたこと。	空欄	世界的に活躍している方々から専門的かつ繊密な意見を聞けて良かった。	「東京大学」という開催地の方が興奮するから(ネームバリュー)	空欄		非常に輝かしい、ハイレベルなディベートだった。
253	勝敗だけではなく、多くの学びがある。論議も考えさせられるので、今後ともディベートが大好きになる。	ジャッジの経験が出来たこと。音段、落ちついてなかなかできないので、今後ともディベートが大好きになる。	空欄	理系女子の論議は男子生徒にとってとても難しかったけど、音段いかにそのようことを考えてないか、改めて気づかされた。	とても良かった。昨年参加した生徒はキーノートレクチャーが聞けたので今年も来たと言っています。負けちゃったチームにとっても、2日自來る意義も変えられる。	東大志望の生徒はもちろん、そうでない生徒にとっても来るための大きなモチベーションになる。		・全体としてとてもスムーズな運営で良かった。
254	上田染谷や長野県外の高校の活躍を見たので	ジャッジの実践ができたこと。	空欄	民治禁止はevil不利では？都市集市中	こういうargumentができたのか、と勉強になりました。	空欄		空欄
255	他校の方とも仲良くなれたし、自分の課題を見つかることができた。	即興で文を考えることができた点。	空欄	2年生と理系女子が難しかったです。	専門家の貴重なお話を聞くことができてよかったです。	空欄		遠い県の学校の方とも対戦できてよかったです。自分がどうやって考えをまとめたらいかが考えをまっけにけになってよかったです。貴重な経験をありがとうございました。
256	審判が熱心だったので	ジャッジの仕方について勉強になりました。	空欄	空欄	よかったです	空欄		空欄
257	自分が提示した内容、反論などからジャッジによってわかりやすい評価を聞くことができたため。	全国レベルのディベートの質、予選・決勝で直に体感できるところ。	空欄	特にありません。	予備知識として知っておくべき要素が多数含まれているので参考になった。	空欄	Oppositionチームについて、会場での移動がもう少し便利になるといいと思う。	空欄
258	楽しんでディベートができたから。	相手と話し合える力がついた。主張を考える時、どのように論理立てすればよいか学べたこと。また、音段問題について考える機会がなかなかないので、英語ディベートはそのような機会がたまたま、全国の子のディベートを聞けたこと。	空欄	とても参考になりました。これからも続けてほしい。	会場はどこでもよいが、階層の移動に不公平がはくような場所を希望します。	空欄	1県につき1校(北海道、東京は2)を各地区大会で選抜する。(甲子園方式)	英語ディベート自体はやっていて楽しかったが以上にかいたとおり改善点や少し不満に感じた点がありました。来年は3年生になりますがまた機会があれば参加したいです。
259	ディベート実践を通して、それをやる事自体がまず楽しそうであつたし、今後の各自の課題も見つかったと思えます。	全国のハイレベルな高校生の思考英語力を知れて生徒も私もとても良い刺激になりました。	空欄	もっとお話を聞きたかったです。(10minでは本当にさっとしか聞けなかった)	地方学生にとっては有名大学という場所に来るだけでも価値があると思うので。	空欄		生徒も私もとても良い機会になりました。開催にあつたご苦労もあつたと思いますが、是非今後続けてほしいです。ありがとうございました。
260	ジャッジのコメントが具体的に今後の目標になった。	1、今後の具体的な目標を持つこと	空欄	短い時間をとても有効に活用していたと思います。	空欄	空欄		中川さんをはじめスタッフの方々へ大変お世話になりました。今回学んだことをもとに、まだ少数の生徒ではありますが、今後学校そして県の核として活躍する人材を育成して感謝していきたいと思えます。
261	今回の大会は初出場だったが全国のひととディベートができ、上位レベルのディベートも経験することができたので勉強になった。またさまざまな議論を聞くことができたこと。	自分の弱点を知ることができた。全国のレベルを知ることができた。ハイレベルなディベートを経験することができた。	空欄	短時間で分かりやすまとめられていたので簡単に理解することができた。	交通の便が良いから行きやすい。	空欄		様々な地域の人とディベートすることによって様々な視点を知ることができ私にとっでとても良い経験でした。
262	全国の考えの違う人々とのディベートやその後の交流によって1つの物事に対して新たな角度から見る事ができるようなった機会がたまたまあったから	今までは自分の弱点・欠点がぼんやりとしていたけれど何が物事に対して新たな角度から見る事ができるようなった機会がたまたまあったから	空欄	時事問題を含めた論議のおかげでとても興味深かった。	空欄	空欄		空欄



文部科学省・外務省後援

第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート

世界交流大会 報告書

一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：

2019年1月18日（金）、19日（土）、20日（日）

会場：

ホテル日航関西空港 関西空港会議場

〒549-0001 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地

TEL: (81) 72-455-1111

主催：	一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
共催：	JST 未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域「知」 の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン」プ ログラム
助成：	一般社団法人東京倶楽部、公益財団法人 日本財団、公益財 団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、 一般社団法人日本英語交流連盟、大阪府立大学

参加校とディベートチーム：18 チーム（日本 6 チーム、海外 12 チーム）

日本 福井県立藤島高校
日本 渋谷教育学園渋谷高等学校
日本 翔凛高等学校
日本 大阪府立北野高等学校
日本 山口県立山口高等学校
日本 沖縄県立球陽高等学校

フィリピン Timber City Academy
Caraga Regional Science High School

韓国 Busanjangsan High School

カンボジア Abundant Life International School

モンゴル Hobby School of Ulaanbaatar' s

マレーシア Lodge National Secondary School

ニュージーランド、マレーシア 清教学園

アメリカ、南アフリカ、ルーマニア UMCA

スウェーデン (Swing A)

イギリス、アメリカ (Swing B)

ロシア、インドネシア、マレーシア (Swing C)

メキシコ、チリ (Swing D)



大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。本大会は、パラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。ディベートの日頃の練習成果を世界の舞台上で試すだけでなく、ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。キーノートスピーチなど専門の講演も取り入れ、最新の現場で活躍できる人材育成も目指しております。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選 1 : Anonymous writing on the Internet should be prohibited.

インターネット上の匿名の書き込みは禁止されるべきである。

予選 2 : As a form of welfare for the poor, providing basic goods and services (e. g. food stamp, job training and so on) is better than providing cash.

貧困層への社会保障として、生活最低限のものやサービス（例えばフードスタンプや職業訓練など）の支給は現金支給よりもよい。

予選 3 : In aging societies, the young should be given more votes.

高齢化社会において、若者はより多くの票をもつべきである。

準々決勝 : Exclusive schools for LGBT should be established.

LGBT のための学校は創立されるべきである。

準決勝 : Private ownership of guns should be prohibited in United States.

アメリカにおける銃の個人所有は禁止されるべきである。

決勝 : Parents/educators should encourage children to choose start-up rather than traditional path.

親または教育者は伝統的なキャリアパスよりもスタートアップを選択するように子供に勧めるべきである。

Context Slide: When children pursue their future career in business world, parents and educators currently tend to promote the traditional path (i.e. employee in a company.)

背景説明 : 子供たちが将来のキャリアとしてビジネス界を考えている場合、親や教育者は（企業に雇用されるなどの）伝統的なキャリアパスを子供に勧めるという傾向が現状ではみられる。

キーノートスピーチ講師

KHAN ジャパン（カームジャパン）株式会社 代表取締役
宮松寛有（みやまつ ひろくに）氏



1 日目（開会式、Mix Debate、カルチャーナイト）

海外 15 ヶ国から 12 チーム、日本からは 6 校が参加しました。第 4 回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会がいよいよ始まり、開会式ではディベート推進委員の北田から挨拶と各国のチーム紹介、チーフジャッジの綾部からルールの確認がありました。



1 日目は Mix Debate です。各国からランダムに選ばれたグループ内で、初めて会う様々なバックグラウンドを持つ人々と、ディベートを通して繋がっていきます。論題は「Long distance relationship is better than short distance relationship. 遠距離における人間関係は短距離における人間関係よりも良い」と「Elementary schools should put students into classes according to their academic ability from the early stage of education, 初等教育において小学校は生徒を学力によってクラス分けすべきである」の 2 つでした。普段ディベートする仲間と離れ、普段とは違った形で議論を作り上げていくことは生徒たちにとって刺激的であったようです。

日本人の生徒に聞いたところ、「準備時間に互いに理解しつつ進めなければならないので大変だったが、論題を通じて各国の実際の状況や雰囲気を知れたので、すごく勉強になった。」と笑顔で語りました。





カルチャーナイト（文化紹介交流）では、各々が各国の伝統衣装を身にまといました。また、文化パフォーマンスが行われ、国家の紹介や自国の綺麗な景色や伝統的な文化などを紹介しました。



中には空手の演武やフィリピンの伝統的な民族舞踊を披露したりするチームもあり、会場はとても盛り上がりました。



2日目（予選、レクリエーション、バンケット）

2日目、いよいよ予選が始まりました。Mix Debate とはまた違った空気感の中、各国チームに分かれて真剣な議論が繰り広げられます。積極的に POI が行われ、議論を深める姿勢が多くみられました。



予選後はレクリエーションの時間です。ここではこの後のバンケットに行われる社交ダンスの練習会がありました。リラックスした空気ですら互いに言葉を交わしあうことで、ディベートとはまた違う楽しさを感じたようです。



休憩をはさみ、バンケットが行われました。

始めに、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）です。明日の本選に出場するチームが発表されました（結果は下記に示した通りです）。

その後、講師のマイケルさんをお呼びして、社交ダンスが行われました。出身にかかわらず言葉を交わしあい、笑顔でダンスを楽しむ姿が印象的でした。すっかり打ち解けた生徒たちは、その後フリートークや写真撮影で交流をさらに深めていました。



予選結果

- 1位 フィリピンB (Timber City Academy)
- 2位 フィリピンA (Caraga Regional Science High School)
- 3位 モンゴル (Hobby School of Ulaanbaatar' s)
- 4位 イギリス & アメリカ (Swing B)*
- 5位 韓国 (Busanjangsan High School)
- 6位 福井県立藤島高等学校
- 7位 スウェーデン (Swing A)*
- 8位 ニュージーランド & マレーシア (清教学園) *
- 9位 メキシコ & チリ (Swing D)*
- 10位 翔凜高等学校
- 11位 渋谷教育学園渋谷高等学校
- 12位 カンボジア (Abundant Life International School)

3日目（準々決勝、準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

3日目は準々決勝からです。予選を勝ち抜いたチームが真剣な議論を繰り広げました。また、予選敗退してしまったチームも積極的に意見を交換し合う様子が見られました。



小休憩の後、準決勝が行われました（藤島高等学校 VS フィリピンB, 渋谷教育学園渋谷高等学校 VS モンゴル）。舞台の上を用意されたテーブルにつき、堂々としたスピーチが行われました。



決勝の前に、キーノートスピーカー、宮松 寛有氏（KHAM ジャパン株式会社 代表取締役）のご登壇があり、ビジネスのスタートアップ、IoT、イノベーションの重要性についてご講演いただきました。



キーノートスピーチの後はいよいよ決勝（渋谷教育学園渋谷高等学校 対 藤島高等学校）です。ジャッジは各国の代表の先生たちに加え、特別審査員としてキーノートスピーカーの宮松氏を迎えての審査となりました。心地よい緊張感の中、3日間ディベートを共にし、勝ち上がってきたチームのスピーチを生徒たちは真剣な眼差しで見つめていました。そして優勝者は渋谷教育学園渋谷高等学校でした。



閉会式では表彰式とチーフジャッジの綾部から「異なる文化の人々とディベートを通して交流すること、友人を作ることが非常に重要。参加者全員がそれを達成できたと思う。これからもこの繋がりを大切にしてください」と総括がありました。参加者はスタンディングオベーションでお互いの健闘をたたえ合いました。



会場となったホテル日航関西空港も、世界交流大会にふさわしい素晴らしい環境を提供してくださいました。大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会結果

チーム賞

優勝： 渋谷教育学園渋谷高等学校

準優勝： 福井県立藤島高等学校

準決勝出場チーム： モンゴル、フィリピン B

準々決勝出場チーム： カンボジア、フィリピン A、翔凜高校、韓国

個人賞

ベストディベーター賞

- 第1位 [REDACTED] (フィリピン B - Timber City Academy)
- 第2位 [REDACTED] (翔凜高校)
- 第2位 [REDACTED] (メキシコ、チリ - Swing D)
- 第2位 [REDACTED] (イギリス、アメリカ - Swing B)
- 第2位 [REDACTED] (フィリピン B - Timber City Academy)
- 第7位 [REDACTED] (山口高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (北野高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (渋谷教育学園渋谷高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (藤島高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (藤島高等学校)
- 第7位 [REDACTED] (アメリカ、南アフリカ、ルーマニア - YMCA)
- 第7位 [REDACTED] (スウェーデン - Swing A)
- 第7位 [REDACTED] (スウェーデン - Swing A)
- 第7位 [REDACTED] (マレーシア - Lodge National Secondary School)
- 第7位 [REDACTED] (モンゴル - Hobby School of Ulaanbaatar' s)
- 第7位 [REDACTED] (カンボジア - Abundant Life International School)
- 第7位 [REDACTED] (フィリピン B - Timber City Academy)
- 第7位 [REDACTED] (韓国 - Busanjangsan High School)
- 第7位 [REDACTED] (韓国 - Busanjangsan High School)

POI 賞

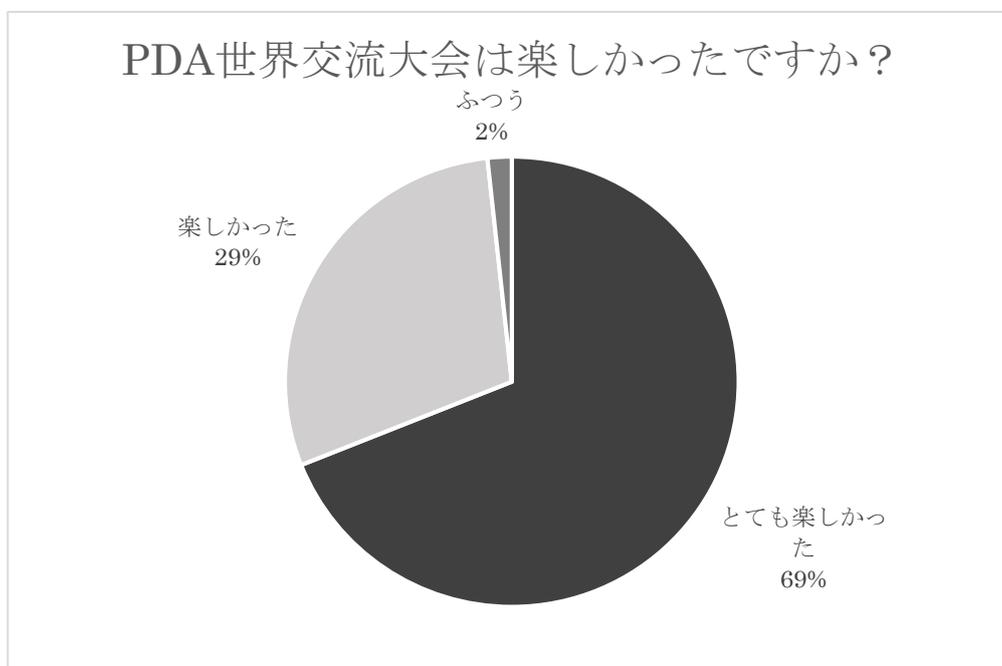
- [REDACTED] (渋谷教育学園渋谷高等学校)
- [REDACTED] (アメリカ、南アフリカ、ルーマニア - YMCA)
- [REDACTED] (マレーシア - Lodge National Secondary School)

- (球陽高等学校)
- (北野高等学校)
- (フィリピン A - Caraga Regional Science High School)
- (藤島高等学校)
- (藤島高等学校)
- (ニュージーランド、マレーシア - 清教学園)
- (ロシア、インドネシア、マレーシア - Swing C)
- (イギリス、アメリカ - Swing B)
- (モンゴル - Hobby School of Ulaanbaatar' s)
- (フィリピン B - Timber City Academy)
- (フィリピン B - Timber City Academy)
- (韓国 - Busanjangsan High School)

文化賞

フィリピン B (Timber City Academy)

第4回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会 アンケート結果と感想



アンケート結果

世界交流大会の感想（抜粋）

- 「すべてのイベントが楽しかったし、自分が無知なことを知れた。また、外国の人としゃべれたことが今まであまりなくて、新鮮ですごく楽しかった。」（日本）
- 「ディベートを通して他の国のディベーターと交流することで様々な国について学ぶことができた。」（マレーシア）
- 「日本とは異なる価値観・考え方をディベートを通してダイレクトに知ることができました。日本で学校生活を送るだけでは得られない体験で楽しかったです。」（日本）
- 「ディベートのトピックがまさに今世界中で起こっている出来事に関してで興味深かった。」（カンボジア）
- 「ディベートの試合がとても面白かった。PDAWCに参加するのはこれが初めてだったがとても素晴らしかったし、世界中の高校生と会えたのもいい経験になった。」（インドネシア）
- 「海外の人もいる中でディベートをするのはお互いのアイデアなどをシェアしたり交換したりするととてもいい機会になった。」（フィリピン）

世界交流大会に参加して最もよかった点（役に立った点） に関しては：

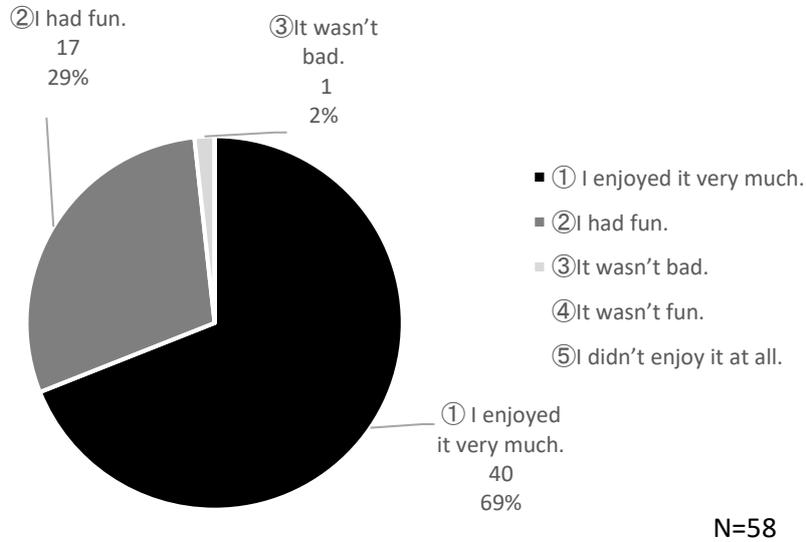
- 「ダンスパーティーやディベート後の会話を通して外国の人とコミュニケーションを買
わせたこと。」（日本）
- 「カルチャーナイトはとても意義深いと思った。カルチャーナイトを通して様々な国
のことを学ぶことができた。」（韓国）
- 「トーナメントとミックスディベート。意思疎通が難しく、自分の英語力の不足を実
感しましたが、外国の方と交流ができて楽しかったです。」（日本）
- 「カルチャーナイトが面白かった。お互いの国のことをより深く知ることができたこ
とも嬉しかったし、自分たちの文化について興味を持ってもらえたこともとても嬉し
かった。」（日本）
- 「PDAWC に参加してみて一番おもしろかったなと感じたのはミックスディベートでし
た。お互いに学びあったり経験を共有したりするととても素晴らしい時間となりました。」
（カンボジア）



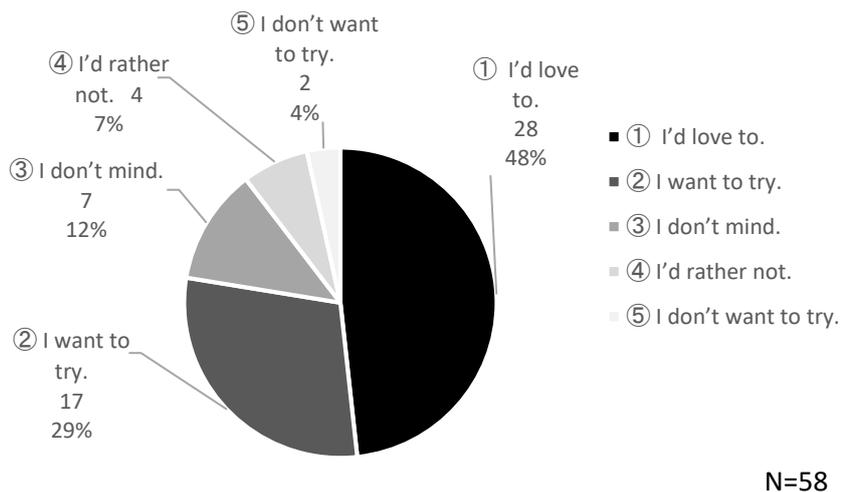
集合写真

**The 4th High School Parliamentary Debate World Congress 2019
January 18 to 20, 2019**

2. Did you enjoy participating in the PDA World congress?



6. We are currently designing an online remote debate system. Would you like to try participating in the online debate with other schools in remote locations?



ID	Q3 Please tell us the reason why you marked the item on Question 2.	Q4 What was the most satisfying aspect of participating in the PDAWC? Which part of the event was the most meaningful to you?	Q5 How did you like the keynote speeches?	Q7 If applicable, please let us know of areas of improvement and requests regarding the PDAWC.	Q8 Please use the space below to express your honest impressions on PDAWC.
1	Through the debate rounds, we interacted a lot with debaters from other countries and learnt a lot about their country of origin.	The cross-country debate rounds.	It was very interesting. Start-up companies is indeed the way of future business models.	It is already very good.	It was very well-organized with the debaters given the chance to debate, as well as to interact through casual talking.
2	The topics are up to date with the current events happening around the world. There were also a diversity of students group. The staff are very helpful and friendly.	Participating exposes me to the perspective of today's youth from different culture. The debate rounds are the most meaningful to me.	The speech brought us into seeing what is developing in term of business and technology. It was very informing.	It was a great competition. However, I have noticed that there were some debates that only had one judge. It would be great in the future to ensure that each debate has at least two judges to ensure and increase the reliability of the scoring. Overall, I am very satisfied and have really enjoyed the competition.	A fun, competitive and informing it was. Thank you!
3	Debate rounds is very interesting. It's my first time join this event. And its very amazing can meet the high school students around the world.	The debate round, I think. And also the interaction with other participant.	The keynote speeches is very interesting. But it will be more interesting if the speaker can explore more his historical background and told us his struggling for build the start up.	Because of the PDAWC consists of the students around the world and multi cultural event multi religion, the committee should pay attention more about the Food. Especially for Moslem Meal/Halal Foods. Its very said because there is student for Malaysia eat food contained of alcohol yesterday.	Thank you very much for all the stakeholder who contribute to make this event successful. Especially thank to Miki who already arrange all the accommodation for us from the Kyusyu University. Hopefully it will be better and can participate this event again.
4	The debates is such interesting activity where different debates around the world exchange brilliant ideas on issues and topics.	Being an adjudicator is such an honor and opportunity to learn.	The keynote speech is very timely.	Congratulations! Keep it up.	Please continue to invite us in the next PDA HS debate tournament. We wish to join next year or in the future.
5	全てのイベントが楽しかったし、自分が無知なことを知れたから。また、外国の人としゃべれたことが今まであまりなくて、新鮮ですごく楽しかったから。	ダンスパーティーやディベート後の会話を通して外国の人とコミュニケーションを交わせたこと。		イベント自体は楽しかったが、だんだんグダグダになっていったのが少し残念だった。	
6	Interacting with others was a real fun to me. I've got a chance to talk, debate with a lot of people.	Culture night was most meaningful, since I got to learn a lot of culture and got to enjoy other's culture too.	It was interesting for me to learn about start-ups.	For the Judgment. I feel there should be three not two since two judges can have a separated decision.	It was a great chance to experience this kind of worldwide debate. Thank you for having us a chance.
7	日本と異なる価値観、考え方をディベートを通してダイレクトに知ることができました。日本で学校生活を送るだけでは得られない体験で楽しかったです。	トーナメント、Mix debate 意思疎通が難しく、自分の英語力の不足を実感しましたが、外国の方と交流ができてたのしかったです。	motionをばらさなよう細心の注意を払っているかんじなので、Final のMotionと関係ないものにしても良いと思います。		
8	I can interact with many countries people. And exchange each opinion.	Culture night. I could understand other countries more. And we made foreigner be interested in our culture.(興味をもってもらえた)		We (Japanese) want to debate with foreigners more. So, I want you to avoid debating such as JP vs JP.	I was surprised that they speak English as if their native language is English. So I realized I have to improve my English skills more. It is good opportunity to practice English.
9	I had lots of fun mostly because I got to meet many people from different places and learn about each other. I'm very happy to be able to attend this tournament because it ●●shows how many diverse culture can come together as one.	My most satisfying aspect of participating in the PDAWC would be the mixed debate. It was a great opportunity to learn from each other and have experiences through it as well.	The keynote speeches was very detailed and I was able to learn some new information in different fields.		
10	debate rounds	Debate with foreign countries. I could know the differences between Japan and other countries. I really surprised.	Little difficult to listen and see the screen.		I enjoyed a lot. However, I thought that the number of student was smaller than I thought. Thank you for preparing such a great
11	Debates were fun and interesting	competing with native speakers	It was interesting		

ID	Q3 Please tell us the reason why you marked the item on Question 2.	Q4 What was the most satisfying aspect of participating in the PDAWC? Which part of the event was the most meaningful to you?	Q5 How did you like the keynote speeches?	Q7 If applicable, please let us know of areas of improvement and requests regarding the PDAWC.	Q8 Please use the space below to express your honest impressions on PDAWC.
12	Students who went on to the finals did a very excellent job and I was really amazed at their fluency of their speeches	I only joined the 3rd day afternoon program	I enjoyed it very much, but it was a little difficult for high school students, who I think have never thought about starting new businesses.		I am very happy and surprised that so many students in Japan are interested in Parliamentary Debate and do a very good job in their speeches.
13	Good interactions among debaters from all over the world.	Sharing of views	It was fabulous	Communicate of the workshop schedule at an earlier possible time	First time participants. Generally, I feel it is pretty organized.
14	debating was fun	being able to debate for three days	It was interesting since I had no idea or knowledge about the topic		
15	I would communicate with other countries students.	culture night.	It was exciting.		
16	Everything was good, but there is another program like sight-seeing after debating	I found that our school student did their best during debating. And they looked like enjoying this event.	It was a good topic related to these days issues.	I think that a lot of judge were assigned during debating between Japanese team and other country's. I know there are less judge from other countries, so you have a	I appreciate the whole members who are in charge of the PDAWC. They really tried to make us comfortable and treat us kindly and friendly.
17	Interacting with people from different nations was a fun experience.	Getting to learn about deferent cultures and seeing how they think was very meaningful.	It was interesting to learn about startups.	More fair judgement, if possible, is needed. More international judges from different backgrounds, more power for the panels, and a public scoring sheets are	It was a valuable experience to have.
18	Sometimes it was difficult to get a wholesome interaction with other students, but overall it was really fun, plus the staff's quality of service was awesome.	The passion bout debating was something really	Really useful, specially for us swing member that were not accustomed to the forms of the debate.	Maybe it would be good to deliver information earlier for other participants. We, barely had some understandings of the event by 3 days before.	Even though I had a lot of work to do, I'm still grateful to have been given the opportunity to participate in PDAWC. Thank you all!
19	I haven't debated since high school so I was reminded of how fun it is.	Meeting young people from all over east and south East Asia and being impressed & inspired by their ability	It was informative.		I think it is an amazing initiative to promote cultural exchange and communication, voicing of opinions.
20	A few debate motion were not very interesting, lacking time management.	The night of culture.	Interesting.		It was really interesting. I got new experiences and friends. Thanks to PDAWC.
21	A lot of friendly and helpful staff member, and very fun motions	Amazing debate motions	Very informative and educational	It would be great to have an adjudication test to decide the position of the adjudicators and ensure reliability of the decision.	I'm very happy
22	Debate rounds ● interaction with other schools.	I thought the debaters were awesome (mixed ones, mostly).	The keynote speech was pretty interesting.	Better questions, mainly. Also, grad students shouldn't really be able to participate, I think.	Was a great experience, especially for the high school students.
23	I could really enjoyed myself as a judge.	In addition, staff members collaborated each other to organize this PDAWC. It's one of the precious occasions for me.	I'm sorry. I wasn't there.	世界からの参加者からのcomplaintsの中に、ルールを知らされたのが直近で、ほとんど練習なしにこの大会に出て、不利だと、ジャッジの一人にこぼしていました。Best debatersといえどひとつの位に10人以上居るとその重みが減るからというマイナス点と、教育的で多くの生徒がみとめられる、というのがある。(もちろん各国の規程があるので難しいが競技性はうすらぐし、高校生自身も、有難みがうすれるのともえなかった生徒の数も、もらえた生徒の、2/3~3/5いるかなあ? ★PDAジャッジの得点は紙をわたされるだけなのでジャッジにとっても、大変大きなバラつきができると思う。このジャッジへのプリーフィングや、ワークショップをこれからどうするのか、と思っている。けれどこのことはPDAのこれからの方向性を大きく変えていくことかなあと感じた。(ラウンドで負けたほうの得点がひくくなる傾向があるので、負けた中に、ほんとに上手なディベーターがいるとき、その人物を正當に評価できるかな…と)	At first, there were a lot of participants over the world as well as inside Japan. However, recently, peghole have been decreasing in member. On the other hand PDWC(?) has an increasing member of participants. I don't know why? Several debating union/societies come to have influence over the high school debating level!

ID	Q3 Please tell us the reason why you marked the item on Question 2.	Q4 What was the most satisfying aspect of participating in the PDAWC? Which part of the event was the most meaningful to you?	Q5 How did you like the keynote speeches?	Q7 If applicable, please let us know of areas of improvement and requests regarding the PDAWC.	Q8 Please use the space below to express your honest impressions on PDAWC.
24	The diversity of the debate tournament could be better. Too many Japanese schools. Try to draw teams from another countries.	The fact that it happens in Japan.	Could be done in interesting way	The motions could be a little more technical and complicated.	Could have been more teams in This tournament.
25	It was an amazing opportunity to debate with people from foreign countries.	Debate Rounds: everyone had different perspectives.	It was great that I could know more about technology that I was interested in.	I don't think there's no need for limiting the number of students that has lived abroad only for Japanese teams. Judges should take notes when the debaters are giving speech.	
26	The students and staffs are so friendly. The Debate was so engaging and fun.	Meeting new people, experiencing different debate motion, having fun with amazing people from different background.	It gave us new experiences.	The debate motion should not be biased.	It was a fun and engaging competition.
27	Debates were really enjoyable, event as a whole was great.	Debates. And breakfast.	Inspiring.	PLEASE have vegan options. My dinner consisted of salad only.	It was great! Would looove to join next year.
28	It's fun to participate with younger generation in active discussions.	The debates themselves.	Very inspiring and interesting what the speaker had to say.	Include vegan, vegetarian and halal dishes.	
29	I learned a lot, met a lot of very impressive young people, and had a lot of fun. All aspects f the event were great and well-organized	My favorite parts were the debate rounds on day 2. That's where I learned a lot and met many interesting people.	interesting and informative	More vegetarian food options would be nice.	I had more fun than I expected, learned a lot and was very impressed by the event and the participants.
30	It was nice to talk to the high schoolers, and the debates were	The debates themselves were very satisfying.	They were nice.	Maybe try to keep to the time schedule better.	I had a lot of fun, and I'm happy that I participated.
31	The event was very well run, the hotel is very nice and it was fun to try something new and debate.	Interacting with and seeing the level of English of the Japanese teams.	They were interesting; the speech about technology made me think about technology start-ups as less difficult than I previously thought.	Communicating more ●● to the students hens swing teams were at the event and how they function in the tournament from the start of the event or beforehand.	It was a well run event with a surprising number of international teams; I had a good time.
32	It was first time debating. I think it was wonderful opportunity for us the we experienced debating with high level people.	I think the mix debate was most meaningful experience and beginning for me.	It made me to realize that there are some important thing that we should focus on.	I felt that I want to listen to the judges opinion directly as well. It would be wonderful to hear judges opinion right after the debate.	I think it was a wonderful opportunity for me to experience high level debate in this such pressured situation.
33	Its just simply amazing	meeting new people with great	Inspiring.	Debaters should be able to rate the adjudicators.	LOVE IT. MARAMING SALAMAT MABURAAAY!!!
34	Because Japan → I love everything in Japan arigatogozaimasu^_^	getting to semi's ● culture night	cool	Umm ... nothing it was really good	LOVE IT. MABUHAY PDAWC! -Philippines.
35	It was pretty amazing and I learned a lot especially on adopting to new rules and other cultures.	The debating part.	It was okay.	If possible; I think its better to have debates in separate rooms because it was quite noisy debating in the same room. If possible there can be also official personal for chair adjudicators to provide equality and fairness and have the other adj. to be panel.	Overall it was a superb experience; if given the opportunity we are more than willing to join again to the following years.
36	The format and the other teams made this competition a great experience.	Having good debates with interesting topics with little time to prepare.	It was informational.	All debating in the same room could be changed.	The way it was held was great. But too many swing teams.
37	The debate motions were strange, but unique. The interaction with other, international students were enjoyable.	Perhaps, no more POIs in the reply speeches.	Enjoyed it very much. Maybe the debate ●● were a little strange.		
38	The tournaments was ran very smoothly.	Interacting with judges and teams was most meaningful. Mixed debates were interesting.	It was a bit difficult to follow.	More debate rounds and less social events might improve the PDAWC.	The tournament was run very smoothly. I'd like to see more high school international teams, if possible.

ID	Q3 Please tell us the reason why you marked the item on Question 2.	Q4 What was the most satisfying aspect of participating in the PDAWC? Which part of the event was the most meaningful to you?	Q5 How did you like the keynote speeches?	Q7 If applicable, please let us know of areas of improvement and requests regarding the PDAWC.	Q8 Please use the space below to express your honest impressions on PDAWC.
39	Enjoyed interaction of other teams and debate is always fun.	I enjoyed the Quarter Final debate of Philippines.	The topic of IOT was timely + interesting.	Judges were something very difficult to understand. Speaker points seem meaningless to best debater raking, and benefits teams in lower-level matchups.	国内大会で帰国縛りをつけて、そこから国際大会でやるのは国内チームが少し大変な気がします。楽しかったです！モーションがとても良かったです
40	Because we rarely debate with ppl from abroad, it was so good opportunity for me.	Debating!	I could deepen my knowledge on IOT.	様々な国の方にジャッジをしていただいたのはとても貴重な機会でしたが、ディベーターとジャッジの方の国籍が被らないようにしていただけたらもっと良かったと思います！	楽しかったです！
41	I have not debated prior to this event, I learned so many skills and strategies within 3 days. My knowledge and opinions expanded due to the collaboration with people from different countries with individual beliefs.	Being able to attend debates for the first time and working with other students from different schools left the biggest impact. My goal was not to win but to do my best, learn about debating and have fun.	The speeches were very factual. Describing and companying IOT in different countries helped me understand our society's development and technological advancement.	Some of the motions weren't as good as the others or they are difficult to debate about such as the motion "Long distance relationships are better than short distance relationships".	Overall, it was a unique experience that taught me so much. Communicating and expressing my thoughts and beliefs really helped boost my confidence and capabilities with debating.
42	I gained more friends from different countries and it helped me improve debate.	It was the mixed debate rounds.	It was very informative.	Everything was okay.	It was a great experience and I had a lot of fun.
43	The events organized were different and fun. The staff were very friendly and the food served was exceptional.	I enjoyed the mixed debate rounds.	It was very informative.		It was better than I expected. The friendliness of the staff and the debaters from the other countries was what made this event special.
44	This was a new experience for me & my students from the format to learning the unique perspectives of Japanese students and students from other countries. The staff was also	The chance to experience an entirely new debate format and also getting to hear, the perspectives & feedback given by fellow adjudicators.	The keynote speech was very timely, but could have touched upon the challenges a bit more.	No POIs for 3rd/reply speakers or give them an extra 1 minute.	The fact that we all were expected to debate in the same room and at the same time came as a surprise and a welcome challenge- the students learned how to make speeches in noisy environments.
45	Valuable experiences for judges	Students stimulates them each other.	Interesting	Tell information more smoothly	
46	the topic of the debate and it's contents was overall extremely satisfactory, and getting to know foreign schools and students were fun too. The stay was also excellent.	Debating on the run, developing and enhancing arguments stimulated the process of logical thinking and savviness.	It was very informal and was a great help for understanding the final round's topic.		
47	I was able to debate/interact with debaters from many countries.	Mix debate → It was difficult to communicate/debate as a team with people from other countries but I got to know new perspectives and it was very fun.			
48	Debating was very exciting because I got a lot of new views of global issues through debating.	Debating watch on the 2nd day!	Interesting speech! I wanted to see PowerPoint slide more.		Firstly I was confused because of time management. But it was also culture difference and I enjoyed it! I could get different idea from various regions, and I had a wonderful time!
49	I could feel how I progressed from the last competition. The interaction was so inspirable, talked about not only English but also things studying now.	I could use English, not literal meanings. In general school life I can't use because everyone is Japanese, but I could use English and the opponent answered in English.	I wanted to know more about technology or I want time or chance to talk with speaker personally.		It's the experiences that I can't have with normal means, so I'm grateful for PDAWC and the greatest is I'm a man that get more benefit for the future, because I'm 1st grade students, can widespread my experience, debate techniques.
50	Because I could know many countries thoughts and I could also make friends.	Mix debate	It was very useful and I could learn a lot of things.	none	
51	Communication with foreigners!	Could proceed to the final.			

ID	Q3 Please tell us the reason why you marked the item on Question 2.	Q4 What was the most satisfying aspect of participating in the PDAWC? Which part of the event was the most meaningful to you?	Q5 How did you like the keynote speeches?	Q7 If applicable, please let us know of areas of improvement and requests regarding the PDAWC.	Q8 Please use the space below to express your honest impressions on PDAWC.
52	I could talk with many people from different areas!	Debate rounds are. Native English is very fluently and fast, so I had difficulty to listen to their English completely, but I tried very much!	It's very interesting for me.	We lose in the first round, but I wanted to debate more on the last day.	Thank you very much for giving us such nice three days!
53	Culture night やDance Lessonも含めどのメニューもとても充実していて楽しかったです。スタッフの方には大変お世話になりました。	他校の生徒や他国の生徒とディベートやアクティビティを通してたくさん交流できたことです。	正直もう少し詳しい情報を聞いてみたかったです。	もし可能なら大会についての詳しい情報(どういった参加国があるのかやホテルの部屋割りなど)が前もってわかると嬉しいです。	とても楽しく貴重な経験をさせてもらう事ができずばらしい大会だったと思います。ありがとうございます。
54	Everyone was very kind to me and I could feel the higher level abilities of English a lot.	The interaction with other countries by using English.	His explanations is easy for me to understand.		I think we can connect with anyone in the world, using English.
55	It was very good opportunity to talk to teachers who are from foreign countries. And watching debate (world level) was also good.	As I mentioned, watching high level debates were the best thing.		If possible, please be punctual, as scheduled.	Thank you very much for having us! It was so good experience for students, also for teachers.
56	Interacting with other groups was very fun. Because they were all friendly!	dancing practice		I could interact with boys in dance party, however, I couldn't talk with girls, so I hope you'll make a program that we can interact with all students more!	This is wonderful competition! I enjoyed all of the programs! And the music during breaking time was very good.
57	Everything was awesome	Breakfast	I liked it very much	Back in the Philippines, debaters get to rate the judges because we think that it is also important for their improvement.	THE BEST. I DON'T WANNA GO HOME XD.
58	悪くない大会でした。	多くの国の人と交流ができたこと。	少々全体的に分かりにくい。	Swingが多い。	

平成 31 年 P D A 即興型英語ディベート宮崎交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年2月9日(土) 09:15-15:10

会場：宮崎県立宮崎北高等学校

参加校：4校(宮崎北、宮崎南、宮崎大宮、宮崎西)

参加者：生徒26名、教員8名

スタッフ：PDAスタッフ、九州大学、石橋由利江先生(福岡県立城南高等学校教諭)

助成 公益財団法人 日本財団 公益財団法人 KDDI 財団

開会式では、会場校である宮崎北高校の川越良一校長より、「英語の指導要領では、論理と表現が重要視されるようになってきています。その中のキーワードである「即興」ですが、即興で考えて話すというのはより日常でものを説明する状況に近いと思います。この機会を活かし、楽しく頑張ってください。」とエールが送られました。次に、PDA 推進委員長である大賀より、ルールや POI の確認があり、モデルディベートではスタッフがスピーチシートに沿った内容のディベートを披露しました。そして、ミックスディベートの対戦表が発表されました。



川越良一校長



POI の練習！

ミックスディベートでは、他校の生徒同士がランダムにチームを組みディベートを行いました。論題は、「**Homework should be abolished. (宿題は廃止すべきである。)**」でした。準備時間では、お互いの高校の宿題の状況について説明したり、今までの経験について語り合ったりしました。はじめは緊張していた様子だった生徒もディベートが始まると、堂々とスピーチすることができました。ディベートが終わると相手チームとも論題や部活動の話などを通して交流しました。



他校の生徒と一緒に準備



お互いの検討を称え握手

ミックスディベートが終わり、早速第 1 ラウンドのスタートです。お題は「**Communication between teachers and students on SNS should be banned.** (先生と生徒が SNS でつながることを禁止すべきだ。)」でした。日常的に SNS を使うことも多い生徒たちにとって身近な論題に、敬語が損なわれてしまう、情報漏洩のリスク、普段伝えられないことも伝えられるなど様々な視点から議論を行いました。ラウンドでは、今大会で初めて会った相手チームの高校に対して積極的に POI をするチームが多くあり、とても白熱した議論となりました。ジャッジからのフィードバックの際も熱心にメモをとるなど、次に活かそうとする姿勢がとてもよく見られました。



みんなの前で堂々とスピーチ



ディベートを通し仲も深まりました

続く第 2 ラウンドのお題は、「**We should prohibit the elderly from driving cars.** (高齢者の運転免許証の返納を義務化すべきである。)」でした。高齢社会である日本では日々議論されているテーマであり、生徒も自分が今まで見たニュースや体験を元に準備時間の議論を進めていきました。第 1 ラウンドでジャッジの先生から受けたフィードバックを活かしながら理由をつけることに意識をおいたり、重要性を説明することに注力したりすることができました。ラウンドでは、昨今の事故の件数や、高齢者が車が必要な背景などを元に議論を進めていきました。また、第 1 ラウンドよりも活発に POI をする生徒が多く見られました。



準備時間



質疑応答

生徒のエキシビジョンディベートでは、「**It is better for high schools to entrust cleaning to professional companies.** (高校は掃除を業者に委託すべきである。)」について、選出された代表 6 名が議論を交わしました。今大会で初めて会う他校の生徒と一緒にチームを組み、準備時間にはしっかりと意見交換をしました。準備時間には、PDA 推進委員の北田より、ジャッジレ

クチャーが行われ、エキシビジョンディベートを聴く生徒もフローシートを手にし、ジャッジにチャレンジする準備が整いました。ラウンドでは、学校生活の中における掃除の位置づけや、身につけられる責任感などについて議論が行われました。活発な POI や、聴衆にうったえかけるようなスピーチ、などが見られ、とても甲乙つけがたい素晴らしいディベートになりました。



会場の視線を浴びながら、堂々とスピーチ

閉会式では、学校として PDA の即興型英語ディベートを導入している福岡県立城南高等学校の石橋教諭より、「城南高校では、ディベートを授業の中でするようになり、英語の成績がぐんと上がりました。みなさんも今日楽しかったと思った人はぜひ学校で伝えてみてください。」とコメントをいただきました。



【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM 〃〃〃〃さん (宮崎北)

LO 〃〃〃〃さん (宮崎西)

MG 〃〃〃〃さん (宮崎大宮)

MO 〃〃〃〃さん (宮崎西)

PMR 〃〃〃〃さん (宮崎北)

LOR 〃〃〃〃さん (宮崎南)



〈チーム賞〉

1位：宮崎北B、2位：宮崎西A、3位：宮崎大宮



1位 宮崎北B

〈ベストディベータ賞〉

———— (宮崎大宮)、 ———— (宮崎西A)、 ———— (宮崎西B)、
———— (宮崎西B)、 ———— (宮崎北A)、 ———— (宮崎北B)、
———— (宮崎北C)



〈POI 賞〉

———— (宮崎大宮)、———— (宮崎西 B)、———— (宮崎南 B)



参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 今回の即興型ディベート交流大会を通して、普段あまり交流のない高校の方々とお互いの意見を交わしながら交流できて、お互いの英語力を発揮できる良い機会になりました。また、相手がどうすれば理解してくれるのか、どうすればわかりやすい文が作れるかなど考える思考力がためになりました。今後もこの経験を活かしていきたいと思います。【宮崎南】
- はじめは他校の人と対戦するのはすごく怖かったけれど、ディベートを通して仲良くなれたり、新しい単語を理解できたり、勝敗を決めるために相手の弱点をついたりするのがとてもよかったです。【宮崎南】
- とても面白かったです。正直、はじめは不安とわくわくとでいっぱいでしたが、始めるとわくわくしなくなり、自分のレベル、特に即興力や他人とのコミュニケーションの大切さがわかりました。どうやって相手の論を崩すか、例を具体的に、説得力、差を見せるなど多くのことを学びました。また大会にも出たいです。もっと学校同士の交流を増やしてください！【宮崎北】
- 今回、本当に即興で考えなければならず、非常に疲れました。でも、新しい考え方や表現力を身につけることができました。今後自分の英語力を鍛えるために日常会話で英語を積極的に使っていきたいと思いました。【宮崎北】
- 英語を実際に使って話すのが楽しかった。自分が思ってもなかった反論が出てくるのも面白かった。【宮崎大宮】
- まず、ディベートというものがどういうもので、どう論理的に考えていくか学ぶことができた。そして、英語を話す面でも理論を組み立てる面でも自分の至らなさを感じた。これを機に英語へより真剣に取り組みたい。【宮崎西】
- 他校生の論題に対する発想の持ち方が自分たちとは大きく異なり非常に面白かった。【宮崎西】
- 今回は2回目のディベート交流大会でした。今年は去年よりも少しボキャブラリーが増えていたので、聞き取れる単語も多くあり、内容も理解できました。でも、自分のボキャブラリーのなさを実感したのでがんばりたいです。【宮崎北】
- 今日ディベートが始まる前は意見が言えるかどうか本当に不安でした。けれど、みんなと協力しながら自分がどう伝えればジャッジや相手を納得させることができるかを考えて、とても充実したディベートをすることができました。【宮崎北】
- チームメイトと協力して論題に向かっていくゲームのような感じで取り組むことができとても楽しかったです。講師の先生方からの的確な総評や個人コメントがとてもわかりやすく、ラウンドごとに成長することができました。【宮崎西】
- 実際に来てみると思った以上に楽しくて良い経験になりました。【宮崎大宮】

2.46

平成 30 年度 P D A 東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019 年 2 月 16 日 (土) 13:30-17:00

会場：都立富士高等学校附属中学校

参加校：4 校 (富士、九段、両国、武蔵)

参加者：生徒 40 名、教員 14 名

スタッフ：PDA スタッフ、東京大学、慶應義塾大学、名古屋大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

本交流大会では各校サッカー部、卓球部、陸上部、茶道部所属など (英語部はいませんでした)、学年は 3 年生から 1 年生のチームまでいろんなバックグラウンドの生徒が不安と期待で会場に集まりました。開会式では、都立富士高等学校附属中学校の佐々木心哉副校長より開会宣言、上野勝敏総括校長から参加生徒へ「選抜を勝ち抜いてきた皆さんのディベートを楽しみにしています。」とエールが送られました。次に、PDA 推進委員長である大賀より、ルール of 復習、POI (質疑応答) の確認などが行われました。



上野勝俊総括校長よりご挨拶



元気よく POI !

第 1 ラウンドに入る前に他校の生徒とランダムでチームを組むミックスディベートが行われました。ミックスディベートのお題は「*Convenience stores should be closed late at night.* (コンビニの深夜営業は廃止されるべきだ。)」でした。準備時間は今日初めて会う生徒との準備に緊張した様子でしたが、ディベートが始まると POI をするテーブルが見られるなど活発な議論となりました。



ミックスディベートの準備時間



ミックスディベート ラウンド中



POI !



お互いの健闘を称え握手

ミックスディベートが終わると PDA 推進委員長の大賀より、「スピーチの冒頭に”Hello, everyone.”と言われたら”Hello.” と返しましょう。POI も活発なテーブルもありましたが次はもっとチャレンジしてみましょう。」とコメントがありました。

ミックスディベートが終わるといよいよ第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は、「*The Valentine's Day should be abolished.* (バレンタインデーをなくすべきである。)」でした。2 日前が 2 月 14 日バレンタインデーだったためか、自分たちの体験談を織り交ぜた準備が行われました。ディベートが始まると、食品ロスが生まれてしまうことや、ホワイトデーにお返しをしなければならず負担になっていること、ほかにも告白するきっかけになるなど様々な議論が行われました。また、ミックスディベートよりも活発な POI が見られ、聞き取れなかったポイントを確認したり、相手の痛いところをつくような質問をしたり、白熱したやりとりが見られました。



準備時間



聴衆の目を見て堂々とスピーチ



積極的に POI !

第1ラウンドが終わるとすぐさま第2ラウンドが始まりました。第2ラウンドのお題は、「***We should prohibit the elderly from driving cars.*** (高齢者の自動車運転を禁止すべきである。)」でした。高齢者の自動車運転による事故などの背景から、Government (肯定側) は事故のリスクについて、Opposition (否定側) は高齢者の自動車を運転する権利の必要性・重要性について議論しました。相手の立論を聞き、臨機応変に自分たちの立論や反論に理由を付け足したり、例をたくさん提示したりするなど、第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かそうとする様子が見られました。



準備時間



聴衆を見てスピーチ



ジャッジのコメントにも真剣

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

※エキシビジョンディベートは実施されませんでした。ジャッジがエキシビジョンディベートに推薦した生徒を表彰しました。

■■■■ (富士 A)、 ■■■■ (武蔵 A)、 ■■■■ (両国 A)、
■■■■ (九段 A)、 ■■■■ (九段 A)

〈チーム賞〉

1位：武蔵 A、2位：武蔵 B、3位：富士 A、両国 A



1位 武蔵 A



2位 武蔵 B



3位 富士 A(右)、両国 A(左)

〈ベストディベータ賞〉

■■■■■	(富士 A)、	■■■■■	(富士 B)、	■■■■■	(武蔵 A)
■■■■■	(武蔵 B)、	■■■■■	(両国 A)、	■■■■■	(両国 B)
■■■■■	(両国 B)、	■■■■■	(九段 A)、	■■■■■	(九段 B)



〈POI 賞〉

■■■■■	(富士 A)、	■■■■■	(富士 B)、	■■■■■	(武蔵 A)
■■■■■	(武蔵 B)、	■■■■■	(両国 A)、	■■■■■	(両国 B)
■■■■■	(両国 B)、	■■■■■	(九段 A)		



参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 他の学校の人たちとのディベートを見ることで自分たちのレベルを確認することができました。今日は見学という形で参加させてもらいましたが、もっと英語やディベートのことを詳しく学んで、ディベートをやりたいです。【九段】
- 自分の学校でもし、今日のお題でディベートをやったら出てこなかったであろう個性的な意見が多数あって聞いていて面白かった。私は英語が苦手なので、きちんと勉強して早くディベートができるようになるよう頑張りたいと思います。【九段】
- 今までディベートを行なっていたのは校内だったため、他校と行うことが非常に新鮮に感じられた。また、英単語や文章の作り方などまだまだ自分の知らないような知識を培っていくのはとても楽しかった。さらに、相手校や自校の良い所、悪い所の両方を見つけることができ良かった。これからは自分たちのディベートにも取り入れていきたい。【九段】
- 文法はメチャクチャで発音もうまくななくても、誰かと意見を交換しあうことが楽しかった。15分という短い時間の中で何を考えるべきなのか判断力を鍛える良い機会となった。もっと英語を勉強してまた参加したい。【九段】
- 本当に楽しかったです！！またやりたいです。【両国】
- 今回の体験で自分の刺激になったし、また他校の人ともいろいろなはなしができて楽しかったです。【両国】
- これまで話したことすらない人たちと交流をし、互いにディベートをできるという貴重な経験ができたし、それぞれの主張を楽しめた。【両国】
- とても楽しかった。またやりたい。練習をさぼってしまったのを後悔した。【両国】
- 少し照れたり物怖じする場面もあったが自ら積極的に話すのが楽しかった！【富士】
- 脳が活性化された気がする。【富士】
- ディベートの論題が出された時のドキドキ感と、英語ディベートの雰囲気を体験できた。【富士】
- とてもとても楽しかったです！ディベート大会に出るのは初めてで緊張しましたが、毎回のディベート後のアドバイスを聞き、どんどん改善して最後のディベートでは楽しく自信を持って話すことができました。ぜひ授業でもやりたいです。【富士】
- 他校の生徒の方とディベートをできたことで自校の中だけは得られない考え方、英語、刺激があつてたくさんのことを学べた。改善点もたくさんあつて、これからも英語力を高めていきたいと思った。英語で自分の伝えたいことを伝えることが多少はできたと思うので嬉しかったし、英語で高度なコミュニケーションをとって今後の糧にしたい。【武蔵】
- 自分の英語力、論じる力などが他校との交流によって測ることができて凄く有意義で楽しかった。周りの人からの刺激が自分の向上心に直接つながった。凄く良い大会だった。今後もこういった大会が開かれることをのぞんでいます。【武蔵】

- 普段他の学校の人と交流することが無い上に英語で話すことが無いので貴重な体験ができて楽しかった。【武蔵】
- ミックスディベートなどを通して、他校との交流ができたからです。【武蔵】

教員の声

- 生徒にとって他校の生徒との交流は非常に大切な機会だと思う。【両国】
- 今までやっていたディベートとスタイルがかなり異なり興味深かったです。他校との交流やチームワークのタスクをこなすことで生徒たちの成長がこの短期間で見られました。【富士】
- 中学生が関わるととても貴重な大会でした。生徒には刺激となり、教員には交流となり、教育は発展する、素晴らしい大会でした。【九段】
- 議論がかみ合ったときは感動しました。【大泉】
- 生徒がいきいきと意見を述べる姿におどろきました。他校の先生方がされているご指導にとっても刺激を受けました。【大泉】



P01 のポーズで集合写真

PDA 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2019

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

開催日時:2019年3月21日(木)10:30-16:00

会場:朝日新聞大阪本社 12階アサコムホール

参加者:教員9名(京都府立大山崎中学校、京都府京丹後市大宮中学校、雲雀丘学園高等学校、兵庫県立千種高等学校、(福井県)福井特別支援学校、愛媛県立松山東高等学校、福岡県立久留米高等学校)

平成31年3月21日(木)に、全国中高教員向けの即興型英語ディベートワークショップが開催しました。実践に移る前に、PDA代表理事(大阪府立大学 工学研究科 准教授)中川智皓より、挨拶とディベートの概要が説明されました。現場における授業で導入できるように、即興型英語ディベートは50分で行われます。また、各参加者の自己紹介が行われ、今回の意気込みや現在学校で行っている取り組み、今後の展望などを語っていただきました。

早速、参加者がチーム分けをされ、それぞれがディベートの準備に取り組みました。第1ラウンドのお題は“**Registration in the bone marrow bank should be a citizen's obligation.**”「骨髄バンクへの登録を国民の義務とすべきである。」でした。各々が事前に持っている知識や競泳の池江璃花子選手の例を用いた議論が行われ、初回からハイレベルなディベートとなりました。

第1ラウンドの後は、同会場で行われている第2回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会の生徒の実践を見学しました。「非常にレベルの高い議論だった」という意見が聞かれました。中学生のディベートを見学したことにより生じた疑問・感想をもとに教員向けレクチャーが行われました。



第2ラウンドが始まりました。第2ラウンドのお題は“Production of plastic bags should be banned.”「ビニール袋の製造は禁止されるべきである。」でした。中学生の全国大会決勝で使われるお題を用いることで、見学の際に理解が深まることが狙いです。初回のグループとは全く違う組み合わせで行うため、ジャッジを初めて担当する参加者はルールを熱心に確認しました。第1ラウンドで緊張がほぐれたのか、より落ち着いてスピーチをされる参加者が多く見られました。肯定側から資源の温存に関する議論が挙げられた一方、否定側からは現実の雇用問題にも触れた議論が挙がりました。POIも積極的に行われ、2人の参加者が同時にPOIに立つこともありました。第2ラウンド終了後には質疑応答が行われ、お題やジャッジの方法、アカデミックディベートとの差異等、活発な議論となりました。

最後は、中学生全国大会の決勝を見学し、ジャッジ練習をしました。決勝の論題解説（キーノートレクチャー）を聞き、さらに知見を深めました。その後、これらの内容を踏まえたまとめが行われました。自らがディベートを行ったことで得た新しい目線を授業で用いたいという感想や、県全体にパラメンタリーディベートを広めたいという意見も聞かれました。今後の授業での活用を祈念し、閉会しました。

参加者の声（アンケート抜粋）

- 本校では高1・2生から募集して実施していますが、中3生にも開くことができる可能性があると感じました。
- 中川先生に普段抱いている疑問をきくことができるととても充実していました。内容も自分たちがやって、中学生のディベートを見て、と盛りだくさんで良かったです。
- 実践と大会の両方とも体験できるのが良い。予選①を最後まで見たかった。
- このような大会が関西で開催され、こちらに住んでいる私としてはありがたいですが関西の学校が少ないようで残念です。もっと公・私学とも広がってほしいです。
- （キーノートレクチャーについて）He was a good choice and offered an interesting perspective.
- （PDA全国高校即興型英語ディベート合宿・大会について）生徒と一緒に参加したいです。
- ディベートのすばらしさとたくさん話せるがゆえの難しさが分かりました。
- （認定教育ジャッジについて）関心があるが、自信がないので自己研鑽を積みます。
- 今回はセミナーにも参加でき、中川先生のレクチャーも受けられて良かったです。他の先生方とも良い交流ができました。

以上



第2回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会
The 2nd PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2019年3月21日(木)

会場：朝日新聞本社 12階アサコムホール

(〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2丁目3-18)

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞、

一般社団法人 日本英語交流連盟、公立大学法人 大阪府立大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協賛：TOEFL junior®

開催趣旨：

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を發揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

参加校：(青森県) 八戸聖ウルスラ学院中学校

(栃木県) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校

(千葉県) 翔凜中学校

(東京都) 筑波大学付属駒場中学校

(東京都) 渋谷教育学園渋谷中学校

(東京都) 東京都立小石川中等教育学校

(東京都) 東京都立武蔵高校附属中学校

(神奈川県) 湘南白百合学園中学校

(神奈川県) 栄光学園中学校

(愛知県) 東海中学校

(滋賀県) 滋賀県立守山中学校

(大阪府) 関西創価中学校
(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校
(熊本県) 熊本県立八代中学校

14校 14チーム

タイムスケジュール：

12:00 開会式
12:20 予選1
13:30 予選2
14:40 決勝進出チーム発表、決勝準備
15:00 決勝
15:20 レクチャー
15:40 表彰式、アンケート
16:00 終了

ご挨拶：

本大会は、第2回目のPDA中学生即興型英語ディベート全国大会となります。高校では、次期学習指導要領での新科目案「論理・表現」においても即興型英語ディベートの活用が期待されるなど、英語で、即興で、ディベートをする取り組みが広がってきています。それと同時に、中学校においても、教科書のパターンから脱出し高校での学習につなげるべく、即興型英語ディベートの導入が少しずつ進んできています。本大会を通し、全国の中学生と議論を交わすことで、今後のさらなる勉強へのモチベーションになりましたら嬉しく思います。また本全国大会で取り扱う即興型英語ディベートは、授業導入可能なフォーマットです。本日の学びが日々の授業への参考になりましたら幸いです。

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事
中川智皓（大阪府立大学工学研究科・准教授）

メッセージ：

中学生による全国大会開催おめでとうございます。昨年の初開催では、全国から集まった中学生のみなさんが、英語で主張を戦わせ、テーマを深掘りしていく姿に感銘を受けました。英語を学び始めてまださほど時間が経っていないのに、ひとつのテーマを仲間で掘り下げ、問題点を整理し、即興で主張を組み立てていく。大人でも難しいことに挑戦する参加者のみなさんはとても輝いていました。今年も、全国の仲間と競いあい、そのなかできっと新しい考え方、新たな友人が見つかるでしょう。今日一日が皆さんにとって大切な宝物になることを願っています。

キーノートスピーカー 朝日新聞大阪本社代表室長補佐兼広報担当部長
安東建氏（元ナイロビ、テヘラン特派員）

R1 中学生は、学校へのスマートフォンの持参を認められるべきである。

Junior high school students should be allowed to bring smartphones to school.

R2

高校の正規科目として、eスポーツを導入すべきである。

High schools should introduce eSports as a regular course.

GF

ビニール袋の製造は禁止すべきである。

Production of plastic bags should be banned.

青森県から熊本県まで全国の中学校が参加され、会場には早い時間から多くの参加者が集まりました。

受付ブースでは、後援、協賛くださいました企業、団体様から、生徒たち、保護者の方々への配布資料等が並びました。朝日中高生新聞には PDA 代表理事 中川智皓による「ニュースで！即興型英語ディベート」の月連載のコーナーもあります。

正午、開会式がはじまりました。参加する 14 校が紹介されました。約 100 名の中学生・教員・保護者・見学者が集まりました。大会でのルール諸注意、POI (Point of Information: ディベート中の質疑応答) の練習などを行いました (写真右)。生徒たちは緊張していた様子でしたが、POI の練習で少し緊張がほぐれたようです。この即興型ディベートはイギリスの議会を模したディベートです。ディベート中に質疑応答を要求する際はこのポーズをして“POI!”と言います。練習では元気よく“POI!”と叫びながら POI のポーズをすることができました。



予選1が開始されました。14チームが7テーブルを使い一斉にディベートを行います。いよいよ予選が始まるという緊張感のためか、会場の空気がとても張りつめています。

予選1の論題は、Junior high school students should be allowed to bring smartphones to school.「中学生は、学校へのスマートフォンの持参を認められるべきである。」です。

論題が発表されると生徒たちは与えられた15分の準備時間を有効に活用しようとアイデアを出し始めます。配布されているブレストシート（アイデア出しシート）に各々が思いついたアイデアを書き出し、チームメイトと共有していきます。中には、相手はどんなことを言ってくるだろうかと予想しながら自分たちの立論のポイントを考えるチームもありました。この準備時間でどれくらい相手の話を予想できるかが反論や再構築を左右します。



予選1ラウンドの様子です。生徒たちはジャッジの目をしっかり見て、自分たちのポイントや相手チームへの反論などを英語で伝えています。スピーカーの話聞き流さないように聞く側も真剣です。



ラウンドが終了するとジャッジによるラウンド全体に対してのリフレクションがあります。教員や社会人、大学生によるジャッジは、論理的かつ教育的配慮を心がけて説明するようにします。チームの勝敗を発表したのち、何故そのチームが勝ったのかという理由の説明があります。続いて生徒たち一人ひとりに対してコメントが丁寧に説明されます。生徒たちは、次のディベートに活かそうとジャッジの言葉を真剣にメモを取りながら聞いています。

予選2の論題は、High schools should introduce eSports as a regular course. 「高校の正規科目として、eスポーツを導入すべきである。」です。Government（肯定側）も Opposition（否定側）も今まで自分たちが見聞きした情報を例に出すなど、さらに白熱した議論となりました。



(写真左) 大会1位から3位のチームにはトロフィーが授与されます。

1 戦目では緊張のためか、相手からの POI を受けて返答する余裕がない場面も見られました。しかし、2 戦目に入る前に PDA スタッフより受けた「相手が質問したいことがあるということは自分の言いたいことがジャッジに伝わっていない可能性もある。また、もし痛いところを突かれてしまってもチームとしてその穴を埋めることができればより自分たちにとって有利になる。POI で質問したり返答したりすることでお互いの理解や議論に深みが出る。」というアドバイスを受けた生徒たちは、2 戦目になると、積極的に POI で質問したり返答したりできていました。



(写真右) ラウンド終了後は対戦チーム全員と必ず握手を交わします。ディベートは紳士淑女のゲームのため、きちんとした礼儀正しいマナーが求められます。

ラウンド中は一生懸命に議論を戦わせますが、試合が終わるとすぐに生徒たちから安堵のためか笑顔がこぼれます。そのあとジャッジからの勝敗発表を待つ間も、うまく伝えられなかった部分を相手に伝え議論をしたり、相手チームの地元のことをたずねたり、初めて会う他校の生徒との交流を深めていきました。

2 戦目が終了し休憩時間をはさんでから、決勝戦進出チームの発表がありました。決勝戦の論題は、Production of plastic bags should be banned. 「ビニール袋の製造は禁止すべきである。」です。すぐに決勝進出チームは準備にとりかかります。決勝戦は全員の前でディベートするため、壇上でラウンドをおこないます。またジャッジも一人ではなく、複数人のジャッジによる判定でチームの優勝が決まります。

決勝戦では Government チームも Opposition チームも互いにとても素晴らしい議論を展開してくれました。Gov 側は今人々がビニール袋を使いすぎており、マイクロプラスチックによる健康被害が発生している点を、また Oppo 側は貧富の格差や先進国と途上国の格差についてや、禁止よりも規制の方が優れている点を、それぞれチームの方針を力強く英語で説明することができました。



決勝戦の結果が出るまえに、本大会のキーノートスピーカーである朝日新聞大阪本社代表室長補佐兼広報担当部長の安東建氏より、決勝戦の論題であったビニール袋の製造に関するキーノートレクチャーを行っていただきました。現在、ケニアではすでにビニール袋の製造は禁止されています。その中でなぜ日本はビニール袋の製造を禁止にいたることができないのか、という問いを中心に、ビニール袋をめぐる諸問題について解説が行われました。新聞を読むことでスマートフォンよりも正しい情報を得ることができます。正しい情報を得ることで知識を深め、そこから自分たちがどう考えるかを考えて欲しいというメッセージをいただきました。



(写真右) 優勝チームが決定し表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。

優勝チームには賞状、トロフィーが授与されました。

第2回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝：筑波大学付属駒場中学校

準優勝：渋谷教育学園渋谷中学校

第3位：東海中学校

第4位：栄光学園中学校

第5位：八戸聖ウルスラ学院中学校

ベストディベーター賞：13名

ベスト POI 賞：12名



優勝：筑波大学付属駒場中学校



準優勝：渋谷教育学園渋谷中学校





集合写真

アンケート（抜粋）

1. 生徒の感想

- ・貴重な楽しい時間をありがとうございました。他校の高いレベルのディベートに圧巻され、高校でも頑張ろうと思いました。今後の大会も楽しみです。（宇都宮東・3年）
- ・全国の中学生とディベートできたのはとても楽しかった。また、話のかみあったディベートができてよかった。（神戸大附属・3年）
- ・他校とディベートをして良い刺激になった。決勝戦は本当に素晴らしくて、自分もディベートに対するやる気ももっとわいてきた。これからは新聞を読もうと思った。（都立小石川・3年）
- ・ディベートを始めて1ヶ月半ほどで、まだまだ実力不足だなと感じる部分が多くありました。相手校の方とも交流を深められたことや、全く考えつかなかった論・ハイレベルな決勝に触れてもっと英語を勉強したい、色々な情報を持っていたいと思いました。ディベートをもっと楽しむために、英語力も知識も身につけていきたいです。（都立小石川・3年）
- ・全国大会ながら、チーム同士の交流も明るく、参加していて気分がよかったです。英語力の不足を感じましたので、これからは試験などに積極的に取り組み、自らの成長につなげていきたいと思いました。（守山・3年）
- ・とても緊張していたので、とても楽しんでいたとは言えないが、それでもディベート自体はエンジョイできた。（守山・3年）
- ・多くの学校と交流や意見の交換をすることができたので、楽しかった。また、ディベート後もジャッジの方から様々な意見を聞くことができたので、意見や考えを深めるいい機会となった。（八代・3年）
- ・初めて自分の学校以外の人とディベートという形で交流をはかれ、とてもいい経験ができました。自分の意見に欠けている部分を見つけることができたので今後の活動に活かしていきたいです。（八代・3年）
- ・自分の思うように相手のスピーチへの反駁などのスピーチができず、歯がゆく感じました。普段、交流することのない学校の生徒とディベートできてよかったです。この経験を今後の自分の英語学習に活かしていきたいです。（関西創価・3年）
- ・他校の生徒たちの英語力に驚いた。これからも英語の勉強に励みたいと思う。（都立武蔵・3年）
- ・もっと英語の勉強を頑張ろうと思いました。また、一つの問題を多面的に見ることができるようになったと思います。これからもディベートで得たことを伸ばしていきたいです。全国の方々とディベートできて楽しかったし、有益でした。（都立武蔵・3年）

2. 教員・見学者の感想

- ・普段から自分自身が色々な問題について考えることが大切だとわかりました。生徒にも伝えていきたいです。
- ・全国の中学生の熱い議論を直接見ることができ、大変良い機会になったのはもちろん、「知りたい」欲を前面に出している中学生の姿勢に感動しました。
- ・自校の生徒が生き生きとディベートする姿が見られた。他校の生徒のディベート力に自校の生徒が大いに刺激を受けており、今後のモチベーションにつながると思う。
- ・決勝大会を見て中3のレベルとは思えない素晴らしいディベートだった。あのような中学生のレベルにどうやったらなるのか、そのプロセスなども学ぶ機会があったら嬉しい。
- ・中学生のハイレベルなディベート実践は本当に勉強になりました。

3. キーノートレクチャーについて

- ・世界の情報を伺うことができ生徒とともに学ばせていただきました。
- ・昨今のニュースで、しかも他の発展途上国との比較。今の日本が持っている課題と、解決したくないエゴとのジレンマ。そこについて新たに問題を知ることができてよかったと思います。
- ・新聞・ディベートを通して世間で起きていることに関心を持つことの大切さ、今の時代への向き合い方など色々考えなければならぬと感じました。
- ・今後の日本にとって大切なものは何なのかを考えさせられた。一つの題に対して、肯定、否定に分かれて意見を深めて決定するのが大切だと思った。
- ・決勝のお題の意味を深く考えさせられるものとなりました。記事をしっかりと読み、今後、自分はどの立場なのかを考えていこうと思いました。
- ・新聞や時事問題に関心を持つことの重要性がわかった。
- ・ケニアではもうすでに禁止されていると知り驚きました。新聞を読むことは大切だと思いました。
- ・今起きている社会問題について知れてよかったと思います。新聞の見方も教えてもらってためになりました。
- ・資料と共に大変参考になるお話でした。

以上

予選結果

- 1位 渋谷教育学園渋谷中学校
- 2位 筑波大学附属駒場中学校
- 3位 東海中学校
- 4位 栄光学園中学校
- 5位 八戸聖ウルスラ学院中学校
- 6位 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校
- 7位 湘南白百合学園中学校
- 8位 翔凛中学校
- 9位 東京都立武蔵高校附属中学校
- 10位 熊本県立八代中学校
- 11位 東京都立小石川中等教育学校
- 12位 関西創価中学校
- 13位 神戸大学附属中等教育学校
- 14位 滋賀県立守山中学校



即興型英語ディベート 校長のメッセージ

文部科学省後援

第4回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
於：東京大学

2018年12月22日(土)・23日(日)(祝)



もくじ

ごあいさつ	1	長野県松本深志高等学校	10
青森県立青森高等学校	2	岐阜県立岐阜高等学校	10
八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校	2	静岡県立静岡高等学校	10
秋田県立角館高等学校	2	愛知県立岡崎高等学校	10
秋田県立秋田南高等学校	3	滋賀県立膳所高等学校	11
山形県立山形東高等学校	3	京都府立鳥羽高等学校	11
栃木県立宇都宮東高等学校	3	京都府立嵯峨野高等学校	11
栃木県立佐野高等学校	4	京都市立堀川高等学校	12
栃木県立宇都宮高等学校	4	大阪教育大学附属高等学校平野校舎	12
群馬県立前橋高等学校	4	大阪府立北野高等学校	12
埼玉県立浦和高等学校	5	大阪府立豊中高等学校	12
埼玉県立浦和第一女子高等学校	5	神戸女学院高等学部	13
さいたま市立浦和高等学校	5	神戸大学附属中等教育学校	13
山崎学園富士見中学高等学校	6	奈良県立奈良高等学校	13
東京都立日比谷高等学校	6	私立東大寺学園高校	14
東京都立小石川中等教育学校	6	鳥取県立鳥取東高等学校	14
東京都立両国高等学校	7	私立岡山高等学校	14
神奈川県立柏陽高等学校	7	私立梅光学院高等学校	15
神奈川県立湘南高等学校	7	山口県立山口高等学校	15
神奈川県立厚木高等学校	7	福岡県立城南高等学校	15
神奈川県立横須賀高等学校	8	熊本県立八代高等学校	15
神奈川県立横浜翠嵐高等学校	8	宮崎県立宮崎北高等学校	16
私立湘南白百合学園高等学校	8	沖縄県立球陽高等学校	16
福井県立藤島高等学校	9	私立創価高等学校	16
長野県長野高等学校	9	鹿児島情報高等学校	16
長野県松本県ヶ丘高等学校	9		
長野県上田染谷丘高等学校	9		

ごあいさつ



全国高等学校校長会 顧問(前会長) **宮本 久也**
(東京都立八王子東高等学校 校長)

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会が、東京大学を会場に全国64校の高校生の参加によって開催されることを心からお喜び申し上げます。私が即興型英語ディベートを知ったのは今から5年前のことです。早速セミナーを実施し生徒の変容ぶりを目の当たりにしてすっかりその魅力に取りつかれ、この取り組みを全国の高校に広げるお手伝いをするようになりました。即興型英語ディベートは、英語での発信力だけでなく、幅広い知識や論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などこれからの時代に求められる能力の育成に最適のプログラムです。そしてこれを他校の生徒と一緒に行うことでその効果がさらに高まります。今大会が参加する高校生の皆さんにとって即興型英語ディベートの楽しさや難しさを再確認する機会となるとともに、全国の高校生との交流の輪を広げる機会となることを心から期待しています。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA) 代表理事 **中川 智皓**
(大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授、東京大学生産技術研究所 協力研究員)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財協会(PDA)では、グローバル社会で貢献できる人財の育成に寄与することを目的に、一手法として、即興型英語ディベートを取り扱っています。設立当初より、公教育において活用できるよう、授業でできる形式の即興型英語ディベートの推進を行っています。一般の授業においてそのまま導入可能なコンセプトで、文部科学省後援 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会や、文部科学省・外務省後援PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会にもつなげています。PDAでは、文部科学省事業(2013~2018年度)や教育委員会との連携を継続し、次期学習指導要領にも掲げられている新科目「論理・表現」において、提案手法の即興型英語ディベートが活用できるよう研究を進めています。本年も、全国高等学校校長会の後援を得、当全国大会を開催いたします。これまで全国800校以上に即興型英語ディベートを紹介できたことは、ひとえに全国の校長先生をはじめとする先生方のご理解・ご協力によるものです。今後の教育についてメッセージを校長先生方よりいただきましたので、本冊子にまとめさせていただきます。



青森県立
青森高等学校 校長
穴倉 慎次

メッセージ

青森県初の即興型英語ディベート交流会を主催して3年が経ちました。当初は4校で実施していた交流会も今年度は7校37名の高校生の参加に加え、15名の教育関係者の参観を得て、盛会のうちに終了いたしました。大会の運営はもとより、ジャッジ講習会を開いていただくなど、一般社団法人パラメンタリーディベート人財協会様には多大なお力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。さて、おかげさまをもちまして、本県でもディベートへの関心が高まり、県高教研英語部会や教育委員会でもディベート大会や教員研修会の開催に向けた動きが活発になっております。新学習指導要領の「論理・表現」の核とも言えるディベートが今後ともPDA様のお力でより深化していく事を願っております。



八戸聖ウルスラ学院
中学・高等学校 校長
里村 智彦

メッセージ

本校では1989年に英語科を設置し、それ以来一貫として「グローバル人材の育成」および「英語による発信型の授業」を理念に英語教育を進めて参りました。英語プレゼンテーションをはじめ、これまで様々な取り組みを行ってまいりましたが、この即興型英語ディベートはまさにこれまでの本校英語教育の完成形の一つであり、これからの英語教育に不可欠な要素であると考えます。本校では生徒たちが楽しみながらディベートをしている姿が見られます。論理的思考力や幅広い知識を養うことができるこの活動を、今後も継続して行きたいと考えております。



秋田県立
角館高等学校 校長
檜尾 尚樹

メッセージ

今年度本校は、AKITA英語コミュニケーション能力強化事業英語授業改善事業拠点校の指定を受けました。昨年度からディベートに興味関心の高い教員やALTによる生徒向けの研修会を行っていましたが、今年度から本格的に授業に採り入れ、意欲ある生徒達は放課後の活動にも積極的に参加しています。情報化・国際化が加速化するこれからの時代には、グローバルな視点をもつ人材が求められます。そのためにはコミュニケーション力やプレゼンテーション力に加え、論理的な思考力や幅広い知識を基盤とした英語での発信力が必要不可欠です。今回のPDA全国大会では、普段の学習成果を発揮するとともに、全国の高校生との交流を通して自分自身をより成長させ、これからの時代をリードする人間に育つよう願っています。



秋田県立
秋田南高等学校 校長
佐藤 利正

メッセージ

2016年12月に全国高等学校文化連盟研究大会・栃木大会に参加した。指導者研修会の英語ワークショップで講師を務められたのが、中川智皓先生である。その際の「ディベートはシャイな日本人にぴったりだ」という言葉が印象に残った。ルールに従って立論・反論・再反論・総括の役割を果たさざるを得ない状況に置かれることで、発言することの重要性を体得することになる。シャイな人間の多い秋田県の出身である私の心にスーッと入ってきた。英語学習者の最大の壁は、誤りや失敗に対する恐怖心である。授業等でのディベート体験を通して、自分の意見を発信する楽しさを実感する生徒を増やすことは、これからの英語教師の使命である。



山形県立
山形東高等学校 校長
佐藤 俊一

メッセージ

英語の4技能の連携、日本語を介さない英語の即時的な理解と反応、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成など英語教育の課題のほとんどはディベートを行うことによって解決します。しかも、相手や聴衆を納得させる論理構成力も鍛えることもできますし、実践的な英語の語彙力も豊かにすることもできます。いいことづくめのディベートですが、学校の授業であまり普及しなかったのは、事前の準備に手間がかかる、時間がかかるというところに原因がありました。即興型ディベートは、このネックをクリアしたいわば魔法の杖です。皆さん、是非積極的にチャレンジして、世界に渡り合える英語によるコミュニケーション能力を身に付けましょう。



栃木県立
宇都宮東高等学校 校長
若杉 俊明

メッセージ

即興型英語ディベートでは、英語力だけではなく、論理的な思考力、表現の瞬発力、伝えようとする誠実な姿勢など、総合的な能力が求められます。そしてそれを鍛錬するには、日々の努力もありますが、最も大切なのは、「意識の高さを継続すること」なのではないかと思います。換言すれば、課題を感じるセンサーの感度を高めておくということでしょうか。こうした大会に参加することで、生徒たち自身が、日常の思考を活性化し、視野を広げることにつながってくれることを期待します。



栃木県立
宇都宮高等学校 校長
村山 二郎

メッセージ

本校は、今年度140周年を迎える公立の男子校です。全人教育を掲げ、長い歴史と伝統を築いてきました。本大会に参加するのは、英語部の部員たちですが、全国大会・世界大会の常連になった彼らの活躍や実力は、本校の生徒たちに良い刺激になっています。英語ディベートには、英語を駆使する楽しさに加え、知的・社会的な難題に挑戦する面白さ、個人でなくチームで勝ち取る喜び、人前で堂々と発言する心地良さなど高校生を引きつける魅(魔)力があります。その手法は、「主体的・対話的で深い学び」にも通じており、授業でも導入されつつあります。今後の英語学習に幅と深みをもたらすものと大いに期待しています。



栃木県立
佐野高等学校 校長
赤羽 浩

メッセージ

本校では、教育目標である『「国際人として活躍できる真のリーダー」の育成』を踏まえ、SGHの教育活動を組織的に展開しています。その教育活動の一環として、中高一貫教育校の特長を生かし、中学3年生から英語ディベートを導入し、高校1年生と2年生でも積極的に授業内で取り入れ、PDA型ディベートにも挑戦しています。英語ディベートでは、生徒の英語力を向上させるだけでなく、社会問題への興味・関心を引き出したり、論理的な思考力を養ったりすることができると思っています。学習指導要領の改訂に伴い、ディベートなどの言語活動を中心とした英語の授業が求められています。今後もPDA即興ディベートが全国的に広まることで、英語教育が更に充実・発展していくことを願います。



群馬県立
前橋高等学校 校長
大栗 勇一

メッセージ

群馬県立前橋高等学校は、今年で創立141年目(1877年創立)を迎えた、群馬県内一の伝統をもつ男子校です。卒業生総数は、約3万5千名を数え、各界で活躍しています。現在、920名の生徒が学んでいます。校訓「質実剛健」、「気宇雄大」のもと、社会のリーダーとなる人材の育成を目指し、学業はもとより、部活動や学校行事に積極的に取り組んでいます。平成30年度は、その重点目標の中で「探究的な学習の推進」及び「グローバル教育の推進」等を掲げ、英語ディベート等を通じたコミュニケーション能力の伸長を図っているところです。今回の第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会については、本校は第1回より参加しており、4回目の出場となります。全国の仲間と切磋琢磨することにより、「前高生(まえたかせい)」にとっても学校生活の充実につながることを期待しています。



埼玉県立
浦和高等学校 校長
小島 克也

メッセージ

世界のグローバル化が進む中、英語を介して、海外の主張を理解し、同時に海外に対して自分の立場を堂々と論ずることのできる人材を高校教育の場で育成したいものです。PDAは、そのようなグローバル人材の育成に資する手法であることは間違いのないと思います。本校でも、すでに一部の授業で取り入れています。教員は、生徒達の語彙の定着やクリティカルシンキング力の向上など、英語のコミュニケーションに必要な力の伸びに手ごたえを感じています。今年の3学期からは、1年生の全クラスでの展開を予定しています。全国の同じ思いの高校の皆さんとともに成長していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。



埼玉県立浦和第一
女子高等学校 校長
高田 直芳

メッセージ

現在、高校では、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善が大きなテーマとして掲げられています。即興型英語ディベートはまさにこのテーマに沿った取組で、生徒の英語力を伸ばすことはもちろん、世界の様々な課題に対してクリティカルに考える習慣をつける上でもとても意義あるイベントだと思います。これから世界に飛び出す若者には英語をコミュニケーションツールとしてお互いに議論を戦わせ、立場を超えて相手の意見に共感する力、自分の考えに共感してもらえる力を養ってほしいと思います。全国大会のご盛会をお祈りするとともに、即興型英語ディベートが今後も多くの高校で実践の輪が広がることを期待しています。



さいたま市立
浦和高等学校 校長
平川 充保

メッセージ

第4回PDA英語ディベート大会開催おめでとうございます。日本人の英語力の向上が社会的に求められているなか、本校でも1~2年生で「継続的」「段階的」「即興的」に、英語ディベートに取り組ませており、英語の運用能力はもちろん、論理的な思考力、交渉力、プレゼンテーション力、社会問題に対する知識、チームワークなどの様々な能力や知識の向上など、大きな教育効果をあげています。このPDA全国大会はそういった普段の授業の発表の場として大変貴重な目標とさせて頂いています。今後も一生懸命に取り組む生徒たちと日本の英語教育改革のために、このような場の提供をより多くの生徒たちにお願ひできればと考えております。



東京都立
日比谷高等学校 校長
武内 彰

メッセージ

PDA関係者の皆様には日頃よりお世話になりましてありがとうございます。即興型英語ディベートセミナーや大会において、生徒たちが懸命に知識や思考を巡らせ、楽しんでいる姿を目の当たりにしてきました。全国大会においても生徒たちがお世話になりますが、御指導いただけることを嬉しく思います。これからは自らの考えを論理的かつ的確に英語で発信できる生徒たちを多く育てていくことが大切である、との認識のもとに今後もグローバルに活躍できる生徒の育成に努めてまいります。



都立
小石川中等教育学校 校長
梅原 章司

メッセージ

本校は、東京グローバル10指定校として国際理解教育に力を入れており、国際社会に生きる幅広い教養と豊かな感性及び高い語学力を身につけた生徒を育成するために、生徒主体の様々な国際交流活動を推進しています。授業では英語ディベートを導入し、ディベート大会はじめ各種英語コンテスト等において本校生徒の活躍がますます活性化してきました。グローバルな視点で多面的にものごとを考えられる人材を育成するために、ディベートは大変有効であると実感しています。今後もDebate活動を通して、今まで以上に生徒一人一人が社会に関心をもち、仲間と議論を深め、切磋琢磨しながら、課題解決のための思考力・判断力・表現力を育ててほしいと思います。



山崎学園
富士見中学高等学校 校長
板倉 清

メッセージ

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会の開催おめでとうございます。グローバル化、AI化により現代は予測困難な時代と言われ、それに適応する新しい学びが求められ、知識の量的蓄積ではなく、その知識を基にした汎用的な資質・能力の形成が重要とされます。そのような教育環境において、資料や原稿なしで討論する即興型英語ディベートは、幅広い知識や視野を前提に論理的思考力、判断力、表現力を必要とする競技であり、まさに時代に即応した教育方法と言えます。参加者はこの競技を通し自己の知識と資質の総合力を把握し、さらに深い学びへの意欲を強めることができるでしょう。大会のさらなる発展をお祈り致します。



東京都立
両国高等学校 校長
鯨岡 廣隆

メッセージ

対話は新たな価値を生み出します。このことは古来より重視されてきました。古代ギリシャにおいてはソクラテスが、古代中国においては孔子がその代表と言えるでしょう。産婆術という呼ばれ方もします。現代においても対話は問題解決の最善策かもしれません。言語は何であれ、即興型であろうとなかろうと、勝敗を競うかどうか、こうしたことは様々な形態の違いにすぎません。よく聞くこと、自分で考えること、相手が理解できるように伝えること、こうした一連のプロセスを通して、参加者ともども深い学びや奥行きのある相互理解につながっていくことを願っています。



神奈川県立
柏陽高等学校 校長
井坂 秀一

メッセージ

PDAさんとの出会いは一昨年度であった。以後、本校英語教育は大きく変容したことに感謝申し上げる。職員たちはこの「即興型英語ディベート」に矚目し、県内交流会・首都圏大会、そして全国大会に生徒を参加させるとともに、自らジャッジとして研鑽を続けている。昨年度からは、この取組みを授業に導入(各学年3~4回)し、今年度末には学校行事として、「即興型英語ディベート大会」を実施することとなった。今後は、授業の中でこの取組みをより計画的に展開するとともに、新学習指導要領(新科目「論理・表現Ⅰ~Ⅲ」等)への応用についても検討していきたい。



神奈川県立
湘南高等学校 校長
稲垣 一郎

メッセージ

即興型英語ディベートの全国大会に参加されるすべての生徒の皆さんの健闘を祈念いたします。本校生徒も、これまで即興型ディベートの練習会や大会に参加させてもらうことによって、他校の生徒さんたちに刺激をいただき、より素晴らしいロジックと英語力をつけることを目標にがんばって来ました。負ければ悔しいと思うはずですが、その悔しさが伸びるばねになります。がんばってください。また、中川先生をはじめ、PDAのスタッフ・ジャッジの先生方の的確な指導助言とご尽力に感謝申し上げます。



神奈川県立
厚木高等学校 校長
中垣 匡

メッセージ

生徒たちがPDAのディベート大会に参加し、示されたテーマについて自分たちの考えを英語で伝えるという経験を積むことは、生徒たちの英語力の向上のみならず、正確な分析のもとに自分の考えを構築し、それを相手に伝える力の向上につながっています。これからの高校教育において、英語コミュニケーション能力の育成はますます重要になっていくことを考えると、会話やプレゼンテーションの他に、ディベートという要素を加えることができありがたく思います。生徒たちに与えられた時間は短いですが、POIを受けて、それに返せるだけの余裕と力をつけて欲しいと思っています。



神奈川県立
横浜翠嵐高等学校 校長
佐藤 到

メッセージ

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会出場
おめでとうございます。今、世界は国際化・情報化の進展とともに、ますます多様化、複雑化しています。私は、これからの時代に生きるみなさんに一番求められている力は「自分の考えを、与えられた時間で、わかりやすく的確に伝える力」だと思います。このディベート大会は、身近な疑問や社会の課題について全国の高校生と、いや世界の高校生と話し合える絶好の機会です。これまで学校や都道府県交流大会で練習してきた力を遺憾なく発揮してください。ディベートのテーマは、あなたのまわりにあります。



神奈川県立
横須賀高等学校 校長
九石 美智穂

メッセージ

次代を担う高校生には、学びを自分でデザインし
学び続けていってほしいと考えます。課題を認識し、解決方法や
新たな価値を協働的に見出すためには、
知識を獲得しながら疑問をもち批判的思考をすることと、
論理構築をして伝える力そして質問力・応答力が重要で、
これらの力はどの分野に進んだとしても大きな力になります。
即興型英語ディベートは、論題が与えられた後の準備時間が
15分~20分間と短いため授業で活用しやすく、等身大の知識が
試され、論理構成力、チームワークも必要となります。日常における
情報や知識への対峙の仕方も自ずと変わってくると思います。
授業への導入では、初めての生徒が参加しやすい
工夫も必要になるでしょう。



私立
湘南白百合学園高等学校 校長
谷口 貞女

メッセージ

本校では即興型英語ディベートに魅せられた生徒の活動の
輪から始まり、ディベート授業の導入を開始しました。
時事問題をテーマとした論題の奥深さや論理を追求する生徒たちは、
ディベートを通して自分の考えを見直し、相手の主張も加味して
自身の論にフィードバックする姿勢で学びを深めています。
さらに、チームメンバーが一丸となることで、協調性とともに
コミュニケーション能力も身に付く貴重な体験をしています。
今年もまた、湘南白百合チームは持ち合わせる能力をフル活用する
醍醐味を感じるディベートを楽しみに、全国大会に参加します。



福井県立
藤島高等学校 校長
田中 幸治

メッセージ

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会の開催、
まことにおめでとうございます。本校ではこれまで高度な
英語力の育成のため、論理的思考力や表現力だけでなく、
即興性と社会性を要求される即興型ディベートを授業で積極的に
導入してまいりました。結果として多くの生徒が英語力を飛躍させ、
クラスは活気に満ちています。同時に福井県教育委員会の
後援のもと、5回にわたる研修会の開催を通じ、県大会には
県内約6割の学校、200名を超える生徒の参加を得、英語
ディベートの輪が全国的に確実に広がりつつあります。本大会が
互いに切磋琢磨し高めあう大会となることを願っております。



長野県
長野高等学校 校長
原 良通

メッセージ

本校では、英語の発信力をつけるため、課題研究や
プレゼンテーション、海外との交流に活発に取り組んでいます。
その一環として全員がPDA即興型英語ディベートを実践し、
英語力向上を図っています。このディベートは、形式が分かりやすく
初めてでも取り組みやすく作られており、論理的思考力を
磨くことに有効です。さらに、広い知識が必要であることに気づき、
日頃の学習への興味関心が深められる効果があります。
授業形式で取り組み、気づいてみると着実に英語4技能が身に
付いている、そんなプログラムがこのPDA即興型英語ディベート
ではないでしょうか。新学習指導要領の方向性を見据えて、
積極的に取り組んでいきたいものです。



長野県
松本県ヶ丘高等学校 校長
杉村 修一

メッセージ

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会に出場が叶い
ましたことをとてもうれしく榮譽に思っております。即興という
ことで普段から時事問題に対し常に考え、意見交換をして自らの
考えを深めていくという学びがどう生かされるか楽しみです。
本校OBの映画監督であり、東京オリンピックの開会式等の
総合プロデューサーでもある山崎貴監督は「本当にやりたいことが
ある人は、自分に「足りないこと」を自覚して努力することが成長に
つながり、夢は叶えられる。」と語っています。多くの仲間と研鑽し
合うディベートを通じて「たくさんの知見」と「悶々とした渴望感」も
得て来て欲しいと願っています。



長野県
上田染谷丘高等学校 校長
井村 敏明

メッセージ

即興型英語ディベートは、「従来のディベート形式とは異なり、
一般の授業においてそのまま導入可能なコンセプト」ということ
ですが、本校の英語の授業でも実施されており参観しました。
その様子から、聴くこと話すことの力を上げていくには、
様々な事柄に対する知識が必要であることに改めて気づかされ
ました。即興型のディベートは、準備が簡略なだけに、
普段から他教科や色々なジャンルの知識を身につける姿勢の差が
如実に表れるので、自分を見直すとても良い機会になるのでは
ないでしょうか。グローバル化の重要なツール開発の場として、
これからも協会や参加者の皆さんの活躍をお祈りします。



長野県
松本深志高等学校 校長
今井 義明

メッセージ

現実にある問いや課題については、唯一の正解があることは少なく、今考えられる最善の対応、あるいは多くの人々が納得できる対応、最善解や納得解を探していくことが多いと思います。そうした力を高校生の中に育てていくためには、このようなディベート活動を通して、自分の持っている知識や経験を総動員しながら、多様な意見を出し合い、最善解や納得解を見つけていく経験を積み上げることが、一つの有効な手段と考えます。また、英語の4技能育成の観点から、さらには思考・判断・表現力の育成の観点からも効果的な手法として機能するものと考えます。



岐阜県立
岐阜高等学校 校長
折戸 敏仁

メッセージ

情報化やグローバル化が急速に進展している現代社会において、外国語によるコミュニケーション能力は今後、様々な場面で必要となってくることでしょう。現在、本校ではグローバルな視野を持って活躍できるリーダーの養成を目指して各種の取組を行っています。この即興型英語ディベートは、本校としては今年度初めての取組でしたが、交流大会においては、生徒が目を見せ、全力でチャレンジする姿を大変頼もしく感じていました。今後、こうした手法が積極的に授業の中に位置づけられ、論理的に考え、話すことにより生徒のコミュニケーション能力が一層高まっていくことを期待しています。



静岡県立
静岡高等学校 校長
志村 剛和

メッセージ

「感性の網目・メッシュを少し細かくすることができました」。これは市主催の「高校生のキャリア形成事業」の成果報告会での高校生の感想です。夏休みのインターンシップや職業人インタビューを通して、自らの成長を感じています。細かな網目には新たな気づきや発見が、引っ掛かります。本校は今年からのPDAへの参加です。5月の授業体験会には28名が、6月の東海四県交流大会には10名が参加しました。終了後、「緊張の中、他県生徒との交流は貴重な経験だった」「自分の世界を広げたい」など、今後の学びに対する前向きな感想が寄せられました。今回は、全国64校から生徒が集まります。積極的な取組を通して同年代の生徒との交流が図られ、一人一人の「感性の網目が細くなる」ことを期待しています。



愛知県立
岡崎高等学校 校長
竹下 裕隆

メッセージ

本校では学校設定科目「探究AKC」において、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力等、探究的な学びの基礎力を育成しており、1年生のうちにすべての生徒が日本語のディベートを経験しています。また、3年生では生徒各自が探究した内容を英語で発表する機会があり、生徒たちが自ら考えたことを英語で表現するトレーニングも行っています。そこで、英語による発表の経験を積ませるよい機会として、生徒たちに即興型英語ディベートを紹介しています。本校は、愛知県から1校だけ参加させていただきますが、今大会が盛大に行われますことを心よりお祝い申し上げますとともに、PDAの活動が徐々に広がっていくことを祈念しています。



滋賀県立
膳所高等学校 校長
小島 秀樹

メッセージ

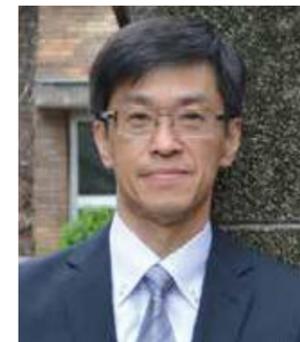
このたび、本校生徒が、第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会に出場する機会を得て、大変喜ばしく思います。即興型ディベートは、その場で与えられたテーマについて、限られた時間の中で、自分たちの持てる力で論理を組み立てていくという難しさがありますが、反面、これからの予測不可能な時代を生きる皆さんにとって、是非身に付けておくべき力を養う有効な取り組みだと、私は思います。全国大会では、日本各地から選ばれた学校の皆さんが一堂に集い、それぞれの技能を競うこととなりますが、参加生徒の皆さんが、この全国大会で貴重な経験を積み、将来グローバルに活躍してくれることを期待します。



京都府立
嵯峨野高等学校 校長
小川 雅史

メッセージ

グローバルとは単に英語が話せることのみならず、「どこでも寝られて、何でも食べられて、誰とでもコミュニケーションがとれること」と言われるように、主体的な生き方こそがグローバルの根幹です。そのために本校でもそれぞれの教科における授業で生徒の主体的な学びに取り組んでいるところですが、英語科においても英語で自分の考えを述べて、表現できることができるようになるための授業法の一つとしてパラメントディベートを活用しています。



京都府立
鳥羽高等学校 校長
山埜 茂彦

メッセージ

本校は戦略的・批判的思考力を身につけることを目指し、専門学科グローバル科の授業にディベートを導入しています。校内ディベート大会や、交流会で海外の大学生とディベートしたり、ディベート学習を進めています。ディベートでは、相手の主張を聞いて理解し、その場で反論することや、相手の質問に素早く答えるなどの、まさに今のグローバル社会が求められている実践的な英語のコミュニケーション能力を育む取り組みであると思います。本校生徒がその力を身につけて、様々な場面でグローバル・リーダーとして活躍できるように、今後もディベートをさらに進めてまいります。



京都市立
堀川高等学校 校長
谷内 秀一

メッセージ

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会の開催を心より
お喜び申し上げます。全国から集まった高校生と英語で交流し
議論を深めることで、生徒たちが大きく成長してくれることを期待
しています。本校では数年前より有志生徒と教員が中心となり、
即興型ディベートに取り組んでおります。
生徒たちは英語運用能力に加え、他者の意見を受けとり、
考え、判断し、表現する力を向上させてきました。
今回、高い目標の達成に向けて培ってきた力を存分に発揮し、
本気の戦いを通じて友情を芽吹かせてほしいと思っております。
Aim higher, Horikawa students!



大阪教育大学附属
高等学校平野校舎 副校長
堀川 理介

メッセージ

本校では、2014年度から、中川智皓先生のご指導のもと、
2年生全員を対象に英語科授業の中で即興型英語ディベートを
実施しています。初心者であっても取り組みやすい教材と授業内で
完結するプログラムにより、年度当初は戸惑いながら
取り組んでいた生徒が、授業を重ねるごとに楽しみながらも
堂々と自分の意見を述べるようになる姿を毎年頼もしく見させて
いただいています。即興型英語ディベートを通して、大阪府内の
いくつもの高校と交流する機会も広がりました。将来の英語の
授業の一つのあり方として、大阪教育大学の学生が授業見学に
来校することも多くなり、あらためてこの授業の
可能性を感じております。



大阪府立
北野高等学校 校長
恩知 忠司

メッセージ

即興型英語ディベートは「1粒で3度おいしい」取組だと感じて
います。即興、英語、ディベート、どれ一つとっても難関ですが、
頭脳をフル回転させるにこれ以上のものはなく、常に刺激を求めて
いる北野生にはピッタリです。昨年の全国大会で北野高校は
2勝2敗の成績でした。本格的に取り組み始めて半年、
確かな手応えを感じると同時に、「上には上がいる」ことを実感
できる大会でした。今年は校内セレクションで2年生2名、
1年生1名の代表を決定し、昨年以上のお土産を持って帰りたいと
意気込んでいます。全国の皆さんとの真剣勝負を
楽しみにしています！見せるぞ！六稜魂！



大阪府立
豊中高等学校 校長
平野 裕一

メッセージ

未来学者のアルビン・トフラー氏は、「ハイテクノロジー(先端技術)が
進めば進むほど、ハイタッチ(人間同士の触れ合い)が求められる。」
と指摘しました。我が国は、グローバルに情報が行きかうネット社会
の一員であり、さらに今後AI技術が発展すると、逆説的ですが、
人間同士のリアルなコミュニケーションが求められると考えられます。
高校生にも英語でのオーラル・コミュニケーションの力が求められる
ことは言うまでもありません。即興型英語ディベートは、
英語でのコミュニケーション力を育成する効果的な手法のひとつです。
本校生がこのディベートに取り組むようすを見ると、
回を重ねるごとに自信を持って英語を聞き・話す力が
身につくことがわかります。本校では、ディベート等を活用し、
英語のコミュニケーションを通じて、グローバル社会で活躍できる
人づくりに向けた教育活動を進めているところです。



神戸女学院
高等学部 部長
林 真理子

メッセージ

第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会の開催、
おめでとうございます。グローバル社会に生きる高校生には、
喧嘩ではなく議論、対立ではなく共感によって問題を解決する力が
必須です。批判的思考力を深め、的確な判断を下す力を身に
着けるためには、英語力や自分の意見を主張する力だけではなく、
多様な意見に真摯に耳を傾け、受容と包容の姿勢で問題を
解決する力が必須であると思います。英語で議論することにより、
主体的積極的な学びを深化する貴重な機会を本学の生徒達に
与えていただき、感謝いたします。大会の成功と関係者、
参加者皆様の益々のご発展を祈念いたします。



神戸大学附属
中等教育学校 校長
藤田 裕嗣

メッセージ

神戸大学附属中等教育学校は、11学部15研究科を擁する
神戸大学の附属学校として、大学の教育理念(グローバル
エクセレンスの実現)にもとづく「グローバルキャリア人」の育成を
めざした教育を推進しています。ユネスコスクールに認定され、
さらに2015年度にはSGH(スーパーグローバルハイスクール)にも
指定されました。本校ではグローバルアクションプログラムとして
位置づけて、さらなる発展を企図しています。この度、年末に開催
される第4回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会2018に
5年生(高校2年生)3名が参加できることになりました。
成績に一喜一憂することなく、全国の高校生と交流する貴重な
体験を通じ、今後の糧にしてもらいたいと願っています。



奈良県立
奈良高等学校 校長
安井 孝至

メッセージ

本校(SSH指定校)の教育目標の中に、「科学技術系グローバル
リーダーの育成」を掲げています。私は、グローバルリーダーとは、
自分の意見に理由と責任をもつこと、また、人に対する敬意を
忘れず他者と協調して仕事をすることができる人であると考えて
おります。パラメンタリーディベートは、そういった人材育成に
寄与できる最適な手法であることから、部活動のみならず、
英語表現の授業でも、論理的に自分の考えを構築し、
相手に伝えていく発表交流の場として、一部取り入れています。
今後は、英語科だけではなく、他教科とも連携し、
教職員全体の共通理解の醸成を図りたいと考えております。



鳥取県立
鳥取東高等学校 校長
尾室 真郷

メッセージ

今年度も参加させていただくことができ、大変うれしく思います。本校では、英語4技能をバランスよく育成する取り組みを学校をあげて実施しており、そのうちの1つが英語ディベートであります。英語ディベートでは英語4技能の育成のみならず、論理的思考力・批判的思考力も養うことができますが、特に即興型英語ディベートでは即興で英語で述べる力、聞く人を惹きつけるスピーチ中の態度面等も鍛えてくれるものであると解釈しています。次期学習指導要領にも掲げられている新科目「論理・表現」において、非常に効果的な活動でありますので、今後ますます全国の高校生が、授業あるいは部活動として取り組んでくれることを祈っています。



私立
岡山高等学校 校長
鷹家 秀史

メッセージ

即興型英語ディベートを中心としたPDAのプログラムは、世界で活用されているパラメンタリーディベートをベースにしたプログラムで、限られた時間で学校現場に導入・実践が可能だと考えています。本校でもコミュニケーション英語I・IIの授業でパラメンタリーディベートを導入しています。テーマも社会・政治・倫理・環境・国際問題など多岐にわたり、グローバル・リーダーに必要な素養を身に付ける基礎を養うことができます。結果として、「英語での発信力」「論理的思考力」「幅広い知識」「プレゼンテーション力」「コミュニケーション力」の5つの力が鍛えられると思います。



私立
東大寺学園高校 校長
森 宏志

メッセージ

世界はこれまでにないくらい状況が変化しており、様々な分野で色々な物事が進化し続けています。急激な変化を見せる世界情勢の中で、日本の英語教育が世界に遅れを取らず、若者たちの語学力や教養を高めるために不可欠な学習手段が即興型英語ディベートです。従来の知識・理解中心型の一斉授業に固執することなく、様々な本物の英語による良質なインプットからアウトプットに繋げていく有機的な教員と生徒たち、そして生徒たち同士が関わり合える双方向型の新しいタイプの授業の早急な実現と普及が望まれ、そのためにもディスカッションやディベートを前提とした授業構築が前提に掲げられるべきだと考えます。その結果、次期学習指導要領を見据えた「主体的・対話的で深い学び」の実現も可能となるのです。PDAの全国大会には日頃ディベートに真摯に取り組んでおられる高校生が参加され、凌ぎを削りながら高め合うレベルの高いディベートが繰り広げられます。そこで切磋琢磨し得た知見を学校に持ち帰り、学友と共有することで日本の英語教育の底上げが成されることに大きな希望を見出しております。今年度も熱戦が繰り広げられることを心より期待しております。



私立
梅光学院高等学校 校長
樋口 紀子

メッセージ

「Beyond the Borders」
今の子どもたちに求められる力は、文化や言語の壁を越え知らない地域で、自分とは異なる人々との出会いや多くの経験を通じて自分を成長させる「国境を越える力」、自らの限界を設けずに、一歩前に踏み出す「自分の限界を超える力」、と私たちは考えます。それは、これからの時代を生き抜く力そのものです。「強くしなやかな精神と、新しい時代を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育てる」という建学の理念を掲げる私たち梅光学院は、これからの時代をたくましく生き抜き、社会に価値をもたらす人材を育成すべく日々教育活動に取り組んでいます。



山口県立
山口高等学校 校長
栗林 正和

メッセージ

昨年度、本校を協力校として、「PDA山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会」が産声をあげました。第2回となる今年度は、本校も主催に加わり6校41名の生徒参加のもと盛況に開催されました。授業においても、1・2年生を中心に計画的かつ組織的に取り組んでいるところです。即興型英語ディベートでは、生徒たちが対戦相手やチームメイトの英語に必死に耳を傾けるとともに、伝わる英語を模索しながら懸命に話す姿が見られ、効果的に言語習得を促進するインプットとアウトプットの絶好の機会となっています。今後とも、取組を一層推進したいと考えています。



福岡県立
城南高等学校 校長
和田 美千代

メッセージ

即興型英語ディベートは、本校の教育活動の重要な柱の一つです。「授業でやる」ところ、つまり教育課程に組みこんでいるところがポイントです。授業の一環だから、その影響・成果は全生徒に現れます。生徒たちが論理的に意見を述べるようになったと実感しています。PDAの方々にも本校の英語科の職員にも感謝しています。



熊本県立
八代高等学校 校長
和久田 恭生

メッセージ

八代高等学校・中学校はグローバルリーダーとなる人材の育成を目標に、世界で活躍するために求められる以下のような資質の涵養を目指しています。

- グローバル・マインド
 - ・柔軟な思考で問題の本質を見抜き、臨機応変に対応する俯瞰力
 - ・多様な価値観を理解し尊重する感性・他者と協力し、ものごとを為し遂げる協働性
 - ・主体的に新しい価値を創成し、社会に貢献していく実践力
- グローバル・スキル
 - ・課題設定解決力・コミュニケーション力・英語力
 - ・メディアリテラシー

即興型英語ディベートでは、このような力を身に付けることが可能であると考えています。生徒たちが即興型英語ディベートを通じて、英語力の向上のみならず、国際人としての基本的素養を身に付けることができると確信しています。



宮崎県立
宮崎北高等学校 校長
川越 良一

メッセージ

学校における生徒の英語学習については、グローバル時代において、聞いたり・読んだりしたことに基づいて、話したり書いたりする統合型の言語活動が十分でないと言われています。そのような中、即興型ディベートは、授業形態の中に「学力の三要素」(知識・技能の習得、思考・判断・表現、学びに向かう力等)が存在し、生徒が主体的また協働的に考え、英語で伝え合うことを目標にした学習であることから、本校は各学年ごと授業の一環として導入しました。生徒の英語での発信に対する興味・関心は、思った以上大きく、これを契機に、生徒にとって英語の4技能が車の4輪のようにバランス良く作動することを期待しています。



鹿児島
情報高等学校 校長
新納 武彦

メッセージ

今回の大会では、日頃授業で習得している「生きる力」を思いっきり発揮してください。ニュージーランド留学やPBL (problem based learning) で身につけた英語力と知識を評価してもらう絶好の機会です。勿論、上位入賞を目指して欲しいと思いますが、結果を次のPDCAサイクルに活かすことが大会出場の意義を高めることになると思います。また、全国から参加している高校生の実力を肌で感じて欲しいと思います。そのことで、次の目標設定が顕在化してくることでしょう。加えて、全国各地の高校生とのネットワークの広がりも期待します。いづれにしても「きばれよ、チェスト！」。



私立
創価高等学校 校長
塩田 誠一郎

メッセージ

即興型英語ディベートには、今までの授業では伸ばすことが難しい力をつけさせてくれる大きな魅力があると思っています。その力とは、論理的な思考力、協同する力、そして、英語を読む、聞く、話す、書くなどを含めた英語で何かをする力など、これからの時代に求められている力です。こうした意義ある即興型英語ディベートに本校の先生方と生徒たちが挑戦してくれていることを、心から嬉しく思っています。この大会への参加を通して、楽しみながら大いに力をつけてくれることを願っております。



沖縄県立
球陽高等学校 校長
冨里 一公
ふさと かずひろ

メッセージ

初出場の沖縄県立球陽高等学校です。本校は今年で創立30周年を迎える理数科と国際英語科を設置する高校です。平成25年度からは文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受け、本年度から2期目の研究開発に生徒・職員が日々取り組んでいるところであります。そのような節目の年にPDA 高校生即興型英語ディベート全国大会2018に出場できることは大変光栄であり、生徒も職員も出場が決定した瞬間から興奮状態です。今回は我が球陽高等学校の元気印2年生の中から精鋭を選びすぐって参戦させます。全国大会の場で日頃のSSH取組みで培った論理的思考力を駆使して全国の高校生を相手に「球陽旋風」を巻き起こせ！

4. おわりに

3年間にわたり、公益財団法人 日本財団の助成を受け、「学校教育におけるパラメンタリーディベートの推進活動」を行うことができました。本活動では、全国の高校生（中学生）、教員が即興型英語ディベートを知り、実際に実践できる場を提供いたしました。それを通じ、即興型英語ディベートの有用性を実感したこと、またさらなる学習へのモチベーションにつながったことなど、多くの感想をいただきました。特に、今年度は、新たな紹介・交流大会エリアとして、北海道、東海地方への推進ができました。昨今、とりわけ英語科では、アクティブラーニングが重要視され、また次期学習指導要領では「論理・表現」という新しい科目案も挙げられています。即興型英語ディベートは、実際のコミュニケーションに近い形で、ルールに基づいて論理的に表現していく、時代にあった学習手法の一つであることも本活動を通して改めて示唆されました。

教員研修を行う教育委員会や教育センターの先生方との情報交換においても、今後、即興型英語ディベートの指導ができる教員の育成が急務であることが示されており、本年度はさらに多くの方々に即興型英語ディベートを経験いただきました。本事業を通じ、即興型英語ディベートのジャッジ、評価についても知見を増やしています。PDA では、即興型英語ディベートについて、教育的配慮を伴った指導ができる人財を PDA 認定教育ジャッジとして認定していく制度を作っています。文部科学省「平成 28 年度総合的な教師力向上のための調査研究事業」「平成 29 年度、30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」においても、教員の PDA 認定教育ジャッジ制度の活用の旨を記載しています。今後も、即興型英語ディベートが学校教育において浸透し、社会が一步でも前に進む一助になりますよう、活動を続けて参りたいと思います。

本事業の遂行にあたり、ご助成いただきました公益財団法人 日本財団、多くのご支援、ご協力を賜りました皆様方に、深く感謝いたします。

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

代表理事 中川 智皓

（大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授）

発行

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

2019年3月

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1
大阪府立大学 工学研究科 中川研究室内
Tel : 072-254-9220 Fax : 072-254-9904
E-mail : contact@pdpda.org